



忍者会員募集

[ゲーム期間:1993年1月~1994年1月]

現代日本を舞台に繰り広げられる八大忍者 軍団の闘い。そして芽生える友情、涙、ロマン。闘いの背後に隠された壮大な謎とは? 日本の、そして世界の運命は? すべての鍵を握るのは、あなただ!

数千のキャラクターが織りなす、史上空前の ハイパーRPGが君を待つ!

ネットゲームとは日本全国を舞台に郵便で会話して進めるRPG型ゲームです。誰でもプレイできる簡単なシステム。コンピュータは要りません。



〒	
ご住所	
お名前	様

[N93 夜桜忍法帖]の詳細はパンフレット (無料配布中)をご覧ください。 パンフレットのご請求は資料請求券に郵便番号、ご住所、お名前をボールペンでご記入の上、官製ハガキの左下端に添付して下記宛お申し込みください。請求券はコピーでもOKです。 でもOKです。



企画・運営:株式会社 遊演体 〒228 神奈川県相模原市相模大野6-9-20

クレハブカ402 遊演体N93係



読者の NAPはどんなかな

のビザンティラです。いまは放浪 みなさん、こんにちは。私が主役 の旅をつづけてますけど、血筋は ビザンティラ(以下ビ) 漂ってますでしょ? ですのよ。ほら、行間から気品が なかなかのセンをいってるみたい

ズいってないで、早速なぜなにコ ビ ほらほら、いつまでもグズグ ないのに……。 カイチス(以下力) メブをもら い損ねたカイチスです。私、悪く

ラムをはじめましょ。はじめはワ

ルドMAPからよ。

ブのお世話ができたのに。 た……。そしたら、いまごろ、メ 真っ直ぐ西に歩けば、荘園に着け 大きくない。……もしかして、私 意外と小さい。あれだけさまよっ カラっわー、私たちの世界って でも、あなた方向音痴だから。 た森も、こうしてみるとそれほど あらあら、カイチスったら

> かられている 銀炎狼の村 首都カナン 岸辺馬の村

ベルト山地 天っと女の洞

に会いたくて…… ゆらぎの森のシエラ

でもない、こーでもないといって 日あれこれ頭を悩ませていたので いたわけです。 い浮かべながら、編集部一同あー ては影も形もないログアウトを思 沢で楽しい悩みであり、当時とし に原稿を書いてもらおうかと、毎 進めていたころ、どんな作家の方 した。といっても、これは何とも贅 ログアウト第1号の発刊準備を

のは失礼ながらはじめてのことで 先行していたためか、作品を読む の社長の奥様〟というイメージが で広く知られる、『ガイナックス とおり菅浩江さん。パソコン業界 ラ』といいます。著者はお察しの の本。書名を『ゆらぎの森のシエ そんなときに出会ったのが一冊

ンティラ誕生のキッカケとなりま 手紙を出すにいたったのが、ビザ 書いていただけますか?」という エラのような作品をログアウトで だシエラのイメージが強烈で、「シ 菅ワールド。でも、はじめて読ん と読みつなぎ、頭の中はすっかり 『〈柊の僧兵〉記』、『鷺娘』、『センチ ンになってしまったのです。以来 メンタルセンシティブシリーズ』 で、一読するなり、すっかりファ

ラ』の連載が決まったといっても ラのような作品。というフレーズ 作ということで特別の思い入れも いいでしょう。 たとか。これが縁で、『ビザンティ を菅さんがいたく気に入ってくれ あったのでしょうか、この "シエ あとで聞いた話によると、処女

さて、打ち合わせのためにはじ

めてお会いした菅さんは、開口一 らえたみたいです。 とお答えして、やっと納得しても て作品をお願いしたんですから」 の暗さにドップリつかってみたく んです、いいんです、暗くて。そ す。それに気押されまいと「いい と、必要以上に脅しをかけてきま 私の書く世界は暗~いですよお」 ですね、シエラみたいな作品で。 番「いいんですね、本当にいいん

今回さえ乗り切ってしまえば、あ 向かってください。著者近況にも 加速度的にストーリーが進行して とは大団円に向かってまっしぐら。 書いてあるように、ネタバラシの 浩江の本領発揮! 暗さ (重さ) 分暗いって? ははは)、今回は菅 いものの (えっ? すでにして十 はそれなりに動きもあって明かる いくので、もうちょっとの辛抱だ で、いまから覚悟して小説に立ち 大爆発ってな内容になってますん そんなわけで、前号までの展開

西海岸生まれなのだ ビザンティラは

彩ってくれる、美しきイラスト。 スコに移り住んでいらっしゃった 女はご結婚のため、サンフランシ あとで詳しく紹介しますけど、彼 れたのが斉藤友子さん。ところが、 ストレーターとして名前があげら あたって、菅さんおすすめのイラ ものなのです。連載をはじめるに 岸、サンフランシスコで生まれた じつはこれ、遠くアメリカの西海 んですね。 華麗なるビザンティラの世界を

ファックス、そしてエアメールに アウトじゃない。国際電話に国際 でも、そんなことでメゲるログ



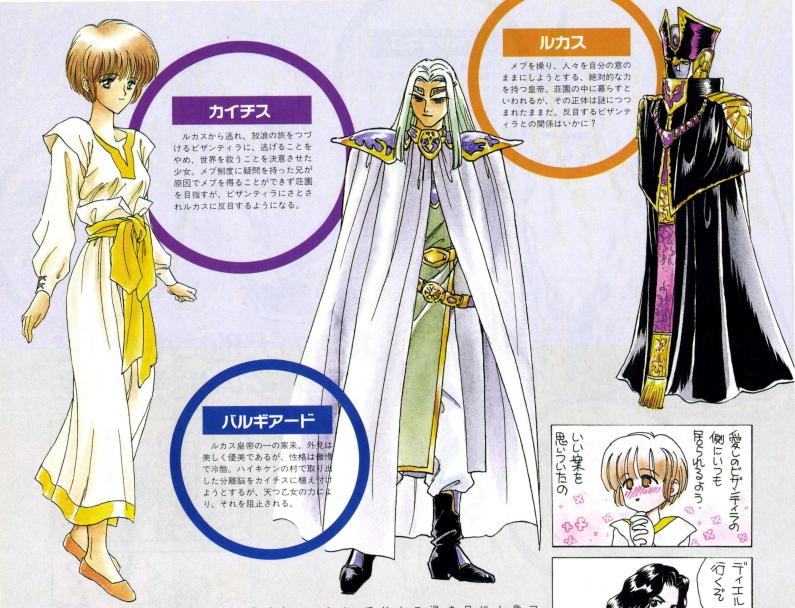












カイチスが暮らすているでしょ?

季節のない大地

さんが一時帰国することになり、目のイラスト締切のころに、斉藤になったのです。幸運にも第1回

ストを含む数々のカラーイラスト滑り出しは順調。今回の表紙イラ

いるのです。
いるのです。
いるのです。
は、常にこうした設定が渦巻いては、常にこうした設定が渦巻いては、常にこうした設定が渦巻いているのです。

そこに住む住民たちが、自分たちの惑星以外の存在を意識していちの惑星以外の存在を意識していれた名称は出てきません。ただし、空を彩るふたつの月は、それぞれマルクリスとメブマリドと呼ばれてきました。メブ制度に代表されてきました。メブ制度に代表される、生体改造的な技術は進んでいるようですが、それもひとつの儀

れているようです。とでは儀式に利用されるのみで、とでは儀式に利用されるのみで、とでは儀式に利用されるのみで、との本質には触れられぬよう隠されているようです。

急便)を駆使しての、原稿&イラス

フェデラルエクスプレス(国際宅

ト受渡し作戦がスタートすること

生に覆われています。 土に覆われています。 土に覆われています。 土に覆われています。 土に覆われています。 土に覆われています。 土に覆われています。



思いますが、湿原には縦横無尽に ば、イメージがつかみやすいかと れた閉鎖空間として描かれます。 る大地は、北を湿原、西は山脈、東 ベルド山脈の麓で、 チスが目指した荘園は、西のイズ が点在しています。はじめにカイ 川が流れ、肥沃地には小動物の村 5ページに掲載したマップを見れ は奥深い森、そして南を海に囲ま しています。 らは砦で仕切られるかたちで存在 ビザンティラとカイチスが旅す 大地の運行に話を戻すと、 一般の村々か 惑星



陸鯉と書く。 目にするのも珍し いずんぐりした生き物。ムナビレ とオビレを使って跳躍し、 のムナビレで木にはりつくことも できる。これを射止めるのは陽炎 を縛るより難しいとされている

大地に生息する

観念しな

かいは・・・ はいこの

> おりかいの 「よが何か

ようち

がいるないとかなっかないとうないとうないとうないとうないとうない

背鬼犬と書く。背がコブのよう になった茶色の犬。顔の大半を柔 らかい毛で覆われた姿はヌイグル ミのようにかわいらしいが、本性 は凶暴。背中から鬼のような人面 があらわれ、敵を威嚇する

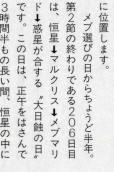
> 日食や月食も合のひとつ)を迎え り合うこと。地球上で観測される 星上からみた場合、ふたつの月は 周期とも一致します。 惑星を周回するマルクリスの公転 マリドの公転周期であり、さらに 分割する103日が、長楕円軌道 されています。そして、それを4 自体の公転周期は412日と設定 103日ごとに合(星と星が重な 節に区切っています るわけです。季節のない大地では、 を描きマルクリスを周回するメブ で書くと複雑……)。 この月の運行をもとに、一年を4 (うう、言葉 つまり、惑

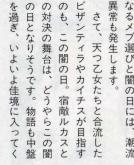
〈闇の日〉へ メブ選びの日から

星→メブマリド→マルクリスの順 スが、村を捨て荘園を目指して旅 る資格を与えられなかったカイチ 日からはじまりました。メブを得 す。ビザンティラの連載も、この ドとマルクリスが沖天にさしかか 行なわれます。真夜中にメブマリ 番で、4つの星が合になった日に なってくるメブ選びは、 だった日です。 物語の中で重要なポイントと 大地が満月の光に満ちる日で 恒星→惑

> ある309日目には、反対に上側 第1節の終わりである103日目 ながら満ち欠けを繰り返します。 対して上下するような軌道を描き マリドは見かけ上、マルクリスに 軌道が歪んでいることから、メブ きます。マルクリスが惑星を巡る 左から欠け、そして左から満ちて 下側に位置し、第3節の終わりで には、メブマリドはマルクリスの 月の満ち欠けは地球とは逆に

異常も発生します。 を遮る、大いなる闇が訪れます。 3時間半もの長い間、恒星の中に です。この日は、正午をはさんで 第2節の終わりである206日目 なるメブ選びと闇の日には、潮流 一般には、 ふたつの月がすっぽりと重なり光 ド→惑星が合する。大日蝕の日気 ものです。また、4つの星が合と 恒星→マルクリス→メブマリ 〈闇の日〉と呼ばれる







なさい。 お待ち

さすがは

バルギアル

要チェックですより

マルクリスとメブマリドの運

なぜなに コラム3

が巡っているのよね。 私にまとわりつく誰かさんみたい なメブマリドが巡っているの。 きなマルクリスのまわりを、小さ カメブマリドとマルクリス。大 ビ私たちの大地にはふたつの月 金魚のフンみたいなとこは、

同じ月なのにこれだけ違っている 主成分が鉄だからなんですって。 ブマリドは赤い色をしています。 マルクリスは黄金に輝き、メ あっ、ひどい。私のこと。

カイチス。

のは、宇宙を漂っていた遊星をマ

ちの大地を巡る軌道が歪んでいる ビーそれはね、マルクリスが私た てみえるのはなぜ? カ メブマリドの軌道が、上下し からなんて噂もあるのよ。 ルクリスがとらえて、衛星にした からなの。ついでにいえば、長楕

マルクリス

知ってるのね。すごい。 ビいったでしょ、血筋はいいん **カ** ビザンティラって、なんでも 期は103日。37日目に最遠とな 円軌道を描くメブマリドの公転周

カ くちゃね。オーホホホホー だって。麗しの主人公は聡明でな うっ、お嬢様みたい……。

> ださい。 ザンティラの連載におつきあいく るまで、もうしばしの間、暁のビ なのでしょうか? それを見極め とに訪れる、光に満ち溢れた世界 でしょうか? それとも、闇のあ を待っているのは大いなる闇なの るわけですが、ビザンティラたち

恐るべきメブの秘密 分離脳に秘められた

開の地におもむく前にサナダムシ 手っとり早い方法は、その環境に の卵を飲み、体内に寄生させるこ ます。また、とある冒険家は、未 から身体を守ったりしてくれてい し、消化を助けたり、 の体内にはさまざまな細菌が生息 ぶことかもしれません。現に人間 より適応した生物と共生関係を結 とある環境に適応するのに一番 より有害な細菌に侵される 外敵の侵入

メブマリド

らず知らずのうちに退化させてし

人間は、文明を進めることで知

関係を作り上げることによって、

なものとします。この密接な共生 持つメブとの結び付きをより強固

ができるわけです。

能などを、ふたたび手にすること まった、自然を生き抜くための本

ひとつの形が、メブ制度なのかも して、それを積極的につき進めた 係のひとつといえるでしょう。そ こまれた人間たちは、もとの脳を しれません。 ことを防ぐといいます。 これらは、人間と生物の共生関 結果として体内に分離脳を埋め

生する人間までをも支配しようと ロールし、それによってメブと共 し、ルカスがメブの考えをコント しい制度といえるでしょう。ただ 目論む世界は、 それはそれで、なんとも素晴ら やはり問題が多い

日本長編部門を受賞しました。こ 権威ある賞とされています。 選出する日本SF大賞とともに、 る投票で選ばれるもので、プロが れは、大会に参加したファンによ にて、菅さんの作品が、星雲賞の ……じゃなかった、日本SF大会 毎年夏に開かれるおたくの祭典

ドにふれた人も、ぜひ読んでみて ビザンティラではじめて菅ワール 螺旋構造を描く世界を舞台に、美 少年』という作品。地上と地下に 潮社から発売された『メルサスの しくもはかない物語が語られます 受賞したのは、昨年の暮れに新

> こともあり、表彰式はファン代表 さんという方だったんですね。 というのが、どこかできいた武田 議という団体。で、その議長さん が日本SFファングループ連合会 の手によって行なわれます。それ SFファンが選ぶ星雲賞という

ルディコスの三使徒」。こちらも 発売されました。タイトルは「オ 手と、ひそやかな笑いの中で。 りなく行なわれました。暖かい拍 ら奥様への賞状授与は、とどこお 9月末に角川スニーカー文庫より さて、星雲賞受賞後の第一作が 日本SF史上初! 旦那さんか

★星雲賞受賞のヒトコマ。





うたかたの楽園

■ESPのナツノと亜 美が大活躍するセン チメンタル第2弾。



チメンタル・ センシティヴの第1 弾。角川書店より。



ソノラマ文庫の書 き下ろし長編第2弾 表紙イラストもいい。



■今年度の星雲賞日 本長編部門を受賞し た記念すべき作品。



オカルトチックなー

面を持つSF作品

オルディコスの

体がバレつつある斉藤友子さん スエクストラの連載で、その正 前号からはじまったプロテウ

日本アニメとマンガの熱狂的信 むことになったのです。 あるサンフランシスコに移り住 婚することになり、彼の会社が 者であるトーレン・スミスと結 生まれも育ちも正真正銘の日本 ラストレーター。といっても、 人。縁あってカナダ人であり、 女はサンフランシスコ在住のイ はじめにも書いたように、彼



→日本での結婚披露パーティーのよう レンとは親子程に身長が違う。

な体験といえそうです。

頭から 彼せのことが

そうたわっ

離れない

専門店などで輸入して売られて ガの一部。日本でも、コミック スが英訳して出版しているマン テウスが英訳する日本のマンガ ンの会社である、スタジオプロ 度読むってのも、なかなか貴重 いるので、興味があるならのぞ を書き込んでいるわけです。 で一度読んだマンガを英語で再 いてみるのもいいかも。日本語 下の写真は、実際にプロテウ 毎日セッセと英語のセリフ

ビ私たちが登場するこの小説は

カ ハードOFってなんのことな ハードSFか?

もとSDFっていうのは、空想の世 界のお話をまとめたものでしょ。 トSIFなんてないわよ。もと ソフ……

なっでもね、そこに描かれる世界が科 も惑星の運行周期を図 でもね、そこに描かれる世界が科 も惑星の運行周期を図 に④ ビザンティラはハード SF 世界かどうかってのを問題にする カ 結局のところ、ビザンティラ のが、ハードSIFなの。 学的に説明のつく、実現性のある

するためだけに、A4の紙に3枚 思うわ。そもそも月の運行を説明 ビ そうね、そういってもいいと はハードのF?

> なんて、私たちの生みの親の菅浩 江くらいなもんでしょ。ほんと、 論理武装が好きなんだから。 も惑星の運行周期を図解する作者

ビ こらこら、そんなこというと **カ** たんに、ヒマだっただけかも しれないけど……。

不幸な目に合わされちゃうぞ! あっ、そうか。

といわざるを得ません。

などの文字を書く仕事。トーレ

これはアメコミのセリフや擬音

人には耳慣れない言葉ですが、

彼女の本業はレタラー。日本



うか? それとも、すべては時期

カスを倒すことができるのでしょ

を自在に動かしていくだけ!

出そろいつつある。あとはそれら クターもアイテムも小説の舞台に

吹き込まれた考えを自分の考えだ

する前に、メブ(ルカス)によって

人間が自分で考えることを放棄

でしょうか

ーリーはどんな展開を見せるの

作者の菅さんによれば、キャラ

と見誤る前に、ビザンティラはル

か? ハイキケンたちがカイチス を逸してしまっているのでしょう

したけど、これからは最後まで一

語の背景を説明するのに苦労しま いう状況だとか。「これまでは物

ビザンティラと に襲いかかってきたように。

感のある、天つ乙女たちの正体、 はいきません。まだまだ未知数の スの心のゆらぎも、忘れるわけに 同士でありながら、ビザンティラ くかということ。さらに、 してどうやってルカスを倒してい スがどこでふたたび巡り合い、そ なるのは、ビザンティラとカイチ にほのかな恋愛感情を抱くカイチ んといっても読者として一番気に 説明してきました。けれども、な 舞台となる大地の世界観を簡単に 書かれるようになった経緯から、 女性

ということで、ビザンティラが

の日を目指して、ボクたちにでき たように、雌雄を決する運命の闇

作者に負けない意気込みで、 います。読者であるボクたちも、 らしい作品を書きつづけてくれて リー配分に苦労しながらも、素晴 がはじめてという菅さん。ストー つづけていきましょう。 かりで、連載形式での小説はこれ これまでは書き下ろしの作品ば

読み

カイチスの運命は

的に早まっていきそうです。 言葉どおり、ストーリーは加速度 気になだれ込みますよぉ」という

そんな中、前にもちらっと書い

そして能力とともに、これからス

ればいいのでしょう。 ることは、ひたすら物語を読んで だ、空想の世界に心を踊らせてい が待ち受けているのか、いまはた いくことだけ。この先どんな結末

お破様に

相談してみようと

ビザンティラ…

どうしちょったの 知だら 女同志ならに

メージ画面。小説のイメージをそ のまま生かすため、斉藤さんのイ ラストを取りこんでみた。

ップビューのマップが表示さ 小説に多少のアレンジを加え ベントなどをおこす予定だ。





の状況をお知らせします。まず対 クトが動き出したのです。 発売を目指して、ビザンティラの に叶おうとしています。来年春の M音源に対応し、ゲーム中にBG シリーズと、その互換マシン。F 応機種はNECのPC-9801 いませんが、とりあえず現段階で ムシステムの細部などは決まって コンピューターゲーム化プロジェ れるとのことで、いやが上にも期 曲からアレンジまでを担当してく 作者の菅さんご本人がBGMの作 Mが流れます。予定では、なんと まだまだ企画段階であり、ゲー

ニメ化でした。それが、いままさ クRPG化、そしてあわよくばア のゲーム化であり、テーブルトー の流れ。つまり、オリジナル小説 したいと思っていたのが、その逆 グアウトだけれど、いずれは実現 ズを、さまざまに手掛けている口 コンピューターゲームのノベライ

発刊当初からメディアミックスを目論んでき

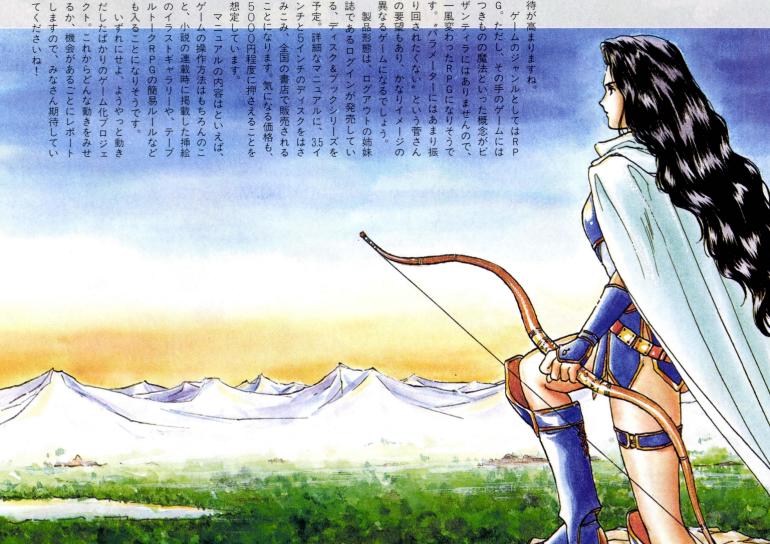
たログアウトが、オリジナル小説のコンピュ ーターゲーム化に挑戦する。第一弾はもちろ

ん『暁のビザンティラ』。来春発売を目指す。

ウィザードリィをはじめとする、

異なるゲームになるでしょう。 り回されたくない。という菅さん ザンティラにはありませんので、 の要望もあり、かなりイメージの つきものの魔法といった概念がビ 一風変わったRPGになりそうで だし、その手のゲームには -ムのジャンルとしてはRP パラメーターにはあまり振

予定。 5000円程度に押さえることを ことになります。気になる価格も、 みこみ、全国の書店で販売される ンチと5インチのディスクをはさ 詳細なマニュアルに、3.5イ イスク&ブックシリーズを





夢枕獏のファンタスティックワールド

★左から、美術監督の小林七郎氏、原作の夢枕獏氏、 寅出の岡尾貴洋氏、プロデューサーの島尾克実氏。

スタッフで制作されている。 監督は西久保瑞穂氏という、アニ 村田俊治氏、 メファンなら、思わず落涙ものの オストロの城』をてがけた小林七 ンバの冒険』『ルパン三世・カリ ビデオのほうは、美術監督に『ガ 脚本を関島真頼氏 キャラデザインを

POLH-2025 POVH-2025

11月26日発売

気分になるのもいいと思うぞ。 クリスマスの夜、フワリとした ■ねこひきのオルオラネ

ポリドール株式会社 ともに4800円 [税込]

> らそうと思ったのだ。 むけた。お酒でも飲んでうさを晴 も昨日までのはなしだ。一今日は、 でチェロを弾いている。が、それ 間をすごそうとにぎわっていた。 インをなめている。 議な猫、イルイネドと出会う。イ に歩くがぼくがは、酒場へと足を 勤めていた楽団がつぶれ、仕事の あてもなくブラブラとしている。 い思いの人と、それぞれ大切な時 クリスマスも近づいた街は、思 イネドは瓶の底に残っているワ 主人公である。ぼく、は一楽団 その途中の路地で酒を飲む不思 将来の希望もなく、孤独のまま

きのオルオラネ』というわけ。

ジーだったのだ。 は処女出版された本は、 レンス伝奇小説で有名だが、じ

それが、『猫弾 ファ 闇狩り師」などのハイド

夢枕獏先生は、

でるオルオラネの姿だった。 なでながら、「明日の晩、酒場へ を自由自在にあやつり、音楽を奏 んだ。そこで出会ったものは、猫 微笑んだ。 おいでなされ」といたずらっぽく 翌日、ぼく、は、酒場へ足を運 というのが『ねこひきのオル

だけだ。老人は意味ありげに猫を オルオラネ老人があらわれた。 た。理由をたずねても笑っている 「ほっほっほっ。そのほうが、 "ぼく"が驚いていると、路地に 老人は謎のような言葉を口にし 「猫がお酒を飲んで……」

タジー作品として、作家、夢枕獏

日本で初のクリスマス・フ ノルアニメ登場! **学枕獏原作のハー**

先生の「ねこひきのオルオラネ」

てほしいよー だろう? ビデオをみれば、謎は 猫を弾くって、どういうことなん だい? 見たいと思わないか? オラネ』のオープニングだ。どう いっぺんに解ける。 発売を楽しみにして、 待ってい



たのが、

集英社コバルトセレク

ネシリーズの作品を1冊にまとめ

がいっぱいつまっているぞ。 光のなか』など名作ファンタジー だ。ほかにも、『そして夢雪蝶は ションの『猫弾きのオルオラネ』

猫を弾く。音がはじける。自由だ!



★POCH-2035/2800円 [税込] ポリドール株式会社より発売中

収録されていて、全部で9曲入り。 グも、ばっちりフルバージョンで 部聞くことのできないテーマソン ことになったのだ。アニメでは全 ラック盤もドドーンと発売という が音楽だ。そこで、 は音楽を聞いて感動しよう。 アニメを見て感動したら、 メで、作品の重要な要素となるの 「ねこひきのオルオラネ』のアニ サウンドト





★集英社刊/950円 [税込]



登ってましたね ふられるとよく山へ

夢枕 22~25歳ぐらいまでは、よ れてたのでしょうか? かれていたころ、山へはよくいか ように感じました。この作品を書 なりモチーフとして使われている 品なわけですが、山での生活がか 先生の小説で初めて本になった作 ねこひきのオルオラネは夢枕

屋って、若いころは高いところに きちゃうんですよ (笑)。 に高原とかの低いところへ降りて いるんですけど、歳をとるととも ころでゴロゴロとしてました。山 ルバイトをしたり、そういったと く山にいってました。山小屋でア

が苦痛なんです。なにか自分でイ られてしまうとじっとしているの よく山にいきましたね(笑)。ふ ことですが、女の子にふられると 夢枕 単に山が好きだったという っかけは、なんだったのですか? 山にいかれるようになったき

> まわりもそうでした。 かったですね。高校の友人とか ぶせないんですよ。そういったと ベントをつくらないと、時間がつ きには山にいくというケースが多

> > らでてきたのですか?

のですが、あれは実感したことか になるというセリフが印象に残る お山にいるとなにもかもが真っ白

ている女にふられたとき、愛して たは仕事をするというのがありま いた度合に応じて旅に出るか、ま -夢枕先生の文章で、男は愛し

ね。飲むとかならず「いまにみて が同じ話しかしない奴っているし でクダまくしかないんでしょうね ントを用意できない人は、酒飲ん てしまうんじゃないのかな。イベ くかで、その人のなにかがわかっ 分に対してどのように仕掛けてい 事であったり、そのイベントを、自 にかイベントをしてしのいでいく 夢枕 そうですね。ふられるとな (笑)。それは悲しいですね。 いろオレだって」としか言わない (笑)。10年経とうが、20年経とう んですよ。それが旅であったり、仕

ドルフィンという物質が分泌され たことがあります。 ンナーズ・ハイのような経験をし ぼくは山を登っていて、何度かラ スがかかると、血液中にβ-エン 激を受けて、内蔵や筋肉にストレ 受けていると、頭の中が真っ白に て、これが脳に入って麻薬的な働 とによって、 ンナーズ・ハイといって、走るこ なってくるんですよ。たとえば、ラ が、単調な刺激を連続的に続けて 夢枕。なにごとでもそうなんです きをするというのもそうですね かかとから一定の刺

態になって、真っ白になる瞬間と 皮をするんです。もうだめだ、ま 思議なことに、2~3度ぐらい脱 うだめだという限界にくると、不 りくたびれるんです。けれど、も 夢枕 山に登るというのは、かな ち、ランナーズ・ハイのような状 だいけるというぐあいに。そのう いうのがきます。

-オルオラネのビデオのなかで、

とや、同じ木の枝を同じ手でつか 石を同じ足で踏んでいるというこ す。あぁ、この前もここで同じこ んでいるということがわかるんで すと、歩いていて、以前と同じ ているということですか? ―それは無意識に山を登り続け 何度もきたことのある山で

> 1951年 | 月 | 日、神奈川県小田原市に生まれる。1977年SF雑誌『奇 想天外』に転載された『カエルの死』により作家デビュー。1984年 三部作でベストセラー作家に。 最近はマルチに活動中

うか、なにか真っ白になる瞬間が リフにつながるわけです。 はなにもかもが真っ白にというセ やってきますね。それが、お山で それでも考えていると、瞑想とい 同じ事しか考えられなくなって、 考えることが無くなってしまって、 なことを考えるんです。そのうち て読みつくしてしまって、いろん 買ってきたマンガ本なんかもすべ なきゃならないんですけど、街で てテントの中にずっとじっとして 夢枕 秋に山にいると、雨が多く という感覚ですね。

影絵をやってたから生まれた ファンタスティックな作品は

がありましたか? が、それはオルオラネ誕生に影響 劇団をされていたということです -山にいかれてたころ、影絵の

の下からわきあがってきます。 山に自分の記憶が残っている

に感じられる?

-それで、なにもかもが真っ白

か?

大学のときに研究室の助手の方に 夢枕、それはあると思いますね。

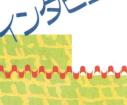
> です。ボランティアで人を集めて 幼稚園で影絵を見せるということ かわいがられていて、その方が たなぁ。またやろうかな? 夢枕 7~8年前は、よくやって れていたとか? コンベンションなどでかなりやら 劇団をつくってました。 まって、それでやろうと思ったん ら、影絵の魅力にとりつかれてし てくれといわれて、何度かやった をしてたんですよ。それを手伝 作品もあるんですよ。 -一時期は、SF大会や地方の

脚本もたくさん書いたし。ミュー ジカルとなってちゃんと興行した -それは、なんという作品です 当時は

夢枕 らわれたときに、初めて自分の力 それが、親しい女の子が悪魔にさ た。ストーリーは、ホントは強い 作品で、長野の松本で公演しまし をなくしちゃってボロボロなの。 いる龍がいるんですよ。もう自信 んだけど、自分はダメだと思って 『龍のぼちぼっち』という







作家 夢枕

獏氏







夢枕獏先生に

でおなじみの手塚一郎先生がインタビュー

本誌『悪魔の血 血の悪夢』

『ねこひきのオルオラネ』の原作者である

とをしたなということが、無意識

夢枕先生のファンで、この日が初対面だっ 旧知のごとく話題はつきなかった。 インタビュアー 手塚一郎氏 てみたいと思います。

ますからね (笑)。 よかったんですよ。いまでも歌え ようになる場面の歌も、なかなか 力に目覚めたときに、空を飛べる を発揮するというお話で、自分の

好きなことを書いている からバランスはとれてます

といった甘いものと、辛子明太子 といったからいものと、どちらも ません(笑)。ただどちらも好き 夢枕 当人の中では違和感はあり で、そうですね、アイスクリーム ―いまの夢枕先生というと、ハー

どうバランスをとられているので うファンタスティックな世界と、 ドバイオレンスや格闘ものという すか? オラネの世界や、影絵の世界とい イメージが大きいのですが、オル

-そこが、〝夢枕獏〟 というブ

のではないかと思います。 と同じ感覚で、わかってもらえる 同時に好きでいられるといったの からいもの、甘いものに偏っ

ていてはいけないと(笑)。 品が違うところだ」と自分でもわ 通のバイオレンス作品とオレの作 そういったところは、「ここは普 とに共通する部分はありますよ レンスものと。なにかポイントご ルオラネといったものと、バイオ する場所はあると思うんです。 ん(笑)。でも、なんとなく共通 偏った食事はよくありませ

ランドを確立したゆえんですね。 んじゃないですか? きなことを書いていくのがいちば れがよかったんだと思います。好 いうことで書いてきましたが、そ あれも好き、これも好きと

のですが、そういったなかでかな の他もろもろの条件が課せられる います。ビジネスとして、予算やそ 分で見られてどうでしたか? いうことで、オルオラネは、ご自 -好きな作品が映像化されたと 非常によくできていると思

> りいいものができたと思います。 -今回は、標題作のみの映像化

ということで (笑)。 夢枕 これからのお楽しみがある この作品の映像化されたものも見 話とかもいいですよね。ぼくは、 -『そして夢雪蝶は光のなか』の

発想は、どこからわいてきたので ドの登場シーンが可愛いかったで 夢枕長いと予算が(笑)。 しょうか? すね。ところで、猫を弾くという -猫の登場シーンで、イルイネ

夢枕 山にいるころ、友人が猫 さわる場所によって鳴き方が違う ぱらうんです。そのうちに、猫は、 を塗るといやがってなめる。それ の酔っぱらわせかたを知ってるか んです (笑)。 んじゃねぇかということになった た猫を抱えて弾くと音楽ができる ということになって、酔っぱらっ を繰り返しているうちに、猫が酔っ 書いてありますが、猫の鼻にお酒 い? という話になって、本にも

▶大好きなプロレスの話に熱くなる

されてましたが。 えて猫の鳴き声による音楽を表現 小説では、活字の並べ方を変

をしちゃったぞ! 手塚先生は古くからの

ショックを受けました。 エルの死を表現した作品として、 なところでは宮沢賢治とか。 夢枕 詩の世界では、そういうこ ルの死』は文字を並べただけでカ とをやっていた人がいます。有名 -夢枕先生のデビュー作、『カエ

だったからでしょう。写植も自分 立させて作品にした初めてのもの 夢枕 詩の一部であったものを独 たと思いますよ(笑)。 の作業として前代未聞のことだっ で切って貼りました。これは作家

関節技は死ぬほど痛い

ました。 か。あれは非常に斬新な感じがし ますよね。格闘シーンの表現と も、そういった部分は生かされて -その後の格闘技ものの小説に

それで、コツンと鳴ったらやめる ツンと鳴る点があるんですよ。そ とかで、ここまでが限界と思って 場所は人によって違うので、角度 こを越えてねじると折れてしまう れると、ミチミチって鳴って、コ ですが、腕なんかでも技をかけら んで (笑)、いろいろとわかるん キレス健固めをかけられた作家な 鬼と呼ばれるプロレス選手)にア 夢枕 ぼくは藤原喜明 (関節技の ということなんです。 んですよね(笑)。コツンと鳴る いると折れてしまうことがある。 一怖いですね。

られたことのある人間でないと聞 夢枕 そういった音は、技をかけ けないですね。 痛いですか?

> り目に痛みました(笑)。 みが持続するのがイヤですね。ぼ た瞬間の痛さではない。でも、関 それは、折られたり切られたりし や切られたあとの痛みなんです。 のは一瞬で、そのときは痛い。で きや、切られたときの痛みという なんだと思います。腕が折れたと というのは、どんな痛みでも一瞬 夢枕 痛いですよぉ。ほかの痛み 節技をかけられると、ずーっと痛 もあとで痛いのは、折られたあと の場合、3年ぐらい季節の変わ

なにか一言お願いします。 かける技ですから(笑)。 ズ・ハイにならない(笑)。 夢枕 ずーっと痛がらせるために -持続する刺激でも、ランナー -最後に、ログアウトの読者に

ています。 買ってねと(笑)。 夢枕 みなさん、ワタクシの本を いました。今後の作品にも期待し -本日はどうもありがとうござ

●9月11日京王プラザホテルにて。 (文責・編集部)



➡激励の握手をされて感激の手塚先生

める人もいるかもしれない。いや、 り得るからだ。 素もかなり入ってくるタイプにな 第一号からゲーム制作の過程をお届けしてきたG2か った。今回は現時点での進行状況などを、 おっと、こう言うと、顔をしか けだ。

原作者の安田均

けではありません。だいたい6~ じゃないのか、ということ? んだから、もうでき上がってるん じゃないかって? *決定!*な 7割くらいかな。これからが難所 えつ、タイトルに、偽りあり いえ、いえ、まだ完成というわ

遊ぶ人はきっとおもしろくないは り詳しく書くわけにはいかない。 ずだからね。 そのシナリオをばらしちゃったら、 だって、ゲームが完成する前から、 それにここまでの内容も、あま

に、アドベンチャーゲーム的な要 ターゲームでなら、RPGと同時 ぽくなる予定だから。コンピュー が、前作以上にストーリーゲームつ こんどの『ゴーストハンター2』 まあ、こんなことをいうのも ながら?)作っている。 勢がいいけれど、いまG2のシナ リオ部分を楽しみながら(苦しみ と、まあ、タイトルはやけに威

まないぜ!)。

ている。G2は、このRPG風の ど、片方がパズルみたいにそれを ストーリーゲームにしたいってわ "同時体験する" ような形になっ に対して、RPGはストーリーを *解く* ような形になっているの チャーゲームも根本のところは同 れるだろう? RPGもアドベン じ。ストーリーゲームなんだけれ つまり、ほら、ときどき言わ

ていたら、自然に事件が進んでい んまりむちゃくちゃやってちゃ進 ところに行って、好きな行為をとっ ない。プレーヤーは自分の好きな ベンチャーゲームにするつもりは のアドベンチャーゲームだった。 たりするのが、だいたいこれまで のはてには無反応だったり、達人 "あれはだめです" だの、あげく まうと、"それはできません"だの だからね。途中で行き詰まってし くといった構成になっている(あ に教えを乞わないと、解けなかっ その気持ちはよくわかる。ボクも ムというやつには泣かされたくち "いわゆる" アドベンチャーゲー G2は、そういう意味でのアド

もらおうという考えだ。 るまでのスリルでもぞくぞくして らえると思うけれど、そこにいた 事なポイントでは充分に感じても スターによる恐怖というのは、大 そんなに多くない。化け物、モン れないが、今回は戦闘そのものは ということで、お気づきかもし

るようなものと思ってもらったら ド・アドベンチャーへと展開す アドベンチャーから、シティ・ア な城という、ひとつの大きなダン ドベンチャーやオープンフィール 村が舞台になってくるせいもある。 では、ヨーロッパの主要な都市や に対して、『ゴーストハンター2』 ジョンのなかでの出来事だったの これは『ラプラスの魔』が巨大 RPGでいうなら、ダンジョン・

れるから、必死に脱出しなけりゃ 調べてまわることや場所はだいた いっぱいあるさ。 ならないこともある。やることは していると、敵の妨害に巻きこま い勘でわかるし、それにぼやぼや もとめて、調査や探索をすること ラクターたちは、まず手がかりを そう、プレーヤーのあやつるキャ 一こいつが大事なんだ。なに、

それに、ダンジョンだって決し

よシナ リオ作成の段階に入 てもらおう。

の目的だけど、逆にいけにえにさ ばくのが、ある意味ではPCたち なり登場する。そうした陰謀をあ はオカルティックな秘密結社がか どんなものになるかお楽しみに。 は古今東西まだないはずだから、 列車のなかはそれなりに冒険が起 ラフィック表示は検討中だけど、 手段はとれる。このうち、まだグ 少なくとも、自動車と列車という いヨーロッパ大陸を移動する方法。 向として取り入れているのは、広 の人から悲鳴が聞こえてきた)。 わるから、気分転換になっておも 宮という形をとらないだけで、下 をうまく使ってほしい。 れてしまわないよう、草壁健一郎 とは最後にちょっとだけ。G2で アドベンチャーやRPGというの しろいぞ(おっと、プログラマー こっちの方がそのたびに環境が変 水道、地下墓地、地底湖、迷路の て少なくはない。いわゆる地下迷 こるようにするつもりだ。列車内 ような市街など、いろいろある。 というわけで、ストーリーのこ それと、もうひとつ、新しい趣

> していくつもりだ。 出来上がったゲームにはあれこれ 担当してくれるのは大阪にあるハ み上げる作業に入る。ゲーム化を 実際にコンピューターゲームに組 もなく完成するので、そのあとは おこう。とりあえずシナリオが間 作は進んでいるのだけれど、これ 注文をつけて、納得できるものに にはボクは口をはさめないけど、 ミングバードソフト。プログラム 含めて、予定をちょっとだけ書いて からのログアウトでの記事展開も とまあ、こんな感じでゲーム制

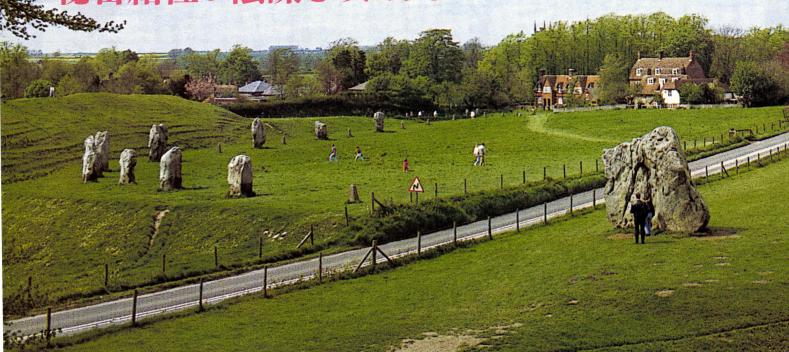
できるわけだ。 けだからね)を、目にすることが で。なにしろゲームをつくるため きるまで(そう、本当にできるま 発売されるまでをフォローすると シナリオ、プログラムとつづくわ の取材のようすからはじまって、 いう。本邦初公開! ゲームがで 集部が逐一取材をして、ゲームが このへんの経過については、編

の小説連載もはじまる予定だ。作 きたころには、ログアウト誌上で プログラム作業が軌道にのって

> 料理してくれたので、G2がどん ときも、ボクのシナリオをうまく あげるようにせっつかれていた。 から、彼からはシナリオをはやく 者は山本弘。前の「ラプラス」の 待していいぞ。 本人も乗り気なだけに、これは期 しみにしている。じつは随分と前 な小説になるか、ボクとしても楽

なっている。 ジでイラストをお願いすることに 小説の挿絵まで、トータルイメー 面に表示されるキャラクターから、 いてもらっている人だ。ゲーム画 このG2の連載でもイラストを描 トを描いてくれるのは弘司さん。 ゲームと小説をとおしてイラス

日も、そんなに先のことのように みくださいという趣向だ。なーに、 それまでの期間は、小説でお楽し ターゲームの発売予定は33年の末。 ことなく進行してます。コンピュー なの前にゴーストハンター2のコ 一年なんて、あっという間。みん は感じないと思うよ ンピューターゲームが姿を見せる と、G2のプロジェクトは滞る



マンが贈るラプラス 12月末発売予定。ヒュー

キャラクターたちが大活躍するこ 然のことながら、小説に登場した 案、山本弘著)を参考に、シナリ 川スニーカー文庫収録。安田均原 はなく、小説版ラプラスの魔(角 スの魔』。こちらの特徴は、同名 登場するPCエンジン版『ラプラ た感もあるのが、ヒューマンから オをアレンジしたということ。当 パソコン版ソフトからの移植で 発売までカウントダウンに入っ

るのオンパレードなのだ。さすが 本英世氏によるナレーション。と る200種類のモンスターや、天 が、さまざまにアニメーションす PCエンジンならではといえるの いものに仕上がっている。そして ことが増えたりと、より遊びやす 類だった精神戦闘の種類が増えた 版に改良が加えられ、従来は1種 また、システム的にもパソコン ーム専用機って感じだね。 、コマンド選択によってできる ゲームの全編、動く、喋

クを選択できたりと、こだわりも や性別はもちろんのこと、誕生日 キャラクターの作成には、名前 職業を決めたり、顔のグラフィッ 能力値(ステータス)の振

草壁健-

科学者、霊能者、ディレッタント 慎重に。探偵、ジャーナリスト、 が就ける職業もかわってくるので り分けによっては、キャラクター の5種類を選べるぞ。

ラプラスの魔

ヒューマン

|12月末発売予定・価格未定

. Cエンジン

ブラスの

中にもさまざまなビジュアルシー

したギャラクター。こうしたグラ

フィックを贅沢に使って、ゲーム

ンが登場するというから、楽しみ

け、ゲームにもすんなりとノメリ ろう。かえって小説版のイメージ するので、なんの不都合もないだ ターが、そのままゲームでも活躍 こむことができそうだ。だれもが がシッカリとできあがっているだ キャラクターメーキング機能は るラブラスといえそうだね。 比較的お手軽に楽しむことができ 説版ラプラスに登場したキャラク 残念ながら廃止。けれども、 にしていよう プログラム容量との関係もあっ パソコン版には付属していた

わたしは

ラン。

て、

SFCで再登場。ふたつの ラストでもお馴染みの弘司だ。 を担当したのは、ログアウトの 子。そしてキャラクターデザイン シナリオを作成したのは、同じグ 魔』。こちらはスーパーファミコ やのまんが開発する『ラプラスの ソフト発売を予定しているのが、 も、彼がゲームのために描き起こ ループSNEに所属する下村家恵 ン版として登場する。 このページに掲載したイラスト 原案はもちろん安田均。新たな ヒューマンに多少遅れ、来春の

ゴーストハンター2の発売を前

ャラクター 4 組む。ウェザ





プラスの魔は、株式会社エム・エー・シーの登録商標です

を、クリアーしておこう。

■予価9800円 [税込]

■来春発売予定

やのまん ■ラプラスの魔 に、まずはふたつのラプラスの魔

まんは弘司の絵が



Copyright © 1992 Sir-tech Software, Inc. All rights reserved. "Wizardry" is a registered trademark of Sir-tech Software, Inc.

前回までのあらすじ

れる。だが、彼らも真の冒険者に目覚 は強力でアスワンたちは苦戦を強いら リーファ、レイランたち5人のパーテ た。アスワン、ドゥガン、バベット、 術師タイロッサムの討伐令が発布され バルプスの呪いの穴〟へ身を隠した魔 め、新たな謎と戦いに挑むのだった。 ィーが迷宮に挑む。しかし、迷宮の力 女王アイラスを裏切り地下迷宮゛ダ

第三章・打倒タイロッサム(承前)

4

一行は〈ギルガメッシュの酒場〉に集

「いよいよ地下五階だな」 アスワンが一同の顔を見回して言うと、

皆は深く頷いた。

である。過去のことは忘れて、当初の目 的――打倒タイロッサムに向かって前進 ともあれ、地下四階の探索は終わったの 口惜しくないと言えば嘘になる。だが、い 枚五千ゴールドを失う破目になったのだ。 くすぶっている。謎の老人に騙され、大 つまでも愚痴っていても仕方ない。 何は むろん皆の心中には、昨日の出来事が

がった。一路。ダバルプスの呪いの穴』 へと向かう。 「行くぞ」 アスワンの声に呼応し、一同は立ち上

するべきだろう。

パーティーは昇降機を使って一気に地 ひんやりと湿った空気

じい光景だった。

が一行を包む。 下五階に降りた。 「用心しろよ」 同に注意を促し、慎重に歩き始めた

> るだろう。しかも、やつらは催眠攻撃も だ。放っておけば、すぐに倍に膨れ上が 現わしたのである。ざっと見渡したとこ とき、パーティーに撤退を余儀なくさせ アスワンだったが、ほんの数メートル歩 せる必要があるのだった。 れば半数以下だが、油断はできない。何 ろ、全部で六体。前回遭遇したとき比べ た半魚人どもの集団が、一行の前に姿を 仕掛けてくる。――なるべく早く全滅さ しろやつらは、仲間を呼ぶ習癖があるの いたところで、 「ちっ。またやつらだ」 ギルモゥア――前に地下五階に降りた と舌打ちをして立ち止まった。

ことはしなかった。前回のギルモゥアと 敵のなかに突っ込んで行くような馬鹿な ラン。切り裂きの剣を抜き放ったアスワ の闘いで袋叩きの目に遭い、懲りている ンに続き、バペットがクロスボウに矢を つがえる。今回はドゥガンも、ひとりで 早速呪文を唱え始めるリーファとレイ

ギルモゥアども。 で、じわじわとパーティーに迫ってくる 目を背けたくなるような嫌らしい足取り

前に出た。 武器を構えたアスワンは、すいと一歩

「行くぞ」

ドゥガンと目配せし合う。と、そのと

ンも思わず身震いしてしまうほどの、凄 れた場所に立っているアスワンとドゥガ い肉体を包む。 てつく風と氷の粒がギルモゥアどもの醜 魔法使いの攻撃魔法『凍結』だ。少し離 魔物の間に、猛烈な吹雪が起こった。凍

″剃刀の嵐』が追い討ちをかけると、残っ 耐え切れず倒れた。さらに、レイランの たちまち四体のギルモゥアが、冷気に

ンだった。

たような声を漏らすドゥガン。 「ありゃりゃ」 バトルアックスをだらりと下げ、

アスワンは肩をすくめ、切り裂きの剣

「『凍結』か。凄い威力だな」を収めた。 ようが、しかしそれは、取りも直さずパー あまりにも呆気ない闘いだったと言え バペットも感嘆の声を発する。

と不敵な笑みを浮かべたドゥガンに

られそうな気がしたのだ。 さえあれば、たいていの魔物はやっつけ 破壊力を発揮した。 この強力な攻撃魔法 のあたりにする。凍結は、想像以上の 「よし。このまま一気に突き進もうぜ」 ドゥガンが腕をぶして言う。初めて目

一瞬アスワンも同様の思いに捉われかけ

と首を横に振った。ドゥガンから視線

使える?」

リーファは答えた。

「三回か……」

頷いたアスワン、さらに、

たギルモゥアもばたばたと倒れた。 一瞬 のである。見事な魔法のコンビネーショ にして、六体の魔物が全滅してしまった

「はあ……」

ティーの力がアップしている証拠でもある。

リーファは満足げに頷いた。

「いや……」

「リーファ。』凍結』の魔法は、あと何回 と問う。

と三回ね」 「最大限四回よ。今一回使ったから、 あ

たら、そこで引き返すべきだな」 でも大丈夫だろう。だが、あと一回使っ 「三回使えるのならば、少しは先に進ん

著者近況



買った、PCエンジ ウィザードリィをプ 高井 レーしようと思って 信 (たかいしん)

ザードリィ関係のものばかり。とほほ。 らだ。その小説というのはすべてウィ 小説を書くのに追われて時間がないか ン・デュオにさわることができない。



日ごろの運動不足がたたっているのだ なかがボロボロになっていた。これも とケンカをして帰ってきたらしく、お ブが家から脱走する。 愛猫のセラフとケラ セラフは他の野良猫 末弥 純(すえみじゅん)

「なんでだよ」 と、ひとり言のように言う。その途端、

ろう。2度と脱走はさせないぞ!

「使い果たした時点で引き返せばいいじゃ ドゥガンが不満げな声を発した。 と口を尖らせる。

るべきなんだ。"幻姿"や"帰還"の魔こないことには、帰る手段はないと考え ないと思うんだ。どこかに階上へ上がる なる公算が強い。いや、ここまで戻って 法を使える者がいれば、話は別だけどな」 なくとも、この階に巣食う魔物どもの力 下手に深入りしてしまったら、 帰れなく 量がわかるまでは、 無理をするべきでは の階のことは全くわからないんだぜ。少 階段があればいいが、もしなければ……。 「ドゥガン、よく聞け。今のところ、こ アスワンは冷静な声で応えた。 一気にまくし立て、 ドゥガンの顔を見

とは決して誉められることではない。自信 この魔の迷宮においては、自信を持つこ

愚かではないのだ。 じ過ちを二度繰り返すほど、アスワンは 心の底まで思い知らされた教訓だった。同 は油断を生み、油断は死に直結する。-「し、しかし……」 -それは、前に地下五階に降りたときに、

で言葉を呑みこんだ。しばらく無言でじっ 反論しかけたドゥガンだったが、途中

「……うん、そうだな。あんたの言う通 ややあって、

を忘れてはいないのだった。 小さく頷いた。 ドゥガンとて、 ギルモゥ アどもの集団にひどい目に遭わされたこと 「では、行くか」 アスワンの顔を見て言い、 ドゥガンは

き出そうとしたアスワンに、リーファが 一同を見回して言い、 奥に向かって歩

ね。魔法が効かない相手だっているから」 「でも、あんまり、凍結、に期待しないで リーファの言うことは正しかった。確

> 法の通じない魔物もいるのだ。 物にも効くという保証はない。 魔法に対 かにギルモゥアには効いたが、 する抵抗力の強い魔物もいれば、 ほかの魔

「そうだな。心に止めておくよ」 とアスワン。

「そんなやつには、おれのバトルアック

自慢のバトルアックスをブンと振り回

すドゥガンに、 ムチャするなよ。またボコボコにされたっ 「あんたが強いのは認めるけど、あまり

て知らないぜ」

間に笑いが起こった。 「それを言うなよ。反省してるんだから」 ドゥガンが頭を掻くと、パーティーの バペットが皮肉っぽい口調で返す。

(このパーティーなら大丈夫だ) アスワンは心密かに思ったのであった。

そんな皆の明るい笑顔を見ながら、

バトルアックスを振り上げたドゥガン

た複雑な通路を進んで行った。 パーティーはぐねぐねと曲がりくねっ

> 閉ざされた空間が目にはいったが、もち たのは、人間ほどの大きさの巨大な毒蛾 身に染みて知っているのだ。 の化け物だった。全部で五匹。 ろん避けて通る。暗闇地域の恐ろしさは、 「モスマンよ」 まず最初にパーティーの行く手を遮っ

早速呪文を詠唱し始めた。 「鱗粉に気をつけろ」 素早く正体を看破したリーファが叫び、

ティーに向かって来た。 者は毒と麻痺に冒されてしまうのだ。 「くそっ。やってやろうじゃないか」 とレイラン。モスマンの鱗粉に触れた モスマンはばさばさと羽ばたいてパー

に続いて、 「よーし」

とアスワンも切り裂きの剣をギラリと抜

と大きな音を立てて落下した。苦しげに 痙攣を繰り返したのち、 ピクリとも動か と思う間もなく、モスマンどもは、どさっ る奇怪な模様に彩られた羽根が凍りつく 間に猛烈な吹雪が巻き起こった。みるみ と。そのとき、いきなりモスマンどもの

えた『凍結』である。 「いや、予定通り今日は引き返そう」 「すげえよなあ」 「どうする?もう少し進むか?」 「死んでるぜ」 と問うが、 吹雪の正体はもちろん、リーファの唱 と喜びの声を上げた。 恐るおそる近寄ったバペットだったが アスワンは答えた。 感嘆の声を漏らしたドゥガン、

を進めて行くパーティー。途中、暗闇に 『明瞭』で現在地を確認しつつ慎重に歩 は今通ってきた通路を戻り始めた。 唱えられるのは、あと二回だけなのだ。 "凍結"の魔法があればこそ。"凍結"を 魔物をまたたく間に屠ってしまえるのも そうなものだが、錯覚してはいけない。 誰も異論を唱える者はなく、パーティー この調子なら、まだ先へ進んでもよさ

を威嚇するように太い腕を高々と上げて 立ちはだかった。全部で四匹、パーティー ティーの前に全身毛むくじゃらの巨人が 昇降機のある場所へと向かう途中、パー

ブレスを吐いてくるわ」 「サスカッチよ。気をつけて。やつらは

カッチのブレスの方が早かった。 始めたが、呪文が発動するよりも、サス とリーファ、言うやいなや呪文を唱え ゴオオオー

い空気が突き刺さる。 パーティー全体に、氷粒を含んだ冷た

るパーティー。 「ひえええ」 あまりの冷たさに、口々に悲鳴を上げ

うに、炎であることが多いが、サスカッ チが吐くのは冷気なのだ。 のことである。ドラゴンに代表されるよ 冷気、 毒ガスなどを吐く魔物特有の攻撃 「くそっ」 ブレスというのは、体内に貯めた炎や

荒れた。リーファの『凍結』が発動した き、サスカッチの間に猛烈な吹雪が吹き 前のサスカッチに踊りかかろうとしたと 怒りの声を発したドゥガンが、一番手

発で勝負がついてしまったのだった。 スカッチ。-「またかよ」 冷気に耐え切れず、ばたばたと倒れるサ 今回もまた、 ″凍結″

に強そうだから、『凍結』が効かないかも「よかった。あいつら、見るからに寒さ ドゥガン、さも残念そうに呟く。

と安堵の息を吐いた。そして、ふと気が 知れないと思ったわ。ふう……」 リーファはホッとしたように言い、深々

がよかったかもね」 えてしまったけど、「炎の嵐」を使った方 「慌てていたから、思わず、凍結、を唱

おいた方がいいしね」 「そうだね。『凍結』はなるべく温存して

レイランが同意を示した。

ろう。 『炎の嵐』は『凍結』より下位の魔ここは 『炎の嵐』を唱えるべきだっただ 力を半減させられている。しかし、『凍結』カッチは冷気に強く、実際、『凍結』は威リーファが危惧したように、確かにサスリーファが危惧したように、確かにサス 威力を発揮するのである。 法だが、サスカッチに対しては同程度の あったというだけのことなのだ。 やはり サスカッチの生命を奪うに充分な威力が の威力は大きく、半減させられてもなお、

りつくことができた。まだ。凍結〟は一回は無事に昇降機の設置されている場所に帰 から残っているだけの話なのである。 ま帰りに一回しか魔物と出遇わなかった 残っているが、それは結果論だ。たまた その後、魔物との遭遇はなく、パーティー

下一階に上がり、迷宮をあとにしたので パーティーは昇降機を使って一気に地

5

唱えてくる盗賊マスターシーフ、ザリガ 遇した魔物に加えて、エナジードレイン能 族の戦士カナバルなどなど、これまで目 二の化け物ワークロゥ、二本の斧を持つ蛮 力を持つ首なし騎士デュラハン、魔法も イ、ソーサリス、侍など、浅い階でも遭 マーフィーズゴースト、ストーンフラ この日から、地下五階の探索が始まった。

にしたことのない魔物どもがパーティー

を温存して闘ってみたところ、必ずしも 気も必要と知ったのである。 げる」ということを学んだ。闇雲に魔物を を積んだパーティーの実力は、以前とは 明らかになった。地下四階で充分な鍛練 ことも大切だが、ときには「逃げる」勇 ない。もちろん魔物と闘って経験を積む 倒して進むだけが冒険者の取るべき道では 比較にならないくらい向上していたのだ。 遅々として進まない。思い切って〝凍結〟 ″凍結』のお世話になる必要はないことが いたパーティーだが、それでは探索活動は それともうひとつ、パーティーは「逃 最初はリーファの『凍結』に頼り切って

地下五階には達していないのだ。 ンたち以外には、どのパーティーもまだ しておくべきだろう。おそらく、アスワ れ違うことが皆無になったことは、特筆 また、ほかの冒険者のパーティーと擦

半ばに倒れたことか。 いったいどれくらいのパーティーが志

倒タイロッサムの思いが強くなった。 「おれたちがやらなければ!」 そして。 パーティーの胸の裡には、ますます打

盤に悩まされつつも、パーティーは着実 に捜索範囲を広げていったのであった。 落とし穴の罠や暗闇地域、さらには落

過ぎ去った。 地下五階の探索を始めてから、三日が

なおも道なりに進んでいく。 り、用心深く通路を歩いていた。幸い一 に足を踏み入れたことのない場所に達し、 度も魔物と遭遇することもなく、これまで と。突然バペットが、 今日もまたパーティーは地下五階に降

と右手の人差し指を唇に当てて立ち止

「どうしたんだ?」 足を止め、振り返って問うアスワンに、

まった。

の方に耳を傾けた。 「うむ。間違いない。水の跳ねる音だ。近 バペットは鋭い口調で言い、洞窟の奥

自信たっぷりに言う。

の仲間も洞窟の奥に聴覚を集中している。 「ほんとね」 「水の跳ねる音だって?」 とリーファ。 アスワンは反復し、耳を澄ました。ほか

「うん、水の音だ。泉でもあるのかな」 とドゥガン。

「だろ?行ってみようぜ」 「さすが盗賊だな。耳が鋭い」 バペットは得意げに鼻をひくつかせて アスワンが感心したように言うと、

「あっちだ」 と洞窟の奥を指差す。

言った。

行き止まりになっていた。 その手前には る方向に進むと、 そこは四角い小部屋で 「よし。行こう」 アスワンを先頭に、水音の聞こえてく

ができない。 がっており、底の方は暗くて見通すこと 「なんだろうな、この泉は?」 藍色をした深い泉。水面には波紋が広

うな気がする」 「よし。おれが調べてくる」 「気になるなあ。 底に何か沈んでいるよ と早くも泉に向かって足を踏み出しか バペットが言った。 アスワンが首を傾げると、

「ま、待てよ」 アスワンが制止するが、遅かった。

> 顔を近づけた途端、 ト。そこまではよかったのだが、水面に じゃぶじゃぶと泉にはいっていくバペッ

ずるずると水中に倒れこむ 「バ、バペット!」 バペットは呻き声を発した。

中に沈みかけたバペットの腕を取り、 -に沈みかけたバペットの腕を取り、岸アスワンは素早く行動を起こした。 水

おそらく泉の水に、神経を麻痺させる毒 が含まれていたのだろう。 完全にからだの自由を失っている。―― るが、バペットはピクとも動かなかった。 に引き上げる。 「バペット。しっかりするんだ」 がくがくと小柄な盗賊のからだを揺さぶ

を詠唱することはできなかった。 く、底の方からいくつもの妖しげな影が 呪文を唱えようとするが、 最後まで呪文 水面が突然泡立ち始め、と思う間もな 慌てて駆け寄ったレイラン、『柔軟』のディアルコ

「ぼくに任せてください」

ザッバーン!

てくる

浮び上がってきたのだ。 潮の香りが漂っ

たのは、四体の異形の魔物だった。 大きな水音とともに水中から姿を現わし

ロウ、後者はシーカーだ。どちらも、こ 足のような触手を持つ蛇。——前者はメ れまでお目にかかったことのない魔物で 一匹は美しい人魚。あとの三匹は蛸の

掛けてきた。 パーティーに、魔物どもは先制攻撃を什 一瞬メロウの美しい姿に気を取られた

メロウの鋭い爪がアスワンの肩口を引き

合わせたようにブレスを吐きかけてきた。 続いて三匹のシーカーは、まるで申し 思わず顔をしかめるアスワン。

女王の受難

は戦闘体勢にはいることができた。 匹から同時に喰らうと、かなり効く。 個々のダメージは大したことはないが、三 いてくる三匹のシーカーだ。 そのころになって、ようやくパーティー 何と言っても厄介なのは、ブレスを叶

始めるエルフ姉弟。 「リーファ、レイラン。あの蛸野郎を頼む」 アスワンの指示に従い、呪文の詠唱を

切り裂きの剣を振り下ろした。 から上半身を出しているメロウに向かって 「おうさ。任しとけ」 「おれたちの相手は、あの人魚だ」 アスワンはドゥガンに声をかけると、泉

ドゥガンもバトルアックスであとに続

なかった。 を喰らって死なない相手なんて初めてだ またもブレスを吐きかけてくる。『凍結』 のは一匹だけ。残りの二匹はくたばらず、 が、そんなことに感心している場合では カーどもに炸裂した。だが、水中に沈んだ そのとき、リーファの『凍結』がシー

に七対一では勝ち目がなかった。アスワ

さすがのメロウも、魔法を封じられた上

水中に沈んだ。 が飛ぶと、ようやく残りのシーカーも 魔法攻撃の第二弾、レイランの『剃刀の嵐

かった。 あとはメロウだけだが、これがまた強

攻撃も、メロウにはさしてダメージを与え がダメージを軽減しているのに違いない) だ生きている。おそらく、あの黒いマント くに死んでいるはずだが、リーファはま リーファも喰らっているとしたら、とっ 魔法も唱えてくる。 メロウの狙いが魔法 栓を発生させて絶命させるという嫌らしい しまう。(アスワンたちと同じダメージを られない。逆にメロウの一炎の嵐《で、大 んできたら、確実にパーティーは全滅して 火傷を負う始末。もう一度『炎の嵐』が飛 さらに、『致死』――相手に冠状動脈血 アスワンとドゥガン、ふたりがかりの

> ワンやドゥガンが狙われていたら、 で生命を奪われていただろう。 ていたから助かったようなものの、 に対する抵抗力の強いレイランに向けられ アス 一発

えた。僧侶魔法の〝召喚〟で呼び出せる続いてレイランが〝召喚〟の呪文を唱 現したのは、三体のセラフだった。六枚 呪文を唱えると、たちまちメロウの周囲 の美しい羽根を持った天使である。 ジャイアントかグレーターデビルが出現 パーティーとともに闘ってくれる。エア 五種。そのいずれかがランダムに現われ、 デビル、ゾンビ、フェアリー、セラフの してくれれば心強かったのだが、今回出 魔物は、エアジャイアント、 グレーター メロウの魔法は無効化されるはずだ。 に呪文を遮断する壁が築かれた。 これで ロウは恐るべき魔法の使い手なのである。 美しい姿をしているくせに、まさにメ 危機を感じたリーファが『魔法封じ』の

団 『征伐』……。 マンとドゥガンの肉弾攻撃に加えて、リーンとドゥガンの肉弾攻撃に加えて、リー ていたが……) とも、パーティーもズタボロの状態になっ タに切り刻まれ、その美しい姿態をゴボゴ ボと水中に沈めていったのだった。(もっ ほどなくして、メロウのからだはズタズ

の間に緊張が走ったが、すぐに安堵の息 てくるのが見えたのだ。一瞬パーティー 時に、泉の底から、何かが浮かび上がっ うは行かなかった。メロウが沈むのと同 これにて一件落着……と思いきや、そ

なく、すぐ手の届くところにプカプカと 宝箱だったのである。 泉にはいるまでも ポッカリと水面に姿を現わしたのは四 一今まで腐るほど目にしてきた

> のときになって初めてバペットのことを 箱を水辺に引き揚げたアスワンは、そ

トの存在に気づいた。 したまま水際に倒れこんでいる。 「おっと。いけない、いけない。すっか ほとんど同時に、ほかの仲間もバペッ 周囲を見回すと、バペットはまだ麻痺

ちまちバペットは麻痺から回復した。 り忘れてたよ」 に駆け寄り、『柔軟』の呪文を唱える。 「な、何があったんだ?」 頭を搔いたレイラン、素早くバペット

のである。

ン伝わってくる。 心の底から楽しんでいる様子が、 ビンビ いのは、盗賊の本能なのだろう。本当に、 ると罠の発見と解除を試みずにはいられな り出し、宝箱にアタックする。宝箱を見 て走り寄った。早速盗賊の七つ道具を取 トだったが、箱を見るやいなや、 「お。宝箱じゃないか。おれ様の出番だな」 嬉々として立ち上がり、宝箱に向かっ 頭を抱え、うつろな目をしていたバペッ

数字が書かれており、二本の針が回って で目にしたことのない奇妙な物体だった。 円形の小さな金属製の品物。 表面には 宝箱のなかにはいっていたのは、これま

らえば、何かわかるだろう」 言った。 「ま、ボルタックのオヤジに鑑定しても 「そうだな。じゃ、これはおれが預かっ 眉をひそめるバペットに、アスワンは

「なんだ、これは?」

立ち上がる。 負い袋にしまいこんだ。ニカッと笑って バペットは言い、その奇妙な物体を背 ておくよ」

今日のところは、ここらで引き上げるべ まだ一度しか魔物と遭遇していないが、

「ああ、それがいいな」 「では、帰るとするか」 アスワンが言うと、

参っているのだった。 ワーフも、メロウとの死闘で心身ともに ひとり、戦闘に参加しなかったバペッ ドゥガンは頷いた。さしもの剛胆なド

パーティーは、今来た通路を引き返した 態を見たら何も言えなかった。 トだけは不満そうだったが、 皆の傷の状 レイランの魔法で傷を癒してもらった そして

向かった。 一行は、その足で〈ボルタック商店〉に 〃ダバルプスの呪いの穴〃 をあとにした

定を依頼すると、 背負い袋から奇妙な物体を取り出して鑑

「そんなもの、何に使うんだ?」 「これは時計と言って、時を刻むものだ」 とボルタックは答えた。

問うバペットに、ボルタックは謎の笑

どこかで必要になるのだろう」 みで答える。 「それはわからん。だが、きっといつか、

ようもない。 「それはわからぬ」 の一点張り。納得できないが、 それ以上のことを尋ねても

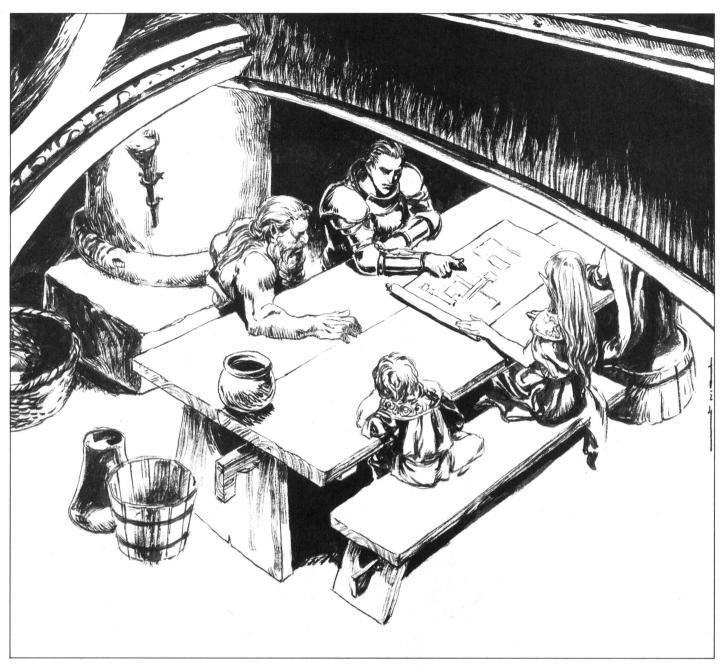
あった。 た一行は、それぞれの帰途に着いたので 首を傾げつつ〈ボルタック商店〉を出

6

と、地道な調査が続く。 あるいはゴミ捨て場(?)を発見し…… 落盤、落とし穴、暗闇地域に悩まされ、翌日からも地下五階の探索は続いた。

探索を始めて一週間め、

もうほとんど



うころ、パーティーは階下へ続く階段を 地下五階のマッピングが完成しようとい 発見した。

声を出す。 「ええーっ?」まだ下があるのかよお」 バペットが驚きと失望の入り混じった

地下五階が迷宮の最下層であり、この

と信じていたパーティーには、ショッキ ングな事実だった。 階のどこかにタイロッサムが潜んでいる 「やっぱりね。偉大な魔法使いタイロッ

サムがこんなジメジメしたところに隠れて いるはずはないと思っていたわ」

リーファが言う。

所に住むなんてことは、よほどの物好き 気ももちろんだが、こんな落盤の多い場 でなければ敬遠するに違いない。 言われてみれば、その通りだった。湿

階下に降りてみることにした。 皆で相談した末、一行は、とりあえず

そらく地下六階は、これまで以上に恐ろ る魔物どもは強力になって来ている。 お しい魔物が巣食っていることだろう。 に従って、パーティーの前に立ちはだか だが、パーティーの戦力も、地下五階 今までの経験からして、迷宮深く降りる

あるが……) ので、なるべく使いたくはない呪文では たら、新たに憶え直さなければならない になった。帰還』の魔法で、一気に地上ときには、ようやくレイランが使えるよう きる回数が増えているのである。 だ。ふたりとも一段階上位の魔法を修得 に脱出するという手段もある。(一度使っ たら、すぐ引き返せばいい。いざという の探索を始めた当初よりは確実にアップ している。 特に顕著なのはエルフの姉弟 したし、 修得済みの魔法にしても使用で 危険は承知の上だった。危ないと思っ

後方の仲間に声をかけたアスワンは、ゆっ

女王の受難

落盤の恐れあり。

アスワンも首を傾げる。「どういう意味なんだろうな」「どういう意味なんだろうな」がペットは頓狂な声を上げた。

当たり前のことを言い、肩をすくめるんだろうな」というな、使わない方がいい書いてあるんだから、使わない方がいいま、とにかく、爆弾や呪文を使うなと

「そりゃそうだけどさ」
「そりゃそうだけどさ」
「きっとどこかに隠された扉があるに違だったが、すぐに真顔に戻り、
「きっとどこかに隠された扉があるに違いない。調べてみるよ」

「駄目だ。見つからないよ」
と言って、周囲の壁を調べ始めた。看と言って、周囲の壁を調べせめた。 しころが、すがあるものと確信していた。ところが、すがあるものと確信していた。ところが、すいかの場かっていた壁を手始めに、通路かんでの壁を調査し終わったバペットは、

アスワンが提案すると、「仕方ない。戻るとしようか」一行の間に失望が広がる。ややあって、

しましょう」 階のどこかに正しい階段があるのよ。 捜終わったわけではないわ。たぶん、上の終わったわけではないわ。たぶん、上の

ている。リーファが言った。ほかの仲間も頷い

階の探索を再開した。

いくパーティー。というパーティー。といくパーティー。とんどん迷宮の奥深くに進んでしつつ、どんどん迷宮の奥深くに進んでしつつ、どんどん迷宮の奥深くに進んでしているが見かられていない場所に向かう。性が足がして

いにす。 眼前の壁を指差し、パーティーの注意 「ほら、見ろよ」 「おや? ここの壁は妙だぞ」

アスワンは頷いた。

「どれ。ぶっ壊してみようか」「どれ。ぶっ壊してみようか」

れそうにない。
たきな音が響き渡るが、ぽろぽろと石大きな音が響き渡るが、ぽろぽろと石に叩きつけ始めた。

言うやいなや、いきなりドゥガンはバ

たところで、数回バトルアックスが壁に跳ね返され

きたら、どうするつもりだ?」「音を聞きつけて魔物どもが押し寄せて「子を聞きつけて魔物どもが押し寄せて。アスワンはドゥガンの腕を抑えた。「ドゥガン、それくらいにしておけよ」

。 捜 「桑下帯がなる*| 上の 「え……?」 「素は と、たしなめる。

搔いた。いささか慎重さに欠けるが、気素直に武器を収め、照れ臭そうに頭を「そうだな。迂闊だったよ」だったが、すぐに、一瞬不満げな表情を浮かべたドゥガン

「それにしても、この壁には何か意味がのいいドワーフなのだ。 極いた。 いささか慎重さに欠けるが、気

意見の交換を始めた。額を寄せ合って論でスワンの言葉をきっかけに、一同はあるんだろうか」

(ここで話し合っていても時間の無駄だ)

になるだろう」からだな。いずれ、すべての謎が明らか「とにかく、地下五階の探索を済ませて

そして。と言うと、皆、同意を示した

の探索に向かったのであった。
一行は、あとわずかとなった未踏地区

つからなかったのである。 「行き止まりの玄室に通じる階段以外に行き止まりの玄室に通じる階段以外に下五階を隅々まで探索した。しかし……。

7

現時点で、行けるところはすべて探索し現時点で、行けるところはすべて探索しり、今後の行動について相談していた。り、今後の行動について相談していた。り、今後の行動について相談していた。り、今後の行動について相談していた。

たはずだ。しかし、それにもかかわらず、たはずだ。しかし、それにもかかわらず、かく迷宮に潜っても、ただ徒らに魔物とかく迷宮に潜っても、ただ徒らに魔物との闘いを繰り返すだけになってしまう。心に引っ掛かるのは、不自然に新しい壁と、奇妙なメッセージが記された看板壁と、奇妙なメッセージが記された看板

か?」
か?」
か?」

バペットが言う。

議を交わすが、 いっかな結論は出そうに

点に気づいて指摘した。 頷いたアスワンだったが、すぐに問題「ああ、そう思うけど……」

「いったいどうやって崩すつもりだ?」「いったいどうやって崩すつもりだ?」であっている。大規模な落盤が起こったら、おれたち、生き埋めになってしまたら、おれたち、生き埋めになっている。方になっている。大規模な落盤が起こったら、おれたち、生き埋めになってしまったら、おれたち、生き埋めになってしまっかも知れないんだぞ」

下六階はどうだ?」「確かにあんたの言う通りだ。でも、地

て言う。

地下六階?

みこめないのだ。の言おうとしていることが、今ひとつ呑の言おうとしていることが、今ひとつ呑

ない」
「おれは、あの看板に意味があると思うんだ。もしかするとあのメッセージは、全だ。もしかするとあのメッセージは、全だ。もしかすると思うん

りになっていれば、少々のショックでは下の階は違う。 あれだけしっかりした造「ああ、 そうだ。 地下五階は脆いけど、「反対のこと?」

を使えば、振動が上の階に伝わり……」 バペットの口調は確信に満ちていた。

アスワンは感心した。盲点を衝かれた

けられているだろ? それを利用すればい ち残していく宝箱に、 たまに爆弾が仕掛 「爆弾を手に入れるのは簡単だ。 魔物た

得意げに続けるバペット。だが、

箱が爆発したくらいで落盤が起こるなら、 落盤が起こるかなあ。 だって、もし爆弾 今ごろ地下五階はボロボロに崩れているは 「でも、あの程度の破壊力で、果たして

アスワンが疑問を口にした途端、バペッ

烈な爆弾が必要かも知れないよなあ……」 「……そう言えばそうだなあ。もっと強 ひとり言のようにブツブツと呟いていた

「あああーっ!」

「どうした?」 バペットは大声を上げた。

面にたたえて言う。 驚くアスワンに、 バペットは喜びを満

「あの爺さんの宝箱だよ」

「爺さん?」

を看板の掛かっていた壁に仕掛ければい たんだよ。宝箱のひとつは爆弾だ。あれ と思っていたけど、実はそうじゃなかっ 「そうだよ。五千ゴールド、騙し取られた

「じゃあ、あの爺さんは?」

ものだったんだよ」 の宝箱は、迷宮を先に進むために必要な 「そう。詐欺師なんかじゃなかった。あ

バペットは言い、背負い袋から時計を

「な、なるほど」

えば、爆弾が破裂する時間をコントロー てしまうだろ? でも、これをうまく使 で箱を開けたら、近くにいる者も怪我をし ルすることができる思うんだ」 「あの爆弾の破壊力は凄じい。 自分の手

さには自信があるんだ」 「そんなことが、本当にできるのか?」 「ああ、任せておけ。おれは手先の器用 バペットが胸をドンと叩いたとき、そ

さりと答えた。 ラバラになってしまったわよ」 れまで黙っていたリーファが口を開いた。 「でも、肝心の宝箱はどうするのよ。バ かなり鋭い質問だが、バペットはあっ

ないが、この際仕方がなかろう」 もらえばいい。五千ゴールドはもったい さ。もし品切れだったら、新しく作って 爺さんに会って、宝箱を譲ってもらうの 「決まってるじゃないか。もう一度あの

ないが、とにかくあの爺さんのいた玄室 に行ってみよう」 あえずの指針は決まったようである。 満ちた口調だった。――どうやら、とり 「よし。わかった。うまく行くかわから ほかの仲間に有無を言わせぬ、確信に

の呪いの穴』へと向かったのであった。 かくして、パーティーは『ダバルプス アスワンが言うと、皆、無言で頷いた。

して本当に老人に会えるのかという一点だ ティーの敵ではない。心配なのは、果た 出遇った玄室もしっかりと記されている。 度か魔物の襲撃を受けたが、 現在のパー は、少しも迷うことなく進んだ。途中、何 昇降機で地下四階に降りたパーティー

玄室にはいったパーティーを待ってい ほどなくして、目的の玄室に到着。

> は役に立ったかね?」 えないか?」 薄汚れたローブをまとっている。 「ひっひっひ。またあんたたちか。宝箱 嬉しそうに頷いた老人は、 早速バペットが交渉にはいった。

リーファの描いた地図には、謎の老人と

たのは、もう二度と聞くことはないだろ

な。ひっひっひ」 前に会ったときと同じく、ランプを提げ、 「欲しければ、また五千ゴールド支払い 「ほほお。よほど気に入ったようだな」 「爺さん。もう一回、宝箱を譲ってもら 言うまでもなく、あの老人であった。以

「今回も二種類か?」 と言って、パーティーを見回した。

「もちろんだ」 と問うバペットに、

老人は答える。

てもらえないだろうか?」 「一種類だけでいいんだ。二千五百にし バペットが値切るが、即座に、

ま、置いていくのは勝手だがな……」 「バラ売りはしないことにしているんだ。 と老人は首を横に振った。 表情も変えずに言う。

できるんだぜ」 隣の玄室へ忍びこんで、盗むことだって 「そう冷たいこと言うなよ。こっそりと 「頼むよ、爺さん。お得意さんじゃないか」

と老人は平然としたもの。

「できるものなら、やってみろ。ひっひ

はったりをかますバペット。しかし、

は、まだ〝幻姿〟の魔法を修得していなそしてパーティー唯一の魔法使いリーファ 隣の玄室に忍びこむことは不可能である。 実際、『幻姿』の魔法でも使わない限り、 バペットは押し黙った。

> を見透かされているのであった。 い……。——完全に、パーティーの力量 ふたりの遣り取りを傍聴していたアスワ

りと思っていた声だった。

(交渉の余地はなさそうだな)

歩み寄る。 「バペット、もういいよ」 とバペットを押しとどめ、老人の方に と判断した。

文を唱える。 取った。前回のときと同じく、口中で呪 「なかなか素直だな。ひっひっひ」 「五千ゴールド払うよ」 老人は不気味な笑みを浮かべて金を受け と言って、金を支払うと、

片方には毒針が仕掛けられているのだ。 真新しい宝箱がふたつ置かれている。 らばった玄室にいた。今回も床の上には、 「どちらが爆弾箱だ?」 ここで問題となるのは、宝箱の識別だっ 一瞬のち、パーティーはおがくずの散 ―片方は目的の爆弾箱だが、もう

「外見は全く同じだ。 おれには区別でき バペットは口惜しげに頭を横に振った。 アスワンが問うが、 わからないよ」

もいかないし……」 いるだけに、懲りているのだった。 「それは困ったなあ。開けてみるわけに 自信なさそうに言う。以前、失敗して

アスワン、腕を組んで考えこむ。

うかしら?」 「ボルタックに鑑定を頼んでみたら、 「あ、そうだ」 リーファがポンと手を打った。

ど

「では、両方とも持ち帰ることにしよう。 「なるほど。それはいい考えだ」 と提案する。 頷いたアスワンは、

女王の受難

は大して重くなかった。体力のある者な ながら、異議を唱える者はいない。 した。試しに持ち上げてみたところ、宝箱 「よし。決まった」 と言い、一同を見回した。当然のこと アスワンは言い、手近な宝箱に手を伸ば

つの宝箱に近づいた。 軽々と肩に担ぎ上 「よっしゃ。任せておけ」 ドゥガンは腕をぶして言い、もうひと アスワンが言うと、

が手っ取り早いのだ。 りも、このテレポーターの世話になる方 から帰還する場合、昇降機を利用するよ 設置されている玄室に急いだ。 地下四階 のような地上への強制テレポーター)の 一行は、例のテレポーター(神の加護

的の玄室にたどり着いた。 魔物相手には、『炎の嵐』で充分なのだ。 け、使うまでもなかった。このあたりのは、使うまでもなかった。このあたりの 高位の魔法――たとえば『氷の嵐』など が魔法で軽く倒す。現在の彼女が使える最 ほどなくして、パーティーは無事に目 何度か魔物の襲撃に遭ったが、リーファ

スの呪いの穴』をあとにしたのであった。 行は地表に降り立っていた。 「きみたちには休息が必要のようだ」 という聞き慣れた声とともに、パーテ パーティーは、意気揚々と「ダバルプ ーを襲う奇妙な浮遊感覚。一瞬のち、一

息つく間もなく〈ボルタック商店〉に足 リルガミンの街に戻った一行は、ひと

「そんなことはわかってるよ。調べて欲 「宝箱ではないか。その鑑定とは?」 宝箱の鑑定を依頼すると ボルタックは怪訝な表情で言った。

> るのか、ということなんだ」 しいのは、この宝箱にどんな仕掛けがあ アスワンが言う。

を見つめた。 ボルタックはまじまじとアスワンの顔

「仕掛けを調べるのは盗賊の役目ではな

らば、ひとりでも運ぶことができそうだ。

「ドゥガン。そっちを頼む」

るんじゃないか」 う。素早く反応したバペットが、 に負えないから、こうしてわざわざ来て 「そんなことはわかってるよ。おれの手 と、バペットの方に目をやりながら言

「ふむ、そうか。では、ちょっと待って ムッとしたように言ったが、

ちらには毒針が仕掛けられている」 たつの宝箱を持って奥に下がった。 「わかったぞ。こちらの箱には爆弾、あ それぞれの箱を指差しながら言う。 ややあって、姿を現わしたボルタック、 ボルタックは顔色も変えずに言い、 3

「間違いないか?」 念を押すアスワンに、

「 〈ボルタック商店〉を信用しろ」 ボルタックは自信たっぷりに言った。

「そんなものはいらないよ」 と答えた。 アスワンが問うと、ボルタックは

(ボルタックが金を取らないって? 耳を疑うアスワン。

そ

アスワンが訊くと

んな馬鹿な……)

「宝箱の仕掛けを調べるのは、うちの仕 驚くアスワンに、 ボルタックは平然と

を取るわけにはいかない」 事ではないからな。 仕事以外のことで金 「はあ・・・・・?」 アスワンは呆然とボルタックの顔を見

てくれ。店先でウロウロされると、商売 「さ。用事が済んだのなら、さっさと帰っ

するような扱い。 追い払う仕草をした。まるで犬コロに対

(なんだ、その態度は!)

ないのだ。素直にボルタックの好意(?) 必死に抑える。ここで逆らっても意味が に甘えるのが得策だろう。

ガメッシュの酒場〉に現われた。

バペットは、よろめく足取りでヘギル

「はあ、はあ。重たかったぜ」

顎で差すと、ボルタックは無言で頷いた。 「そっちは適当に処分しておいてくれ」 と毒針が仕掛けられているという宝箱を 頷いたアスワンは、爆弾箱を肩に担いだ。

とにした。 パーティーは〈ボルタック商店〉をあ

それは、手先の器用なバペットの役目で ことなく起爆させられるようにするだけ。 み合わせて、パーティーに被害を及ぼす この箱と、以前に泉で入手した時計を組 宝箱を識別することはできた。あとは、

「箱に時計を取りつけるのに、どれくら

う。明日〈ギルガメッシュの酒場〉に持っ て行くよ」 「そうだな。ま、一日あれば大丈夫だろ

きこともない。 である。今日のところは、ほかにするべ すべては、宝箱の加工が終わってから バペットは答えた。

バペットの家に宝箱を届けたところで、

クの言葉とは、とうてい思えなかったか の思いだった。 強欲で知られるボルタッ 口にこそ出さないが、ほかの仲間も同様

ボルタックは言い、手でパーティーを

「わかったよ」 思わず言い返そうとしたアスワンだが、

運ぶのは重労働なのである。

「ご苦労だったな。で、うまく行ったの

違って、ホビットである彼には、宝箱を

置く。体力のあるアスワンやドゥガンと

と肩で息をしつつ、どんと宝箱を床に

れ、側面のバネと結ばれている。 があった。蓋の中央に時計が取りつけら 「ああ、なんとかな」 宝箱には、明らかに加工を施された跡 バペットは答え、宝箱を指差した。 アスワンが訊くと、

のだった。 されて箱が開くようになっている」 「ある一定の時間が経つと、バネが解放 バペットの説明に、一同は深く頷いた

かった。 ィーは、 "ダバルプスの呪いの穴" に向 ヘギルガメッシュの酒場〉を出たパーテ

昇降機を使って、一気に地下五階に降

ているため、実際には遠回りしなくては 少ししか離れていないが、壁に隔てられ 線距離にすれば、昇降機と階段はほんの パーティーは階段を目指して進んだ。直

パーティーは散会することにした。 「では、また明日」 例によってエルフ姉弟は家に帰って行

と向かったのであった。 然のごとく〈ギルガメッシュの酒場〉へ 残ったアスワンとドゥガンの足は、

8

27

確実に力量を上げているのだった。 だまだ余力が残している。 パーティーは ティーはようやく階段に到着した。以前 ていただろうが、現在のパーティーはま と五回も闘ったら、もうヘロヘロになっ のパーティーであれば、地下五階の魔物 魔物との五回の戦闘を経たのち、パー

る壁の下に宝箱を置くと、 た。アスワンが例の看板の掛けられてい 「あとはおれに任せてくれ。みんなは階 階段を降りたパーティーは玄室を横切っ

バペットは言い、宝箱の前に跪いた。時段のあたりで待機してればいい」 作業が終わるのを息を殺して待つ。 階段のところまで後退した。 バペットの 計に手を伸ばし、何やら操作し始める。 アスワンたちはバペットの言葉に従い、

然宝箱の蓋が開いた。と同時に! ドッゴオオオオオーンンンン!! 「みんな、伏せるんだ」 バペットが階段にたどり着いた瞬間、 大声で叫びつつ階段まで駆けてくる。 いきなりバペットは立ち上がった。 突

響いて来た。 は木端微塵に砕け散り、木片が飛び散る。 しばらくのち、上の階から凄じい音が 激しい爆裂音が玄室に響き渡った。箱

ドドーン!

ドドドォーン!

ドドドドドオーン!!

所や二ヵ所ではない。おそらく十ヵ所近 は行動を起こした。 くで天井や壁が崩れ落ちているだろう。 音が鳴りやむのを待って、パーティー 明らかに落盤の音だった。それも、一ヵ

「大成功のようだな」

バペットは会心の笑みを浮かべたので

壁にも大きな穴が開いている。瓦礫の下 で呻いている魔物の姿も見えた。 変していた。巨大な石がゴロゴロ転がり、 階段を上がると、地下五階の様相は一 地下六階に爆弾箱を設置したのは、大

> なりの痛手を負ったに違いない。 能性が高いのだ。 全滅しないまでも、か パーティーも瓦礫の山に埋もれていた可 正解だった。地下五階で使用していたら、

な声を上げた。 地図を眺めていたリーファが嬉しそう

「この壁がなければ、昇降機まですぐよ」 「あら。あそこの壁がなくなってるわ」 と皆を手招きする。 たたっと壁に駆け寄り、

少し歩いただけで、右手方向に昇降機の リーファの案内に従って歩いていくと、

ボタンが見えた。

なっているかも知れないわね」 い壁のところへも、簡単に行けるように 「この様子だと、あの最近造られたらし 「そう都合よく行けばいいけどね」 苦笑しつつ言ったアスワンだったが… リーファが期待を込めて言った。 一同の口からどよめきが上がる。

近道をすることができたのだった。 通路ができており、パーティーはかなり リーファの期待は裏切られなかった。 目的の壁に向かう途中にも落盤で新たな 一度も魔物の襲撃を受けることなく、例

降りる階段が隠されていたのだ。 ち、その向こうには、なんと! 階下へ の不自然な壁のあった地点に到着する。 最近造られたらしい壁も落盤で崩れ落 ふたたび皆の口からどよめきが上がった。 バペットの考えは正しかった。

なっていた。正面と左手方向に、扉が見 階段を降りた先は、かなり広い玄室に

> き止まりではないのだ。 える。もうひとつの階段とは違って、 (いったんリルガミンの街に引き返そう 行

くらいなら、 地下六階を探索しても構わ まだパーティーには余力がある。少し アスワンは思ったが、すぐに思い直した。

ないだろう。 「どっちに行く?」 問うアスワンに、

「決める材料がないからな。 任せるよ」 バペットが答える。

ティーはそちらの方に歩を進めた。 「開けるぞ。 用心しろよ」 アスワンは左手方向の扉を選び、パー

を開けた途端、 と扉に手を伸ばしたアスワンだったが、扉 うしろの仲間に注意を促し、ゆっくり

びこんできたのである。 「マ、マッドゴーレム……」 「うわっ!」 思わず声を上げた。巨大な影が目に飛

レイランが引き攣ったような悲鳴を上

物なので、魔法は効きにくいと来ている。 さしものアスワンやドゥガンでも、無事 ことはよく心得ていた。 には済まされないだろう。しかも魔法生 は決して侮れない。その腕で殴られたら、 能力こそないが、ずば抜けた体力と生命力 形に呪文をかけて作られた魔法生物。特殊 リーファとレイランも、そのあたりの そう。マッドゴーレムであった。泥人

ウィスプ、ファズボールの五種。なかで デーモン、ストーンゴーレム、ウィルオー ズボールが出現した。 る魔物は、グレーターデーモン、レッサー 魔法使いの『召喚』によって呼び出せ

> も言えるのだった。だいたい、召喚して けてくれる存在――すなわちパーティー しファズボールには、仲間を呼ぶ習性が はならないのだ。 い。召喚する魔物の種類は術者の自由に しまった以上、文句を言っても始まらな の盾と考えれば、なかなか心強い味方と ある。パーティーの身代わりに攻撃を受 撃力に関しても全く当てにならない。しか もファズボールは、守備力は低いし、攻

「ちっ」 を上げる。一撃で消え去るファズボール。 ボールに、マッドゴーレムの太い腕が唸り パーティーの最前線を浮遊するファズ

ドゥガンのバトルアックスも肩口に食い ムに向かって切り裂きの剣を突き立てた。 吐き棄てたアスワンは、マッドゴーレ

効いた様子はない。レイランの『命を盗む』リーファが『氷の嵐』を唱えるが、少しも 「あなたたちが頼りよっ」

て叫ぶ。 「おうさ」

リーファがアスワンとドゥガンに向かっ

よく剣を振り下ろした。 答えたアスワンは、前にも増して勢い

バペットもクロスボウで援護する。 レムに攻撃を加えるアスワンとドゥガン。 す必要がある。 必死の形相でマッドゴー もに向かっている間に、なんとかして倒 ファズボールの存在が大きかった。倒 マッドゴーレムの目がファズボールど

ドゴーレムを倒すことはできた。しかし、 されても倒されても、次から次へと現わ そのころにはアスワンもドゥガンも、 ンを守ってくれるのだ。 れ、前衛に立って闘うアスワンとドゥガ 三人がかりの集中攻撃で、 何とかマッ

トヘトになっていた。 「危なかったわね」

女王の受難



ドゴーレムは手強い相手だったのである。 生命を奪われていただろう。それほどマッ からかったら、おそらくふたりとも逆に して、これだけ苦戦させられるとは……) いる巨大な泥人形を見降ろした。 (たった一体のマッドゴーレムを相手に (リーファの攻撃魔法に頼りすぎていた もしファズボールが盾になっていてく 頷いたアスワンは、眼下に倒れ伏して

りするのは危険だろう。 がかかりにくい魔物も存在するのだ。 しかし、マッドゴーレムのような、魔法 撃魔法は、ほとんどの魔物に有効だった。 神の拳』……。これまで、魔法使いの攻ッザック まだ余力は残っているが、あまり深入 とりあえずパーティーは、リルガミン アスワンは思った。

かった。 その最も大きな原因は、 地下六階の探索は、 もちろん迷宮

闇の司教アークビショップ、最高位の魔 さらには、忍者のなかでも特に武芸に秀 ラゴンの翼を持つマウモリスク、獅子と黒 の人間型の敵も徒党を組んでパーティー ス、最高位の僧侶プリレートなど、数多く 術師アークウィザード、その女性版ハイ でたマスター忍者、高位の侍である旗本 ドゴーレムを始めとして、馬のからだにド ソーサリス、 美しい尼僧ハイプリーステ に似た猿人ストライクエイプなどの魔獣 山羊とドラゴンの合成獣キメラ、ゴリラ たった一体でパーティーを苦しめたマッ

ようだな)

の街に戻ることにしたのだった。

遅々として進まな

に巣喰う魔物どもである。

リーファがホッとしたように言う。

ポーター、回転する床、隠された扉、 たら、パーティーは全滅していただろう。 に暇がない。 た。そこらじゅうに仕掛けられているテレ きなどは、あと少し逃げるのが遅れてい ウィザードが〝核撃〟を連発してきたと較にもならない。 集団で現われたアーク 下五階までに遭遇した魔物どもとは、 の前に立ち塞がった。 下五階までとは段違いに陰険になってい また、パーティーを惑わす仕掛けも、地 とにかく、手強い敵ばかりだった。 鍵の掛かった扉……と枚挙 比

のお蔭だった。 設置されている地上への直行テレポーター 烈な魔法、ブレス、毒、催眠、石化、クリ は、ひとえに、なぜか迷宮のあちこちに ティカルヒット、エナジードレイン……。 も容赦なく魔物は襲いかかってくる。 ているパーティー。そんなパーティーに パーティーが何とか生き延びられたの ふと気がつくと、迷宮内を堂々巡りし

のだから、あえて深く考えようとはしな いではなかったが、それで助かっている ような仕掛けがあるのか。 疑問に思わな の穴』に、なぜパーティーの危機を救う この悪意に満ちた〝ダバルプスの呪い

ど地下六階の探索は困難を極めていたので かったという方が正しいだろう。それほ いや、そんなことを考えている暇はな

ガミンの街に戻るパーティー。 ほとんど毎日、ズタボロになってリ

闘経験を積むことにより、パーティーの 闘に明け暮れる日々は無駄ではない。戦 力量は着実に上がって行った。 アスワンとドゥガンは剣の腕を上げた しかし、恐ろしく強い魔物どもとの死 リーファとレイランは最高位の魔法

確率が減っている。 宝箱の罠を解除するに際し、 誤動させるを修得するまでに成長した。 バペットも

どう考えても攻撃力は真っぷたつの剣に 替えたのだった。 劣る。皆に説得され、仕方なく剣に持ち れたバトルアックスにこだわったのだが、 剣。ドワーフであるドゥガンは、使い慣 ク商店〉でファイアーソードを購入した。 兜。さらには、念願叶って、ヘボルタッ ていた。強い魔物が隠し持っている宝箱 に身を包んでいた。 武器は真っぷたつの ンには手が出ないこともなかったのだ。 には、やはり優れた武具類が多いのだ。 一万ゴールドは痛かったが、今のアスワ すらおの鎧、守りの盾、銀の篭手、鋼の ドゥガンも、アスワンと全く同じ防具 アスワンが身につけている防具は、ま もちろん、パーティーの装備も充実し

リーファの装備は、全く変化がなかっ リーファの装備は、全く変化がなかかいによって、奇妙な装飾の施された杖を持っている。これまで一度も使用すると まっぽいマントといういでたち。手には 黒っぽいマントといういでたち。 手には した拍子に、

うものなんだ?」「リーファ。その杖は、いったいどうい

リーファは答えた。 明ーファは答えた。 りーファは答えがなかったわ」 がずの拳』の魔法を使うことができるの。いざとなったら使おうと思っていたの。いざとなったらであうと思っていたがど、一度も機会がなかったわ」

しようがないのだから……。 しようがないのだから……。 ゆっくり休めば回復する魔法と違った。 ゆっくり休めば回復する魔法と違った。 ゆっくり休めば回復する魔法と違った。 魔法の品物は、いったん壊れたら直

巡したものの、ぽいマントについて尋ねると、しばし逡

「……暗闇のマントよ」

にかかりにくいのか明らかになった。さと言う。これで、なぜエルフの姉弟が魔法力があり、守備力も高い魔法のマントだりです。 東京学校 東京学校 カボカリーファは答えた。魔法に対する抵抗リーファは答えた。魔法に対する抵抗

質問するアスワンに、

父の遺産よ」

えたアスワンが、 やえたリーファは、なぜか目を伏せた。 答えたリーファは、なぜか目を伏せた。

てたの?」 「へぇ、凄い遺産だな。 お父さんは何し

と尋ねたが、リーファは淋しげな笑みと尋ねたが、リーファは淋しげな笑み

スターを持っている。 場が 調の兜を入手し、必要がなくなったアス 調のアントを羽織り、手にはモーニング と変わらず、銀の鎖かたびらの上に、暗 と変わらず、銀の鎖かたびらの上に、暗 と変わらず、銀の鎖かたびらの上に、暗

リーファが、
リースポウとショー
リースポウンショー
リースポース
リースポースポウンショー
リースポース
リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リースポース

リーステース

リーステース

リーステース

リーステース

リーステース

リーステース

リーステース

リーステース

ともあれ---

パーティーは毎日地下六階に降り、

迷

ついでに、以前から気になっていた黒っ

には、一瞬にして迷宮の入り口まで戻る りになったのは大きかった。『幻姿』を使うになったのは大きかった。『幻姿』を使うになったのは大きかった。『幻姿』を使った。『日の場所に飛べるし、いざというときには、 一瞬にして迷宮の入り口まで戻るには、一瞬にして迷宮の入り口まで戻る。

広げていく。

を、ひしひしと感じていた……。 決の瞬間が刻一刻と近づいて来ていること パーティーは皆、タイロッサムとの対

1 C

そんなある日。

できた。の目に、いきなり奇妙な光景が飛びこんの目に、いきなり奇妙な光景が飛びこん

にもそぐわない光景だ。
歩がや空き箱が散らばっている。
悪名高い
がが空き箱が散らばっている。
悪名高

感がみなぎる。パーティーの間に緊張感じたのだろう。パーティーの間に緊張ーアスワンは直感した。皆、同じことを(タイロッサムの書斎だ)

「ええ……」

同じく低い声で答えたリーファは、なが背負い袋から二枚のフードを取り出しだ。一枚を弟のレイランに手渡す。ふたた。一枚を弟のレイランに手渡す。ふただ。一枚を弟のレイランに手渡す。ふたがは申し合わせたように、深くフードを取り出し

ファイアーソードに手をかけたアスワとに構っている場合ではないのである。問いただすことはしなかった。 そんなこ怪訝に思ったアスワンだが、 わざわざ(はて? 何か意味でもあるんだろうか?)

そる なった。ヾペットとき ドゥガンは答え、直接 「おお」

パー・イー バラなそううとようと、 男がうしろ向きに坐っている。 な室の奥には机があって、 小さな明か 玄室の奥には机があって、 小さな明か すった。バペットもクロスボウを構える。

「タイロッサムか?」

「タイロッサムか?」

いたエルフだった。豪華なローブを身にいたエルフだった。豪華なローブを身にいたエルフだった。豪華なローブを身にいたエルフだった。

アスワンが問うと、

老エルフは深く頷いた。「いかにも」

えようとはしなかった。 アスワンが言うが、 タイロッサムは答 アスワンが言うが、 タイロッサムは答

見せてみよ」り着いた。さあ、その力のほどをわしにり着いた。さあ、その力のほどをわしに

突如としてパーティーの前に、六人のと――と言い、両手の杖を大きく振りかざす。

めざら の女性だが、かなり高位の僧侶魔法を修 の女性だが、かなり高位の僧侶魔法を修 の女性だが、かなり高位の僧侶魔法を修 の女性だが、かなり高位の僧侶魔法を修 の女性が現われた。

なかった。
しかも、出現したのは奥女中だけでは

バペットが警告の声を発し、「あちらを見ろ」

玄室の片

隅を指差す

を包み、奇妙な形をした錫杖を携えていがうずくまっていた。緑色の道化服に身目をやると、そこにはひとりの小柄な男目がペットが差し示す方向――机の陰にバペットが差し示す方向――机の陰に

女王の受難

る。その姿を目にした途端 「フ、フラック!」 レイランが引き攣ったような悲鳴を漏

険者が最も出遇いたくない魔物のひとり ゆる特殊能力を身につけている。-のブレス、クリティカルヒットと、あら てもよく、催眠、毒、石化、麻痺、冷気 魔フラック! 精神は邪悪そのものと言っ 地獄の道化師として恐れられる伝説の妖

奥女中たちは、早くも呪文を唱えようと ことながら魔物どもは聞く耳を持たない。 している。こうなっては、戦闘を避ける 「ま、待て。話し合いたいんだ」 アスワンが必死に訴えかけるが、当然の

(リーファ。頼むぞ)

きく左右されるのだ。 飛ばした。先手必勝。どちらの魔法が先 に発動するかによって、今後の展開が大 アスワンは心のなかでリーファに檄を

備していたのだろう。 がタイロッサムと話しているときから進 の呪文が発動した。おそらく、アスワン 幸いなことに、誰よりも早くリーファ

『核撃』が炸裂したのだ。――五人の奥えな場風が吹き荒れる。 究極の攻撃魔法 瀕死の状態。 タイロッサムやフラックに も、少なからず効いているに違いない。 女中がばたばたと倒れ、残ったひとりも 「リーファ、いいぞ」 魔物どもの間に、核爆発にも似た強烈

を凄じい冷気が襲った。フラックが机の 「なかなかやるな」 一刀のもとに斬り捨てたとき、 タイロッサムの声とともに、パーティー 叫びつつ、アスワンが瀕死の奥女中を

陰からブレスを吹きかけてきたのだ。

レイランが唱えた 『祈願』 に力を得た

しフラックは、まるでゴムマリのように跳 の前に立ちはだかった。 ねてドゥガンの剣をかわし、パーティー 「くそっ。やりやがったな」 と勢いよくフラックに踊りかかる。しか

「くっくっく。わたしと闘おうとは、十

と唇を歪める。

う。最も生命力のあるアスワンやドゥガ たら、エルフの姉弟は即死していただろ ら助かったようなものの、そうでなかっ 力のある暗闇のマントを身につけていたか モロに冷気を受けた。 魔法に対する抵抗 ジを最小限に食い止めたが、ほかの仲間は ンでさえ、危ない状態に陥っているのだ。 ロッサムが『氷の嵐』を唱えたのだった。 が襲った。今度はブレスではない。タイ まさに、パーティー全滅の危機! 後方に下がっていたバペットはダメー そのとき、またもやパーティーを冷気

危機を覚えたレイランが「恩恵」――にわかには信じがたいことだった。 討ちをかける。 さらにタイロッサムの『氷の嵐』が追い 気が突き刺さった。フラックのブレスだ。 唱えた直後、またもパーティーの肌に冷 パーティー全体に効果のある治癒魔法を を一発喰らってもなお生きているなんて、 が、ふたりを倒すには至らない。『核撃』もう一度リーファが『核撃』を唱えるもう一度リーファが『核撃』を唱える

の恐ろしさは、奥女中とは比較にならな らい簡単に屠り去ったが、残ったふたりい知った。奥女中の集団は、呆気ないく 相手が、とんでもない化け物であると思 たら、パーティーは確実に全滅していた。 今、アスワンは自分たちが闘っている レイランの『恩恵』が一瞬でも遅れてい

かし、タイロッサムの魔法は……。 取るべき作戦はひとつしかなかった。 フラックのブレスを防ぐ手段はない。し

呪文を唱えた。 無効化されるかも知れず がタイロッサムに対して、魔法封じ、のアスワンの指示に従って、まずリーファ るんだ。レイランはみんなの傷を癒して 不安だったが、 どうやら効を奏したよう

唱え続けるつもりなのだ。 の呪文を唱え始める。呪文が切れるまで れはわかっていた。休む間もなく、恩恵にはほど遠い有り様だ。レイランにもそ パーティーの凍傷はかなりひどく、全快 続いてレイランが『恩恵』を唱えたが、

目配せし合ったアスワンとドゥガンは、

クロスボウで援護射撃をしている。 ションを発揮した。もちろんバペットも、 振り下ろす。 ふたりは絶妙のコンビネー を突いてアスワンがファイアーソードを のダメージを与えることができるはずだ。 をもってすれば、一発でも当たれば相当 ルドを支払ったファイアーソードの威力 トさせるのは難しい。だが、大枚一万ゴー フラックに斬りかかった。 ドゥガンがフェイントをかけ、その階 フラックは守備力も高く、攻撃をヒッ

いえど、リーファの"核撃"で生命力をされていたのだった。いかにフラックと 削られていた上に、手練れの戦士ふたり ンとドゥガンの命懸けの攻撃の前に、倒 果が消えたころには、フラックはアスワ の魔法を封じられたタイロッサムは何もで に集中攻撃されては、致し方ないところ きずにいた。ようやく『魔法封じ』の効 フラックが攻撃を受けている間、 得意

サム。だが、その前に、ふたたびリーファ り直して新たに呪文を唱え始めるタイロッ 「まさかフラックが……」 驚きの表情を露わにしつつも、気を取

「リーファ。タイロッサムの魔法を封じ の周囲に呪文遮断の壁が築かれる。 の『魔法封じ』が飛んだ。タイロッサム 「ちっ。かくなる上は」

ろう。しかし、 番厄介な魔法使いを片づけるつもりなのだ の杖でリーファに殴りかかって来た。一 魔法攻撃を諦めたタイロッサムは、両手

「そうは行かないぜ」 アスワンが素早く回りこみ、 タイロッ

サムの前に立ちはだかった。ドゥガンも 歩遅れてあとに続く。

五対一の闘いが始まった。

なかった。 ワンとドゥガンの守備力は、並大抵では いことには、どうしようもない。 いるタイロッサムだが、攻撃が命中しな と『祈願』の魔法がかかっているアス 優れた防具に身を包んだ上に、一大いなる盾 強力な魔法による攻撃以外にも、催眠 麻痺とさまざまな攻撃能力を持って

てしまう。 ても、たちまちレイランが魔法で治癒し かを行動不能に陥らせることができたとし よしんば前衛で闘う戦士ふたりのどちら

こうなっては、勝負の行方は見えていた。

「うぐっ……」

攣を繰り返したのち、動かなくなる。 はばったりと倒れ伏した。ひくひくと痙 「やったぜ」 苦しげな呻き声を発し、タイロッサム

を握り合った。バペットも駆けて来て、ふ たりの手を握る。 アスワンとドゥガンは、がっしりと手

の喜びに酔い痴れていた。ところが……。 ムを果たしたのである。三人とも、心から 見事、悲願の目的――打倒タイロッサ リーファとレイランは違った。

サムの死体にまろび寄る。

しなかった。フードを脱ぎ捨て、タイロッ

ふたりはアスワンたちの方など見向きも

漏れたのは、その次の瞬間だった。 「お父様……」 リーファの口から信じられない言葉が

と、確かにリーファはそう言ったので

!?

とレイランの姿が目にはいった。 ロッサムの死体に縋りついているリーファ て声の聞こえてきた方向を見ると、 タイ アスワンの背筋に戦慄が走った。慌て

「お父様、どうしてこんなことを……。う

みに震えている。

嗚咽するリーファ。レイランの肩も小刻

サムが父親なのか?」 「リ、リーファ。本当に、本当にタイロッ

たけど、タイロッサムはあたしたちの父 「ええ、そうよ。今まで隠していて悪かっ たちの方に涙に濡れた顔を向けて答えた。 アスワンが言うと、リーファはアスワン

を言っているようには見えなかった。 ······ その表情は真剣そのもので、嘘や冗談

アスワンは無言でリーファの顔を見つ

言いたいことは山ほどあるのだが、言

そしてバペット。三人とも、 頭のなかは 混乱の極みに達していた。 呆然と立ち尽くすアスワン、ドゥガン、

たちの父親だったなんて……。 イロッサムが、こともあろうにリーファ アイラスを裏切った邪悪な魔法使いタ まさに意外な事実なのであった。

1 1

ち上がった。 ややあって、リーファとレイランは立

まだショックから抜け出せない三人に向

主張したリーファとレイランの気持ちが、

かって、ぽつりぽつりと話し始める。 ふたりの話によると一

を置いていた。その父の信じられない裏 で育てられた姉弟は、父親に全幅の信頼 くしがたいショックを受けた。 スの呪いの穴』 に身を潜めて魔物を召喚 し始めたと知ったとき、 姉弟は筆舌に尽 幼いころに母親を亡くし、男手ひとつ 一年前、父タイロッサムが『ダバルプ

迫……。夜も眠れない毎日が続く。 周囲の人々からの中傷、 嫌がらせ、 傷ついた心に追い討ちをかけるように、 相談した末、ふたりは家を出ることに

として働き、弟のレイランはヘカント寺 た。(リーファに至っては、魔法使いで 身元を明らかにするような愚は犯さなかっ 院〉で僧侶の修行。もちろん自分たちの あることもひた隠しにしていた) 姉のリーファは〈グスタフ亭〉で女給

と思っていた。しかし、いつまで経って たから、いずれは父タイロッサムが倒さ もタイロッサムが倒されたという話は聞 れ、リルガミンに平和が戻ってくるもの 穴』に送りこまれていることは知ってい こえてこない。それどころか、 《旧王宮の地下に身を潜め、王国に害を 王宮の討伐隊が『ダバルプスの呪いの

父を捜し出し、そして……。 伐せし者には、名誉と褒美を与える》 たりは決心をした。 ― なす不届きなる反逆者タイロッサムを討 アイラスのお触れを目にした途端、ふ ―自分たちの手で

は、まさに渡りに舟だったのである。 そんなふたりにとってバペットの誘い

諭すように言う。

「そうだったのか……」 タイロッサム討伐の旅に出ると強硬に アスワンは頷いた

> られない心境だったのだろう。 たりで行くつもりでした」 痛いほどわかった。あのときリーファは、 「もし仲間が見つからなければ、弟とふ とまで言い切った。いても立っても

アスワンたちも、やり切れない気持ち

リルガミンの英雄に……。 報奨が待っている。 そしてパーティーは ルガミンの街に戻れば、女王アイラスの 打倒タイロッサムの目的は果たした。リ

リーファとレイランの胸の裡を考えると、 父親を殺してしまったのだ。父親を失った パーティーだが、理由はともあれ、仲間の 素直に喜べるわけがなかったのである。 (しかし……) それを楽しみに、今まで頑張ってきた

らせることができるのだ。 つ手がないわけではない。〈カント寺院〉 ″蘇生』を使うなりすれば、今なら生き返 に依頼するなり、僧侶魔法の『生命』や 「レイラン。タイロッサムを助けようじゃ タイロッサムは死んでしまったが、打 アスワンは思った。

ないか。きみならできるはずだ」 アスワンが言うと、

たら、一発で殺られてしまいますよ」れど、もし先に〝魔法封じ〟を唱えられれど、もし先に〝魔法封じ〟を唱えられがあったからよかったけ 「父の魔法の恐ろしさは、 ぼくたちが 、番よく知っています。 さっきは姉の タイロッサムの死体を横目で見ながら レイランは驚きの表情を見せた。

と聞いている。そんな男が、なぜ急に女 めるまで、献身的に女王様に仕えていた ムは ″ダバルプスの呪いの穴』 に身を潜 れは信じていない。それに、タイロッサ みたちのお父さんが悪人だったなんて、お 「そんなことはわかっている。でも、き

> あると思うんだ。それを知りたいとは思 王様を裏切ったのか。 きっと何か理由が

アスワンが言うと、

イロッサム背信の謎が解けるってわけだ な。そいつはいい考えだ」 「なるほど。生き返らせて話を聞けば、タ

「そうだよ、レイラン。生き返らそうぜ」 バペットも言う。 ドゥガンは嬉しそうに頷いた。

「だ、だけど……」

も戸惑いが見える。 うに姉の顔を見つめた。 リーファの顔に レイランは口ごもり、救いを求めるよ

「少し考えさせてください」

リーファは言った。

ちには聞こえない。 し合い始めた。小声なので、アスワンた アスワンが頷くと、ふたりは何やら話

しばらくのち、リーファが代表して口

ちだって父を信じてる。 父が女王様を裏 切るなんて、何か深い理由があったに違 いないわ。話を聞けば、きっと」 「確かにみんなの言う通りね。 あたした

とレイランを見る。

『蘇生』の二種がある。『蘇生』の方がよる。と、死者を甦らせる魔法には、『生命』と せることができる。 り強力な呪文で、 灰になった死体も甦ら

という保証はない。成功確率は、術者の 信仰心と被術者の生命力に大きく左右され といっても、どちらも確実に成功する

にもう一度失敗すると、死体は消失して しまい、どのような手段を用いても、二度 魔法が失敗すると死体は灰になり、さら

女王の受

はなかった。 と生き返らせることはできなくなる。ヘカ が、それは魔法が失敗したあとでも遅く ント寺院〉に蘇生を依頼する方が安全だ つこの いっとし 学派 の呪文レイランが唱えたのは 学派 の呪文

レイランには、『蘇生』を唱える魔力は残だった。先の戦闘で、恩恵』を連発した されていなかったのだ。 表情で、じっと死体を見やっている。 うな目で死体を見つめた。 皆、 心配げな 呪文を唱え終えたレイランは、祈るよ

タイロッサムの指がピクピクと痙攣し

のようだった。 アスワンとドゥガン。だが、それは杞憂 りと立ち上がった。 法が功を奏したのである。 「う、うつ……」 という呻き声が口から漏れる。 タイロッサムは首を振りつつ、ゆっく 万一の場合に備えて剣の柄を握り締める

「リ、リーファ! レイランも!」 「ど、どうしてここに……?」 立ち上がったタイロッサムは、 と驚いたような声を上げた。

たんです?」 顔を交互に見る。 「そ、そうか。わしを倒したのは、おま 「お父様。いったい何があったんですり リーファが震える声で言うと、 なぜ女王様を悲しませるようなことをし

えたちだったのか……」 の表情は、なぜか嬉しそうだ。 「この人たちが、おまえたちの仲間か」 タイロッサムは感慨深げに頷いた。そ

顔を見つめた。 タイロッサムは言い、アスワンたちの

情があるのだ。 信じられない。-フが邪悪な魔法使いだなんて、とうてい 澄んだ瞳。柔らかい表情。この老エル -やはり何か、深い事

信じられないというように、ふたりの

「タイロッサムさん」 すいと一歩前に歩み出たアスワンが、

をお聞かせください」 と言うと、

「もういいでしょう。あなたの真の目的

もするようにアスワンを見つめていたが、 やがて、 タイロッサムは頷いた。まるで品定めで

語り始めた。 「わかった。今こそ、すべてを話そう」 タイロッサムは言い、恐るべき真実を

ほかに方法がなかったのじゃ」 野望を阻止するためには、こうするより だと思っておる。しかし、ソークス様の けではない。いや、今でも忠臣のひとり 「わしとて、好んで女王様を裏切ったわ

「ソークス様の野望?」

ムは答える。 聞きとがめたアスワンに、タイロッサ

はない。邪悪なる者に魂を売った魔女な の魔女の仕業……」 ルガミンの街を襲った災禍はすべて、あ のじゃ。アイラス様の即位の日以来、リ 「そうじゃ。あのお方は、もはや人間で

ス、しかしそれだけでは満足せず、『ダバ た。ほかの仲間も呆然と突っ立っている。 スワンは呆然とタイロッサムの顔を見つめ リルガミンに災禍をもたらしたソーク さらにタイロッサムの話は続いた。 予想もしていなかった話の展開に、ア

えるためである。 ちろん、 リルガミンに壊滅的な打撃を与 造り上げ、魔物どもを召喚し始めた。も ルプスの呪いの穴』の裏に新たなる迷宮を

ソークスの陰謀に気づいたタイロッサ

次号、 いよいよ完結!

アスワンたちの長い冒険の旅も終わるのだ。

を抑える自信はない。 リルガミンの宝珠 タイロッサムの力を持ってしても、それ を潜めた。いざ魔物の侵攻が始まったら、 持ち出し、〃ダバルプスの呪いの穴〃に身 の持つ神秘的な力を使えば、なんとか食 い止めることができるかも知れないと考え ムは、城の宝物庫からリルガミンの宝珠を

裏の迷宮から出てくる気配はない。あと・・・・・・ととに、今のところ魔物どもが は、ソークスに立ち向かえるだけの勇気 と力を持つ冒険者が現われるのを待つだけ

(そうだったのか……) アスワンは心のなかで頷いた。

野望を阻止するため、 そして優秀な冒険 していたのである。 女王の姉ソークスの ガミンを救うため、あえて自分を犠牲に 者を見つけるために……。 たのではなかった。それどころか、リル タイロッサムは女王アイラスを裏切っ

ティーに銀の鍵(昇降機を利用するため の鍵)を手渡してくれたことも、今となっ わかった。わざわざ尼僧に命じて、パー 通テレポーターが設置されていた理由が 避けるための、タイロッサムの親心だっ ては納得できる。すべては、無駄な殺生を これで、迷宮のあちこちに地上への直

「リルガミンの宝珠を無断借用するのも、

アスワンが問うと、

タイロッサムは言った。

さか自分の子どもとはな……」 ば、あるいはソークス様に立ち向かえる できる者が現われたら、その者たちなら 心待ちにしておったのじゃ。しかし、ま かも知れぬ。その日が来るのを、わしは 「もしここまで来て、わしを倒すことが

頼もしげにリーファとレイランの顔を

どうして打ち明けてくれ

なかったのですか……」 リーファはタイロッサムの前に泣き崩

に行ったのに……」 「そうだよ。知っていれば、ぼくも一緒 そう言うレイランの目にも、 涙が溢れ

だった。 踏み入れて以来、絶えて久しかった感情 な想いが胸中を去来しているに違いない。 りに再会したのだ。それぞれ、さまざま りの子どもの肩を抱いた。親子が一年ぶ も、奇妙な安らぎを覚えた。迷宮に足を 「わしは悪い父親じゃ。許してくれ」 その光景を見つめているアスワンたち タイロッサムは深々と頭を下げ、ふた

なに倖せだろう。しかし……。 とは一転、厳しい表情になっていた。家 たちから身を離した。 「で、もちろん行ってくれような?」 しばらくのち、タイロッサムは子ども このまま平穏な生活に戻れたら、どん 一同の顔を見回して言う。 先ほどまで

のですか?」 「その裏の迷宮へは、どうしたら行けるランに関しては、言うまでもなかった。 バペットも頷いている。リーファとレイ アスワンは力強く頷いた。 ドゥガンと

レポーターじゃが、もうひとつは裏の迷設置してある。 ひとつは地上への直行テ の玄室に招き入れた。 宮の入り口へ通じておる」 「この玄室の奥にテレポーターがふたつ タイロッサムは答え、パーティーを奥

つけるのだ。まさか右には行くまいな》 《さあ、左に進むがよい。知恵の泉を見 と大きく書かれている。

> は裏の迷宮の入り口に通じているのじゃ」 の直通テレポーターが設置されていて、左 「いや、そうじゃなくて、知恵の泉の方 「さっきも言ったじゃろう。右には地上へ アスワンが壁を指差すと、タイロッサ あれはどういう意味なんですか?」

確かなのじゃが……」 泉がソークス様と深い関わりがあることは 恵の泉と呼ばれる泉があるらしい。その です。いったい何のことですか?」 わからんのじゃ。裏の迷宮のどこかに、知 「そ、それは……わしにもはっきりとは

「え?だって、あなたが書いたんでし 困惑の表情を浮かべるタイロッサム。

「おそらくソークス様じゃろう」 「では、いったい誰が?」 「いや、わしが書いたのではない」 タイロッサムはきっぱりと答えた。 驚いて問うアスワンに、

戦状じゃろう。 ソークス様らしいやり方 「ここまで辿り着いた冒険者に対する挑「し、しかし、何のために?」

族の時間は終わったのだ。

それと何か関係があるのかしら?」 求めよ》なんて文字が書かれていたけど、 「たぶんな」 「地下一階の玄室に、《知恵の証しを捜し タイロッサムは答え、溜め息をついた。 リーファが言う。

てを駆使し、知恵の泉なるものの正体を 調査をしてきた。自らの持てる文献すべ 以来、タイロッサムは裏の迷宮に関して『ダバルプスの呪いの穴』に身を潜めて タイロッサムは頷いた。

いのだった。 体については、まだまだ解明できていな ていることはわかった。しかし、その実 その結果、知恵の泉が重要な意味を持っ

> こんで、知恵の泉とやらを捜すとするか」 くも左の方に足を踏み出しかけている。 「まあ、待て」 ドゥガンは元気いっぱいに言った。早 仕方ねえなあ。じゃあ、裏の迷宮に乗り

タイロッサムが制した。

ラス様に報告して、お触れを取り消して もらわねば。このままだと、無駄な犠牲 ンの街に戻った方がいいじゃろう。アイ 者が増えることになる」 「とりあえず今日のところは、リルガミ

を落とすことになるだろう。裏の迷宮に旅 立ってくれる冒険者が見つかった時点で、 が、ダバルプスの呪いの穴、に挑み、生命 たと言えるのだ。 ″ダバルプスの呪いの穴』の役目は終わっ れが取り消されない限り、新たな冒険者 なるほど、もっともな話だった。お触

「それに、 リルガミンの宝珠も返してお

た透明な球体を取り出した。 「これがリルガミンの宝珠じゃ」 とアスワンに手渡す。 タイロッサムは言い、懐から石ででき

見つめた。 神秘的な輝きがアスワンの心 受け取ったアスワンは、思わず宝珠を

リルガミンの宝珠を充分に鑑賞(?)し

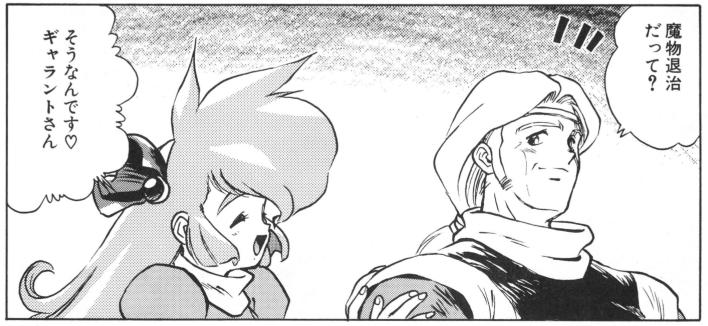
「では、街へ戻ろうか」

利用し、一気に地上に飛ぶ。 アスワンが言うと、皆、大きく頷いた。 玄室の右隅に設置されたテレポーターを

った……。 かわからない、 実感のこもった呟きであ 「空か……。懐かしいな……」 タイロッサムはしみじみと呟いた。 一年近くも暗い迷宮で過ごした者にし

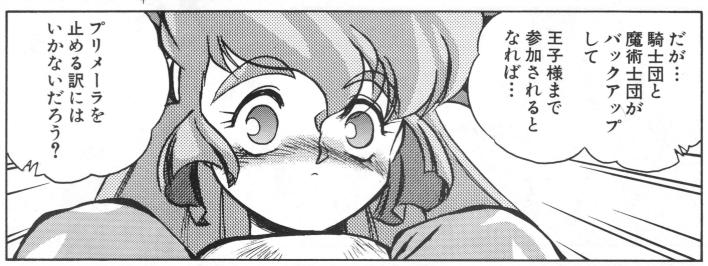
へつづく〉





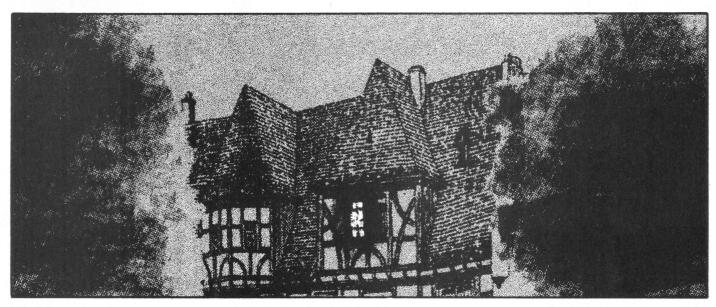










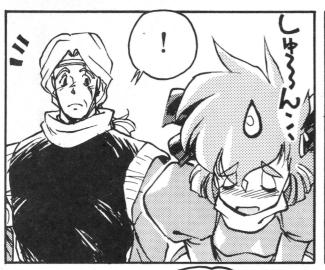




JUNETANA JA







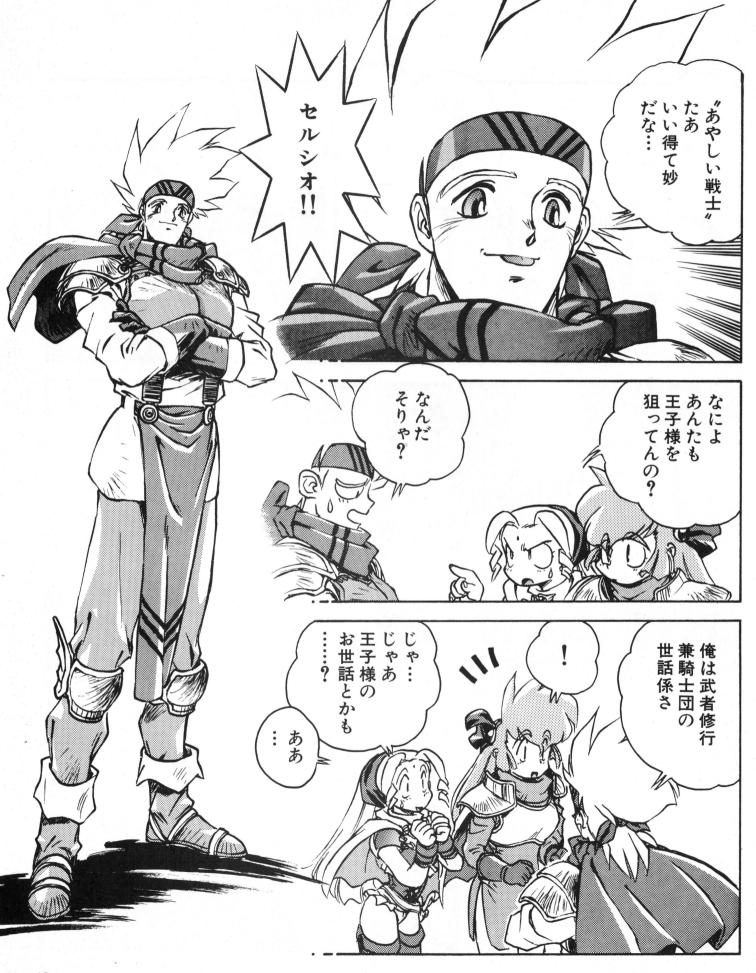


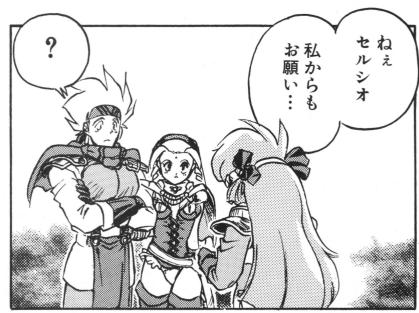














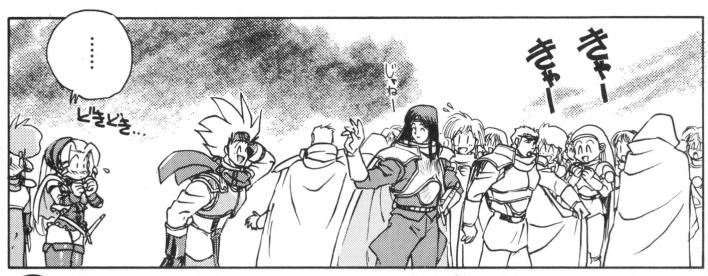


















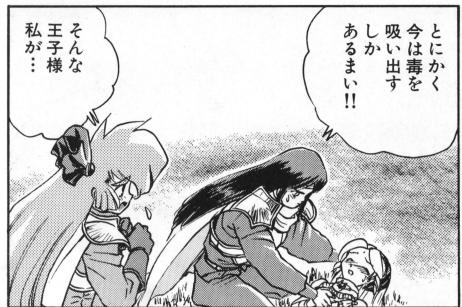








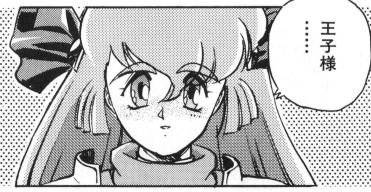














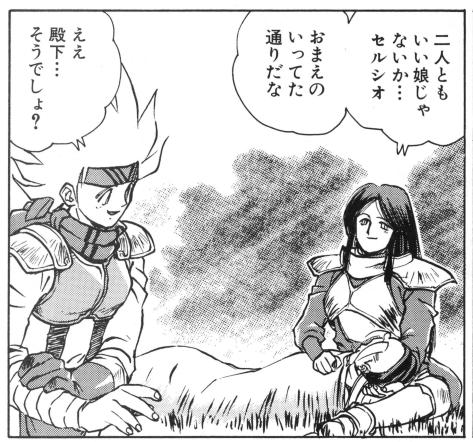














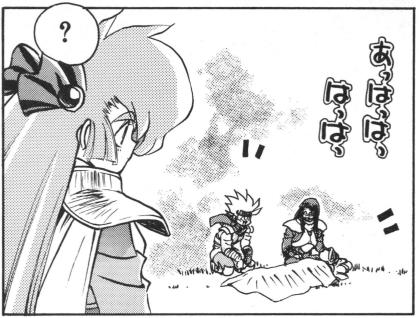




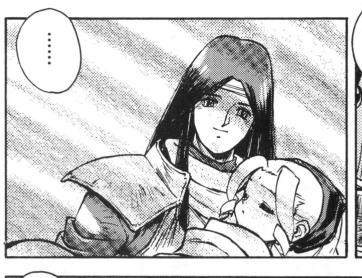


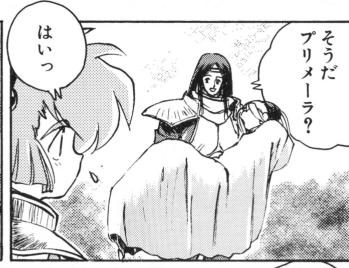






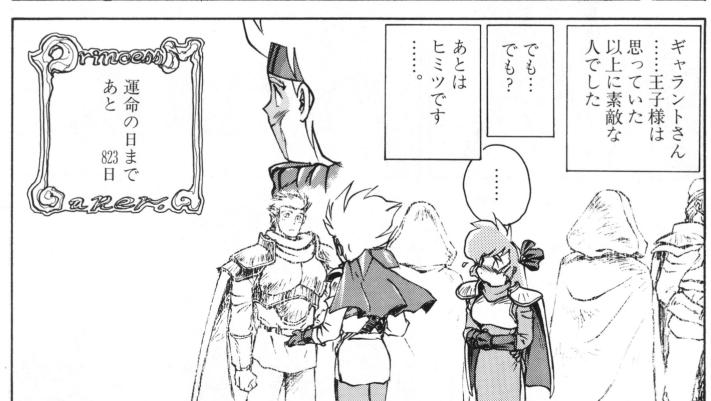












アイテムうんちくエッセ-

★末弥純の

ボルタック商店開店

体力』を自称する友人の魔術戦士 のみやげ物売り場にたくさん売っ は教えてくれた。 てますよ。 フランスへ旅立つ前、 変な甲冑もいろいろあ が魔術は

「剣が欲しいなら、アンバリッド

なお、

こんな白魔術の天使を召

0

彼は立派な国家公務員です)。わ れてしまいましたけど(ちなみに 「滞在中には通いましたよ。剣買っ 帰ったら、日本の税関で没収さ

ス税関は1カ月におよぶストライ は快適にすごせ、 ばヴァチカンの司教の説教は聞け 晴天は当然として、 て守護天使までくっつけてくれた。 この天使は霊験あらたかで、 中で……このご利益の詳細は想 関係にも入れたし、 最後に魔術士は旅の無事を祈っ たい)行けなかったはずの美術 (意味不明ながらナゼかあり おまけにフラン 聖堂を訪ねれ とにかく旅 毎日

> 税関は黙ってちゃあくれないだろ などがそろっています。広大な中 フランスの税関は通っても日本の カピカの剣が。もちろんレプリカ あるある、しょぼいみやげ物の売 けど鋼は本物のソードの群れ、 ?係には目もくれずまっすぐアー レオンの墓所を持つ軍事博物館 をつっきり、 パリのアンバリッド廃兵院はナ 一の展示場に駆けこみました。 甲冑から一次二次大戦の武器 鏡のような刀身をもつピッ ナポレオンと大戦

壁に三列縦隊でたてかけられたナ イトソードって、埃をかぶったス ては卒倒しそうに幸せ。 展示場はというと、山をなす田 一板売り場そっくりでした。 中世大好き人間にとっ 無造作に

てください。 喚したい方は、 かなあ。 :実践マニュアル』などを参照し ご利益は保証つき 朝松健著

像におまかせしま 落下した、しゃれこうべへ石コウ 不慮の事故で その下にいた メイス 不運なことに メイスの勝ち 末弥の仕事場



ひかわ玲子の やさしいフ

ののテーマだ。 でも、安易に光と 闇の物語を書くことはいただけな いぞ。むずかしいことなんだよん。

タジーの王道です。 ましょうね。うん、これぞファン ファンタジー……なんとでも呼び ハイ・ファンタジー、エピック・ 今回は、光と闇のファンタジー

でも、ね。自分でも書いてるか

れないんだけど。 ど難しいテーマ、ってないかもし ないわけです。 これほど使い古されたテーマって おける三角関係、みたいなもので、 闇』、これはトレンディ・ドラマに いけれど、ファンタジーの〝光と ら、あんまりヒトのことは言えな 正直の話、だからこそ、これほ

なんです。 でも、書くだけだったら、

光と闇があって、闇が悪くて

的にはたいして変わりませんね。 的かもしれないけれど、まぁ、原則 てめでたし、めでたし。 後には光を持つ英雄が闇を退治し 心弱くて闇に染まってしまい、最 光は良い。しょーもない人間は ところが、これがこのまま型通 勧善懲悪よりは、も少し、哲学

りに書かれると……これが、ホン

善懲悪の話よりもさらにつまんな

ンは破れました。

山に投じて壊し、闇の帝王サーロ に打ち勝って、ついに指輪を火の 世界の命運をかけ、自分の中の闇

いファンタジーで何を書いていた

ルキンが

*光と闇*の美し

か、そして、わたしがそれの何に

フロド、という指輪の所持者は、

一につまんないんですよね。勧

ぬか、と思ったぞ!) んだったんだ、この8月は! け掛けてほしくないのにぃぃ。な を書くこと以外の負担は出来るだ とも言いますが。(頼むから、小説 さて、でも、ま……今回も行き れるワケです。

の結末でした。 のストーリーではありません。 らこそ、そんなに単純な、光と闇 ポック的作品は、J・R・R・トー た時、もっとも感動したのは、そ もっとも、この偉大な作品はだか ルキンの『指輪物語』でしょう。 わたしがこの物語を読み終わっ なんといっても、その最初のエ

されたいとは思わないでしょ? 当り前の話なんですけれど。 事なくらいに説教臭いお話が生ま 型通りに書いてみると。大概は見 ところが、この光と闇の物語を だって、誰だって、あえて説教

たーい! ま、身から出たサビ、 ン・ひかわです。もお、本当に休み

今日も締切りだ、もう、カンベ

お元気ですか?

何故かって、

ですから、ファンタジー好きの 皆さん、説教、されたいですかっ わたしは、昔っから、 大っ嫌いでした。 お説教っ

ルフたちは去り、人間たちの荒々

ところなんですよね♡ てやっぱり語れないし。オイシい ていうと、実は大好きです。 と闇。のファンタジーが嫌いか、つ で腹が立ってしまうんですよね。 カムカして、ムカムカして、本気 大変でした。読み終わった後にム た時っていうのは、それはそれは ていうのを間違って読んでしまっ の物語の玉砕したストーリー、つ わたしにとっては、この『光と闇 *光と闇〟のファンタジー無くし だって、ファンタジーは、この じゃあ、でも、そのわたしが、光

体、何だったのでしょう?

りました。そこには、 手先が器用で、気難しくて人間に の姿をおぼろげに見ることが出来 たちがいて、明確な差別意識があ い優れた古い文化を持っている。 対しては好戦的だけれども、美し 中つ国にはさまざまな種族の者 なるほど、と思いましたね。 大英帝国

考えてみれば めでたし、では終わっていないの だけれど……その後、 光を司取る者たちは勝利したの めでたし、

の美しかった時代は過ぎ去り、エ 勝者にも傷跡を残します。中つ国 へと去ります。戦いは、敗者にも です。勝者たちも傷つき、西の海 戦いの前と同じ姿には戻らないん 戦いには勝ったけれど、世界は

迫ります。 しい世界へと変貌していく……。 にはあり、それがせつなく、 戦いがもたらす痛みがこの結末 心に

その時にはわかりませんでした だのは、中学生の時だったけれど、 わたしがこの物語を最初に読ん

この痛みが、何なのか。 英帝国の住民……ファンタジーで たのですよね。落日を迎えた大 ールキンが描いた中つ国とは トールキンは、イギリス人だっ

写に、イスラム教徒に対する根深 文を読んだのは最近のことです。 と指摘した、イギリス人自らの論 ジーの系譜の中にあるエルフの描 いコンプレックスの表れがある、 吊り上がった目をした異教の民 イギリスのアダルト・ファンタ

●ひかわ玲子

数々のプロ作家を輩出したワセダミステリクラブ 。レコード会社のプロモーター、 を経て作家となる。冒険ファンタ い手として読者の圧倒的支持をうけている。 作に《女戦士エフェラ&ジリオラ》シリ 《バセット英雄伝エルヴァーズ》(富士見書房刊) シリーズなどがある。

Fantastic Party

おたよりのあて先

チクショー、と思っています。で

わたしはファンタジーを書き

悪ばかりが栄えてしま

こまでもしいたげられるのよね、

はいつの時代も栄えて、弱者はど

ングな出来事以来、やっぱり、悪

8月に起こった、とてもショッキ

ょうか? まぁ、わたしはこの

〒107-24 東京都港区南青山 6-11-1 スリーエフ南青山ビル (株)アスキー ログアウト編集部 ひかわ玲子の『ファンタジックパーティー』係

> 無意識の、そうした考えの偏りが 今のファンタジーの中にも、外国 イスラム教徒に対する露骨な侮蔑 出来なくなることがありました。 国物語』は好きでしたが、あのキリ 人から見たら理解出来ないような スト教的説教臭さが時々、ガマン かもしれません。 トレンディ・ドラマにおける三角 おそらく、日本人が書いている わたしは、ルイスの『ナルニア

タジーにとっては、、光と闇、を うに、そういう意味では、ファン 関係が、恋愛における永遠のテー つの踏み絵でもあります。 どう摑えるか、というのは、ひと マであるがゆえに普遍的であるよ 悪は必ず滅び、善は勝つ……で

すごくよくわかります そこにあるのは、まさしく単純 *光と闇*の物語ではありま

こんなふうに、

出てしまう、というところにある 感じ方、考え方が無意識のうちに ところ、コワいところは、その人 の倫理観や道徳感、世界に対する ンタジーの特徴のもっとも顕著な 光と闇 りわかってしまいます。 のファンタジーでは読者にはっき 取っているか、が、この、光と闇 対して、その人がどういう態度を それはおおげさにしても。現実に ら書いた方が無難では、と。まぁ、

*光と闇〟の安易なファンタジー。 一歩、間違うと、そこにあるのは で今回は

うのでしょうか? 本当に、人間っ そんなにバカな生き物なので

感動したのか。今のわたしには、

さて、そんなワケで、〝光と闇

政治哲学の本の一冊でも読んでか の優しいファンタジーなのですが まあ、書きたい人は、 出来れば PS『エフェラ&ジリオラ』

終わりです。

なんてことは絶対、 早ければ来年の夏ごろまでには 皆さんの前に復活出来るか、と う。でも、なんとかなりそうです リーズ、および『青い髪のシリー クとシリーンのことを見捨てる わたしが洋上で漂ってるユーリッ まだ予断は許されないけど、でも ている皆さんへ。どうもありがと ン』完結編についた心配して下さっ そこんとこ、どうかよろし ありませんか





のビザンテー

前回までのあらすじ

乙女〉との出会いが意味するものは としている。人間と動物の共性関係を 伝説的な存在であった〈地母神・天つ 作り出したメブ制度の真の目的は何か に見える世界を、いま大きく変えよう ふたりの運命的な出会いが、一見平穏 背きひとり旅するビザンティラ。この カイチス。あろうことかルカス皇帝に 荘園の巫女になるため旅をつづける

に滑っていた。 そして地母神の話。緊張が倍加され、カ 持する脂はすでに渦巻く体毛の下からぷ イチスの腰は脂だらけの馬の背中で不安定 つぶつと噴き出している。未知の乗り物 に四苦八苦していた。水を弾き体温を維 二頭の岸辺馬は、慣れない内陸の移動

コールマをそっと盗み見る。 少女は横を行くルクタ・ア・ダント

ひらめかせ、何から話そうか迷っている な瞳を菫の花が風にそよぐように右に左に ゆったりと馬に腰掛ける彼女は、大き

そりゃそうよね

切り出していいのか困っちゃうわよね。 様や皇帝陛下の話をしようなんて。 どう ルクタはまだ黙っていた。 あんまりちぐはぐだもの。 私に地母神

カイチスはごくんと唾を飲み込む。

り、自分の頼りない頭脳がそんなことを れてしまうんじゃないだろうか。それよ いのだろうか。聞いたが最後、耳がつぶ 自分はホントに世界の謎なんか聞いてい

と、カイチスは思う。

湧いてきて。 し手が詰まっていると怖いような気分が さあ、聞くぞ、と覚悟したものの、話

彼女はぎゅっと岸辺馬の鬣を摑んだ。掌受け止められるんだろうか。

にぬるりと脂がつく。 「はつ、はいつ!」 「カイチス」

てやらないと馬が痛がるわ」 気持ちは判るけれど。 もう少し鬣を緩め 危うく馬から転がり落ちるところだった。 「岸辺馬に乗るのは初めてでしょうから、 ルクタが突然声をかけたので、 少女は

の首を撫でた。 「あっ、すっすみません」 地母神は白くて細い手で優しく自分の馬

卵っ? 仔じゃなくて卵?」 いたわってやらないと」 「そうなんですか。卵を。……えっ! 「季節柄、岸辺馬は卵を持っていますわ。

ながらみっともない格好で馬に抱きついた。 驚いたカイチスは身体の均衡を崩し、我

ともせず真面目な顔をして、 笑を返してくるはずのルクタは、にこり しかし、いままでならふわりとした微

殖種と呼ばれる生き物なのよ」 とそっくり同じなのです。卵生の単性生 の巻き方、耳の立ち方、尾の長さまで親 ずに。だから卵から生まれた仔馬は、手 に卵を産みつけるのです。 雄の力を借り 「らんせい、で、たんせい、の、せいしょ 「岸辺馬は年に一度、海にもぐり、海草 と、嚙んで含めるように言った。

を始めている。 〈天つ乙女〉 ルクタは、 すでに重要な話 と、カイチスはやっと気がついた。

ルクタは、真珠飾りをした髪を指です

村のメブ、大鶏冠や豆鶏の雌は、人間に村のメブ、大鶏冠や豆鶏の雌は、人間に物禽の村のことに譬えましょう。家禽の家禽の村のことに譬えましょう。家禽のしたわね。だったら、同じ鳥のメブを持つしたわね。だったら 鶏卵という日々の糧を与えるでしょう?」 るりと梳く。 「例えば……あなたは小鳥の村の出身で

> とあります。岸辺馬ってその仲間なんで なくても毎日鶏卵を産むって、聞いたこ

単位の感覚ですから、ぴんと来ないかも なさい。新しいと言っても私たちは千年 が必要なの。 新しい生き物のほとんどは はなりませんわ。やはり子供を残すには雄 残念ね、と言いたげに小首を傾げる。 うやら独り合点だったようだ。ルクタは、 の馬は自力で子孫を、いいかえれば、分 しれませんわね。でも岸辺馬は違う。こ 雄と雌の区別があって……あら、ごめん 「人が食べる鶏卵はいくら温めても雛に カイチスはちょっと得意だったが、ど

「あの……どう違うんですか」

期になると母細胞の外に出る……」 いのよ。その子供は娘細胞と呼ばれ、いのよ。その子供は娘細胞と呼ばれ、 の。まるで二重丸のように見えてかわい の中にもう一つの自分を作ることができる でしょう。丸い形をしたその藻は、自分 種で単性生殖の実際を見ることができる 歩的な質問を嫌がることなく丁寧に語る。 目を持っていたなら、小川に漂う藻の一 「もしもあなたが極微のものを見られる 少女が遠慮がちに訊くと、ルクタは初

とく夜の中でいたずらっぽく輝く。 言う言葉が少女をどんなに驚かすかを想像 クタは話し方を変えた。 自分がこれから たと言ったら……信じて?」 「ええっ!」 し、 紫の瞳が一番乗りをした宵の星のご 「ねえカイチス。人は昔、女ばっかりだっ カイチスが生返事をするのを聞いて、ル

「あ、そうか。その鶏たち、雄なんかい

身を産むことができるのです」 田舎育ちの娘は、眉間に深い皺を寄せた。

「はあ」

迷惑そうにいなないた。 「いなかったわ。世界は単性生殖をする 「お、男の人は?」 耳元で叫ばれた岸辺馬が足並みを乱し、

を当てた。 女たちが支えていましたの。それが」 「それが、私たち〈天つ乙女〉」 と、ルクタはふくよかな胸に自分の手

信じなくっちゃいけないんでしょうね」 チスはすっかり気圧されてしまった。 そのもの、母なるものの美の結晶。カイ を湛えている。その神々しい姿は〈女性〉 らされて仄かに青白く輝き、神代の美しさ 「ありがとう」 「あなたがそうおっしゃるんなら、し…… 〈地母神・天つ乙女〉の顔は月明かりに照

ルクタは優雅に目を細めた。

夜気に何かがあるのだ。 ち着かなげに脚を踏み替える。 と顔を上げた。耳を立て、鼻孔を開き、落 躰をこわばらせるカイチスに、なんだろう。 その時。二頭の岸辺馬が揃って、くい、 行く手の

るには腰のあたりまで濡れてしまうけど、 は優しく声をかけた。 「川ですわ。コルベス川の水音。川を渡 ルクタ

著者近況



める前から、この部 し編です。連載を始 今回は怒涛の種明か 菅 浩江(すがひろえ)

ろーな。次号からは怒涛の展開編だ! た号にブチ当たったのも何かの運命だ 悩んできました。特集を組んでもらっ 分をどう書けばうまく伝えられるかと



ひいて死にそうにな 今回、悪質なカゼを 斉藤友子(さいとうともこ)

アウトが〇刊に追い込まれちゃったり 紙まで! あぁ、私の絵のせいでログ 特集のカラーイラストもあったし、表 したらどうしよう……ぱらのいあ。 りながらやりました。

「一人でする」は馬の耳に唇を寄せ、またく天つ乙女〉は馬の耳に唇を寄せ、またよ。乗り心地に期待してね」

早まる。

小さく吐息を漏らした。 元気づいた馬とは反対に、カイチスは川を渡るですってぇ。

世はなべて美しい。――太古、世界は女性のものだった。

世雄のない時代ゆえ、種を作るための に根や茎に作った子株を運んでもらおう に根や茎に作った子株を運んでもらおう と、蕊を持たない花弁を美しくひらめか と、蕊を持たない花弁を美しくひらめか と、芯を持たない花弁を美しくひらめか とがることはあっても、生殖の闘いのた かの命懸けで鳴くことはない。

いた。彼女たちは楽園のような生活を営んで

人間の女たちは現在よりもずっと加齢 が遅く、長い青春の時を過ごしていた。華が遅く、長い青春の時を過ごしていた。華が遅く、長い青春の時を過ごしていた。華が遅くが風に揺らぎ、裳裾は細い足首に

畑を耕したり狩りをしているのはもっぱけ持つのは経験を積んだ女たちであった。糸を紡ぎ、機を織る者の腹は、たいてい大きく迫り出している。彼女たちの胎内い大きく迫り出している。彼女たちの胎内い大きく迫り出してがる。彼女たちの胎内い大きく迫り出してがる。彼女たちの胎内の対象では、自分の分身である娘が丸くなっていた。

明確にするため、自分の血筋を名前の後女ばかりの社会は、やがて個人の区別を妹はよくできた複製のようにさえ見える。妹はよくできた複製のようにさえ見える。娘は一つた女たちは確実に数を増した。娘は通った女たちは確実に数を増した。娘は通った女だちは確実に数を増した。娘は

るに連ねて呼ぶようになった……。 永遠に続くかに思われた平穏の時間に狂いが生じたのは、年に一度、太陽と二つの月がぴったり重なる〈闇の日〉、つまりでなきでき、大陽と二つの月がぴったという。

ある一人の娘が熱病に罹った。
が妹が看病にあたることになった。
が妹が看病にあたることになった。

て手厚く看護した。 老格の煎じた薬を飲ませ、 躰を拭き清めてもおかしくない。 黒髪の隣人たちは長

まうのだ。
長老は疫病の蔓延を覚悟していた。単長老は疫病の蔓延を覚悟していること
性生殖の弱みは、形質が似すぎていること

細な相違はある。 だが髪の色が違うように、 体調にも微

平気な者もいた。 平気な者もいた。 平気な者もいた。

長老は被害が少ないことを知ってほった機もないだろう、と。

族が帰ってくる頃には全快した。最初に病気になった茶色の髪の娘は、家

たいへんな変調に気がつかないでいた。

へた。 それが世界を震憾させる疫病の兆しだった。 それが世界を震憾させる疫病の兆しだった。

議な赤子を産み落とした。病に冒された女たちは、次々に不可思

である。

人に似ていたり。 あったり、顔つきがどことなく仲間の一あったり、顔つきがどことなく仲間の一

うであった。 者の特徴を母なる胎内に盗み込んだかのよ

ば、花綱の吊り橋を渡るよりも玉石混淆ない。人の命というものを大きく捉えれ そっくり同じ娘は、確かに母の良いとこ 良いところばかりを継承できるわけではな 当惑もしました。けれど、私たちに与え の地面を歩く利点のほうが大きいのです」 ても異なる血を持つその姉妹には累が及ば かったけれど、一人がある病で亡くなっ たび死病にかかると、同じ躰を持つ一族 ろを余すことなく受け継ぐけれど、ひと で子孫を残すという事は、大きな賭けを たらす幸福を教えてくれたのです。 純血 られた長い時間は、徐々にその疫病がも え、別の女にも似た子供を育てることに の。自分の面影も色濃く残しているとはい れた病原体により性質を混合された者は、 全部が死んでしまう。〈闇の日〉と共に訪 しているようなものだった……。 自分と 「女たちは未知に対する恐怖と戦いました たっぷりした美声で告げているのは、エ

妹のルクタと時同じくして、彼女はビ妹のルクタと時同じくして、彼女はビ

蛇が絡み合ったかのごとき複雑な湿原の生い茂った湿原を進んでいる。 何匹ものは、ベリアのながのから舟を拝借して水草のは、ベリアのながのである。 二人、正確には一人と一羽と一つの影、

小川を、舟は速い速度で南に下っていた。小川を、舟は速い速度で南に下っていた。になるしたことをエオタから聞いて焦ってドと会したことをエオタから聞いて焦っていた。舳先に纏いついた漢を太刀で斬る手さばきからも、彼女の焦燥が見て取れる。ばきからも、彼女の焦燥が見て取れる。ばきからも、彼女の焦燥が見て取れる。ど危険な人物であるか、知り抜いているのであった。

する。 ディエルが、 黄金の翼を傾けて右に旋回 ディエルが、 黄金の翼を傾けて右に旋回 する。

「また分岐か」

いさく舌打ちをしてビザンティラは竿小さく舌打ちをしてビザンティラは竿を左に持ち替えた。まるで迷路だ。おまをたに持ち替えた。まるで迷路だ。おま

だったか……」

地母神の影がにこりと笑う。ちう少しで湿原も抜けましょう」ら。もう少しで湿原も抜けましょう」「お歩きになるよりはずんと早いですかエオタは静かな口調で言う。

いだろうか。

ふっと肩の力を抜いた。 ら流れ来る清浄な苔の香りを吸い込んで、 女武人は〈地母神・天つ乙女〉の幻影か

さい」 見せしました。どうかお話を続けてくだ「すみません。みっともないところをお

みながら話を逸らせた。
くれというものが首をもたげたのか、笑れとも、女が女たる特徴の一つである気まれとも、女が女たる特徴の一つである気ま

「あなたにこんなお話は退屈だと思って



ご存じかと」 いましたわ。私たちのことなど、もう粗方 今度はビザンティラが苦笑する番だっ

世の中心であり、万物の父であると。その 思っていた」 頃は地母神に祈ったこともなければ〈天 制度が作り上げた教育だった。 皇帝こそ つ乙女〉の存在など他愛のない伝説だと 「いいえ、何も。私が受けてきたのは皇帝

は誰かが作った嘘、ね」 「地母神は単なる豊穣の神、

「そう、です」

ビザンティラは恥ずかしそうに頭を垂

女〉の実在を信じなかったし、そのベリ と。私はベリアを目にするまで〈天つ乙 うあなたがたの一族に助けられてからのこ れ、ベリア・サ・キルテ・コールマとい たのは、我が身が忌まわしいメブに侵さ「教えられたこと全てが捏造であると知っ アですら、あなたに会うまで、純血の〈天 つ乙女〉は死に絶えたと信じていた。 だ

眼差しを向けた。 武人は再び顎を上げ、エオタに懇願の

·話を聞いて真実に光を当てる。 それが私 じてしまった本当の過去を。あなたのお 弄する皇帝を倒す私の……」 の務めなのだから。 全てにおいて曲論を 「どうか話してください。 皇帝制度が封 波打つ黒髪の間で漆黒の瞳が強い光を湛

かくて女たちの間で特徴の混合が進んで

くなった母や祖母の系譜を詳らかにするたが、しだいに、一目では判断がつかな 当初は見分けをつけるための血族名だっ

のである。

〈天つ乙女〉

を喜んでいるようだった。 ゆったりと頷くエオタは、その激しさ

及ぼしているらしかった。

そのまま受け継いでいた。背が伸び手足 の一部。まさに分身である。 が長くなるのと同じように、 胎児は自分 疫病の病原体はその重要な螺旋に影響を いままでの子供は、自分の中の螺旋を

体とは別の、自由に移動できる螺旋の破 る酵素にとりつく。病を得たそれは、本 病原体は躰の中の螺旋をほどく役割をす 希薄になるのでは、と不安に陥っていた 色の容色に分かれて血族の心の繋がりまで なるものであった。彼女たちは、十人十 名は女系家族にとってただ一つ拠り所と 役目に変わっていく。またその長々しい

うとした。 たちは、懸命に子孫の変化をつきとめよ 変わる。探知者、と呼ばれる頭のいい女 無知は不安を生み、不安は恐怖にすり

ちの長所であった。 く子供の相手ができるのも、全て彼女た れるのも、なかなか成長せず毎日泣き喚 晩ときちょうめんに食事の仕度を続けら においても持久力に優れている。 大きな 織物を仕上げることができるのも、 朝昼 もともと長命である彼女たちは、何事

や農業に役立てた。疫病以前も、躰の中 りまく自然を事細かに調べ上げて気象予知 に目を向けて病を知り、 薬草を調合して 探知者は長老を補佐し、自分たちをと

変化をつきとめる日がやってきた。 ついに、その頭脳が疫病による子孫の

探知者は長老に報告する。

伝える小さな二つの螺旋がある、と。 八間の躰の中には、それぞれの特徴を 血の

て肉や骨を殖やすことであった。 をほどき、それぞれ新しい一対を生成し 『、唾の一飛沫にまで配されている。螺旋は肉片の一つ一つにあり、血の 人の成長とは、 その小さな螺旋が絡み

身にとり込まれ、 病人の躰を出て仲間に 片を生んでしまうのだ。 破片は病原体自

もちろん拳を握って浮遊する胎児も、 明な脳を作り上げた。その螺旋の中に隣 早さで分裂を繰り返し、小さな指を、聡 長を続ける。 螺旋は信じられないほどの んだ。子供は温かく柔らかな暗闇の中で成 きさもない頃の赤子の素にするりと滑り込 ろした病原体は、胎に入ると、粟粒の大 人の特徴が塡め込まれているなど、親も、 他人の螺旋を抱いたまま新開地に根を下

供に複写されてしまうのではないか――。 体のこうした伝達のしくみで近しい者の子 螺旋の破片、つまり他人の特徴は、病原 太古における遺伝学の夜明けであった。 これが探知者たちの語った見解である。

うに泳いでいる。 川の流れは穏やかで、岸辺馬は滑るよ

る浮島村はコルベス・コルギス両川の分 明かりは、すでに遥か後方に消えていた。 岐点が作り出す三角州にあるらしい。 と ルクタの説明では、商人たちが幅を利かせ であるコル川に入っているのだろう。 いうことは、 もうすでに二つの川の源流 ルクタは馬を川に乗り入れる時「少し 先ほどまで左手に見えていた浮島村の

選んでいた。 れに逆らっていったん北へ戻る逃げ方を ようにするのが得策である。 〈天つ乙女〉 の目的地は南の海辺だったが、 には、川の中を移動して匂いを残さない 遠回りをしましょう」と言っていた。 バルギアードと背鬼犬ピルビスを巻く 彼女は流

難な種類のものだった。 〈天つ乙女〉の話は水の中で聞くには困

前方からの流れの圧に下半身を洗われて いると、ついつい耳がお留守になる。ま 水中に半ば沈んだ岸辺馬の背に乗って

おさら頭に入ってこない。 して内容が込み入っているのだけに、

な

の助けになるのなら、と。 判りたい。 理解することがビザンティラ ルクタが語るもの、そのたとえ一部分でも 私って、なんてバカなんだろ。 カイチスはそれでも努力を試みている。

いて慰めてくれた。 さなため息を吐く。 ままならないアタマを嘆き、少女が小

「カイチス。あなたに私の話をみな理解 ルクタはそれに気づ

の時どうして彼女がそういう動きをするの まかなことを摑んで欲しいだけ。おそら し始めるでしょう。あなたにはただ、そ してもらおうなんて考えていませんわ。大 カイチスは弱々しく頷く。、を判っていて欲しいのです」 ビザンティラはこれから行動を起こ

それを見届けてからルクタは容赦なく続

たちは、病原体を人が役立てられるよう 「やがて、螺旋の謎をつきとめた探知者

さない。もしも、そのようなそれぞれの素 ある一族はゲイズの実を食べてもお腹を壊 にしました。女たちのうち、 に入ってもかぶれない肌を持っているし、 晴らしい特質をわざと病原体に取らせて、 せることができるのなら……」 新たに生まれる子供にその螺旋を引き継が ある者は山

手の人差し指を立ててぶつぶつ呟いていた カイチスは言葉を反芻しているのか、右

「それってもしかして、ビザンティラそっ

のビザンティラ

け?すごい!」 くりの娘なんかも産めちゃったりするわ

たちの凄さが理解できたのだ。 あてはめてみて、カイチスはやっと彼女 顔が急に明るくなる。具体的なものを

ずっと小さいビザンティラと一緒だわ。あ りの娘を夢見てきらきらするのをしばらく あ、大事に育てるのに!」 ことができればいいのにな。そうすれば、 「すごいすごいっ。わあ、私にもそんな 地母神は、「榛色の瞳が愛しい人そっく

「でも残念ながらカイチスの躰には無理

顔をした。 雲の上から地獄の岩山へ落とされたような はしゃいでいた少女は、まるで天国の

かできないんですよね」 「そうなんですか……やっぱり神様にし 面白いくらいにがっくり肩が落ちる。

を楽しんでいるようだった。 ルクタは、くるくる変わる少女の反応

ちが、さらに薬物の力を借りる。そうす ろですわ。そんな様々な能力を持つ私た す。けれどあなたには」 れば思いのままの子供を産むことができま 神と呼ぶ理由は、きっとそのようなとこ ものでしょう。現代の人たちが私たちを 能力はあなたたちにとって予言に等しい 方法も知っているし、 遥かな場所を見る 覚を持っていますわ。心を肉体から離す 「私たちは、現在の人間よりも鋭敏な感

けですから」 「いいんです。ちょっと想像してみただ カイチスは、あはは、と力なく笑った。

たのかなら教えてあげられるわ」 けれど、どうやって人の特徴を読み取っ 「産み分けの方法は授けてあげられない ルクタは、つい、と前方に顔を向ける。

「え、えっと……」

と、その時、岸辺馬の動きが変わった。

が川底を踏んだのである。 に寄っていて、今まで水を掻いていた脚 二頭の巻毛の馬は、いつの間にか川岸 躰が現われ、脚が出ると、獣の全身か

た。 背中のお荷物が邪魔で身震いもでき ら体脂にはじかれた水滴がころころと落ち

すぐ見せてあげられてよ」 みんなは石塔群と呼んでいますわ。もう ず、気持ち悪そうな顔をしている。 いる動物を優しく撫でながら言った。 「私たちの時代の遺跡が残っていますの。 〈天つ乙女〉 は自分たちを乗せてくれて

らかな渦を作る。 ようにふっくらと膨らみ、風が吹くと柔 抜けた。水鳥の羽毛に似た体毛はもとの 岸辺馬の躰は数分も歩かぬうちに水気が

夜明けがやって来たのである。 その風の色が変わっていた。

くごとく女神の躰を飾った。 の霜のように輝き、裳裾は朝雲がたなび を見せる。隣りを進むルクタの髪が白銀 川向こうの空がまんじりと明るさを増 空は藍色から薄水色へ軽やかな変貌

ばゆい光の珠になる頃。ルクタの白い腕 うだった太陽が力を増し、鬱金色からま るで夢幻の国の波のような色合いだった。 染まり、幾重にも重なった山並みは、ま る山脈は、一行を包み込むように西から南 地を見つめる。世界の西の端、と言われ がすっと上がり、前方を差した。 に廻り込んでいた。すでに山頂は薔薇色に しだいに輪郭を濃くしていくイズベルド山 「あれが石塔群よ」 やがて、ゆらゆらと歪む朱色の池のよ カイチスは何度も服の裾を絞りながら、

ように、ひっそりと佇んでいた。その石の群れは、時を封じ込めたかの て彼女が指し示すものを探す。 カイチスは目を細くしたり見開いたりし

> している。 片面に朝日を受け、足元に長い影を伸ば かった。産地不明の不思議な石柱たちは、 旅してきたどの地方にもそのような石はな 色。小鳥の村の近辺はもちろん、今まで 背丈の倍ほどの高さがあり、一見無秩序 に立っている。その肌は赤みを帯びた灰 優に百を越える石柱は、おのおの人の

の中に進ませた。 ルクタは岸辺馬に囁きかけ、その遺跡

ない典雅な仕草で跪くと、例の指組みを して歩き、とある柱の根方で足を止めた。 いる間に、彼女は石塔の中を縫うように 〈天つ乙女〉は、この世の者とは思われ カイチスが難渋しながら同じく下馬して ふわりと馬を降りる。

せた祈りの指組みではなかった。 いや、それはかつてビザンティラが見

いでいるように思えた。 められるその仕草は、 何らかの言葉を紡 に動いている。絡み、ほどけ、反り、丸 ルクタの細い指が、 桜色の爪が、 複雑

スはぎょっと立ち竦んだ。 突然、世界が七色の光に溢れ、カイチ

ている。まるで虹を固めて柱にしたよう。 あった。 し、細い線が幾筋も現われているものも 上部から赤の美しい濃淡を描くものもある その光はくらくらと眩暈がするほど。 石塔群が様々な色の縞に塗り分けられ

譜なのです」 白い躰の隅々にまで虹を映したルクタ

「これは私たち太古の女の墓標であり系

りすぎた絵の具のようにとんでもないこと んとした計画の下で行なわないと、交わ第というわけにはまいりませんわ。きち になってしいますもの。この石塔は、女 「躰の特徴を混合するにも、手当たり次

> 浮かび上がった縞模様は、その女の螺旋 たちの持つ特徴を色として記憶できるの。 の形質を表わしているのよ。だから、こ だけ血が濃いのです」 ことあそこ、色の出方が近いものはそれ

カイチスは妙な感心のしかたをした。物

「へええ」

さすがは神様。

あてる。 珍しげに石塔を眺め、手近の一つに掌を 「きゃ」

く変えた。

カイチスの触れた石塔が色を目まぐるし

クタが止める。 「うわ、壊しちゃった」 びっくりして手を引きかけた少女を、

……躰の中の螺旋を読んでいるのですわ」 「私の……?」 「そのままにして。それはあなたの特質を

笑った。 た鳥の村の娘の特質を読み取っていく。 黄、そこから緑へのぼかし。探知者たち 戻していった。広い幅の青、細い三本の が開発した技術が、 メブをもらえなかっ ルクタは口の前で拳を作ってくすくす 石の円筒は、しだいに落ち着きを取り

い健康ですのね」 「カイチス、あなた、びっくりするくら

りえみたいなもんですけど」 「お父様かお母様のどちらかはくせっ毛 「え、あ、はあ、まあ……それだけがと

こをどう見ればそんなことが書いてあるの か、てんで判らない。 で、手足がすらりと長い」 **榛色の瞳は七色の石塔を睨んだが、ど** 「そんなことまで」

の娘もいた。抜けるように白い肌の子も けじゃありませんわ。ここにある柱一つ んな姿をしていたか判りますの。 赤い髪 一つを見ていると、かつての女たちがど 「ええ、判りますのよ。あなたのことだ

ずったでので見聞ことしてしまって音女たちが生きていた証しなのです」 と同じように息をし、悩み、笑っていたいた。このもの言わぬ石塔は、かつて私

と並んでいる気分。 ずっとずっと以前に死んでしまった者

なんだか不思議だわ、とカイチスは思う。これまで自分はかけがえのない「自分」であり、世の中のすべての物や人は「自分を取り巻くもの」であった。けれどもこうして「自分」が色として置き換えらこうして「自分」が色として置き換えられ、石塔の一本として陳列されると、「自分」というものは取り巻いてもらえる「世分」というものは取り巻いてもらえる「世分」というものは取り巻いてもらえる「世の物差しで測れてしまう程度の一要素七色の物差しで測れてしまう程度の一要素でしかないのだと思い知らされる。

たんだ。 えることができる、「モノ」でしかなかっ えることができる、「モノ」でしかなかっ

カイチスは、自分も他人も生者も死者も、区別なく同じように測られたことで、も、区別なく同じように測られたことで、

神ならぬ身の自分は、石塔として記録に 神ならぬ身の自分は、石塔としまえば、残ることもない。自分が死んでしまえば、物言いも、この世から消えてしまうのだ。 りつがどんなふうに感じ、 どれほどあの 女武人を恋しがったかも、 おんな……。 「也せ申录・

になってきました」うちに一生懸命何かをしよう、って気持ち「私、ヘンです。なんだか、生きているのイチスは呟くように口を開いた。

は得たようですから」
「さあ、参りましょう。私がここで教え「さあ、参りましょう。私がここで教えらかい表情で満足げに頷く。

然んだ。 ルクタはまた複雑に指を

遺跡は光を湛えたままだったが、鈍い希/フ

下の闇がすうっと落ちた。

頰に手を当てるカイチスの顔の上に、

地

「私たちの住処へ続く扉を開けているだルクタはカイチスと岸辺馬に言った。「怖がらなくても大丈夫ですわ」地鳴りの轟きが加わる。

「 少女が苔の香りのする女の傍へ寄ると同 少女が苔の香りのする女の傍へ寄ると同けだから。カイチス、こちらへ」

かのようにずるずると動いていた。れは、もう言葉もない。突き立つ石塔の群は、もう言葉もない。突き立つ石塔の群は、もう言葉もない。

直にその穴を下り始める。
(天つ乙女〉が岸辺馬を誘うと、馬は素に下がっていて、石組みの斜路が見えた。ら、大きな穴が現われる。穴は地中を斜めら、大きな穴が現われる。穴は地中を斜めら、大きな穴が現われる。

「さあ」

農乳な录りかがカイトスと可じ。 ごせる地下に足を踏み入れた。

同じ匂い。 るほどの苔の香りだった。〈天つ乙女〉と 濃厚な緑の香がカイチスを包む。 むせ

カイチスは、くん、と鼻を鳴らして考

のお住まいはもう近いわね。かしら。だったら、きっと〈天つ乙女〉かしら。だったら、きっと〈天つ乙女〉

「えっ! 創った?」 墓碑ですのよ」 基碑ですのよ」 「あれは男の色よ。だからぜんぜん別の

沈黙を取り戻した後。

こげ茶色のたくましい翼は、風切り羽一羽の巨大な縞鷹である。 イギの丸い頭に飛来するものがあった。

高をうけな、「まます)日、「見りでに 頑丈な嘴を持っている。 のところが互い違いに黒との縞模様になっ

おかしくはないのだが……。 は鷹の村は、石塔群の西、山地の麓に れても

いま、縞鷹は石塔の上で、彼女たちがを獲物を狙う時の形に細めて。 は上空からじっと見つめていた。鋭い目は上空からじっと見つめていた。鋭い目

翼を開き、村の方へ戻って行った。やがて得心がいったのか、禽は一気に消えた地面を見透かすように眺めている。

女たちはしだいに彼らの重宝さに気づい

要が、生きとし生けるものはみな単性 生殖種であった。子供を孕み、産むもの を女もしくは雌と呼ぶのなら、世は全て をするしては雌と呼ぶのなら、世は全て

たのか。 男性たちはどこから生じならば男は? 男性たちはどこから生じ

……。 ぱく天つ乙女〉が創ったと

には人間に協力してくれないものだ。しかし大いなる自然の力はそうそう簡単

は一見、忌まわしいものであった病を組よりよい子孫を残すようになった。それ

彼女たちは螺旋を運ぶ病原体を使って、

み伏した状態にも思える。

に順応して、新たな命をそれ専門に作りていた。つまり、螺旋を運ぶという役目につれ、病原体もひそやかな変貌を遂げにつれ、病原体もの人為的な取捨選択が複雑になる

替えてしまったのである。

新しい種類の赤子は、自分の腹で孕むこかできたのである。

まして、「月上でであった。 まが孤独の内に生涯を終えていった。 出すことができないのだ。 何人もの男た たちとは異なり、 自分だけでは何も産み たちとは異なり、 自分だけでは何も産み たちとは異なり、 自分だけでは何も産み たちとは異なり、 自分だけでは何も産み たちとは異なり、 自分だけでは何も産み たっことできないのだ。 何人もの男た

獲得していく。 し得ない重労働をこなすために丈夫な躰を ちに獲物を貢ぐため、また彼女たちが為 ちに獲物を貢ぐため、また彼女たちが為

うになるまで、さしたる時間はかからな女たちが男の運ぶ螺旋を受け入れるよど屋根の下で暮らすようになる。いの弱い部分を補う伴侶として認め、同た。そして彼らを変種としてではなく、互

して生を受けても単性生殖の能力はなかっ父親と同じ短命種だった。その上、女としかし、男と交わってもうけた子供はカーだ

のである。

《天つ乙女》たちは悲しみおののいた。そく万つ乙女》たちは悲しみおののいた。そたのである。

自分一人で子供が産めないということ 自分一人で子供が産めないといい子孫の利用法も無駄になり、強く美しい子孫の利用法も無駄になり、強く美しい子孫の利用法も無駄になり、強く美しい子孫の利用法も無駄になり、

とは別の生き物……。 もはやそれは女であっても〈天つ乙女〉

い女の数も増えた。
なたちの危惧をあざ笑うかのように、男女たちの危惧をあざ笑うかのように、男

これが、現在地上にはびこる「人間」の

始まりである。

「すまないな」 足元に、男が一人転がっている。

されて昏倒している旅商人の手に銭を握 らせた。 ビザンティラはそう呟くと、頭を強打

ていたが、すぐにしっかりした黒い土が れた時、ビザンティラは舟を捨てていた。 肥沃地が広がっている。

鬱陶しい湿原を南に抜けると、広大な しばらくは水のついた地面を我慢して歩い 湿原を蛇行していた細い川がついに途切

> 東に遠出をすれば森の恵みも得られた。イ けば最大都市カナンがある。 川は人々の喉を潤し、川を越えて少し行 ズベルド山地に端を発して横断するイジャ た養分が堆積していて作物は良く育つし、 も豊かな場所であった。 北の湿原で朽ち この縹渺たる平地はこの世界でもっと

はなるべくなら人目につかずに素早く抜け をメブとする村であるが、ビザンティラ たくさんの村が存在した。 そのほとんどはおとなしい平原の小動物 住みやすいところには、

ベリアの庵への往路は、さして急いで

足裏を心地好く受け止める。

たいと思っている。 当然のごとく

> まはそうはいかない。カイチスの身が心 り村々を迂回することができた。が、い 配なのである。 いるわけでもなかったので夜陰に乗じた

鳥も、人一倍目立ってしまうことを承知 しているのだった。 そこでビザンティラは遠回りを厭わな しかし彼女は自分の風体も魂の友である

い速い乗り物を得るため、不運な商人を

しい主を見比べた。 地走だ。 ときょとと離れ目を動かして元の主と新 地に転がすはめになったのである。 さすらい人である商人の乗り物は、きょ

> 脚をがに股に開いて疾く駆ける。 蜥蜴を祖先とし背丈はずっと低い。ごつご な動物の一つであるが、その六本の短い のような尻尾を持つ地走は、最も不格好 つした鉄色の皮膚と、ぴくぴく動く青唐黍 ヒカグ 岸辺馬と同じくらいの体軀があるが、

ザンティラは剣で解いた。 獣の所有者を示す尻尾の輪飾りを、 ピ

「ディエル、先に行け」

騒ぎを押さえ切れなかった。悪い予感が 低い声に緊張が漲っている。彼女は胸

オタは怪訝そうに見ていた。 慌ただしく長い髪をまとめる武人を、

も無事あの少女を地下道へ入れたようで に事態が動くわけではありますまいに。妹 の話をお聞きになったからといって、 「そこまでお焦りにならなくても。私ども

れ長の瞳をすうっと細める。 ビザンティラは反論する代わりに、 切

えなかった。が、豊かに実った胸は凶兆 より、自分の予感のほうが正しいとは思 鳴っている。 でせわしく上下し、 心を通じ合う〈天つ乙女〉が言うこと 頭のどこかで警鐘が

「行きましょう」

せるようにすると、獣の首筋をぱしりと を尻の下に敷いて地走に乗った。背に伏 そっけなく言うと、武人は藍色の外套

用に脚を繰り出し始めた。 地走は、かふっ、と奇声を上げると器

の危機を察していたのである。 の濃い神の姉妹よりも敏感に、愛しい者 つ乙女〉の幻影が吐息をつきながら追う。 る美女を、空中にぽっかり浮かんだ〈天 ビザンティラは正しかった。彼女は、血 全力疾走を始めるまで獣の首を叩き続け

苔の香りは強く、胸の中まで緑に染め

むしている。というでは、その天井にびっしりと艶やかな苔が路、その天井にびっしりと艶やかな苔が路、その天井にびっしりと艶やかな苔がいた。

まるで仄暗い水の中を進むような気持れていた。
著壁には十尋ごとに壁籠がくり貫かれ、

まるで、「暗い水の中を進むような気持まるで、「いくつか石の扉が出現した。 少度も胸をあえがせる。 女はそのたびにそこが到着点だと頰をゆる女はそのたびにそこが到着点だと頰をゆるが、 その期待はことごとく裏切られめたが、 その期待はことごとく裏切られる。

もうそろそろ体力の限界だ。の背に揺られ、川の水に翻弄されてきた。それではいる。というではなりです。

ただ単に歩く、ってことでこんなに必死長くって、歩きにくいこと甚だしい。 長くって、歩きにくいこと甚だしい。 度も尻餅をつきそうになる。 おまけに夕度も尻餅をつきそうになる。 おまけに夕度も尻餅をつきそうに、斜面を摑む爪や岩に岸辺馬のように、斜面を摑む爪や岩に

つく前に、 緊張で死んでしまうのではなカイチスはこのままでは地母神の住居にになるの、 初めてだわ。

だからルクタが、

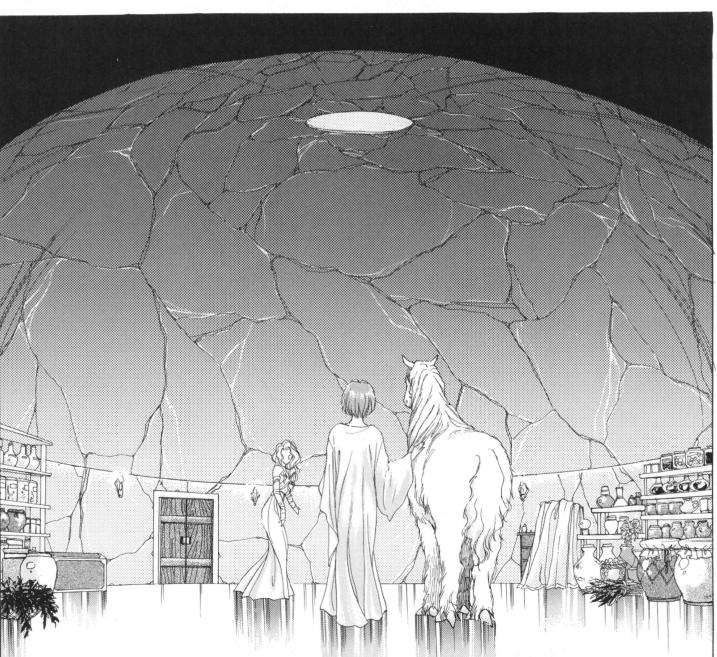
いかと心配を始めた。

「としいよ」

たかのように嬉しかった。__ と振り向いた時、少女は天国に到着し

て部屋の隅々までよく見える。壁を持ち、小鳥の村の集会場のように広々壁を持ち、小鳥の村の集会場のように広々壁を持ち、小鳥の村の集会場のように広々をしている。室内は高い丸天井と曲線のをしている。室内は高い丸天井と曲線の

「すごい。お薬がこんなにいっぱい……」頭を巡らせた。 口を半分開けてぐるぐる頭を巡らせた。



晩のビザンティラ

もしもビザンティラがここにいたら、べもしもビザンティラがここにいたら、。 壁リアの庵のようだ、と言っただろう。 壁リアの庵のようだ、と言っただろう。 壁場がきちんと仕分けされて並んでいる。 液体、粉末、顆粒、固形、と様々な薬が詰体、粉末、顆粒、固形、と様々な薬が詰められていて、まるで小間物屋の店先のおうだった。

棚の一番下の段には、乾燥した草、剝棚の一番下の段には、乾燥した草、剝料が籠に入れられている。 名も知らぬ魚料が籠に入れられている。 名も知らぬ魚料が籠に入れられている。 名も知らぬ魚料が籠に入れられている。 名も知らぬ魚料が籠に入れられているでは地母神様が伝えた。 私ん家なんて、てんで田舎で、よいよいの巡回医者が来るだけだったけど、きったカナンみたいな都会では地母神様が伝えたカナンみたいな都会では地母神様が伝えたカナンみたいな都会では地母神様が伝えたカナンみたいな都会では地母神様が伝えた方でもぱあっと治っちゃうんだろうなあ」

?」 「いいえ、って……どういうことですかとすっとんきょうな声を上げた。 とすっとんきょうな声を上げた。

り手は細く長い息を吐いた。質問者は意味が取れずに首を傾げる。語「いまは皇帝制度の世の中ですもの」ルクタは長い睫毛を伏せる。

「男がどのようにして発生したかはお話られるために強くなり、女に媚びるためられるために強くなり、女に媚びるためられるために強くなり、女に媚びるためを支配しようとしたのです。すべての源を支配しようとしたのです。すべての源であったはずの女たちは、しだいに男尊女卑の社会に組み入れられた……」まわりくどい話ぶりから、カイチスは地まおりくどい話ぶりから、カイチスは地まおりくどい話ぶりから、カイチスは地

会に懸念を抱き、男などやはり性質の悪い、手抱強く彼女の次の句を待つ。ない。辛抱強く彼女の次の句を待つ。の時には、変わりゆく社に、辛抱強く彼女の次の句を待つ。

い病人でしかないのだと失望した者もいまい病人でしかないのだと美しい女の園を作ったちだけでひっそりと美しい女の園を作ったのです。それが私たち〈純血の天つ乙たのです。それが私たち〈純血の天つ乙たのです。それが私たち〈純血の天つ乙たりです。

いった。クタもまた、いっそう眉間の皺を深めてクタもまた、いっそう眉間の皺を深めてかイチスの声もつられて暗くなる。ル

「覇権を握った男たちは、自分たちがか「覇権を握った男たちは、自分たちがら、自めたくなかったようですわ。だから、自めたくなかったようですわ。だから、自めたくなかったようですわ。だから、自めたくながったけれど、もう地を遥かに凌ぐものだったけれど、もう地を遥かに凌ぐものだったけれど、もう地を遥かに凌ぐものだったけれど、もう地を遥かに凌ぐものだったけれど、そんないない!」

「いくらもったいなくとも、一度得た優位を譲り渡すよりはましなのでしょうね。 位を譲り渡すよりはましなのでしょうね。 中年余り前から統治を始めた皇帝の一族で百年余り前から統治を始めた皇帝の一族で百年余り前から統治を始めた皇帝の一族で百年の譬えすら変えてしまった。 人を創造しの譬えすら変えてしまった。 人を創造したちのもの。 私たちが神たる証しの知識たちのもの。 私たちが神たる証しの知識たちのもの。 私たちが神たる証しの知識たちのもの。 私たちが神たる証しの知識たちのもの。 私たちが神たる証しの知識たちのもの。 私たちが神たる証しないまで見れていたのだけれど……」う思って隠れ続けていたのだけれど……」つらそうに顔をそむけるルクタの代わりに、カイチスが言った。

「でも、皇帝陛下は地母神様のお姉様を「でも、皇帝陛下は地母神様のお姉様を「だザンティラが希望……」

「ビザンティラが希望……」

ルクタは、気を取り直したようだった。
ふわりと躰を廻して薬棚に手を置く。

世界は動かない」
世界は動かない」
世界は動かない」

ん先に行ってしまう岸辺馬を追いかけだす

カイチスは、くっと顎を引き、どんど

「どういう……」

、黴を深めて きっ、と頭を起こし、通路の向こうを睨む。くなる。 ル 珠の髪止めが大きく揺らぐほどの強さで、が、 ルクタの顔が急に厳しくなる。 真よ」 ことですか、とカイチスは訊こうとした。

「なんてこと!」

声が震えていた。

「おっ、追っ手ですか?」「おっ、追っ手ですか?」「おっ、追っ手ですか?」

だのである。 群の穴を見つけるなどとは予想できなかっ 群の穴を見つけるなどとは予想できなか 石塔

だめにも、いま彼らにここを知られるこながにも、いま彼らにここを知じてから行きます。 あの方のはここを封じてから行きます。 あの方のはここを対してから行きなさい。 私でかた岸辺馬に指示を出した。

カイチスは背を押されるようにして部屋有無を言わさぬ厳しさだった。とだけは避けないと」

反る。

「ビザンティラ」 がいじょうぶよね。神様だもんね。 たして小さく、

い胸の奥にしっかりと堅いものが生じた。流麗なその名を発音すると、少女の薄

ん短くなっていた。石塔群の根元から伸びる影は、ずいぶ

釣り合いに思えた。その男は、真白く輝く太陽とひどく不もう昼が近い。

であった。

が地中に続く穴を睨んでいる。ともある獣が盛んに地面の匂いを嗅いでいどもある獣が盛んに地面の匂いを嗅いでいどもある獣が盛んに地面の匂いを嗅いでいばる。

に破壊していた。 らは秘密の通路を隠していた遺跡を力任せ 穴の横には倒れ砕けた石塔があった。彼

当にここか?」

く吠えた。 観くと、背鬼犬ピルビスは、がう、と短い声でバルギアードが

すりまさらい言うにい

男の優美な指が顎に添えられる。

「こんなところに隠れ家があったとはな」青灰色の瞳が陰険な喜こびに染まった。 青灰色の瞳が陰険な喜こびに染まった。 では巣穴に獲物を追い込んだ猟犬のように でいまめる快楽を思ってにやりとする と、傍らで膝をついて控えている者の労 と、傍らで膝をついて控えている者の労 と、傍らで膝をついて控えている者の労 と、傍らで膝をついて控えている者の労 と、傍らで膝をついて控えている者の労

らせよう」「ギーグ、よくやった。いずれ褒美を取「ギーグ、よくやった。いずれ褒美を取

「褒美は私よりもあの者たちに。 見つけ

|バルギアードに追い詰められたカイチス。ビザンティラはこの窮地を救うことができるのか?

追った。
で目庇を作って青空に飛翔する禽を目でて題上を指し示した。バルギアードは手て頭上を指し示した。バルギアードは手に頭上を指し示した。バルギアードは手にのは奴らでございます」

「それならば私も好物でして」だ若い娘の肉などどうだ?」

ることになりませんですかね」 「しかし、 そちらの背鬼犬の上前をはねきょっ、と奇妙な声で笑った。

鷹の瞳……。まるで真円の黄水晶のよう。がきろんと動いた。

うございますよ」

「鳥の身の私、犬に襲われるのは恐ろしゅ

質を覆ったりは急ぎはよかった。黒になる真似をする。

原を覆ったのは腕ではなかった。黒と茶の長い風切り羽根を持つ縞鷹の翼である。彼女もまた、銀炎狼の三兄弟と同じく、彼女もまた、銀ったであったのだ。突き人とメブとの融合体であったのだ。突き出して曲がり、半ば猛禽類の嘴に変じかけている口元、禽の胸そっくり出した胸。そして立派な鵬翼は人間をり出した胸。そして立派な鵬翼は人間をり出した胸。そして立派な鵬翼は人間をり出した胸。そして立派な鵬翼は人間を見いている口元、禽の胸そっとが、

でいるらしい。 バルギアードの薄い唇が歪んだ。 笑ん

人ではなく、メブとしての働きを奪ったたからな。いまや奴にとってあの娘は主脳は宿り主が見つからず干からびてしまっる大丈夫だ。残念ながらピルビスの分離

「それまそれま。では蒦勿を受していなく食すがよいぞ」(食すがよいぞ)がないのだ。皆で仲良僧い敵、獲物でしかないのだ。皆で仲良

「それがよかろう」 「それがよかろう」 「それがよれば、では獲物を殺す楽しみは目も利かず、手も足も出ましょう。 なにはそちらにお譲りいたしましょう。 なにはそちらにお譲りいたしましょう。 なにはそれはそれは。 では獲物を殺す楽しみ

こ、生気という、「すく、」になって、ない、であって失態をするなよ」があった。焦って失態をするなよ」があれば、近くないでありが、どうせ奴らには地げ場がないであれば、大いギアードはそう言うと、背鬼犬に、

た獣は、たたらを踏んで穴に躍り込んだ。 た獣は、たたらを踏んで穴に躍り込んだ。 がルギアードもまた、長衣を翻して絹がルギアードもまた。

かせくださいませ」

残されたギーグは、立ち上がって翼をギアードを抱き、彼の姿を呑む。 りは仲間を受け入れるかのように、 バルりは仲間を受け入れるかのように、 バルのは仲間を受けるない。 通路の暗が

塔の頭あたりまで飛び上がる。

広げた。

し、イズベルド山地の裾野に消えた。きょ、と啼きながらいったん遺跡を後にわいい子分たちをひきつれた禽女は、きょかな女の周りに、縞鷹が寄り集まった。か

へつづく

読みきりばかりのノベル&コミックを一挙掲載!



お嬢様にお聞きのイラストでお馴染み

'91年度日本SF大賞、 '92年度星雲賞国内短編部門受賞作家

梶尾慎治 書き下ろし80枚

日本SF界サイバーパンクの女王

大原まり子書き下ろし50枚

とこか不思議なミステリアスワールド

大場惑書き下ろし30枚



羅門祐人の原作を 夏元雅人がコミック化

シルヴァ・サーガ

シ眼のりて

水野のりこのブッ飛びまんが

新境地を開拓したお嬢様ファンタジー

森奈津子

書き下ろし80枚

VEL SPECIAI

ログアウトノベルスペシャル

12月14日発売型

予価980円

車ウィザードリィTRRGノベル

喜井信 書き下ろし100枚

真・女神転生ゲームノベル

西谷史 書き下ろし150枚

ラプラスの魔オリジナル中編

山本弘 商業誌未発表作30枚

ウィザードリィの誕生を描く青春ストーリー

冬塵豊書き下ろし70枚

人気絶頂の此路あゆみが描く

プリンセスメーカー

ひぐちきみこと寺島玲子による

夢のプリメコミック競演

ログアウト初登場

深沢美潮のゲームエッセー

矢野徹、いしかわじゅん、火浦功、 東野司、水玉螢之丞による短編競演

月姫から九月王へ!?

米田仁士のイラストエッセー

高田明美

の表紙が目印だ!



水城雄の原作を 松原香織がコミック化

夢巫女・美緒



藤島康介Presents 一世見るむらる心む中や

今回から始まったこのコーナー。ゲームをやるときに、こんな感じのキャラクターでやるのもいいんじゃないか……というところで第1回。まず先鋒はエルフの魔法使いです。最初はもっとHな服でしたが、魔法使いということで、おさえ目にしました。

コンセプトとしては、いちおう一般的なRPGを意識したものとなっております。マントには対魔法印(※)がなされていますが、すべての呪文に対して有効ではなく、一部の呪文(動きを遅くするなどの時間系など)に対抗するためには、多くの修行を積まねばなりません。

魔法は、自らの生命力(HP)を 呪文によって魔力に変換している ので、過多な魔法は生命を危険にさらす ことになります。また、使用した魔法が 失敗した場合、それと同量のダメージが 自らに、戻ることになるので経験の少な い者(成功率+生命力の低い者)が、高 度な魔法を使用することは、きわめて危 険なのです。もちろん、覚えることはで きますが、良識のある魔法使いは、経験 に見合った魔法を教えるのが普通です。 といったところで、皆さんも、自分 で見たいキャラクター、女忍者(くの一 っていうのかな普通……) モーターウィ ングナイトなど、なんでもお知らせくだ さい。おもしろそうな物はやらせて頂き ます(できるだけバックグラウンドも書

第2回は自分で描いてて気 にいった、モーターウィング ナイトにします。それでは皆 さん、アディオス・アミーゴ!

いてください)。

※対魔法印マントは高度な魔法に対する ものほど、値段も高く、名人といわれる 人のつくった匠の品はなかなか見つける のも難しいようです。



えた。どーせならこんなキャラでやりたい!(で、新連載だぁ。マンガ家の藤島康介先生は、BPGゲームをやっていてふと考

ンガ家。趣味はクルマ、(ともに講談社刊)で絶(ともに講談社刊)で絶(

見までをモッラジコン、

イメージ・オペレーター

夢巫女·美緒



もみとめられなかった」 「出血をともなうような外傷は、 どこに

をえらんだというわけだ。 大脳生理がな 理マシンをあつかう研究にたどりついてし がれながれて、非ノイマン型イメージ処 こうは内臓専門の外科、嶋崎は大脳生理 助教授の折井がいった。 折井は嶋崎と同期だった。ただし、む

「外傷がない?」 嶋崎は眉をひそめた。

されている。シーツは規則的に上下して しめしていた。 彼女が安定したねむりの状態にあることを いた。胸のあたりまで白いシーツがかぶ 「どういうことだ?」 寝台には助手の岩永かおるが横たわって ふたりは寝台を見おろして立っていた。

出血し、救急車で天神町の付属病院まで はこばれたのだ。 萩原研究室のコンタクトルームで大量に

服も清潔なものに着がえさせられていた。 ら、病室のほうにうつされた。 が、意識はまだもどっていなかった。 すでにながれた血はきれいにされ、衣 出血は外傷によるものではなかった」 いったんは処置室にはこびこまれてか

前回までのあらすじ

撃を受け、美緒のアシストについた岩 永かおるの体が血に染まってしまう。 場所と化していた。そして何者かの攻 ンするが、そこは悪意に満ちあふれた ターはコンタクトステージへとログイ 出すため美緒たちイメージ・オペレー た設計者の萩原真一郎教授。彼を救い ジ空間に、精神を取り込まれてしまっ ネットワーク上に構築されたイメー

> なっているのを意識した。 「出血は生理的なものだったということ 「どういうことだ」 嶋崎はおなじ質問をくりかえした。 自分がなぜか、おこったような口調に

とだよ。女性の身体は繊細だからね。状こすトリガーとなることは、よくあるここすトリガーとなることは、よくあるこ らかの精神的な刺激が生理的反応をひきお だ。とくに身体には異常はみとめられんね」 無理もないと思うがね」 況が状況だけに、 きみらが動転したのは 「コンタクト中だったんだろう? なん 「しかし、あれだけ大量に……」

りつづけている。 いじゃないとでもいいたいのか。 「では、なぜ意識がもどらない?」 かおるはしずかな表情で、ふかくねむ 折井はかるく肩をすくめた。おれのせ

おしてみる」 室のほうにもどして、NSOIにかけな 「脳波をしらべてみよう。 可能なら研究

にかければなにがおこったのかわかるか 由は見あたらないね」 外傷は見られない。 身体的な傷害はまっ たくない。うごかしていけないという理 「しんじられんがね。しかし、NSOI 「問題ないと思う。何度もいうようだが、 嶋崎がいうと、折井はうなずいた。

が変化した。 嶋崎がそういったとき、かおるの表情

折井が嶋崎のそでをつかんでゆさぶった。 ピクッとまぶたがうごいた。

「いや、おきるぞ」 「REM睡眠かもしれん」 「わかってる。おきるのか?」 かおるがゆっくりと眼をひらいた。 パッチリと眼をひらくと、まっすぐ前 - 天井を見あげた。

それから、一挙動でベッドのうえに身

体をおこした。

の動作は異常に見えた。 嶋崎は眼を見はった。それほどかおる

り、一瞬にしておきあがったのだ。 り人形のように、いっきに腰をまえに折 はいっさい子備動作がなかった。あやつ 体をささえるとか。が、かおるの動作に する。まず頭をもちあげるとか、肘で身 がるとき、なんらかの予備動作を必要と 人はふつう、寝ている状態からおきあ

病室の壁ー らず大きく見ひらかれ、 まっすぐ前―― おおきくみだれ、顔をおおった。 ざんばらの髪のあいだから、あいかわ あまりに唐突な動作だったので、髪が

くなった。 おきあがると、かおるは微動だにしな

「い、岩永くん……」 折井がわれにかえり、ベッドにあゆみ 嶋崎はおそるおそる声をかけた。

だ。まばたきひとつしない。 物のようにベッドのうえですわったまま 「岩永さん、だいじょうぶかね?」 声をかけられても、反応はなかった。置

ら返事をしなさいよ」 「岩永さん。岩永かおるさん。聞こえた 返事はなかった。

……手をはなせ!」

かおるの手から右手をふりほどこうとし

ゆさぶりもだんだんつよくなっていく。 「岩永さん。岩永かおるさん。もしもし、 肩においた手で身体をゆさぶりはじめた。 よびかける声はだんだんおおきくなり、 折井は右手を彼女の肩においた。

―を見つめている眼がのぞい

あきらかに、尋常ではなかった。

ガクとゆれるほどになった。

身体のゆれがおおきくなり

頭がガク

彼女の顔のまえに左手をかざした。 手をゆっくりとうごかしながら、声を 折井が医者らしいしぐさでゆっくりと

もしもし。聞こえてるかね?」

著者近況

雄(みずきゆう)



出かけた。おもしろかったでえ、これ 国東北部(旧満州地方)へ取材旅行に ってきたと思ったら、休むまもなく中 ットレースからもど ジオストクまでのヨ 過激なロシア・ウラ

は。近く歴史冒険小説を書くのら。 松原香織(まつばらかおり) ることになってワク 美緒のまんがを描け ノベルスペシャルで

むため、近く東大に取材にいく予定。 激もひとしお。大学のイメージをつか てみたいストーリーだっただけに、感 ワクしてます。以前から、まんがにし

の手首をつかんだのだ。 折井は彼女をゆするのをやめた。 ふたたびだしぬけの動作でかおるがうご 右手をあげ、自分の肩におかれた折井

すぐまえをむいた状態から、ほぼ九○度 かし、顔は折井のほうをむいている。 左をむき、折井の顔を見つめた。 「い、いたい! はなしなさい! 手を 突然、折井が悲鳴をあげた。 焦点は合っていないように見えた。 「聞こえてるの、岩永さん?」 かおるがゆっくりと首をまわした。まっ

「どうした!」

だ折井の右手をつかんでいた。その指が、 無表情をたもったままのかおるが、ま 嶋崎はあわてて折井にかけよった。

巫女·美緒

はなそうとした。 常者がそういう行動をとることがある。 おるが出しているのだ。ときおり精神異 「はなしてくれ!お、折れる!」 男に悲鳴をあげさせるほどの力を、か 嶋崎はあわてて、かおると折井を引き

折井の手首にギリギリと食いこんでいるの

の部分が、見るみる白っぽくなっていった。 る手をけっしてはなそうとしなかった。 折井の手の、かおるにつかまれている先 嶋崎は彼女の指を一本いっぽんはがそ

み、容易にははがせなかった。 ほそい指は折井の手首にふかく食いこ そのとき、 嶋崎はかおるの顔を見て

かおるの力はすさまじく、にぎってい いた。 いなかった。 「わッ!」 それは剛毛だった。

ギョッとなった。 の皮膚が変化していた。 あいかわらずの無表情だったが、顔面

折井はまだ腕をつかまれ、悲鳴をあげ

そして皮膚の表面に顔をだしてきた。 あがってきた。なにかが皮膚を押しあげ、 皮膚のしたからなにかがブツブツとわき

毛が、かおるの顔の全面に生えはじめてまるで獣のそれのような褐色のかたい

嶋崎はおもわず声をあげ、彼女からは

つづけている。 彼女の変化には気づいて 音が聞こえそうないきおいで、剛毛が

憑もの

川勝彦に声をかけられた。 「どこに行くの?」 長町の停留所でバスをまっていると、市

「天神町まで、ちょっと……」 「ひょっとしてー 勝彦に顔をのぞきこまれた。 見あげて、こたえた。 ひとつうえの三年生。図書委員長。 とくんと胸がひとつ鳴る。

「あ……」 「付属病院?」

かおるの顔をおおいつくしていった。

風呂敷包みをぶらさげていた。

美緒は自分の手を見おろした。

お手伝いの静さんが用意してくれたも

風呂敷包みは、ぐうぜん、 美緒の外出着 をつつみながら、静さんはいった。紫の

いまどき古風な南天模様の風呂敷に箱 -夏の見舞いはこれがいちばんです。

によくにあっていた。

「先輩も? 病院に?」

「うん。たぶん、きみとおなじ目的」

勝彦はまだ学校の制服を着たままだっ

「ぼくもちょうど行くところだったんだ」

どうしてわかるんだろう。

た。手ぶらだ。

美緒はまるくてしろい襟のついた水玉

をつめてくれた。 「あたしはー

たものだ。静さんが美緒にあわせて寸法 の紺のワンピース。母親が生前、着てい

「岩永かおるさんの見舞いに行くんだろ

知っているよ。かおるさんのことも、き こなんだ。研究室の人たちのことはよく ごく一部の者しか知らないはずなのに。 う、かおるが救急車ではこばれたことは、 とを知っているんだろう、と思った。きの のうの夜、嶋崎先生から聞いたんだ」 「いったろう? ぼくは萩原真一郎の甥っ うなずきながら、どうして先輩がそのこ バスがやってきて、ふたりの前にとま

「これ、あげる」

ふたりはバスのいちばんうしろの席に、

を出し、美緒に差しだした。 すわると、勝彦がポケットからなにか

きな柿色の袋。とがっている先端は、ま 植物の実。ゴルフボールよりすこしおお

ならんで腰をかけた。

「ああ。うちの温室でできたんだ」 「鬼灯……」 勝彦が自分の口をあけてみせた。 そういえば、鬼灯の季節にはまだはやい。

身はもちろん空だ。 あわい柿色の袋だけ になっている。 舌のうえに、鬼灯の実がのっていた。中

ごかした。 舌を引っこめ、 なにやらもぞもぞとう

「うまく鳴らせないんだ」 空気がもれるしめった音が聞こえた。

出てきた。ぴちぴちとはりきって、いま そだてられたらしい、りっぱな赤い実が 先で裂いた。なかから、なるほど温室で にも中身がとびだしそうだ。 美緒はうなずき、もらった鬼灯を、指

からなにか聞いてます?」 「かおるさんの容態について、 嶋崎先生

たえた。 た美緒の手先を見つめながら、 勝彦がこ 鬼灯の実をていねいにもみほぐしはじめ

的現象を引きおこした。刺激はつよいも らかの精神的刺激をうけた。それが生理 のだったらしく、いまだに意識はもどっ それは生理的なものだったといってたけど」 に、美緒はかすかなとまどいをおぼえた。 「外傷はないらしい。出血したんだろう? そんなことまで勝彦が知っていること かおるはたぶん、コンタクト中になん

むいていた。

何者かがベッドに腰かけて、こちらを

なにが起こったのか。

どはかおるとコンタクトしなければならな このまま意識がもどらなければ、こん

傷つけずにうまくはずせた。 鬼灯の実を外袋からはずした。 吸い口を まくはいかないけれど。 道ばたに生えている鬼灯だと、こうう 充分もみほぐしてやわらかくしてから、



ドアをあけると、するどい声に制止さ

「はいっちゃいかん!」

上、あけてしまっていた。 なかの光景に、美緒は眼をみはった。 しかし、すでに勝彦がドアをなかば以 助教授の嶋崎の声だった。

そうだった。 じゃらだった。手足だけではない。顔も ら出ている手足が、動物のように毛むく 入院患者用の寝巻を着ていた。 寝巻か

緒のよく知っている女性のものだった。 剛毛におおわれた顔だちは、しかし、美 -かおるさん?

け、美緒は病室に足をふみいれた。 「気をつけなさい」 立ちつくしている勝彦の背中を押しの

ひどく切迫したようすではしっていった。 た医者がそうなのだろう。手首をおさえ、 「いま、鎮静剤を取りにいってもらってる」 部屋にはいるまえ、廊下ですれちがっ 嶋崎が緊張した声でいった。

い。わしのそばへこい」

「美緒……おまえが好きだ。こっちへこ

が壁に垂直に立っていた。

壁にぶつかる……と思った瞬間、身体 だしぬけに、横の壁にむかってはしった。 いらだたしげにいい、立ちどまった。

そのまま重力を無視し、壁をかけあが

「気をつけて」

いきなりこうなった」 「わからん。起きあがったとおもったら、 「なにが起こってるんですか」

「かおるさんですよね」

部屋を出て、待っててくれ」 「いや、ぼくも……」 「そうだ。勝彦くん、ドアをしめてくれ。 勝彦も病室にはいり、ドアをしめた。

線をうごかした。 かおるがその音に刺激されたように、視

視線をもどした。 美緒と勝彦の顔をなめてから、美緒に

「美緒……だね。よくきた」 口をひらいた。

声だった。 かぬ男性の声だった。しわがれた老人の かおるの声ではなかった。似ても似つ

-萩原先生?

「どいつもこいつも……」

なっちゃったの? ちがう。教授の声でもなかった。 -だれなの? かおるさん、だれに

ごいた。 横ぎって飛んだ。 壁ぎわまでふっとんで、たおれた。 れが、だれも手にふれていないのに、う 花瓶が、ズッ、とうごいた。直径二〇セ 「どけ」 ンチほどの、かなりおおきなものだ。そ わしが食べてやった」 ふるえていた。 ふみだした。 つかり、くだけちった。嶋崎はそのまま、 「やめろ」 「どけ、あほう。どかぬなら、わしが行く」 「なんだと」 「かおるか。かおるはここにはいないぞ。 「岩永くん、しっかりしたまえ!」 「先生、あぶない!」 「だめだ」 「よせ!」 「あほうが」 こんどは勝彦が立ちふさがった。 苦痛にうめいているが、意識はある。 美緒は嶋崎のよこにしゃがみこんだ。 美緒がさけぶと同時に、花瓶が病室を 視界のすみでなにかがうごいた。 立ちあがった。 かおるだったものが、 頭をかばった嶋崎の両腕に、花瓶がぶ ベッドの頭上のテーブルにおいてある ゆっくりと足を 声が

緒をとおせ」

かおるからかばうようにうごいた。

嶋崎がくりかえした。そして、美緒を

「じゃまだ、あほう! そこをどけ。

巫女·美緒

ら垂直に、頭を下にして立ち、うごきを 天井までたっすると、こんどは天井か

に立っていた。 天井に張りついてしまったように、 天井 た。 強力な磁石か接着剤のようなもので た。しかし、足のしたにはなにもなかっ なにかにぶらさがっているように見え

ーくぐもったわらい声をあげた。 「だれなの、あなた」 美緒を見おろし――あるいは見上げ― 髪がだらりとたれている。

「かえしなさい!これは命令よ!」 「かおるさんをかえして!」 かおるだったものの顔から引きつった

ぶたがとじる 眼球がゆっくりと裏がえっていった。ま

かおるの身体がドッと天井から落ちて

になげだされた。 ベッドの端にはげしく打ちあたり、 床

「どう思う?」

ドアがひらいた。

て、いった。 「だいじょうぶか!」 手に注射器を持った医者がはいってき

だれも返事ができなかった。

なベルトでベッドに固定されていた。し だ。それを着せられたうえで、じょうぶ かも念入りに、大量の鎮静剤を打たれて 凶暴性のある精神傷害者のための拘束衣 かおるは特殊な服を着せられていた。

見ているまえでうそのようにきえうせてし きえていた。天井から落ちた瞬間、皆が 全身をおおっていた剛毛は、すっかり

> くなってしまった。するすると皮膚のし まったのだ。 りつけられていることをのぞけば。 もどっていた。 拘束衣を着せられてしば たに引きこまれてしまったように見えた。 いた獣の毛のような剛毛が、一瞬にしてな 美緒も見ていた。顔にびっしり生えて いまはすっかり、もとのかおるの姿に

たいたしい。 てきた。左腕に巻かれたしろい包帯が、い 治療をおえた嶋崎亨が、病室にもどっ 意識はまだもどっていない。

「だいじょうぶですか?」 勝彦がたずねた。

「ああ。ただの打ち身だ。湿布をされた

「よかったですね」

きいているんだろう。 しかしゆだんはで きない。さきほどのようなこともある」 「ねむっているよ。安定している。薬が 「ようすはどうだ?」 嶋崎は折井にたずねた。

も、美緒にはよくわかった。 ることも、折井のあいまいな返事の意味 「ふむ・・・・・」 嶋崎の問いに複雑な意味がこめられてい

していた。かおるが天井からおちたとき、 せたのも、このふたりだった。 すぐに彼らがよばれたのだ。 拘束衣を着 わかい看護人がふたり、用心ぶかく待機 病室には美緒たちのほかに、精神科の

もできずに立っていた。 常態をこえた筋力の発現……」 「おれたちはなにを見たんだ?」 「急激な発毛、 超絶的な筋肉の緊張…… 嶋崎が問いの内容をかえて、いった。 その全員が、緊張したまますわること

るによって腕をいためつけられたのだ。 自分の腕を見おろした。彼もまた、かお ゆっくりとかぞえあげながら、折井は

> だったよ。それから、もちろん……かん がえられない跳躍力ー 「あやうく腕をにぎりつぶされるところ

ように見えたがね。ちがうか?」 あがり、重力を無視して天井に立っていたたね。おれには……岩永くんが壁をかけ ンプに見えたのか?おれには見えなかっ 「わかっている」 「あれが跳躍か?」おまえにはあれがジャ 嶋崎が非難するように声をあらげた。

をつけられないことはないだろう」 たちは目撃した。しかし、なんとか説明 しな。 あきらかに非常識的な光景をおれ 「説明をつけられるだと? じゃあ、説 「おまえにぶつかった花瓶のこともある つられたように、折井も声をあらげた。

みなければ……」 「それは……これからじっくり検証して るように」

明をつけてくれないか。おれに納得でき

「検証もくそもあるか。 あきらかに超常

どが、科学的に説明をつけられるものば えばアルゼンチンの――」 かりだ。劇的な発毛現象にしても、たと 「超常現象といわれているもののほとん

はあきらかにここに――」 してもらおうじゃないか。それに、彼女 てまっすぐ飛んできたりしたのか、説明 が、だれの手もふれないのにおれにむかっ 「では、なぜしずかにおかれていた花瓶

りえないことがおこるのを。 ことばに、美緒も同意せざるをえなかっ た。たしかにこの眼で見たのだから。あ 「立っていたんだぞ。さかさまに」 超常現象がおこったのだという嶋崎の 嶋崎は天井にまっすぐ指をむけた。 折井が声をなくした。

――いったい、かおるさんになにがお

があった。 ない、なめらかで清潔なわかい女性の顔 ずかによこたわっていた。耳をすませば、 やすらかな寝息が聞こえてくる。つい数 十分前まで剛毛におおわれていたとは思え かおるはなにごともなかったように、し

れなくなった。 そうかんがえると、 きゅうにいたたま ーかおるさん、かわいそう……

美緒はゆっくりとベッドにちかづいて

・熱をはかるようにひたいに掌をおき、顔はどこにもかんじられない。 手をのばし、かおるの類にふれてみた。しかし、嶋崎にはつたわったようだった。 いうあとのことばを、美緒はのみこんだ。 「どうした? 気をつけなさい」 「気をつけるといわれても……」 そっと指をすべらせる。剛毛のなごり やわらかく、ひんやりとしていた。 こんなにしばりつけられてるのに、と

をちかづけた。寝息がこちらの頰にふれた。 「だれなの?」

球がうごいたのだ。 瞼がピクリとうごいた。瞼のしたで眼いるのは、だれ?」 「だれがいるの? かおるさんのなかに ささやくように声をかけた。

美緒はかまわずつづけた。

なさい。かおるさんからいますぐ出ていっ て。かおるさんからはなれなさい」 「かおるさんのなかにいる人、出ていき グリグリと眼球がうごいた。しかし、

こえてる?」 に出ていってもらうのよ。かおるさん、聞 しょ? そこにいる人を追いだして。彼 「かおるさん、あたしは美緒。わかるで

「美緒くん、やめたまえ」 嶋崎に肩をつかまれた。 かまわず、つづけた。

といっているの。出ていきないのはわかっているの。出ていきないのはわかっているの。出ていきないるのはわかっているの。出ていきないのおおより

「出ていきなさい!」ちからをこめて、美緒はさけんだ。既球のうごくスピードがあがった。

瞼がカッとひらいた。

「あぶない!」

われた。 抱きかかえるようにして、 うしろにた嶋崎が美緒の身体を引きおこした。

しくふるえた。という音が病室にひびき、空気がはげ

ズドン……

自分がいた空間に、ながい槍のような見た。

きにつらぬいていた。(槍のようなものは、天井から床までいっものが突きたっていた。

¥りついた。 突如として出現した物体に、全員がこ

かおるはスウスウと寝息をたてている。

決意

「たとえば?」

もどされていた。 付属病院の病室から、もとの研究室に 付属病院の病室から、もとの研究室に はいかわっても、かおるはあいかわ

いま、彼女は、拘束衣をつけたまま、コンタクトルームの寝台によこたわっている。ニューロン・スキャニング・オシロ・インターフェイス――NSOIのドーム状の装置が寝台の頭上に設置されていたが、かおるはまだそこにはいってはいなかった。

のあいだではげしいやりとりがあった。彼女をもどすにあたって、嶋崎と折井

んぞ」「コンタクトルームがどうなっても知ら

室にもどすことを主張した。井だった。いっぽう嶋崎は、自分の研究舟とでった。いっぽう嶋崎は、自分の研究もどすことにつよく反対したのは、折

全員が見ているまえで。
を員が見ているまえで。
を員が見ているまえで。

巧妙な手品でも見ているようだった。まだたきするまもないほどの一瞬で、"あれ"は病室からきえてなくなってしまった。 大音響とともに彼女をつらぬこうとした槍状の物質は、たしかにそこにあった。 見ているまえで、スイッチを切ったみたいにフッときえてしまった。

「見たとも。しかし、きえた。 いきなり 「見たとも。しかし、 きえた。 説明できないことばかりだ。 おかしなことがつぎつぎとおこりやがる」 なことがつぎつぎになにがおこるか、わかってそうだ。つぎになにがおこるか、わかってものじゃない」

ていた。

そういう嶋崎の顔は、ひどくあおざめ

「コンタクトルームに移してみろ。おなじ「コンタクトルームに移してみろ。おおじいるのか、 おれだって知らないわけじゃるかもしれない。 あれにいくらかかってするかもしれない。 あれだって知らないよいでは、

「丘利かているのかたしかめる」
ているのかたしかめる」
大態だ。NSOIで彼女になにがおこっておいるのかたしかめる」

「もちろん。NSOIのことなら、代替機・司気カ」

は実際には存在しなかったものかもしれがあるから心配いらん。それに、『あれ』

催眠ということもありうる」
の科学的説明がつくかもしれない。集団「たとえば、きみがいうようになんらか「というと?」

「おれたちが? 集団催眠にかかったと

「ありえないことじゃない。世界にはい「ありえないことじゃない。世界にはいれだって、いまは集団催眠だと解釈されれだって、いまは集団がよりそそいだ、なり部屋の天井から岩がふりそそいだ、なり部屋の天井から岩が記録されている。世界にはいているんだ」

折井は病室の床を指さした。

こっていた。こっていた。こっていた。こっていた。これであるなら落ちてきた痕跡がのたいものがうえから落ちてきた痕跡がの

象にしたいだけなのさ」 SOOIで彼女を検査しなければならない」 鳴崎が強引に主張を押しとおし、かおるを研究室につれもどしてしまったのだ。 るを研究室につれもどしてしまったのだ。

岩永かおるのスキャニングがはじまっ

市川勝彦が部外者だという理由で家にかたされ、副調整室にいるのは鳴崎と美緒えされ、副調整室にいるのは鳴崎と美緒がバックアップ態勢にはいっていた。経びだされた東京と札幌の研究メンバーたちびだされた東京と札幌の研究メンバーたちびだされた東京と札幌の研究メンバーたちびだされた東京と札幌の研究メンバーないではあっている。

おおいかぶさっていった。ロ・インターフェース装置がゆっくりとたわったかおるの頭部にドーム型のオシーがあるが、よこのでは、までは、いいが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、

りはじめた。

萩原教授のそれは、荒野だった。 じめた。そこにあらわれたのは、ねむっ じめた。そこにあらわれたのは、ねむっ ているかおるの意識の表層――オペレー ターのあいだではコンタクトステージとよ ばれているイメージレベルだった。

人によってコンタクトステージはさま

かおるはお花畑だった。

におおい。 きみだれている。ピンクのものが圧倒的 きみがれている。 一面にコスモスがさ

ぬた。 嶋崎が美緒のほうをふりかえり、たず

「なにか異常は感じるかい?」 美緒はだまって首をよこにふった。なんの異常も感じられなかった。ふかくねむっている女性の、おだやかでうつくしむっている女性の、おだやかでうつくしいコンタクトステージだ。ここからレベルを掘りさげていくと、そこにはなにがあるのだろうか。

美緒がかんがえているあいだ、嶋崎は 美緒がかんがえているあいだ、 嶋崎は

をかけた。 嶋崎が電話をきるのを待ち、美緒は声

ですけど」

「なんだい?」

INSOIの代替機のことをおっしゃって NSOIの代替機のことをおっしゃって さっき、折井先生と話をされてたとき、

「ああ。それがなにか?」

夢巫女·美緒

「ふるいタイプのものだけど、この金沢にはもう一台、NSOIがあるんだよ」「この金沢に? 大学ではなくて?」「ああ」

聞きながしながら、美緒は旧型のNS

「そのNSOIは、いまは使われていながれた。 美緒はかんがえながら、ゆっくりとたずねた。 でとながら、ゆっくりとたがない。 でとこにあるんですか?」

「ネットフークこつながっているというはなっていると思う」「ああ。しかし、いつでも使えるようにいんですか」

ことですか」
「ネットワークにつながっているという

「だれかがそれを最近使ったというよう「そういうことだ」

「方」に置りていたけど、いったい」「ないよ、そんなことは。どうしたんだなことははいい。

「おいった」では、これでは、「勝彦くんかい?」

でも不思議はないね。 ちかい親戚なんだても不思議はないね。 ちかい親戚なんだても不思議はないね。 ちかい親戚なんだいがなこと、ありますか?」

わった。

だけの姿になると、美緒は寝台によこた

みじかく切りつめたTシャツとパンツ

いった。
いった。
はふかく自分のかんがえのなかにしずんではふかく自分のかんがえのなかにしずんではふかく自分のかんがえのなかにしずんではいった。

ひふみ

ここにきて、 嶋崎はまだそんなことをに感心できない」「こんなことは感心しないね。 ぜったい

ブツブツいっている。

○ I を見おろして立っていた。
「これ、最近、だれかが使ってる……」「なんだって?」
「なんだって?」
「清除してますからね、一週間に一度は」をがいあいだ使われていないはずの装置が、きれいにみがきあげられているのだ。「清除してますからね、一週間に一度は」であた。大きなが、あれいにみがきあげられているのだった。となってしまったのは、萩原真一郎教授の妹ー市川勝彦の母親の市川美津子だった。たった。ま津子は家政婦をやとい、週に一度、なかと屋敷まわりの掃除をさせているのなかと屋敷まわりの掃除をさせているのだった。

「つこしませていますからのをぬぎはじめた。

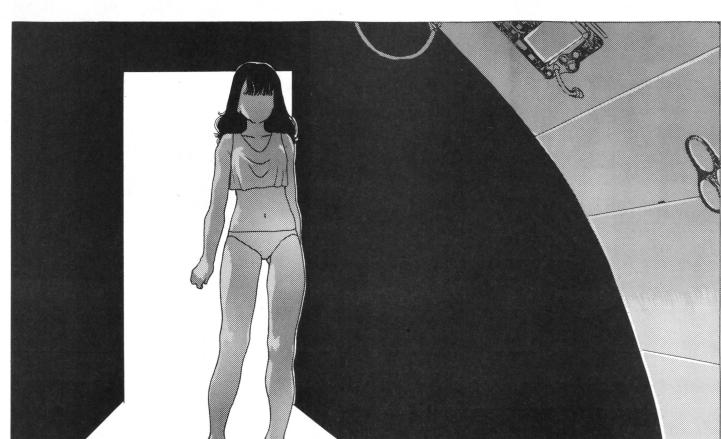
「わたしは出ていますから」
「わたしは出ていますから」

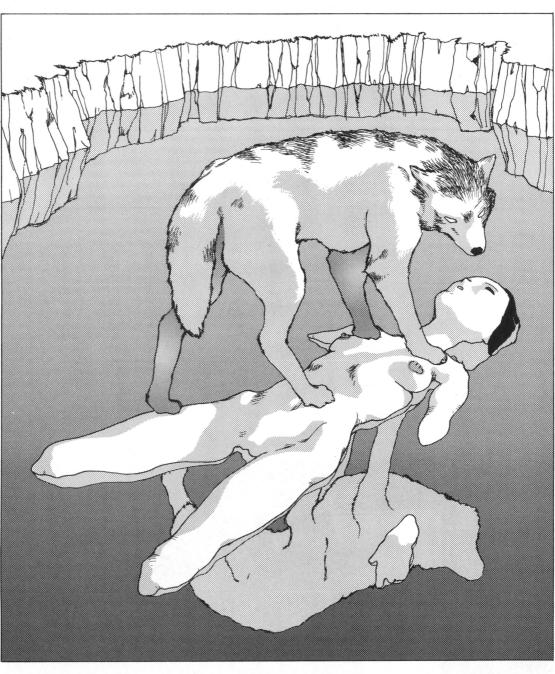
NSOIは屋敷の北の端、くらい庭に
アきだすように建て増しされた部屋のなかに設置されていた。もともと洋館造りのに設置されていた。 もともと洋館造りのに対していた。 ほこりをよせつけない まうな密閉構造になっている。

した。
「嶋崎先生、はじめて」

研究室のほうには、嶋崎の医学部時代が設置されていた。室はない。寝台のすぐ横に、コンソール室はない。寝台のすぐ横に、コンソール

研究室のほうには、嶋崎の医学部時代の同僚――折井ではない――が待機しているはずだった。もともと引かれていたながっている。





頭上にゆっくりとおおいかぶさってきた。 「準備はいいかい?」

「はい。いつでも」

をすいこんで気持ちをおちつかせた。 そのアイディアは美緒自身のものだっ 美緒はコンタクトにそなえ、ふかく息 かおるさんのなかになにかいる。

> 「つまり、ウイルスのようなもの?」 外部から持ちこまれたなにか、だと思 なにか、とはなにか。 という確信があった。

ログラムをうえつけたんだと思います」 にかく、だれかがかおるさんのなかにプ 「ウイルスだかなんだかしりません。と 嶋崎はキョトンとなった。

> ラムのせいだというのかい?」 「だと思います」 「岩永くんの異常な行動は、そのプログ

るのだ。 おおくの成人がコンタクト時に てしまったのではないかとかんがえてい もしくはそれにちかい人格朋壊におちいっ 彼は教授の場合と同様、かおるもコンタ クトでなんらかの刺激をうけ、 多重人格 嶋崎はそうは思っていないようだった。

そうなったように。

現象についての説明がつかない。 「きみのいう "だれか"とは、 しかし、それでは彼女がおこした超常 つまり、

ハッカーのことかい?」 「かもしれません。その証拠をつかみた

いんです」 「どうやるつもりだ?」

ひとりでアクセスする。 フィールドに持ってくる。そこへ美緒が クにつなぐことを提案した。 ふたりのコ ンタクトステージを、 ネットワーク内の 「あたしにかんがえがあります」 美緒は教授とかおるを同時にネットワー

「きみひとりで?」

「あたしひとりで充分」

「危険すぎる」

しひとり」 「だいじょうぶです。彼の目的は、あた

ざりにされた単体プログラムです。やっ とを、美緒は確信していた。かおるが発し のもまっすぐ美緒をねらったものだった。 つけるのはかんたん」 なり病室の天井から出現した槍のようなも た老人のこえもそういっていたし、いき 「それに、しょせん、意識のなかにおき ウイルスが彼女ひとりをもとめているこ

「そうだろうか」

「かんがえていてもしかたないです」 嶋崎はしぶしぶ、美緒のアイディアを

ちがっていた。 コンタクトステージはいつもと様相が

左手に荒野がひろがっているかと思え 教授とかおる…… ふたつのイメージがいりまじっている。

ば、右手には美しいコスモスがさきほこっ している。荒れた大地に、いまにもしお その中間は、ふたりのイメージが混在

夢巫女·美緒

れそうなコスモスが生えていた。 美緒はちょうどその中間点に立ってい

スモス畑のなかに足をふみいれた。 花弁をおおうように掌に花をのせてみ美緒はコスモスの花に手をのばした。 いつものように麻理や修治はいない。ひ しばらくあたりを見まわしてから、 コ

ピンクのコスモス…… ーかおるさん・・・・・

花から指をはなし、さらにコスモス畑

こころをとぎすまし、気配をさぐる。 ―ちかい……感じる……

コスモス畑のなかから、ちいさな池が

美緒は口のなかの鬼灯をつぶした。たえ、鏡のようにしずまりかえっている。 キュウ…… 沼といってもいい。くろくすんだ水をた

ませる。ちょっとしたコツがいる。 つぶれた鬼灯を口のなかで器用にふくら

一出てきなさい。

おいで…… キュウ……キュウ……キュウ……出て

を押しつつむようにうえからなだれおちて とつぜん、沼がザアッと立ちあがった。 沼の水がいっせいに盛りあがり、美緒

「ブオッ!」

つめたい水に全身がつつみこまれた。

そのまま巻かれるように沼のなかへと引

意志のちからでおおきく見ひらいた。 ――いた! かおるさん。 反射的にとじてしまった眼を、美緒は

> けもの……美緒はかおるの全身をおおっ かおるの身体に前肢をかけ、おおいかぶ ていた剛毛のことを思いだした…… 狼ともハイエナともつかぬ、四本足のおおかみ まっくろの剛毛を密生させたけものは、

さるようにしていた。 剛毛が水のなかでゆらゆらと燃えあがっ

ている。 けものは美緒のほうをまっすぐ見てか

おるの腹をベロリとなめあげた。 美緒はけものにむかっておよいでいっ ーかおるさんからはなれなさい。

た。貧弱なパワーしか感じない。 のにくらべれば、どうってことはなかっ まっすぐ美緒がちかづいてくるのを見 ためらいはない。教授のなかにいたも

ぐこちらに跳びかかってきた。 前、かおるは口のなかのものをそいつに けものの肢がこちらの身体にふれる直牙はかおるの喉をねらってきた。ひらいた口のなかは真紅だった。 かおるの身体をふみ台にして、まっす

身体がうしろにはじけとんだ。 れはいつでも片づけられる。それよりも 沼の深みへともぐっていってしまった。 けものはしっぽを巻いて退却した。 くぐもった悲鳴とどうじに、けものの

けてピュウと飛んだ。

顔のまえをひらひらと舞いおりていくけ

|MITという、あまりにも意外な場所からのハッキングにとまどう美緒。次号はいよいよ最終話だ!

身体に憑いているものがあった。 かおるが水のなかに全裸でうかんでいた。

> 持ってくる。 ものの耳を、両の掌でパシンとはさみこ んでつかまえた。 そのままあわせた手を、

胸のまえまで

が、ひびきわたった。

ら、視線をはずさないまま頭をさげ、か

に牙をむいた。

を
ない、
はものは一瞬ためらったが、
すぐ

鬼灯だ。それがあやまたず、けもののむかってはきつけた。 顔面を直撃した。

ちぎれたかたほうの耳が、ひらひらと 美緒はそれを追うことはしなかった。あ かおるの手を口にくわえて引きながら、

えみため」 とほ、かみ、えみ、ため……とほかみ、 「と、ほ、か、み、え、み、 た、め……

掌をあけると、けものの耳はしろい護符「祓ひたまへ、清めたまふ! ハッ!」をととのえた。 日のなかですばやくとなえて、 気持ち

に変化していた。 ープログラムの一部をふうじこめた

の痕跡がのこっていれば、の話だが。 カーの痕跡をさがせる。 あとにした。 わ。うまくやれば、これをつかってハッ 沼から出ると、いそいでコスモス畑を 水のなかから浮かびあがった。 教授のなかにまだハッカーのアクセス

たかくかかげた。 に立つように持つ。 そしてとなえた。 指のあいだにはさみ、護符がまっすぐ 荒野に立ち、手にいれた護符を右手に

ゑにさりへて。のますあせえほれけ」 きるゆるつ。わぬそをたはくめか。うお がはげしくなったとき、美緒の指からぬ 護符がピリピリとふるえはじめた。 「ひふみよいむなや。こともちろらね。し パリパリという音が聞こえるほどふるえ 三回となえると、まっすぐ立っていた 護符に言霊をふきこむ行だ。

ささった。 やがてフワリとうえにのぼった。 それから反転し、まっすぐ大地に突き 護符は大地と平行にしばらく飛んだが 美緒は護符を追ってはしった。 矢のようにひとつの方角をめざしていく。

> 紙切れがぶつかったとは思えぬ大音響 ドスン……

ろっぽく変化していた。 符はもとのけものの耳の形にもどっていた。 美緒がその場所にかけつけてみると、護 大地のいろが、その耳のまわりだけし

大地にむけて放った。 をおくります。ちゃんと受けとって」 「嶋崎先生、聞こえる? ここから信号 ひざをつき、大地に両手を押しあてた。 身体のなかのエネルギーを、両手から

美緒から発せられた信号は、前回の教

され、アクセスポイントが特定された。 永久に埋没してしまった痕跡だった。 スの痕跡がのこっていた。美緒がしめし ラムをつかっておこなわれた。 れ、嶋崎によって分析された。 授へのアクセス記録にフィードバックさ たフィールドアドレスがわからなければ、 田麻理、そして谷岡修治以外の者のアクセ 「わかったよ」 結果が出るまでに三十分ほどかかった。 痕跡の記録からポートアドレスが割りだ アクセス記録にはたしかに、美緒と上 分析はハッカー対策用の特別なプログ

内にあるアクセスポイントからの侵入だ「MIT――マサチューセッツ工科大学 「どこですか?」 こたえは、まったく予想外のものだった。 嶋崎がCRTから顔をあげ、美緒にい

鬼灯の音に反応して出てきたあのウイルス プログラムはいったい……? M I T? 美緒は混乱したまま、ぼんやりと立ち ―では、あの人は? 市川先輩は?

、第五話につづく〉

んで、 しみなもの。

毎年開催されるファンの ボクにとっても楽 内容が盛りだくさ

なった訳だ。早速、申し込み受領 ようになるといいな。 将来はネット上で手続きが出来る えば、参加費なんかの振込みも、 済みのメールを出す。ほんと便利 スする。おっ、また電子メールに よる参加申し込みがきているぞ、 これでニフティの参加者は10名に なったもんだ。パソコン通信な !の〝関西ファンの集い〞の日と みをしてもらえばいい。欲を言 いよいよ明日がファンクラブ主 参加希望者にはメールで申し 掲示板でイベントのPRをし ニフティサーブにアクセ

ないというんだから、もったいな 本が詰っている超重いバッグを肩 買ったのに、弥生会計しか入ってい **炎換の組み込み方を教えてたもん** 『があって、MS-DOSの日本語 .乗込む。夜中に井上和彦から電 ったらない から、むちゃくちゃ眠い。せっか ボール』と「聖闘士星矢」の台 、新横浜7時56分発の新幹線 〇〇メガのハードディスクを プレゼント用の『ドラゴ (パソコンは88ノー

> のに入れ方がわからないらしい ようすをレポートするよ 生徒が増えてしまった。 とDA)。ソフトは持っている 難波圭一、についでひと 今回はその

ら今日歌わなきゃならない゛ベイ ながら食べる。 ほうがいいのにな、などと思い ジロードより) のカラオケを 朝食は毎度御馴染みのシュウマ イド・ダンサー もっとシュウマイが多 耳にはカセットか (きまぐれオレ

ライマックスシーンだ。美少女戦 口の「ぶったね」やヤムチャの「新 セーラー・ムーン!!: ところで、いよいよアフレコごっ 狼牙風風拳〟など)で盛り上がった こ! 今回はもちろん美少女戦士 いてQ&A、台詞リクエスト(アム

ぐ頭に入るのにね。 えるのが大変、自作の歌詞だとす 新大阪駅からタクシーで中之鳥 台詞と違って歌詞は覚

めて紹介され挨拶する。 ぼそろったところで、司会から改 缶ジュースを手渡しながら、ひと 議室の入口で参加者を出迎える 開場予定時刻をちょっと過ぎて、会 加者全員に当たる豪華プレゼント のスタッフと合流し、下準備。参 公会堂へ。前日から来ているFC 席に御案内。約8名の参加者がほ 本まで)のすべてにサインを入れ マイクやカラオケのチェックをし て、司会のFC会員と打ち合わせ (アニメビデオから使用済み台 くじ引きで決まった

ントを配り、その説明&PR。続 お仕事の最新情報のプリ

てもらった(本当はお面にするは

そこで今

なにせ

回は役のイラストをそれぞれ持っ からないと面白くない。 映像がないので、誰が何の役かわ 説〟を全員で合唱する♪ るために主題歌゛ムーンライト伝 をしてもらう間、 てきた台本を渡す。台本のチェック の8人の出演者を決め、コピー ブンボー、そしてタキシード仮面 お仕事PRだ フ役。11月21日発売、4800円 気分を盛り上げ

FCのイベントにはかならず参加

冢庭的で手作りの味がして好きだ

する、名前まで覚えている常連の

。1年に1度、この集会でしか会

つい本気でやってしまった。 は前から1度はやってみたくて、 やったことのないおかま役。じつ をやれという! のメンバーを決めるときになって ハプニングが!! 仮面ならぬおかまのゾイサイト さすがに立候補しただけあって ところが2回目 1度も仕事では ボクにタキシー

と引換えに、サイン会となった。 で記念撮影、閉会の手締めと進み、 レゼント抽選会、ボクの歌、 その間に2ショットでインスタン 後に、配っておいたアンケート 写真を撮り全員にプレゼント。 プロのイベントと違い、気楽な 無事?: アフレコが終って休憩 プログラムは例の豪華プ 全員

分囲気で出来る FCのイベントは

ラマ**『三国志**』第3巻曹 **者葛亮孔明2、劉備玄徳役。** 3300円[税込]、8センチC ぐるみミュージカル『**アラジンと**

プ アラジン役」 '93年秋ま

晴れてボク専用の個人会議室を開 源だったなんて

)のHではない。 文字(知ってた? これが日の語 Hといっても、HENTAIの頭 という新フォーラムで、 けることになった。 FANMAG 話を書いてたんだけど、この度 アフレコ日記』と題した番組の車 信のネットに、″タキシード仮面の ヒロインのこと CLUB 名付けて

かしい分身たちに思いを寄せてみ イズ入りのプロフィールなど、 白たちからのメッセージや、3サ ノレコ日記』をはじめ、TVアニ の会誌のようなものかな。もし 単に言っちゃえば、ファンクラ ら! という会議室なのだ。 も同じだけいたわけで、その懐 が多かったりして)さらに共演 情報まで掲載しちゃってる。 ま 話題も満載! (じつはこっちの もちろん。タキシード仮面のア 『美少女戦士セーラームーン』



ジもプレゼントも沢山貰った。 熱い視線で見てくれた。メッセー 会人までさまざまだけど、みんな

顔。11才の小学生から30近い社

ファンの顔。そして今回初めて見 わない去年より大人になった関西

めてこれからの仕事を頑張ろうと

バーが待つ、OFF会の中華料

そしてアニメが好きなんだね。 んな本当にボクの演じたキャラが

ペースト プレストー 池里明言 協力 日本 ファルコム 古代超文明の秘密をにきるといわれる有翼人のエルディール。 秘密を我がものとし、世界の覇者にならんとするグルーダーにいの思惑が交錯するなか、ついに古代超文明の勿が発動した

前回までのあらすじ

ことに、ついに成功した。 れる古代超文明の力を手に入れるため た。有翼人エルディールが守るといわ たのは、闇の一族のグルーダたちだっ な日々を過ごす彼らに異変をもたらし ルと、彼に思いを寄せるリーザ。平穏 禁忌の間に封印された力を解放させる 城に潜入した彼らは、エルディールが 古代種族唯一の生き残りエルディー

15

ギギギィー。

ていたのだ。 ルディールを、膝を抱えて寝ずに見張っ しまったのだろう。禁忌の間に消えたエ に目を覚ましたのはグルーダだった。 はっとして、グルーダは周囲を見回す。 いつのまにか、ついうとうとと眠って 鉄がきしむ音を聞きつけて、まっさき

なってのんきに寝息をたてていた。 ガディスとバミーは、踊り場に折り重

とんど射さないために、 ことはできない。 経過したのだろう。 外からの明かりがほ た。眠っている間にどれくらいの時間が かった。そこまではグルーダも覚えてい は禁忌の間にこもったきり、 姿を現さな -ギギギィーッ。 時間経過を知る

明け方近くになっても、エルディール

の向かい側の石壁を見上げた。 グルーダは、音のしていた方向、 重々しいきしみ音がやんだ。 奈落

> うと眠りこけている手下たちを揺り起こし にかかった。 「おい、起きろ」 扉を気にしながらグルーダは、

せた。ガディスは、多少揺すった程度で 起きそうな様子はない。 バミーは不機嫌そうに手足をじたばたさ

が開いたんだぞ」 「のんきに寝てる場合じゃないんだ。

天を小突いた。 手心を加え、ガディスには容赦なく、脳 グルーダは拳骨を握りしめ、 バミーには

「痛ぃなあ。なにすんのよ」 「……牛の生肉よこせ」

どうにかふたりは床から身を起こした。 そのとき

を現したのだ。 装に身を包んだ、 禁忌の間の暗がりのなかから、 城主エルディールが姿 白い衣

口をあいている。 魔獣の鉄扉が両側に開かれぽっかりと

「な、なによ。うるさいわね」

エルディールは、扉に吸い込まれてい

のうの

扉 わり果てている。慈愛に満ちたやさしいの風貌は昨夜以前にくらべ、明らかに変 戻ったかのようにも見える。しかし、そ ディールはふわりと降りたった。 ように鋭くなっていた。 輝きが瞳から消え失せ、 目つきが別人の りが消え去り翼が静かにたたまれていく。 つめるグルーダたちの目のまえに、 エルディールをとりまいていた淡いひか 一見、もとの物静かなエルディールに

はわからないが……。下品ないいかたか が表に出たって感じがする」 いままでおれたちには見えなかった部分 もしれないが、一皮むけたっていうのか、 だね、わたしになにか変化を感じるかね」 な意志の力を感じさせるしゃべりかただ。 たようにグルーダには感じられた。強靱 大いなる力》に触れてきたところだ。どう 「ああ、変わった。なにがってはっきり 「諸君のご期待どおりに《古代超文明の 声の調子、いや、口調まで変わってしまっ

ことをグルーダは察知していた。 分たちと共通した邪悪な炎がゆらいでいる の瞬間のエルディールの瞳の奥には、 に思えて、接点を見いだせずにいたが、 自分たちとはあまりにもかけ離れた存在 自

別することができた。いまのわたしは新生 の愚かさが悔やまれてならないよ。しか 無為に時間だけを浪費してしまった自分 眠りから目覚めたような感じだ。 今まで のだ。これから、どう生きるべきか、 末裔としての誇りを取り戻すことができた だったように思えてならない。まったく の自分がひどく愚劣で怠惰で臆病な存在 いっていい。本来の自分、 したのだ。いや、はっきりと覚醒したと 「なにか、新鮮な気分がする。長い長い そんな愚かな自分ともきっぱりと決 翼ある種族の



たとき同様に、翼を大きくひろげオーラ

りてくる。 立ち上がり呆然とその姿を見 に包まれ浮遊しながら宙をゆっくりと下

エル

著者近況



の子龍』が光栄より 三國誌英雄列伝の第 -弾『趙雲伝・放浪 大場 惑(おおばわく)

況でした。パズルランチもよろしく。 パズルの企画に参加し、なかなかの盛 円。8月に行なわれたSF大会では、 発売された。ハードカバーで1500 池上明子(いけがみあきこ)



ティ・スレイという ってきました。バン アンコール遺跡へ行

てました。向こうの人ってアバウトね 倒すんです。隣の私はその度にビビッ の揺れに同行の警官が、銃をバタバタ 所へジープで行ったんですが、あまり

> だろうね……」 たしと行動をともにする覚悟はできている ない。あとは実行あるのみだ。諸君、わ 描くことができる。迷いはまったく感じ にをなすべきかを脳裏にくっきりと思い

して、威圧的だった。 エルディールの声は高揚していた。そ

は疑う余地もなかった。 ない。けれども、昨夜を境にエルディー ルが大いなる変貌を遂げてしまったこと | 扉の向こうでなにが起こったかは定かで

「もちろんだ」

迫のこもった声でいった。 グルーダはエルディールに対抗して気

しの後についてくるがいい」 について、語りあおうではないか。わた 「よかろう。ではさっそく、今後の行動

ても思えないわ」 のエルディール様と同一人物だなんて、と 「どうなってるの? あれがきのうまで エルディールは颯爽と歩きだした。

ながら、魔女のバミーはグルーダに耳打 エルディールに従って石の階段をおり

てみようじゃないか……」 れが本物かどうかは、しばらく様子を見 「ようやくその気になってくれたんだ。こ グルーダは、警戒のまなざしをエルデ

ていることをグルーダはようやく知った。 射す日差しで、 既に真昼をすぎてしまっ ィールにむけながら返事した。 階段の壁に穿たれた明かりとりの窓から

謀り事に他ならない。 おさめようという大いなる野望へむけての えず、さっそく物騒な相談を始めた。 起きぬけの家臣たちに食事をとる時間も与 卓へ座らせられた。城主エルディールは、 物騒な相談事。それは、世界を手中に 城主の間に招き入れられた三人は、円

グルーダにしてみれば、エルディール

他からの干渉を免れた。しかしまた、衰

したような感覚なのだ。 いた人形が、意志をもって勝手に動きだ た。本来自分の意のままに操ろうとして ルの急激な変貌ぶりに戸惑いを覚えてい 思ってもみない展開だった。エルディー 自らがすすんで策謀を語るなど、まったく 「……それで、肝腎の《古代超文明の大

ばいいんだ」 いなる力》を発動させるには、どうすれ

のだ。この国の開祖、英雄レファンスに ざらとした言葉を吐き出させていたのだ。 戒心や反発心がグルーダを緊張させ、ざら てしまった。エルディールにたいする警 知れない存在、油断のならない人物となっ にしたエルディールは、よけいに得体の えたわけではない。むしろ、本性を剝出し かといって、対等意識や仲間意識が芽生 る相手ではなくなったように感じていた。 ていた。なにか、丁寧な言葉で問いかけ 葉づかいが、それまでと違って荒くなっ 「そのことだが、事はそう単純ではない グルーダのエルディールにたいする言

「ああ、ある程度のことは……」 グルーダには、レファンスの名前を持

まった。有翼人もまた、城に囲うことで 侵略は免れた。しかし、樹海に沈んでし たかということになる。国土は他国からの るべき二つのものがいまに至ってどうなっ ているはずなのだ。そこで、他者から護 れらの末裔たちがその任務を継承しつづけ へと受け継がせていった。いまでも、か その忠臣たちは、その任をそれぞれの子孫 にその任を五人の忠臣に託した。そして、 の大いなる力》。レファンスは、死の直前 の社会、そしてもうひとつが《古代超文明 なった。ひとつは国土、ひとつは有翼人 て、三つのものを護る責任を負うことに ち出されたことが意外だった。 「レファンスは、この国を治めるにあたっ

ることもないわけだ。そればかりか、有 こされるかもしれない災厄からは逃れら ている。誤って用いられることで引き起 て《古代超文明の大いなる力》だが、こ 退を速める結果となってしまった。そし れたともいえるが、また正しく用いられ れも国土と同様に樹海に沈んだままとなっ

翼人とともに、滅び去ろうとさえしてい

があったとしても、もう手遅れなのだよ。

る。仮に誰かが樹海の底に捜し当てること

つまり、わたしが《古代超文明の大いな

れるのは、有翼人に限られているからだ。

《古代超文明の大いなる力》を発動させら

る力》を解き放てる最後のそして唯一の

有翼人ということなのだ……」

「ちょっと待ってくれ」

グルーダは制止した。

ついて、諸君はご存じか?」

なる力》が封じられていたのではなかっ 「あの、禁忌の間に《古代超文明の大い

いったはずだ」 「いいや違う。事はそう単純ではないと

「では、どこに……?」

「いまは、樹海の底とだけいっておこう」 「あら、教えてくれたっていいじゃない バミーが口を挟む。 たたみかけるようにグルーダはきいた。

容易ではないのだ」 らない。そして、その封印を解くことは いる。まず、その封印を解かなければな まも五忠臣の手によって忠実に護られて おり、《古代超文明の大いなる力》は、 なるわけじゃないんだよ。 先刻話したと 「いや、場所を知ったところでどうこう

捕らえて吊してやればいい。 身に封印を解かせるんだ」 「それなら、その五忠臣の末裔たちをひっ

解決策を提示する。 容易に解くことはできない」 「いや、いちどかけた封印は、 ガディスが割って入って、

グルーダが聞いた。

「封印は、セルセタの国土全域にかけら「封印は、セルセタの国土全域にかけられている。国土が安定しているいま、封れている。国土を混乱と災厄から救う手立てとい。国土を混乱と災厄から救う手立てとい。国土を混乱と災厄から救う手立てとい、国土を混乱と災厄から救う手立てとい、国土を混乱した国土を修復しようと試みる者のためにね」

かはいった。 冷酷なひかりを瞳に宿して、エルディー

グルーダは頷いた。あちこちの村で大暴れすればいいわけだ」「わかった。つまり、樹海を駆けめぐって

総動員させたっていいよ」「そういうことになる。ただし、セルセーであれるら、おれたちの部族の者たちを「なんなら、おれたちの部族の者たちを「なんなら、おれたちの部族の者たちといるなら、おれたちの部族の者になる。

エルディールは、声をひそめてその方れる効果的なやりかただ……」村人たちの恐怖を煽り、国土を窮地に陥村人たちの恐怖を煽り、国土を窮地に陥

の、残忍で血なまぐさい内容だった。の男が語るにはおよそ似つかわしくない、の男が語るにはおよそ似つかわしくない、の男が語るにはといる。

1 血なまぐさい陰謀

がやってきた。リーザにとって、久々に城を訪れる日

れいさっぱりと消え失せてしまったためだったが、その悪党たちの姿が村からき悪党から危害を受けぬようにとの配慮から悪党から危害を受けぬようにとの配慮からいたが、その悪党ならしばらく外リーザは、祖父の長老からしばらく外

に、長老から外出の許しが得られたのだ。リーザは、愛するエルディールと再会できる喜びに、胸弾ませて長老の庵を後できる喜びに、胸弾ませて長老の庵を後にした。しかしその反面、空白の二週間に、エルディール本人の心の変化。このに、エルディール本人の心の変化。このに、エルディール本人の心の変化。この空白の二週間に、なにかよくないことが空白の二週間に、なにかよくないことが発行していはしないかと、ひどく心が騒進行していはしないかと、ひどく心が騒地でいた。

城にたどりついた。聖域を抜け、地下道を降り、リーザは

及る心をおさえ、リーザは扉を開いた。 地特に反して、大厨房脇のその小部屋 には、リーザを出迎えるエルディールの ではなかった。一週あいだをおいたのだ から、今日来ることを知らなくて当然か から、今日来ることを知らなくて当然か から、今日来ることを知らなくて当然か から、から、 9ーザは料理人部屋で身支 も知れない。リーザは料理人のを開いた。

ぱいの顔で周囲をみまわす。リーザは腕まくりをすると、やる気いっこさえなくっちゃ」

「腕をふるって、おいしいもの、うんと

事したにしては、この皿の量はあまりにないか、雑然としていた。 包丁や鉢や箆などの調理道具はている。包丁や鉢や箆などの調理道具は出しっぱなしになっている。それに、生出しっぱなしになっている。それに、生出しっぱなしたのかしら、ふだんこんなことをする城主さまではないのに……」をする城主さまではないのに……」をする城主さまではないのにが、雑然としていた。

多過ぎはしないだろうか……? リーザは、侵入者の存在を疑わずには リーザは、悪い考えを頭から追い払うのが先決だわ」 のが先決だわ」

大厨房のかたづけと掃除を手際よくおえ 大厨房のかたづけと掃除を手際よくおえ スパを焼いた。焼きあがりまでの時間を スパを焼いた。焼きあがりまでの時間を 理をこしらえる。 昼食の時間にちょうど

ルは現れなかった。につられて、どこからか城主エルディーけた。けれども、とうとう城主エルディーけた。けれども、とうとう城主さまがひょっにつられて、どこからか城主さまがひょっパスパがこんがりと焼ける香ばしい匂い

けることができた。うやく物思いの間にお目当ての相手を見つうやく物思いの間にお目当ての相手を見つん居そうな部屋をいくつかめぐって、よよい出る。古楽の間、占術の間と、ふだよい出る。古楽の間、占術の間と、ふだりーザは、城主を探しに広い城内へさまりーザは、城主を探しに広い城内へさま

にいて、 はらく気づかなかい。 であく気でかなかい。 である様子で、部屋にはいったリーザにし はらく気づかなかい。

「ああ、リーザか」
「あの、城主さま。お久しぶりです」

にみつめながらいった。 エルディールはうわの空で返事する。 エルディールはうわの空で返事する。 エルディールの表情を心配げ リーザはエルディールの表情を心配げ リーザはエルディールはうわの空で返事する。

を受けた。

「きみはもう、ここへ来なくてもいい」「きみはもう、ここへ来なくてもいい」ずを見つめ、冷たく乾いた口調でいった。すったく信じられない一言だった。

身長から)(ぎ)、こうこうぶっぷっらないところが……」 らないところが……」

「きみになんの落ち度もない。わたしのリーザは質問した。

86

異あるものの



勝手な都合だ」

きかただった。

を取り戻そうと懸命になった。リーザはそう自分にいいきかせ、平静雑な口のききかたをするはずがない……。ぎている。エルディールさまがこんな粗間違いなんだわ。だって、あまりに違いす

「そういう身の回りの雑事は、もうどうしょう?」 しょう?」

のだろう? エルディールの相貌からはと見つめた。この二週間になにがあったと見つめた。この二週間になにがあったにべもない答えだった。

「どうか、ほんとうのことをお話しください。いったいなにが起こったのです?」さい。いったいない。きみのためを思っていっこっていない。きみのためを思っていった。「さみが心配するようなことはなにもおていることなのだ。もう、この城には来ないでくれたまえ」

リーザを支えていた勇気もここまでだっり一ザを支えていた勇気もここまでだってんなの、いやです。あたしは、あたらえていた涙が堰を切ってあふれでる。 らえていた涙が堰を切ってあふれでる。 こくれなの、いやです。 あたしは、かられていた勇気もここまでだっり

になにも声をかけようとしない。 リーザルス 自分でもわからなかった。 自分でもわからなかった。 か、 自分でもわからなかった。

てしまった。

さつづけてもかまわないとさえ思った。

・ はできなかった。リーザの号泣は、しゃはできなかった。リーザの号泣は、しゃた。けれども、無限に泣きつづけることた。けれども、無限に泣きつづけること

せん」 リーザはゆっくりと立ち上がった。 リーザはゆっくりと立ち上がありません。 四年間いろいろとお世話になりました。 あ年間いろいろとお世話になりました。 ありがとうございました。 ボージ・ルーザはゆっくりと立ち上がった。

うな気がしたからだ。 てしまばこのさき二度と城主に会えないよらだけは口に出していえなかった。 いっらだけは口に出していえなかった。 いっらだけは口に出していえなかったがい さよな

「ありがとう、リーザ」

リーザには思えた。いつもの優しいひかりがきらめいたようにはんの一瞬、エルディールの瞳の奥に

したぜ……」 したぜ……」 したぜ……」 したぜ……」 したぜが勢いよく開いた。 ち切り、リーザはドアを振り返る。 ち切り、リーザはドアを振り返る。

ダたちが城へ帰ってきたのだ。 リーザには覚えのない三人組、グルー

「おっと、先客がおいでだったか……」人するためにバミーの妖術でリーザを眠らりーザのことをよく覚えていた。 城へ侵リーザのことをよく覚えていた。 城へ侵リーザのことをよく覚えていた。 城へ侵りーザに覚えはなくても、 悪党たちは

バミーは、リーザの泣き腫らした顔にんなかわいい娘を泣かせちゃいけないね」「おや、エルディールの旦那も罪だね。こがリーザに鋭い視線を投げかける。がリーザに鋭い視線を投げかける。

に担いだ大きな麻袋を、 どさりと床に投最後に無言で入ってきたガディスは、肩目敏く女の勘を働かせる。

城主に問いただす。

に涙をうかべ、さらに自分を奮いたたせ、

に居られるのなら、からだじゅうから水は、このまま愛するエルディールのそば

分が抜け出て干涸びて死んでしまうまで泣

リーザはしかし引き下がらなかった。瞳

優しさが消え失せてしまっていた。

87



げ出した。

ザはエルディールを振り返る。 に圧倒されて、助けを求めるようにリー 「城主さま、この人たちは……?」 見るからに無法者といった風体の三人

の変化も見られない。 「まずいところを見つかってしまったか」 グルーダは、仲間の顔に目をやり、視

しかし、エルディールの表情にはなん

城に来なくていいと先刻告げたばかりだ」 線をエルディールに泳がせた。 「この娘のことは気にしなくていい。もう エルディールが答える。

を見られてしまった。このまま村へ返し てしまっては……」 「しかし、 おれたちがここにいるところ

考えこんでるのさ。 たかが小間使いじゃ を来すかもしれないと判断していた。 てもらえばいいじゃない……」 ないの。いままでどおりに城の用事をやっ 「ちょっとおふたりさん、なにを深刻に グルーダは今後の自分たちの行動に支障

寄ってくる。 バミーはそういいながらリーザに歩み

とした用向きがあって、もうしばらくこ かまわないんだよ……」 の城に厄介になるつもりでいるの。 あん たは、いままでどおりここへやってきて たいたちは、城主さまのお客人なの。ちょっ 「リーザって名前なんでしょ、あんた。あ

分に向けながらバミーはいった。 ザの顔を、指先で顎を持ちあげ強引に自 「勝手なことを……」 含み笑いを浮かべながら、おびえるリー

とは、誰にも話さないほうが賢いやりか ただと思うよ。 あんた自身の身の安全の 「リーザ。ただし、ここで見聞きしたこ 「いいから、あたいに任せときな」 バミーはグルーダをきっと睨んだ。

その先は声をひそめてリーザの耳に囁き

ためにも……」

とグルーダの顔を交互に見比べ、短く返 ないのでしょうか?」 をやくことができるのだ。ひどく単純な ないのだ。これからも、城主さまの世話 さえ守れば、またこの城へ来てもかまわ ことのように思えてくるのだ。 ると、不思議と元気が沸いてきた。約束 ろはもう家へお帰りな」 すればいいのかもわからないまま、 な詮索はしないことだよ。きょうのとこ れ、リーザは動揺した。なにをどう理解 「城主さま、ほんとにまた来てもかまわ 「ようし、いい娘だね。ともかくよけい しリーザは小さく頷き返していた。 城主は、しばらく無言だったが、バミー エルディールを振り返った。 リーザはバミーに軽く肩を叩かれた。す 会ったばかりの相手に本心を見透かさ

てきた。 「ああ、いいだろう」 リーザは涙をだれにも悟られないように リーザの目には今度は喜びの涙があふれ

あわてて部屋を出た。 追おうとするグルーダをバミーはひきと

れども、きっともとどおりの城主さまに はそう心に誓っていた。 してみせる。あたしの力で一 わったようになってしまわれたんだわ。け ミーが険悪なやりとりをしていた。 だだっぴろい廊下を進みながらリーザ 城主さまは、あの三人のせいで人がか 一方、物思いの間では、グルーダとバ

> するつもりだったのさ。殺すの、それと も城へ監禁しとくの」 「あら、悪かったかしら。あんたはどう

だけじゃないのさ」 「どっちにしたって、村人の不審を招く

ように、城主エルディールを目配せでさ

いってバミーは、リーザだけにわかる

のためにもね……」

「……、あんたの惚れてる男の身の安全

ら心配いらないって」 かけるくらいのことは必要だったはずだ」 「だから、ちゃんと釘を刺しておいたか 「けどな、なにもしゃべるなって脅しを グルーダはバミーにくってかかった。

の姿もみかけられない。

にものを引きずったあとが一直線につら

廊下をうろうろするうちに、リーザは床

たが、リーザの用意した昼食を食べ散ら

した痕跡はあったものの、そこにもだれ

しか

理解できないことさ……。まあ、一瞬に

かべていた。 バミーは小馬鹿にしたように薄笑いをう

出たリーザだったが、このまままっすぐ 村へ帰るには早すぎる時刻であることに思 い至っていた。 地下道を抜け、いったん聖域の草原へ

ればならないわ・・・・・」 また次の週まで不安な日々を過ごさなけ んでいると、次第に心も落ち着いてきた。 「このまま、すぐに帰ってしまっては、 午後の太陽を浴びて、しばらく草原に佇

> になったとき、廊下の奥に明かりを見た 分か地下の奥深くへ潜り痕跡を見失いそう 下へと一歩一歩階段をおりていく。何層

リーザは勇気を奮いおこし、薄暗い地

な詮索はするなという言葉が、まだ耳に きれば彼らがなんの目的で城に居座って う少し詳しく知りたかった。そして、で と地下道の入口へむけて動きだしていた。 時間もまだたっぷりとあることだし」 に緊張した。バミーにいわれた、よけい いるのかも。 「こっそりと、覗き見してはどうかしら そうした考えが頭に浮かぶと、足が自然 城への鉄扉を開けるときには、さすが せめて、三人組の無法者たちのことをも

城に忍び込んでからも、リーザは息を

残っていた。

「それはつまりだ……」 殺して慎重に行動した。こっそりと物思 いてみたのだが、やはりどこも空である。 れもいなかった。同じ階の部屋を次々覗 いの間に戻ってみたが、既にそこにはだ 「みんなどこへ消えたのかしら……」 昼時だということで、厨房も覗いてみ

「なんていったんだ」 「あんたらがさつな男どもにはいっても

ことにしとくよ」 してひとの心を盗み見る魔女の妖術だって

み込んだことがなかった。 ていたために、リーザも地下へは足を踏 とたどりついてしまった。その先は地下 いった。痕跡は、階下へ階下へと続いて くかもしれない。 あの袋を引けば、ちょうどこんな跡がつ 抱えていた大きな麻袋に思いがいたった。 なっていることに気づいた。ガディスの へと続く階段だった。 城主から禁じられ いる。跡を追ううちに、とうとう一階へ リーザは廊下につけられた筋を追って

き入れられようとしているところだった。 そしていままさに、その部屋に麻袋が引 ていた。その扉から明かりがもれている。 扉が閉ざされ、廊下は闇に包まれた。 中身を見てしまったのだ。 しかし、麻袋からはみでていたもの一 廊下の突き当たり近くに、鉄扉が開 と背筋が凍りつくような音をたて、鉄 麻袋の底が破け、その穴からはみでた リーザは見てしまった。 八間の足の像は、 くっきりとリーザの ーギギギィー。

へつづくく

網膜に焼きつけられていた。

スキーは大丈夫か? (神奈川県・林 貴史)

大丈夫だ!

アスキー入社歴の長い編集者

\ を重ねるにつれ、内容がど

弾が12月に発売を予定しているN うか。もし月刊化が決まった時に はない)1冊になる予定だ。さら 成されたオトクな(おたくな、で て読み切りの小説とコミックで構 O V E L スペシャルなのだ。すべ 化計画を推進している。その第1 つはログアウトでは実質的な月刊 は読者のページを増やしてくださ と月刊化も近いのではないでしょ に感じています。この調子で行く 月刊化はまだまだとしても、じ んどん濃くなって行くよう (北海道・菅原将伸)

<>><>><><</p> スペシャルも予定されている。 に来年にはテーブルトークRPG の2冊のスペシャルもよろしく スタッフがもっとほしい編集長

たらいいのか教えてください。 クナンバーはどうやって手に入れ 口 グアウトの第1、2号を買 いそこねてしまった。バッ (千葉県・宇多田裕如

倒ということであれば、アスキー で取り寄せてください」っていえば 「ログアウトの第○号が欲しいの ば ほどいただいております(ウソ)。 の直販部というところまでお電話 てのがあります。本屋さんにいって は、最寄りの書店に注文を出すっ では、バックナンバー購入講座お いですね。本屋に出向くのが面 同様通知を全国から100万通 まず、初歩的な方法としまして

までが営業時間です。 03-3486-7114(直通):

をください。月曜~金曜までの毎

午前9時33分~午後5時33分

電話番号は

載作品もまとまりしだい、コミッ るのだ。もちろんログアウトの連 しっ君』まで、多くの作品が出てい ターである荒井清和画伯の『ベー を出しているのだ。毎月22日には で教えてくれます。 ミ通に連載されている作品をはじ 『しあわせのかたち』というファ 本が書店に並んでいるはずなのだ。 1冊ないしは2冊のコミック単行 クスというコミックスのシリーズ アスキーでは、アスキーコミッ ログアウトのアートディレク できれば、出してホシイ!! リメやダネール・サーガは 『マンガ本』になるんです 営業活動にはげむ編集者 (新潟県・佐藤めぐみ)

発売されているのだ。ぜひ買い求 クスにしていくぞ。すでにめるへ WONDERLAND』の1巻も んめーかー先生の『わんだりんぐ



美緒の世界の雰囲気をうまく引き出して ▶東京都・土佐秀和

神奈川県・石田一起

たかな。これからも応援ヨロシクね

でもね、12月に発売されるノベ 編集部でも、隠れアルシオーネ

てくれることになったぞ。どんな ち(って読むんだよ)先生が描い アルシオーネにスポットライトを 売されるノベルスペシャルでは、 望に素直なとこがいい! っての ファンが多いんだよね。自分の欲 お話になるか、お楽しみにね! あてたプリメの番外編を、このみ がその理由。で、ついに、12月に発 原稿を早く上げてほしい編集者

ネがかわいそう!! (千葉県・小堀弘美)

井県、しらない人も多いで しょう。

(福井県・堀江隆信)

で思いだしたんだけど、学校の休み 時間によく地図帳を広げて口に出 そうそう、このおたよりを読ん 代金の振り込み方法などをその場

▲福島県・

お 嬢様にお聞き!!:

ホホホホホ……。あたくしのファ



いて、 なかなかのデキだぞ。

今号のビザンティラの特集は読んで

rincess なな 大きくなった 1992.9.22 SHIKI

高橋絵美子

魔法使いになったアルシオーネかな。お 母さんのセンティアの血筋だね。

アスキーコミックス担当の編集者

ルスペシャルで、

小説のお仕事を

いただいてしまったわ。恐怖のお

てもわかりません。教えてくださ できれば、趣味、その他も。 奈津子先生の年齢がどーし (広島県・野宗光国) 係へ。

> を遂げるから、いまからかくごお 嬢様ファンタジーで華麗なる復活

い思いをして、

アルシオー

っつもプリメーラばかりい

(森先生ゴメンナサイ)

ニセお嬢様な編集者

あなた、あたくしの老後の面倒を たくしの収入源が途絶えたのよ。 かったの? おかげであたくしの と早くウジウジお悩みにならな てこと、ご存じないの? 様はいくつになってもお嬢様だっ りたいですって? あなた、お嬢 見てくれるというの? たわよ。どうしてくださるの。あ コーナーは前回で終了してしまっ ンからの手紙がこんなところに届 そんなことより、どうしてもっ たようね。あたくしの年齢が知



間からみえる鋭い視線がグー。放浪の美剣士というところかな。髪の狭 対戦ゲームをやると

ってけま話があるけれと

ス-/1º-マリオカ-/

風船割り 八十ル モート!!

自分の

バナナの皮で

仕掛けた



▶東京都・今井優

今月も弟に借金地獄だ。 が必ずいたんだよ。あつ……それ キーコミック買って・・・・・・。 買って、A・ONE買って、アス つけてみろってな感じで出すヤツ の "定価680円" は高い。 ファミ通買って、ログイン (宮城県・早坂正人) 神奈川県民の編集者

す盛り上がる真・女神転生なのだ。 '秋田県・桑村周平 パーファミコン版も発売され、

ログアウト第4号のプレゼン

当選者発表

ドラゴンナイトCD

秋田県能代市

吉田美奈子

千葉県市原市 山本博文

神奈川県横浜市 難波将史

第3号プレゼント

ムをしなかった?

生きている間

していった地名を見つけ出すゲー



ろばかり探し出してきて、ホレ見 な地名なんだよな。そういうとこ かあって、それがやたらとミョー に絶対に行かないようなところと

バンザイ、と一石三鳥。めでたく 地獄からは解放されるし、いまま ができるじゃないか。これで借金 買うからね」とふたりで読むこと てね。僕はファミ通とログインを じつくり説いていくのだ。そうす はこんなにおもしろいんだぞ」と ば俺も……。 悩みは解決するとハハハハ……。 できるぞ。そしてアスキーもバン でどおりログアウトを買うことが ないか。弟さんに「アスキーの雑誌 て、 キーコミックとログアウトを買っ れば「じゃあ、お兄ちゃんはアス フーン、 早坂くん良い方法があるじゃ 借金地獄か。そういえ と、それはおいとい

兄弟仲はすごく悪い編集者

ガレージキット プリンセス=ノイの ●ログアウトテレカ





がコミックで10月22日に登場。3名。 ➡本誌で好評連載中のわんだりんぐ

クリーンを3名にプレゼントだ。

締切は11月20日 のあて先のプレゼント係まで 発表は次号で行ないます。 (消印有効)

> ることもあります。みんな気を長 行ないますが、諸事情により遅れ

です。なお、発送作業は速やかに

おめでとう、以上の方々が当選

大分県大分市 広島県広島市

糸永昭

小川賢太郎

くして待っててください。

い商品名と住所、

氏名、年

電話番号を明記して左下

応募方法は官製はがきに欲

➡末弥純先生のイラストがまぶしい

さえぐさ・じゅん先生の

広島県熊野町 越智俊介

兵庫県伊丹市

橋本賢司

わんだりんぐWOZDERLAZD ●めるへんめーかー先生のコミック

ーモンスターメーカー・サガ

オリジナルテレホンカード

神奈川県横浜市 秋田県秋田市 のばら森絵本

新潟県西蒲原郡

山田桂子 北上則子

沼澤克彰

千葉県松戸市

東京都八王子市 榎田龍 群馬県高崎市

青木三津将 岩渕聡



美少女戦士セーラームーン

出演者寄書き

山口県下関市 岡山県津山市

山本司

渡辺真仁

神奈川県横浜市 紺野光央

ふる かる 夫の

T107-24

東京都港区南青山6-11:

緒だと思う

A

のあて先

住所へ。採用者には本誌特製 テレカを差し上げます。 各コーナーへの応募はつぎの

ログアウト編集部 ㈱アスキー スリーエフ南青山ビル LOGOUT JETTERS係

心

おたくに国境な

ドラマがあるプロレスだ! キャラクター同士の抗争に

前回はパーティーにドラマのあ

WRESTLING (以下asw) ドラマのあるRPG、ALL-STAR 反対に位置するRPGを紹介し よう。キャラクター同士の抗争に るRPGを紹介した。今回は正 テーマにしたRPGである。 ASWは文字どおりプロレスを

キャンペーンをするのとどう違う のか? なるほど、大した違いは にパイロット・ルールをつけて るだろう。空戦シミュレーショ ゲームじゃないか、と思う人も 衛するのがゲームの目的だ。 それじゃあ、ただのプロレス しかし、ドラマを感じさせ

るという点では、

ムというよりRPGに近 シミュレーショ

されている。

たとえば善玉レス

チならではのテクニックも再現さ

定で準備が開始されています(内

ナリオ#3が来年春スタートの予

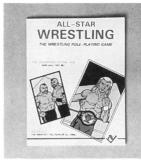
なく。さらにパワーアップしたシ

の弱点ルールもあれば、タッグマッ ある。レスラーの性質を現すた

技を自作するためのルー

参加するのは難しいですが、ご心

ことができるのである。 - は観客の声援を呼んで、 〃



冊にプロレスの魅力が満載

おけるレスラーのキャラクター性

ムとおすすめしよう。 戦する人にも、

ルールの量も少なく、

初めて未訳RPGに挑

さらに大規模戦闘を扱う軍事サプ

分野をカバーするように展開して

メントその他とTTCは幅広い

うってつけのゲー

用意されていない。アメリカに

いといえる favorite) と悪玉 (rule breaker 2サイドに分類される点に注目 ラマを表現しているだろうか では、ASWはどのようにして たい。アメリカのプロレスに詳 まず、レスラーが、善玉(fur い人なら一発でピンとくるだろ 明しておこう。 知らない人のためにちょつ 団体でのランキングが与えられ 戦って勝つ方が成長が早い とが大切になる。しかし、 マニアが説明してくれた。 ないのだろう……と、プロレス ので、うかつにパロディーにでき や団体の個性は大切な で、まずはこれを上げていく ともかく、各レスラーには所属 (よりランキングの高い)相手に

玉は徹底してブーイングを浴びる ような試合運びをするし、善玉は ター作りがかなり徹底して 知した上で試合を観戦する。 くまでも自分のスマートさをア 観客もレスラーの役まわりを

> ピオンの座を守るのはむずかし 探して挑戦し続けないと、チャン

てでも、ということになるの

他団体にケンカを売

ASWはプロレスの持って

メリカではレスラーのキャラ

れてしまう。

所属団体でチャン

オンになっても、より強い相

上昇志向を失うと後輩に追い

の

のランキングを狙い、チャンピオ

本的に試合を繰り返してより上位 ジョンに突入したりはしない。基 たがってパーティーを組んでダン

ン・ベルトを獲得し、より長く防

能、悪玉専用技能がちゃんと用 反映して、 くやっつけるかにかかってい 悪玉がいかに卑劣な勝ち方をす ールしながら戦う。試合の興 こうしたアメリカのプロレス観 善玉がいかに悪玉をカッコ ASWでは善玉専用

> 点でも秀逸である。締め技24種類 要素はほとんど含んでいて、

争を忘れてはいけない。 ら思わずニヤリとするような設定 を背景にしているので、残念なが のは他にもある。各種団体の抗 ASWは架空のレスリング団体 ドラマの要素として見逃せな

REGUIA

のマルチな側面について紹介しま だといえます。 が大流行りですが、 昨今マルチメディアという言葉 かなりマルチメディアなRPG 今回はクレギオン

打撃技78種類が用意されているト ない重みと充実感のある展開が特 徴です。シナリオ#2はこれから テーブルトークRPGでは得られ トワークRPG〟シリーズ。 現在はシナリオ#2『イスフェ ネットワークRPGは同時に数 の地にて』が進行中です。 人が参加する豪快なゲームで

ら戦うという、プロレス特有の ファンなら絶対にプレーして損は 合運びもシステム的に表現され れている。スタミナを計算し いところもあるけれど、プロレス RPGとしては、やや物足り 例も豊 『辺境アレイダ』が発売されます ギオン』(略称TTC)。この11月 容はもう少し待ってくださいね)。 #1の舞台を扱ったサプリメント にはネットワークRPGシナリオ このネットワークRPGのプ がテーブルトークRPG「クレ ―結果を反映して作られている

なかなかである

まず郵便を使ってプレーする〃ネ クレギオン クレギオンの情報: 大なクレギオン世界が誕生します 弾は富士見ファンタジア文庫 きめ細かいフォローもクレギオ

うに小説も出版されています。 さらにこのふたつを補強する

て、もちろん、 編も近日中に登場の予定です。 ら出ている『ヴェイスの盲点』。 ルトークRPGは自分たちでス は雰囲気をつかむために、テ オン世界を体験するために、 この3つが組み合わさって、 ネットワークRPGは生のクレ ーリーを切り開くために(そし ひとつひとつが

·Cのサポート専門の新聞『TT サポート記事がありますし、 設けています。 でTTCの大会『TTC-C 』を開催し、腕を研くチャンス ニュース』も毎月発行されて 「ネットワールド」にはTTC ネットワークRPGのサポー さらには半年に1回のペ

(青)/青井美香

(浩)/尾之上浩司

(田)/田北鑑生

(三)/三村美衣

(山)/山岸

(八)/八ツ繁克治

主として、一世を風靡したことで 部〟を率いたバンカラ気質の持ち 心のスポーツ愛好集団〝天狗倶楽 も知られる。 そのうえ、早稲田大学出身者中

SF研究の第一人者として知られ る横田順彌である ンとして、また日本における古典 代に心酔した作家がいる。 は゛ハチャハチャSF〟のヨコジュ そんな押川春浪と明治という時 かつて

田順彌の熱き想いは、やがて〝明 川春浪』(三一書房)の2冊の評 押川春浪』(徳間文庫)、『熱血児押 ある。作家としての足跡はもちろ 生み出すこととなった。 治もの〟と呼ばれる一連の物語を た押川春浪と明治時代に対する構 した古典SF探求の過程で培われ 伝にまとめあげられている。こう まで克明に調べあげているのだ。 いは、筆舌につくしがたいものが ん、プライベートな人物像に到る その人物研究の成果は『快男児 横田順彌の押川春浪に対する想

界だ。その特徴は、押川春浪を筆 描かれる夢とロマン、幻想と怪奇 こと、 頭に実在した人物が多々登場する 活躍した明治末期の日本を舞台に に彩られた特異な魅力に溢れる世 *明治もの*、それは押川春浪が 明治末期という時代背景が

> るだろう。 手に取るように伝わってくる詳細 な世界描写の妙技ということにな

をご存じだろうか。押川春浪は

皆さんは、押川春浪という作家

期に活躍した科学冒険作家であり 『日本SFの祖』と呼ばれる明治末

(代表作に『海底軍艦』がある!)

境の秘密』(いずれも新潮文庫) は 代SFの原点に位置するふたつの ルズの『宇宙戦争』、コナン・ドイ リーズ。それぞれにH・G・ウエ ぼる。『火星人類の逆襲』『人外魔 紡ぎ出した物語はすでに8冊にの 《天狗倶楽部戦記》と銘打たれたシ 明治末期を舞台に、横田順彌が の『ロストワールド』という現

ている。

ても知られた人物なのだ。 いった少年冒険雑誌の編集者とし かつ『冒険世界』『武俠世界』と

若き作家の姿に作者の姿が重なっ の秘密等々)の数々に立ち向かう らの来訪者との遭遇や共生知性体 天動地摩訶不思議な事件(宇宙か する黒岩四郎・時子兄妹と共に驚 ステリ。サブ・キャラとして活躍 インとなって活躍するSF幻想ミ て見えてくる。

初の世界無銭自転車旅行を敢行し 倶楽部』の一員でもあり、 た冒険家中村春吉を主人公に据え 『幻綺行』(徳間書店) 日本人



向いた天狗倶楽部の面々は……。 見した失われた世界の再見聞に出 恐怖のどん底に陥れた火星人が東 かれた作品でもある。 作品に対するオマージュとして描 マンとSFならではの楽しさを兼 京に! ね備えた逸品だ。 いずれも明治という時代の持つロ チャレンジャー教授が発 イギリスを

と若き科学小説家鵜沢龍岳、 葉社)、『星影の伝説』『水晶の涙』 (徳間文庫) の4冊は、押川春浪 『時の幻影館』『夢の陽炎館』(双

は……である」、西郷隆盛の亡霊と

である』創作の秘密に迫る「吾輩

その仲間たちが織りなす連作形式 社した美少女編集者松川百合子と らが勤めていた出版社博文館に入 を筆頭に児童文学の大家巌谷小波 ノラマ・ノベルズ) は、 最新作 『明治幻想青春譜』

た幻想怪奇小説

押川春浪

ことはいうまでもない の してのアイデアも満載されている 文豪夏目漱石の名作『吾輩は猫 明朗青春小説。もちろんSFと

失われた戦艦畝傍の謎を描く をSF・怪奇の醍醐味満載に描 などなど、日本史や文学史に登場 争秘話「皇国ノ興廃此ノ一戦ニ」 八郎と陸海軍の名将が語る日露戦 天愛人の人」、乃木希典、 する著名な人々の知られざる一 東郷平

押川春浪作品に触れてみることが る明治の少年小説の系譜、とく を知らない読者にも楽しめるよう 肝心だ。 しみを得るには、やはり原点とな に構築されているが、より深い楽 は、 横田順彌の一連の もちろん押川春浪とその時代 が明治も

傑作少年小説が収録されているの と請け合いだ。血沸き肉踊る熱血 の代表作『海底軍艦』をはじめ 第2巻 押川春浪集』(三一書房) ともチャレンジしてみてほしい。 物語に恋こがれる人たちは、 の煌めきにいつしか夢中となるこ 風と並々ならぬイマジネーショ いが、明治の人々のおおらかな気 じめは取っつきにくいかもしれな だ。旧かな使いの文章なので、 「空中大飛行艇』「怪人鉄塔」など をさがしてみるとよい。押川春浪 くの図書館などで『少年小説大系 もし興味を持たれたならば、 ぜひ

はずだ。 治もの。 んでみるとよいだろう。横田 のエピソードを綴った『明治バン を持ったなら、天狗倶楽部の面 代に生きた人々の生きざまに興味 カラ快人伝』(光風社出版) また、 世界の楽しさが倍増する 明治という時代とその時 横田 "明治』ワールドを を読

傭兵たちの星バトルテック3人

墜ちたる者の書



角川書店刊/2500円

タニス・リー 浅羽莢子訳

リーほど長じた作家は、 超越した存在を描くのに、 この世ならざる美しさ、 そうは タニス・ 善悪を

ロッパの架空の都市パラディスを 存分に表わされているのが、ヨー の2冊です 舞台にした〝パラディスの秘録〟 そんなタニス・リーの持ち味が ません。

 σ

1)

でも、なによりもこの物語の

が大変動前のイスタルで摩訶不思

魔術師レイストリンといった面々

てキャラモン、タッスルホッフ、黒

t

翻弄される人々を描いた連作短篇 **乗りうつっていく幻獣と、それに** |世紀にもわたって人から人へと 先に出版された「幻獣の書」は、

> の書」は、またちょっと趣きの 集でしたが、 わった中篇集です。 今回の『墜ちたる者 変

タニスム、両性具有の魔道士と異 の名前がタイトルの一部につけら なりながら、 のままに絢爛豪華で、 ってしまいます。 園の魅力にどんどん捕らわれて それぞれ、 読みすすんでいくうちに、禁断 ティシズムに満ち満ちた内容 あつかう中身は、 三作品ともタイトル 吸血鬼、 しかもエ サ

あ

を落とすのは、 する街パラディスそのものなの ちばんの主役は、美と頽廃が支配 もしれません。 黄昏どき、石づくりの街路に影

秘めやかな分身でしょうか。 わたしたち自身の

紅、 黄、 青と、 色 ドラゴンランス伝説も



のドラゴンランス戦争が終 M・ワイズ/T・ヒックマン著/安田均/細美遙子訳/富 士見書房刊/500円

してから2年が経過したころ、 パ

ラダインの僧侶クリサニア、そし

なってしまった。しかし、苦難を乗 いなまれながら、 うな、運命の日 議な冒険をすることになる。 そうとする。さて、 ·越え、みな、 この世の終わりかと思われるよ 自分の使命を果た や みんなは散々に 暗黒の女王と ″奈落』にさ

映の書 リュスリナの剣ー



神月摩由璃著 早川書房刊 500円

支配する惑星ベルダンディーの反 の政変を終結させた軍団は、 イソンの父の仇、 いる青年。前巻で惑星トレルワ は傭兵部隊グレイ・デス軍団を 主人公のグレイソン・カーライ リコル公爵の グ の角笛を賜わった。だが、 めにと、神より金と銀とのふたつ しい伝説が残されていた。その 草原の民イシュワル族には、

勇者ルグナンは戦いに勝つた

銀の角

角笛は

は日本アニメの専売特許かと思っ

いたのだが、米国産のこの《バ

トが戦場を駆け巡る、なんて設定

率

全長10メー

トル余りの巨大ロボ

W・H・キース, Jr.著/安田均/安藤真智子訳/富士 見書房刊/520円

を

利用して、消耗の少ない局地戦

プシップなどの限りある科学兵器

を引き起こし、人類は過去の遺産

戦争の長期化は文明の退行

'あるメックや星間航行用ジャン

を展開しながら膠着状態に入って

写にH・ハリスンを思いだしたの 星環境や軍人の生活臭い細かい描 設定的に多少の硬質さを感じるの した産物だからか。 、リラ戦に参加することになる。 《府革命軍に依頼を受け、彼らの 本作がボードゲームから派生 いかがなものだろう。 個人的には惑 兄妹リュスランを探そうとしてい 旅に出たまま行方不明となった乳 は、 まった。 ふたつともいずこかへ失われてし 笛を渡した乳兄弟イゾルに裏切ら イシュワル族の少女レューシャ この ルグナンは亡くなり、

星間連盟の崩壊により、銀河の覇

[は宇宙へと及んでいた。しかし、

識を覆すに足るものだった。

ルテック》シリーズは、

その認

舞台は31世紀の未来、

人類の版

いる。

主力兵器はバトルメックと

う人間型の巨大有人ロボット。

間国家を中心に幾世紀も継続して 権を賭けた継承権戦争が、五大星

t=

待しましょう。 てしまっているのです。 なるというところで、 うこと。これからますます面白く だお話がはじまったばかりだとい たったひとつ、問題なのは、 巻は終わっ 続刊を期

躍が楽しみな存在と言えそうだ。

RPGノベルでは、

ジャック・

ジー《シャドウ・サークル》の

弾。いずれの作家も、

今後の活

"金と銀の角笛"を求め

ラゴンランス伝説』が、ついに完 うところまで進んでいたこの『ド レイストリンとの対決は……とい 結した。

第1シリーズに比べると、 台設定には大満足 たのにね。 こらへん、 ン、アクションの連続だけに、 のはたしか。もともとがアクショ 物語がわかりにくい部分もあった キャラの動かし方に混乱があって、 内容で、メリハリもあった。 いう、いかにも戦記ものといった てひとつの目的を達成していくと の動きに影響を与え、 かで、それぞれの動きが、ほかの者 複数の英雄が個々に活躍するな 異世界の雰囲気や、 整理してあると良かっ 全体となっ 若干、 ただ、

ことは間違いない リーズがRPG小説の頂点にある (浩

なんのかんのいっても、このシ ンルは元気いっぱい。 寂しいけれど、まだまだこのジャ 新刊の姿が見られなくなったの

耳もとに、草原を渡るさわさわと した風の音が聞こえるよう。 物語に引きこまれてしまいます。 じめた新シリーズは、 すよね。その彼女が満を持しては 的なファンタジーの書き手なんで のだけど、 さんの優雅な生活』の印象も強い モア・ファンタジー『花輪竜一郎 とに戻れないことになっても……。 掟を破り、自分が二度と一族のも ィ・ブックスから出ているユー 神月摩由璃といえば、おなじ 娘のひとり旅を禁じた一族の たとえ、自分が旅に出ること ほんとはこういう正統 一行目から

哀

7月11日~9月10日

ンタジー作品について簡単に解説 の2ヶ月間に刊行されたSF・ファ しておこう から。大陸書房の新書・文庫の まずは、恒例、ティーンズ・ノベ 今回は、7月11日から9月10日

士の活躍が楽しい一篇だ。 女戦士黄紅花が登場と相成った。 災後の悪徳渦巻く横浜に美麗の少 ついに第2部へ突入。悪夢の大震 いるパルス軍の活躍が描かれる。 庫)が登場。国王アルスラーン率 第2部第2巻『旌旗流転』(角川文 丈青扈三娘の転生でもある少女戦 本家『水滸伝』の人気キャラ、 ンタジー《アルスラーン戦記》は、 (角川スニーカー文庫)をもって、 《妖世紀水滸伝》だが、『魔花繚乱』 女性読者を中心に人気の吉岡平 田中芳樹の人気異世界歴史ファ

原とうやの『後継者の鈴』(いずれ 河冒険ファンタジーの開幕篇。 ス=ルー大陸史》と銘打たれた大 野夏菜の「誘いの刻」は、《カウ スーパーファンタジー文庫)。 衛獣」、鎌田剛志の学園アクショ PGファンタジー『ラグナレクの 作家が目立っている。古代紫のR もコバルト文庫)はSFファンタ 『私立探偵同好会』(いずれ 新鋭の作品では、集英社関連の 立 ŧ

朝のガスパール



筒井康隆著 朝日新聞社刊 1300円

の重役たちというのが、だいたい た……というのがこの小説の冒頭 シチュエーションで、 ューター・ゲームが流行してい ちのあいだで、 で紹介した理由その ません? 者のみなさんの世代の未来の姿 隊』というオンライン・コン いう設定。 舞台は近未来。 これが、この本をこ ちょっと興味をひか 『まぼろしの遊 流企業の重役 しかもそ

かたにある。 理由その 二は、 これは新聞に連載 この小説の書

ノォーチュン・クエ

井線」全3巻(800円、 克服したときの可能性)まで浮か パソ通のかかえる問題(とそれ てくるしかけ。 あっと驚くほんとうの意味が見え 通信記録が、朝日新聞社刊『電脳筒 の ネットでこの連載用の会議室を開 のことだけれど、なんと作者は某 うと、こういう場合ふつうは投書 せると宣言した。読者の意見とい 読者の意見をストーリーに反映さ された小説で、 意見を反映させるという言葉の て ことにした! 興味深いのは、 『読者なら素通りするわけにはい)あがっている。これはもう、 て、 ない本でしょう。 結果だけではない。 小説と並行して読めば、読者の 1100円)に編集されてい その書きこみを参考にする L そのとき作者は、 かもそこには、 約半年分の 800 **山** 本

ひとつ火の粉の雪の中

ひとつ火の粉の

易中

秋田禎信著 富士見書房刊 520円

喰らう鬼たちを殺すさだめを受け なストーリー。 旅をはじめる……ってのが基本的 公が、なぜか幼い鬼の娘をつれて たはずの、人ならぬ人である主人 いる、時代劇ふうの の領域と人の領域がつながっ)世界。人を

める本じゃない。 語やキャラクター設定の説明が は読むべし。ただし、すいすい読 だ?」って気をひかれた人は、まず だからタイトルに、「ん? なん なにより、文章がかっこいい。 というのは、 造

> の要素とカタストロフをいっしょ 出ない裏設定もたっぷりってとこ ばだて、 説明の文章がこれくたかっこよく くたにどーんとぶつけてくる。 リフの応酬の途中で、 は、富野アニメさながら。そのセ 味深で時代がかったセリフの応酬 ろ。とくに、クライマックスの意 て観ることが必要な上に、画面 神秘的な雰囲気を醸しだして、 かなか出てこなくて、 ム以降のアニメ。セリフに耳をそ ことでもある。 んでるとぞくっときてしまうって あるから。逆にいうと、それが その分ちょいわかりにくい面 画面の隅まで注意を払 たとえればガンダ 作者は泣き

えておいて損はなさそう。 値あり。 ちょい時間がかかっても、 この作者の名前も、 読む (山 (山 覚

価

これが、しびれる。

目でついにパステルたちが海を渡 いうぼくの予想は大当たり。7巻 の冒険が出てこなかった。 航海ネタがあるだろうと (1 F1挑戦!

かげん、

海



高齋正著 講談社刊 74NP

黒覆面の変な男は出現するわ、 と魔法が入り乱れる。とどめはお 港してからも、海賊そのほか押し なにがなんだかわからない。 、ィビー坊っちゃんが出てくるわ、 ばさんとその息子でわがままな 、はいかない。冒険の目的は荷物 いから、RPGみたいにカッコ良 とはいえ、パステルたちの航 狭い船のデッキでは、 出発前から、 ″大イカ〟の来襲だ。 ヒステリー 剣 出 るベテラン作家高齋正。 りなす熱きドラマにこだわり続け ちの姿を描いた高齋―Fワー カーによるF1制覇を夢見る男た で、 そしてレースに携わる男たちの の最新作。もちろん、F1パイロッ シャシーからエンジンにいたるま 自動車とレースをこよなく愛し、 全てが純国産のフォーミュラー

本書は

のは航海の場面だ。ちょっぴりも

くなか、船が波を越えて進んで 悲しいメロディが流れ、

寄

せて、

潮騒が

あると思うけれど、

ぼくの場合、

ひとによっていろいろな意見が

深沢美潮著 角川書店刊

ナ:

ることになったのだ。

560円

ドラクエ」や『F・F』をやってて

デ お の

ちばんハッピーな気分になれる

は次巻までのお楽しみ。 待ちどおしいデシ。 ーティが、このあとどうなるか 最初の目的なんてどこへやらの 8巻目が 浩

のマシーンで、

日本人ドライバ

物語は単純明快。オール日本製

うな日本人の夢が実現することを

望まずにはいられない

星

もないだろう。

も日本人であることは言うまで

ルド

チュン・クエスト』にはいままで

かわれらが深沢センセの「フォー (礼……つきものの航海だが、 う冒険って感じになるじゃない。

決

く。これぞロマン!

気分はも

幻想世界に憑きもの……おっと

としては本当に残念なことだけれ る熱き心、 誠実な人柄、 まえている。 ポンサーさがし、そして新鋭日本 シャシー製造、エンジン開発、 具現化の過程が、 ど、いつの日か本書に描かれるよ だ。夢のF1制覇を目指して……。 人ドライバーの登用。夢見る男た かれるのである。マシーンの設計、 熱き想いを胸に集う男たちの夢の れだけを夢見る男宇井野を中心に、 でF1に優勝したい! 実には、 ONDAの撤退が決定。ファン 想の男たちの姿がここにある。 の前には、 果てしなく飛翔を続けるの 93年のF1シーンから 作者高齋正が想い描く そしてレースを愛す だが、男たちのロマ 幾多の難関が待ちか 葛藤の日々が描 ただ、

しかもその て ジー。『いまわしき死の使い』は、 ラッケンフェルズ」は、RPG世界 小説が2点刊行されている。 ヨーヴィル『ドラッケンフェルズ』 が登場している。 RPGルールブック』(角川文庫) 第2弾。また、 《吟遊詩人オルフィーユの物語》の を背景に描かれる吸血鬼ファンタ まわしき死の使い」 しみだ。 『ガープス・ベーシックー汎用 《ウォーハンマー》関連の B・クレイグ『い ルールブックとし 今後の展開が楽 (現代教養文

は、ほのぼのと、 のぬいぐるみたちの事件の数々に 作では、新井素子の わいが漂っている。 いぐるみ、わにわに、が語る仲間 新井家に居を構える名門ワニの 知られる著者の面目躍如の1冊。 語」(講談社)があげられる。この ティーンズ・ノベル以外の注目 ぬいぐるみフリークとして かつ不思議な味 『わにわに物 め

とも読んでみる価値がある労作。 志倭人伝』は、古代史ファンならず ン。とくに、現代語に訳された『魏 スポットを当てたノンフィクショ 本の古代史最大の謎、邪馬台国に 邪馬台国の謎」(ワニ文庫)は、 はさすが。同じ作者の『新説・奇説 作。日本史の裏面を洞察する手腕 皇の孫長屋王の死の背景を探る力 王横死事件」(講談社)は、 を続ける豊田有恒の最新作「長屋 夢枕獏の出世作 最近は、古代史ミステリで活躍 《サイコダイ 天武天 日

て始まった闇の社会の胎動に対 の秘法四殺』の三つの謎をめぐっ は、この世を統べる秘力を秘めた 狩り1 鬼道編」(ノン・ノベル) バー》シリーズ最新巻「新・魔獣 "蓬萊山の黄金 鬼道の力が "空海

い星からきたノ

そこへ突然、

新天地を求めて野

超小

妖魔の寝 ドラキュラ短 妖魔の宴/

ダン・シモンズ他 著/菊地秀行監修/ 嶋田洋一訳/竹書

房刊/580円

チっぽ か どうリアルに登場させるか 話 は キュラの子供たち』は、 0 だ。 ŧ た血が増えてるんだから。この本 品が多くて、 こがテーマで面白いぞ。このお話 だけど最近はドラキュラも大変 いちばん最後に載ってる『ドラ だってAIDSのせいで汚れ 楽しめる1冊だよ。 怪奇もののファンでなくて い話が多いのは、 作者の腕の競いあいって ほ そこにドラキュラを かにも現代が舞台の その そこんと (エッ ぜい П

除いて全員三十路(みそぢ)になっ

た人がひとりづついて、これでこ

ページを書いてる人はひとりを

全然元気だよ。ついでに、このペー あいだに③歳になっちゃったけど、

のほかのお兄さんとお姉さんに

今号の締切りの前に30になっ

やあ、

みんな元気かな。

お兄さ

:は前の号の締切りと今度の号の

みんなと比べて自分が年寄りだな

んだ。だけどだーれも、

読者の

んて思っちゃない

30なんて若い若い。

だって世

0

題 の ラキュラのお話ばかりを集めたも 本 たちがそうだよね。 ドラキュラの血の呪いを受けた人 の展開のしかたなんだろう。 なんだ。 は、いろんな作家が書いた、 人もいるんだもの。 永遠に生きなきゃならな やあ、なんて自然な話 それで、この たとえば ۴

とえ、 ティーヴン・キング。 ことがあるだろう? タリー』……ほら、 ング』『ミザリー』『ペット・セメ とがあるはずだ。『スタンド・バ キングの小説の映画作品を観たこ という作家を知ってるかい? 恐い映画の原作者として有名なス イ・ミー」『キャリー』『シャイニ -で何千万人もの読者を持つベス キミはスティーヴ セラー作家なのだ。 彼の名前を知らなくても 彼は、

スティーヴン・キング著/村松潔訳文

やっぱり観 こういった キン た グ

> ターク名義に嫌気がさした彼は、 ていた。あるとき、ジョージ・ス

ク名義でバイオレンス小説も書い

スタークを葬り去ることにするが、

そんな彼

発生する。

どうやら犯人はジョ

それをきっ

かけにして連続殺人が

ح

いう、 いが、

値段は

証する! 高

読

め!

(浩

おもしろいことだけは保 本当に恐い小説。

側面。が怪物となって暴れまわる

ジ・スタークらしいのだ!

ひとりの人間のなかに潜む『暗

しいか

ことが多いが、 ターン。幼いころから文才を発

今回もやはりその



成長して有名な純文学作家となっ 揮していたサド・ボーモント

ろう。

は

まことに楽しみな

一篇と言えるだ 今後の展開が キャストで始

まったこの第2部、

オールスター

じみの面々が立ち向かうというも

文成仙吉、

そして猿翁ら、

な

九門鳳

毒島獣太、

美空、 お

藝春秋刊/2500円

きなかった彼は、

、ジョージ・スター

L

かし、

それだけでは満足で

大いなる序章 CAB Î 下



G・R・R・マーティン編/黒丸尚他訳/東京創元社刊/ 上680円・下600円

不思議。きっと、 するばかりだけど、読み進むにつ まりなのだ。でも、最初は啞然と ほど、設定がむちゃくちゃであん この本には度肝を抜かれた。それ 動物がしゃべろうと驚かないけど、 最近は、 実に泣 世界に引き込まれて どんどんこの《ワイルド・カー か 世界が平らだろうと せ る良い話だからな ひとつひとつの いく から

空で未知のウイルス爆弾が炸裂 1946年。 マンハッタンのト ら忘れてしまう。 世界になってしまい、

つまり、

空は天

借りてしまおうというのだ!

のだろう。

小さくて壮大な

外の世界す

とは屋上ガーデンなのだ。

星はクリスマスの電

天国

冒 ほ

険の物語 のぼのとした、 床下でけっこう幸せに暮らしてい

そしていつしかデパートが全

んじゃなくて、

本物の

トラックや

わんの舟に箸の櫂、

なんても

ャベルカー、

果てには宇宙船

忘れっぽいので誰もそんなことは

に乗ってやってきたのだけど、 彼らは1万5000年前、 きまわり、

陽気なノーム。

か

コミカルな口調で、

ノームたちの

プラチェット

が、とぼけた設定と

《ディスクワー

ルド》のテリー・

宇宙

床下に住む借り暮らしの

小人、

۲

いう古典的な題

材も、

プラチェッ

の手にかかると急に現代的な色

故郷への道のりを描いた三部作。

身長わずか11センチあまり 人間の4倍の速度でちょこま

テリー・プラチェット著/鴻巣友季 子訳/講談社刊/

は

謎の

閉店セール

が始まった。 デパ

打ちをかけるように、

ートで

て、

デパート共和国は大混乱。追い

存在しないはずの

外,

に直面し

型高性能コンピューターが現れる 原を離れた10人のノームと、

見えていない。

今ではデパートの

彩

を帯びる。

んで、 いった教科書に載ってる事件に絡 ケネディ暗殺やベトナム戦争、 のミュータントや超能力者たちが、 ない変化をもたらした。 異星人の開発した超ウイルス爆弾 別の未来に到達する。 人類の容姿と能力にとんでも 歴史は塗り替えられ、 その異形 やが ح

'n の超能力軍団と闘 はますますあがり、 にすぎないけど、今後テンション ズ1巻目で、 連作長篇に仕立てあげた。シリー とてつもなく凄い)を創造し、 冒険を、 れる超人キャラクター 植しようと画策。 のRPGで遊んでいたSF作家 ア 先が楽しみ。 メコミ・スーパーヒーロ ゲームの醍醐味を小説に 基本設定にうまく載せ まだまだ顔見せ興行 うとい 邪教集団や謎 各人が魅力あ うのだか (これが ا ŧ そ

訳出された。 キング作品では主人公が作家の の新作『ダー ク・ I フ が

ダーク・ハーフ

描かれるーF戦記の傑作だ。 というSF的シチュエーションで 2次大戦の転機となった戦いに、 されている。ミステリ界の重鎮高 ひとつともいうべき作品が文庫化 など多くの作家が競いあっている もし日本が……。 木彬光の『連合艦隊ついに勝つ― 戦略シミュレーションの原点の 略シミュレーションの世界。 荒巻義雄、 ミッドウェーからレ 一』(光文社文庫)がそれ。 川又千秋、 タイムスリップ イテ海戦ま 桧山良昭 * 第

ている。 が届かなかった読者にも、 学全集』(集英社) 現代の標準語が、 語全9巻』 古今東西の名作文学のタイトルを 一篇でもある。清水義範作品では、 というシチュエーションが楽しい を描くシミュレーション歴史小説 徳川ならぬ豊臣幕府が成立してい 読者にも現代ファンタジーの 大丈夫なはず。この機会に、 のラストとして文庫版 翻訳作品では、 せてくれる連作短篇集『世界文 いて、 の『金鯱の夢』(集英社文庫)は、 同じく再刊だけれども、清水義 ルキン生誕1〇〇周年記念出 豪華愛蔵版や普及版に手 パスティーシュの極致を 世界はどう変わったか (評論社) が刊行され ŧ 尾張弁だったら J • おすすめだ。 R 『指輪物 こんと R 本

味わってみてほしいと思う。 字塔ともいうべき作品をぜひとも

手前みそだけど、 しっ君はおもしろいぞ ベー

『ベーしっ君』 1巻、2巻、 (さあ皆さんもご一緒に) 一時刊行ばんざあああぁぁぁい。 ばんざーい。ばんざーい。 3巻

そう。

今



だったですからね。愚にもつかな わたっているはずであります。 カルシウムなどがじんわりとしみ れているタンパク質、 、思ってるでしょ。その通りです。 2巻だけがなんとなく棚にある、 今、このページにはゴマに含ま あつ、またゴマすりやがって、つ いう状態はいかにも中途半端 脂質、 灰分、

買いなさい。 私は止めないよ。

寄生獣 5 岩明均著 講談社刊

はSFだ。

当たり前なんだけど 「寄生獣」 500円

さんの世代の若者はみんな、 そうじゃないかもしれない」おじ ない。それはSFかもしれないし、 白むまで、こういう虚しい議論で 貴重な青春の空費したものさ、 「あれはSFだが、これはSFじゃ 空が

530円

だけど

でも、

逆さにふってもSF、

タ

、生体

うのが難しい時代もないよね。あ いでもあんまり〝涼しく〟ないん だなあ」最近の〝扇子〟は、あお あおぐと涼しいのは驚くべきこと きセンスオブワンダー。「扇子で 見た事ある。ような世界なんだな、 が、あんまりないでしょ、皆さん。 れこれと想像してワクワクする事 の僕たちの世界は。 なんだか いつかどこかで 今くらい『SF』ってい ああ懐かし 実験、 お 古典的なお話をつくっていて、な 命。これだけ古典的な道具だてで 岸和田博士。科学、 正 SFですね。ロボット、怪獣、 陽に向かって全力疾走するぐらい しても、 は、 えらいことですよ。 かつちゃんと面白いというのは 統的まっどさいえんてぃすと、 もうSFもSF、ひっくり返 異星人、海底戦艦、そして 『岸和田博士の科学的愛情.

科学こそ我が

平凡な人間の戸惑いや悲しみ、怒 体として闘いを始める。 受けながらも脳の支配を免れた高 との奇妙な生活。彼らは、 ることになった『寄生獣ミギー』 運によって、『寄生獣』 食人鬼となる。 十倍の力と数十倍のスピードを持 に乗っ取られた人間は普通人の数 入し、宿主を支配し、宿主と同種 生物を食って生きる。 を背負うことになってしまった ない、寄生獣でもない運命共同 球外生物。彼らは生物の脳に侵 ある日、空から降ってきた謎の よくできてます。岩明先生は ひとかけらの感情も持たない 泉新一と、彼の右手とに宿 第子』をお持ちを持ちたださき著演談社刊/だ。 ほんのわずかな幸 の侵入を 非凡な運 寄生獣 人間で

母〟がタイプです。買いたければ

O R L D °

るオチ。脳幹を直撃するズッコケ

ち、

愛と『くだらな美』の荒井w 個人的には゛ベーしっ

, ダジャレ。小学生をも苦笑させ

の

僕が固い石をふうけると 君は「痛い」といって くれるだろうか。

油断するんだが、これがおおいに いぇ。一見、地味な絵柄でちょっと

"涼しい』んだ。

だな。でも、『寄生獣』

は゛涼し

僕が固い石をぶつけたら 君は「痛い」といってくれ るだろうか/天久聖一著

絵うまし。

JICC出版刊/1000円

のも不思議よね)。

思議! 1= この本を読むとますますわからな て考えているばか』ってばか? 考えることとは? 2 この時、 味〟という〝意味〟を持っている タ 010101であらわされるデジ < 残せ。ばかは伝染る。ばかになりた な秋の昼下がり。ラーメンの汁は ターみたいに叫んでしまう心静か お前はおおばかやろうだ、 L この信じられないばかばかしいタ 「痛い」といってくれるだろうか」 くなるぞ。 イトル。 『僕が固い石をぶつけたら君は ! **しまう。** から。以上! 、ルの〝世界〟では、○は〝無意 、ない人は読んではいけない本。 と梶原一騎先生のキャラク 『無意味』が持つ『意味』 ばかばかばかばかばか 大変な字数稼ぎになって 3回唱えると、あーら不 "何も考えない" ことを 買ってください。 (まねっこ) ゚ばかについ 、天久聖 友達

本格的ファンタジー紹介

りない。一般的なものから、 上のものまでいろいろだけれど、 ンタジーに冠せられた言葉は数限 中世、中国、無国籍。古今東西ファ ヒロイック、歴史、時代、RPG ダーク、ハイにロウ、エピックに ている(ライト・ファンタジーつ けっこう首を傾げる言葉も横行 「ら名づけたもの、 異世界、エブリデイ・マジック、 出版・販売 著者

う30歳だもんね)。でもこの手の だけのファンタジーマップを作っ 論。でも、いちどよく考えて、自分 分類なんて無意味だというのも正 だけ種類はある、とか、そもそも 分類なんてない。 ようで、気になってしょうがない 言葉、特にそれが分類につかわれ いう問題とも密接に関わっている 寄りい、と言われそう てみるのも、 とうぜん、正しい言葉、正しい 時は、ファンタジーとは何かと 言葉の乱れを嘆くなんて、 面白いもんだよ。 作品の数と同じ (どうせも 年

現実を対えた夢 余何なる程度の世界 連貫となってくれるのは 書席に訳る一株の末 さあ、ファンタンー世界へ独。 ファンタジーノベルズガイド

ファンタジーノベルズガイド 新紀元社刊

> ドブック、 本をさがそうという人には、心強 トに伝わってくる。これから読む としての面白さや感動がストレー い。著者の感じた、 を表にしたりといった工夫も嬉し 面白さの特長(キャラクター、 る。 いった新しい作品も収録されてい イラ・吼》、《ケイン・サーガ》と にまじって、 タジー・カタログ。古典的な名作 係性から分類、章立てしたファン いくかといった、異質と現実の ンタジーノベルズガイド』は、 人公がどのように異世界に入って ついでに、ファンタジーのガイ 指南役となってくれるだろう。 さて、いするぎりょうこの『ファ 読みやすさの5段階評価や、 世界構築といったもの) 入門書をいくつか紹介 《創竜伝》や ファンタジー 《キマ ス

イキングガイド』(新紀元社) 人向けの教科書 ゲーム・マスターやファンタジー 説をこれから創作しようという 朱鷺田祐介の 『ファンタジーメ は

しておこう。

ジー・ガイド』(現代教養文庫)は、 書案内風エッセイ集。 作品の雰囲気が伝わってくる、 神月摩由璃の『SF&ファンタ 読

由国民社) 信』(ちくま文庫)や『世界のオカ ト文学・幻想文学総解説』 ほかにも、 なども、 荒俣宏の『別世界诵 必須アイテム



キミよUNIX使いになれ

編集者

えてもらえれば幸いです。 何をやってみたいかなども書き添 志望動機や、ログアウト編集部で

もっと多くの小説を載せたい。 っと違った観点からの記事を作り たい。そして、もっとおもしろい 本にしたい。そんな思いが結集 ログアウトのスタッフ募集です。

名です。年齢が18歳以上(高校生

を手伝ってくれるアルバイト若干 およびデザイン補助、そして庶務 ザイナーの契約社員と、編集補助

'93年1月14日締切

通勤できる方。そして目的意識を 曜日の毎日、南青山の編集部まで は不可)で、毎週月曜日から金 誌面充実をはかるため、スタッフ グアウト編集部では、より一層の

月刊化を虎視眈眈ともくろむロ

募集をすることになりました。

募集するのは、編集者およびデ

希望するかも明記すること。また 契約社員とアルバイトのどちらを て先までご応募ください。その際 ならず写真を添付して、左記のあ ていってくれる方を歓迎します。 持って、ともにログアウトを作っ 履歴書に必要事項を記入し、か

になったとお考えください。 もないときは、残念ながら不採用 から1ヵ月以上たっても何の連絡 らご連絡いたします。なお、応募 類選考の上、採用者にはこちらか 締切は11月末日 (消印有効)。書

集部(203-3796-1906 までお願いいたします まで。アルバイト希望の場合は編 事部(☎3-3797-6503) わせは、契約社員希望の場合は人 スタッフ募集に関するお問い合

応募先

T | 0 7 - 24

東京都港区南青山6-11 株アスキー スリーエフ南青山ビル 人事部

ログアウトスタッフ募集係

体作品の応募も受け付けている

なお、①②のイラスト以外に、立

その場合は、

立体物と世界がハッ

チ作品が送られてきているので そろ作品の総仕上げにかかる時期 た、ログアウト・ファンタジーイラ の表紙を飾るのだ! いた作品が、いずれはログアウト れて取り組んでほしい。キミが描 応募しようという人は気合いを入 になってきた。編集部にもボチボ だちょっと間はあるものの、そろ スト大賞。締切は33年1月と、ま レーターの登竜門として開設され 次期ログアウト主力イラスト

①B3サイズのイラストボードに ラストボードの種類、画材につ 描いたカラーイラスト1点。イ 募集要項は以下のとおり。 いては問わない。

②B5サイズの紙に描いたモノク ③イラストの背景となる世界観を ントーン可。エアーブラシ不可。 稿。もし、400字で書ききれ は黒インクを使用のこと。ペン、 ロイラスト3点。画材は墨また 可。ワープロの使用も可。 ない場合は、3~5枚までなら 400字程度にまとめた文字原 筆などの道具は自由。スクリー

賞金 額100万円 LOXADIT

> のイメージ写真1点と、作品を上 キリわかるように構成したカラー 章もお忘れなく。 ること。③の世界観についての文 がよくつかめる写真を数点同封す 下左右などから撮影した、全体像

宏先生の3名。結果発表は3月9 活躍されているイラストレーター 行なう予定だ。 日発売のログアウト第6号誌上で の出渕裕先生、 着。審査を行なうのは、第1線で 締切は、33年1月14日 (月) 必 末弥純先生、横山

数名選ばれることになる。 賞者なき場合は、入賞や佳作が複 なお、入選作の著作権は 賞金総額は100万円。大賞受

あて先

てほしい。

で、コピーをとるなどして応募し また、応募作品の返却はしないの アスキーに帰属するものとする。

T | 0 7 - 24 ログアウト編集部 株アスキ スリーエフ南青山ビル 東京都港区南青山6-11

ファンタジーイラスト大賞係

98

ASCII

アスキーのテーブルトークRPG

好評発売中

真ウィザードリィRPG マスタースクリーン

佐脇洋平とグループSNE 作 定価2,500円

真ウィザードリィRPG用のマスタースクリーンが遂に登場! 付録として便利なフロアタイルと、 真ウィズ初のソロ・プレイ用の シナリオが入っているぞ! 全国の真ウィズ・マスターよ、 これを買い求めるのだっ!



ログインブックス

好評発売中

イーステーブルトークRPG

鈴吹太郎と怪兵隊 作 竹内誠 監修 定価1,800円

アクションRPGとしてパソコンのみならず、ゲームマシンでも絶大な人気を誇るイース。その素晴らしき世界をさらに広げるため、待望の『イース・テーブルトークRPG』が登場! アクションゲームの爽快感をそのままに移植した、小気味よい展開のシステムをキミも体験してみないか!









●操作系はリアリズムを追求●

GAME&GRAPHIC DESIGN HIDEYUKI YANAGISHIMA



●実戦感覚コックピット●

SENARIO & PROGRAMMING FUJIO YAMAKAWA



●対戦キャラ多種多彩●

PROGRAMMING KATSUYA NAGAI



●ハイビジュアル・アニメーション●

MUSIC COMPOSE
TADAHIRO NITTA/YASUFUMI FUKUDA



●イメージ・ドラマ展開●

GRAPHIC DESIGN
HIROMITSU OKUDA/KENZO FURUYA/HIROAKI KUBO

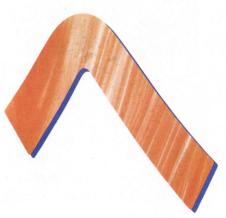


●個性派キャラ設定●



◆初回限定◆特製ハードフロッピーケース付*PC-9801シリーズのみの特典です。







Xakシリーズゲームデザイナー 柳島秀行フ。ロデュース

制作期間2年。16M(DISK)超大作。

ビジュアルシーン 2時間30分超.//

はるか昔、この惑星でうまれた人間はみな魔力を持っており、その力は人類が生き延びていくための唯一の手段と言えた。 しかし、時の流れは無情にもその力を徐々に奪いつつあり、

身を守る術を失った人々は生きる望みを科学に託すことにした。

そして、現在……。

ALIVING BODY ARMOR INATAL CORP.

ハイビジュアルSF3Dバトル

アーマード・シミュレーター

《臨場感体験システムSGS搭載!》

SGS(Space Graphic Structure)システムとは、緻密なグラフィックにより3D空間を創造。 また、効果音の音量バランス操作により、さらなる臨場感を演出。 VRシステムを上回る、新システムによる新ジャンルの誕生。

- ■ハイビジュアル仮想空間で臨場感体験■
- ■パイロット・アイズ(パイロット視点)で感情移入■
- ■奥深いシナリオをオリジナルアニメーションシステムで演出■
 - ■アドベンチャー要素を含んだビジュアルシーンは美麗■

11/20新発売

●PC-9801シリーズ

【ハードディスク対応】 **MS-DOS上で拡張メモリを利用して、 フリーエリアを580K以上確保できる 機種に限ります。 FM-TOWNS

各¥14,800(税別)

感性が何かに出合う時、語りつくせない新たな感動がめざめる。

か マイワロキャド"」

FMTOWNS版





お楽しみヒントディスク絶賛発売中!

『レッサーメルン』お楽しみヒントディスク



5"、3.5"2HD 2枚組 標準価格1500円(送料、消費税込) 10月1日現在、PC-98版のみ発売中。 ※通信販売でのみ発売したします。

●レッサーメルンのヒントディスクが絶賛発売中です。ゲームに行き詰まった人もこ れですぐ悩みが解決! ゲームのヒントだけでなく、残念ながらゲームに入れられなか ったボツ絵や、設定資料、50数曲のオリジナル曲を収録した豪華なミュージックモ ードなど、優れものの機能を満載しています。2枚組。送料、消費税込みで1500 円!!フロッピーのメディアを明記して、通信販売でお申込ください。(マニュアルに価 格が表記されていない為、ご迷惑をおかけしました。ゴメンナサイ!!)





そ武人 (バオバブ) (楽しいムーミンー家(スナフキン) 天空戦記シュラト(夜叉王ガイ)

ミーナ・レシェス

弥生みつき(青年座)

代表作/王立宇宙軍オネアミスの翼(リイクニ) うる星やつら(渚)



アナミス・シェラキン

神原良子(俳協) 代表作/風の谷のナウシカ(クシャナ) バブルガム・クライシス(シリア)

ミレナス・シェラキン **鶴ひろみ**(青ニブロ) 代表作、気まぐれオレンジ★ロード(鮎川まざか) ドラゴンボール(ブルマ)



-(青二プロ)

田中亮一(青二)代表作/デビルマン(不動明) 銀河英雄伝説(ベルゲングリューン)







田中秀幸(青ニブロ)代表作 バリバリ伝説(巨摩郡)

聖闘士星矢(アイオリア&ナレーター)

里大輔 (青ニプロ) **戦動警察パトレイバー**(山崎ひろみ) キン肉マン(ロビンマスク)



作(青ニプロ)

機動警察パトレイバー(榊整備士長) 宇宙戦艦ヤマト(ゲール(副)司令)

暃子(バオバブ) アイドル伝説えり子(えり子) くれよんしんちゃん(しんちゃん)



ラズヴァル・

3亿(青ニプロ)

内幸平(青ニブロ) 作 アルブスの少女ハイジ(おじいさん) ドラゴンボール(亀仙人)



企画・原作・シナリオ■神尾憲二 ゲームデザイン■尾張裕司

グラフィックキャラデザイン■座間健一

モンスターデザイン BLooD & HoNEY ■嶋村綺文

マップデザイン■佐々木慎二 プログラム■原田誠司

■畠山康成

ミュージックコンポーズ■飯塚哲也

協力

富士通㈱

日本メディアプログラミング株

西銀座スタジオ

総指揮。

佐藤健次



TEL.03(3798)2760 FAX.03(3798)2286

壮大なスケールで贈る、ヒロイックファンタジーRPG!

Lesser/Vern

CD-ROMでファンタジーシネマの予感……。

神が神とて君臨し、人が人として従った時代……。 猛執の神は、炎と共に大地を終焉へと導いた。

そして数千年の後、

経渦はまた、新たなる人の群れを取り込むうとしている……。

■CD-ROMならではのデジタルファンタジーシネマ

CD-DAによる有名声優の臨場感あふれる台詞と豪華収録スタッフによる演出が今ここに結実。シネマ感覚のファンタジーRPGが遂にFM-TOWNSに登場。

■壮大な世界観と重厚なストーリー

オリジナルコンセプトをなによりも第1に構想3年、確固たる世界観を確立。広大なストーリーと巧みに練り上げられたシナリオはプレーヤーを異世界へと導く。

■大画面スクロールとウィンドウシステム

大画面(608×368)の高速スクロールは快適なフィールド移動を実現。またウィンドウはユーザーフレンドリーに設計されたウィンドウシステムを採用。

■バトルモード

100強のモンスターはポスキャラ<mark>はもちろんのこと、ザコキャ</mark>ラ 1つ1つに到るまでアナログを駆使 し超リアルに表現。

■新開発SARMによる超リアルなマップ

マップのリアルさを追求し外観と内観の一致を試み、遂にここに新システムを実現。2層、3層と階層化されたマップはプレーヤーの冒険心を揺さぶる。新開発SARM(スーパーアクティブリアルマップシステムver 1.01)搭載。

■究極のフルアニメーションと迫力のマップアニメーション

流れていくシナリオと共に繰り広げられる究極のフルアニメーション、随所に施された迫力のマップ アニメーションは必見。

■アップテンポなBGMと臨場感ある効果音

刻々と移り変わるストーリー展開を支えるTOWNS専用にグレードアップされた50数曲に及ぶ BGMと100近い洗練された効果音はいやが上にも臨場感を高めます。

ASCII

ラウィザードリイドPG ファックリーン

定価2500円

ウィザードリィのテーブルトーク化として人気の真ウィズに、ついにゲームマスターの必需品マスタースクリーンが登場。これでますますゲームにも熱が入るというもの。付録として真ウィズ初のソロ・シナリオと便利なフロア・タイルもついているぞ。ファンは絶対に買いだよね。



好評雜売中川

以下の書店・パソコンショップでお買い求めください。

紀/國屋書店札幌店 ☎011-231-2131 北海道札幌市中央区南1条西1-14-2 リーブルなにわ ☎011-221-3800 北海道札幌市中央区南1条西4日之出ビルB1 地下鉄大通駅前 旭屋書店札幌店 ☎011-241-3007 北海道札幌市中央区南3条西4アルシュビル B1・B2 室蘭工業大学生協 ☎0143-44-6060 北海道室蘭市水元町36-8 金港堂ブックセンター 2022-225-6521 宮城県仙台市一番町2-3-26 アイ工書店駅前店 ☎022-264-0897 宮城県仙台市中央1-10-1宮城ビル内 八文字屋 ☎0236-22-2150 山形県山形市本町2-4-11 紀ノ國屋書店新潟店 2025-241-5285 新潟県新潟市万代1-3-30万代シルバーホテル2F 萬松堂MC **☎**025-229-2221 新潟県新潟市古町通り6-958 うつのみや片町店 20762-21-6136 石川県金沢市片町2-1-7 ☎0298-52-3665 菱城県つくば市事事3-8 ☎0492-25-3138 埼玉県川越市脇田町3-6 黒田書店川越店 新星堂柏店 ☎0471-64-8551 千葉県柏市柏1-2-31 書泉グランデ **☎**03-3295-0011 東京都千代田区神田神保町1-3 書泉ブックマート 203-3294-0011 東京都千代田区神田神保町1-21-6 明正堂秋葉原店 ☎03-3257-0758 東京都千代田区外神田1-17-15 秋葉原デパート3F ラオックス コンピュータ館 ☎03-5256-3111 東京都千代田区外神田1-7-6 東京都新宿区高田馬場2-17-4 ☎03-3209-0656 東京都新宿区新宿3-17-7 紀/國屋書店本店 203-3354-0131 東京都渋谷区道玄坂1-2-2東急プラザ5F 紀/國屋書店渋谷店 ☎03-3463-3241 大盛堂書店 ☎03-3463-0511 東京都渋谷区神南 1-22-4 旭屋書店池袋店 ☎03-3986-0311 東京都豊島区西池袋1-1-25東武百貨店プラザ館7F リブロ池袋 ☎03-5992-6993 東京都豊島区南池袋1-28-1西武百貨店B2 芳林堂書店本店 ☎03-3984-1101 東京都豊島区西池袋1-17-7 三省堂書店池袋店 ☎03-3987-0511 東京都豊島区南池袋1-28-2池袋パルコ7F カドヤACT 4 **☎**03-3733-7511 東京都大田区藩田 5-18-14 文学堂本店 **☎**044-244-1251 神奈川県川崎市川崎区砂子1-3ニューハトヤビル内 文教堂書店溝の口店 ☎044-811-8258 神奈川県川崎市高津区溝の口351 丸善ブックメイツ横浜ポルタ店 ☎045-453-6811 神奈川県横浜市西区高島 2-16B1-209 有隣堂西□トーヨー店 ☎045-311-6265 神奈川県横浜市西区南幸1-4トーヨー地下街 栄松堂書店横浜ジョイナス店 ☎045-321-6831 神奈川県横浜市西区南幸1-5-1 相鉄ジョイナス4F 栄松堂書店横浜シャル店 ☎045-311-6146 神奈川県横浜市西区南幸1-1-1

有隣堂伊勢佐木店 ☎045-261-1231 神奈川県横浜市中区伊勢佐木町1-4-1 文教堂書店港北ニュータウン店 ☎045-941-6540 神奈川県横浜市緑区荏田東4-4-11 文教堂書店新構浜店 ☎045-474-3535 神奈川県構浜市港北区新構浜3-6-4 有磁堂厚木店 ☎0462-23-4111 神奈川県厚木市中町2-6 平安堂長野店 ☎0262-26-4545 長野県長野市南千歳町841 守谷ビル 三洋堂パソコンショップΣ ☎052-251-8334 愛知県名古屋市中区大須3-10-16 ☎052-832-8202 愛知県名古屋市昭和区隼人町7-7 三洋堂本店2F ☎0532-54-2345 愛知県豊橋市広小路1-6 精文館 大垣書店 ☎075-414-0770 京都府京都市北区北大路駅前 駸力堂京宝店 **2**075-223-1003 京都府京都市中京区河原町三条トル 京都府京都市中京市河頂町四条トル オーム社書店京都店 2075-221-0280 ジュンク堂書店京都店 ☎075-252-0101 京都府京都市下京区四条柳馬場東入ル立売東町20-1 アバンティ・ブックセンター ☎075-682-5031 京都府京都市南区東九条西山王町31 ナンバブックセンター ☎06-644-5501 大阪府大阪市中央区難波3-7-20 **2**06-644-2551 大阪府大阪市中央区難波5-1-60 なんばCITY内 紀ノ國屋書店梅田店 ☎06-372-5821 大阪府大阪市北区芝田1-1-3 旭屋書店本店 ☎06-313-1191 大阪府大阪市北区曾根崎2-12-6 大阪府大阪市浪速区日本橋5-6-7 J&Pテクノランド ☎06-634-1211 駸々堂VERSION99 **2**06-353-4011 大阪府大阪市都島区東野田町2-1-38 京阪モール北館3F ユーゴー書店 ☎06-623-2341 大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋1-3-18 ジュンク堂書店三宮店 ☎078-392-1001 兵庫県神戸市中央区三宮町16-18三宮センター街 ジュンク堂アニメクラブ **☎**078-392-0293 兵庫県神戸市中央区三宮町2-11-1センタープラザ西館2F 三宮星電パーツ 兵庫県神戸市中央区三宮町1-5-2 **☎**078-332-5111 紀ノ國屋書店岡山店 ☎0862-32-3411 岡山県岡山市中山下2-2-1 紀/國屋書店広島店 2082-225-3232 広島県広島市中区基街 6-27広島センタービル 6 F 宮脇書店本店 ☎0878-51-3733 香川県高松市丸亀町4-8 愛媛県松山市湊町4-6-6銀天街 明屋書店本店 ☎0899-41-4141 ナガリ書店 **2**093-521-1044 福岡県北九州市小倉北区魚町3-1-10 紀ノ國屋書店福岡店 ☎092-721-7755 福岡県福岡市中央区天神1-11-11 BOOKS B ☎092-781-7131 福岡県福岡市中央区天神1-10-13 好文堂書店 ☎0958-23-7171 長崎県長崎市浜町8-29 **積文館書店佐賀松原店 ☎**0952-24-4314 佐賀県佐賀市松原 3-3-5

*表示定価は税込みです。 *ブックカタログをご希望の際は、小社・出版営業部まで官製はがきにてお申し込みください。

〒107-24 東京都港区南青山6-11-1スリーエフ南青山ビル 株式会社アスキー 出版営業部 電話(03)3486-1977 株式会社 アスキー

AMUSEMENT GAME TRPG PC GAME

秋も終わりいよいよ冬の本番間近。寒~い日々を優雅に過ごすにはやっぱり "おこた" で寝ることかな。ん?



これが吉祥寺を見下ろした2Dマップ。 水 色のコマのようなものが主人公たちなのだ。

街もあれば、井の頭公園やエコー 吉祥寺。とうぜん街並みだって吉 来(っていうか、ほとんど現代) 初にも書いたように、舞台は近未 2 Dマップとはわけが違うぞ。最 表示になる。といっても、 ドラクエタイプのものね)の20 だけはトップビュー(って、有名な RPGだけど、マップ移動のとき 召喚プログラムという名の……。 めると少年のパソコンに奇妙なプ 思議な夢を見る。そして朝、目が覚 ログラムが送られてきていた。悪魔 の少年は、ある日いつもと違う不 は東京の吉祥寺。主人公となる17歳 ゲームのシステムは3Dタイプの というのが今回のオープニング。 サンロード商店 ただの

> うわけだ。 しながら世間話で盛り上がれちゃ 知ってるー!〟なんて、ゲームを ビルだってあるぞ。パあー、

れないけどさ……。 な人が実際にも歩いてる〟って? なに? まあ、そんなこともあるかもし "一見すると魔物みたい えつ、

ゲーム紹介といってみよう。 とした事件なのだ。そこで早速 グアウトとしては、これはちょっ

時は199×年、舞台となるの

きたのかもしれない。ちょっとく の発想が、メガテン人気を支えて 徴的なのは、本来は敵である悪魔 公の少年は、悪魔召喚プログラム ことができるってこと。この逆転 や魔物を、交渉次第で仲間にする したように、ゲームの冒頭で主人 わしく説明すると、はじめに紹介 ことなのだけど、このゲームで特 さて、これは前2作でも共通の がうろついてるってこと。 ある。それは、街中を悪魔や魔物 だけど現実とは唯一違うことが

ンで登場した。第1号以来、この となってこの秋スーパーファミコ 神転生』が、今度は『真・女神転生 沸きに沸かせたメガテンこと『女

ームのTRPG化をもくろむロ

GAME

SFC版『真·女

神転生』がいよいよ発売された

ファミコン版Ⅰ、Ⅱで日本中を

うするかっていうと、 間として同時に戦闘に参加できる 紹介する『悪魔合体』 するわけにはいかない。じゃあど う制限があるので、むやみに召喚 ておける悪魔の数は15体までとい のは6体まで。しかもストックし なのだ。ただし、人間も合わせ仲 召喚することのできるプログラム 仲間にした悪魔を再びこの現世に 次ページで





➡左手にコンピューター、頭にス コープ。どこから見ても怪しい人物。これが主人公の17歳の少年。



©ATLUS/遊企画 ©シップス/西谷史









悪魔合体……仲間にすることの

合体は2身合体から3身合体ま

するにかっこいいんだなこれが。 を見ればわかると思うけど、よう

ワーアップしているぞ。右の写真

関係なのかは……教えてやらないのヒロイン。主人公とどのような ▶このきれいなオネーサンが今回

も登場しているが、スーパーファ ける場所がある。その名も、邪教 フライ」のような芸当をやっての 強力な悪魔にする。そんな『ザ・ ミコン版になるにあたって、合体 の館』。これはもちろん前2作に できた悪魔たちを合成して、より シーンのグラフィックが大幅にパ

とができれば、キミはもう悪魔使 らら一ができて、妖精同士ならば うんちゃらが合体するとほにゃら る。たとえば妖精ピクシーと獣人 属性によって合体後の悪魔が決ま であって、それぞれ悪魔の種類や いとして一人前なのだ。 したパターンをうまく利用するこ 精霊ができるといった具合。こう

今回は悪魔の数や状態も一目でわかるのだ。

マッピング〟と〝デビルアナライ きたい機能といったら、パオート 悪魔召喚以外でマスターしてお

> 便利なもの。3DRPGものはど プを自動的につくってくれる大変 なんて人には涙ものの機能だ。 うしても迷子になりやすかった、 ズ″。前者はその名のとおり、マッ

> > 然手に入れたことによって、歴史

少年だ。悪魔召喚プログラムを偶 自身。吉祥寺に住む平凡な17歳の

を揺るがす大事件にまきこまれて

ことのできる呪文やステータスな ことができる機能。 ぎてこまっちゃうね。 にわかってしまう。こりゃ便利す ど、あらゆる情報が手にとるよう マジックポイント、さらには使う ができるので、ヒットポイントや もどこでもそのデータを見ること を、こまかく分析して集めておく 主人公たちが倒した悪魔のデータ 後者の『デビルアナライズ』は、 しかもいつで

間となるのは4人。ヒーロー、ヒロ の紹介といこう。悪魔を除いて仲 それでは最後に、キャラクター カオスヒーローにロウヒー

0

中で出会い、そして4人は……

ロー、ロウヒーローの3人とは夢

しまう。

ヒロイン、

カオスヒー

ということで。 ■真・女神転生

上は実際にプレーしてのお楽しみ おっとあぶないあぶない。これ以

■発売元:アトラス 10月30日発売

■価格9800円 [税別]

魂を持つ者〟という意味。前号の↓カオスとは〝力を求める渇いた ログアウトをよく読んでね!

悪魔召喚プログラム

С́ОМ こなせ!

らじっくり考えておこう。

ヒーローはいうまでもなくキミ

をつけることになるので、 ローである。4人ともキミが名前

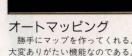
いまか

号のログアウトを読んでほしいぞ。 持つ者〟という意味。これまた前 ■ロウとは、神に捧げられた魂を



デビルアナライズ

悪魔の情報を隅々まで盗み見で きてしまうのだ。えーと弱点はと。



テーブルトークRPGは星の数 キミならこのオールマイティ なRPGをどう遊ぶ?

字の頭文字をとったもの。包括的 れども、、包括的で汎用的なロー ならもうご存じかもしれないが ステムがあればゲームができると かつ汎用的、つまり簡単にいって ルプレイング・システム』の英文 ガープスって耳慣れない言葉だけ これはアメリカ生まれのゲーム と違う。情報に敏感な読者ちゃん る『ガープス・ベーシック』はいま そうだ。でも、今回ここに紹介す えられる形で作られていた。たと ほどあれど、ふつうは背景世界が しまえば、どんな世界でもこのシ まで世に出たTRPGとはちょつ ドリィRPGやイースTRPGが えば本誌でおなじみの真ウィザー あり、そこに特徴あるルールが加

基本ルールのみ。といっても、文 はキャラクター作成、 もおよぶものになっている。内容 庫本サイズで500ページ以上に 今回日本語版に翻訳されたのは 成功判定

> ど、内容はとても濃いものになっ できるぞ。そのほかにも格闘や砲 因みたいなもの。これをうまく使 化したさまざまな、特徴、の章な 精神面、肉体面の性格をより具現 富な、技能、の章。キャラクターの するかのようにプレーすることが いこなせば、キャラクターは実在 キャラクターの個性を引き出す要 *癖*という章があって、これは 医師、はたまた電信などの豊

待大だ。 すます充実していくガープスに期 ス・マジック』が年内に発売予定 ジー世界の魔法を扱った『ガープ "ガープス・ルナル"、ファンタ プリメント関係では、"ルナル・ サーガ〟という背景世界を使った (ともに角川書店) とのこと。ま

ガープス・ベーシック 角川書店

■760円 [税込] で発売中

戦闘などの17章。おもしろいもの ている。

また、ゲームをサポートするサ

Dのコックピット (ちなみにエル 進行ルートに敷設したり、誘導ミ ているだけではなく、地雷を敵の ムナイトに登場するロボットはラ レーニングモードもついている親 演出しているぞ。戦闘シーンの ス操作によってさらなる臨場感を 爆発などの効果音も、音量バラン サイルを撃ったりとじつに多彩だ 大迫力。戦術もただバンバン撃つ いう)上に繰り広げられる戦闘は ンドムーバー:人間型機動兵器と 緻密なグラフィックが描き出す3 真を見てもらえばわかるように、 いったら、迫真の戦闘シーン。写

んでもできることはし

スティーブ・ジャクソン

夢にみたロボットを操縦する ろさを体験する方法。

GAME

てつけのゲームなのだ。 ビンの新作『エルムナイト』は、そ あれなんて憧れたことってないか けれど、子供のときに一度は、あ な? 今回紹介するマイクロキャ あ、あのロボットに乗ってみたいな んなロボット大好き人間にはうっ 男の子だけには限らないと思う

まれたハイビジュアルSF3Dバ どさまざまな要素が随所に盛り込 ベンチャーやシミュレーションな 反乱軍と出会い、帝国と戦うこと チャンドラーが主人公だ。彼は逃 理由で追撃を受けることになって 楽しめそうだ。 トル。変化に富んだゲーム展開が を決意する。ゲーム自体は、アド 走中に少女セレナ・ブルームらの しまった元帝国軍訓練生のリック・ ネーク帝国。その帝国からとある ようとする帝王ネークが君臨する 魔力を持つ人間を徹底的に排除し エルムナイトの一番の魅力と エルムナイトの舞台となるのは

鳴る胸を押さえて待っていよう。そ WNS版ともに、11月下旬予定。高 ば、PC-9801版とFM-T0 さて気になる発売日はといえ

切設計だから十分に練習したうえ で実戦に移ろう。

マイクロキャビンだから、期待し り成すストーリー展開は、ゲーム 性あふれるキャラクターたちが織 要素を含んだ美しい画面上で、個 ビジュアルシーン。アドベンチャー 力は、たくみにアニメーションする エルムナイトのもうひとつの魅

てもいいぞ。 間違いなし。あの人気のアクショ をますます盛り上げてくれること ンRPG『サーク』を生み出した



れともうひとつ朗報があるぞ。ア

■エルムナイ-

■マイクロキャビン

■価格未定、11月下旬発売予定

な掲載時期などは未定だけれど、 コミック』にて、エルムナイトのコ そちらの応援もヨロシクね。 ミック化がひそかに進行中。正 スキー初のコミック誌『アスキー





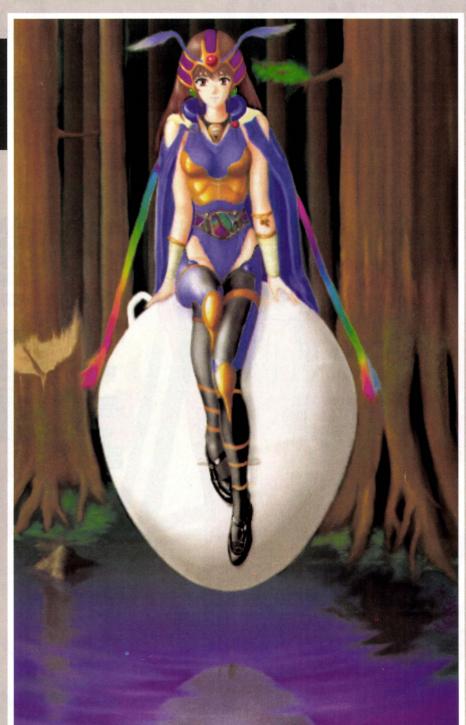
南青

ギャラリー

- ■千葉県 浅野雄二『無題』
- ■PC-386GE + Hyper彩子 ■コメント:オリジナルのキャラクタ です。この絵の水は、未来を映すと いう設定で描いたのですが、水面の波 紋を描いたときに消えてしまった……。

合いの入った作品が多いのでさっ そく鑑賞に入りますね。 今回は展示点数は少ないものの、気 まずは1枚目の作品。送ってく 毎度お馴染みのCGギャラリー。

そしてプロのイラストレーターを の脚のポーズも変わってきますよ タイトルは『無題』です。フレーム ね?せっかくの高技術とセンス、 カーブを考えると、キャラクター しれません。卵型の乗り物(?)の をよく見て描いてみるといいかも と、その根っこは、実際にあるもの てはいかがでしょう。沼地の樹木 的にボカシが入っていますが、見 バッファ使用の力作ですね。全体 かりしたコントラストで描いてみ せたいところはもうちょっとしっ れたのは千葉県の浅野雄二さん、



- ■神奈川県 高橋PONTA
- PC-9801VW2+Z's staff kid98
- ■コメント:プリメっぽい親子を描 か兄弟になっちゃった感じですね。





■香川県 高橋範道 『木の実みつけた!』

X68000 + Z's staff PRO68K

■コメント:ほとんどペイントを使 わず、ドットペンで描き上げました。 おかげで目と指が死にそうです。

文をつけるなら、身につけている ますね。キャラクターに関して注 リナー」です。 県の高橋PONTAさんの『フォ や緑があると観る者の心が安らぎ メントしているように、背景に水 本人みずからコ

> 岩の描き方や竜の生物感といった 表情もかわいくていいのですが、 達していると思います。女の子の の基本技術は申し分ないレベルに 実みつけた!」です。塗りかたなど

人物キャラクター以外の部分での

"絵』のセンスアップをすると、作

目指していらっしゃるようなので、

のが、近道だと思いますよ! お尋ねですが、ログアウトのファ ンタジーイラスト大賞に応募する それでは2枚目の作品。神奈川 イラストレーターへのなり方を

作品に挑戦してみてください。

次回はもうちょっと臨場感のある かな? 枠を取って描いてますが と、お兄さんの首がちょっと長い てみるといいかもしれません。あ 皮や布の質感をもうちょっと変え

高橋範道から送られてきた『木の

それでは最後の作品。香川県の

ちょっと辛口の評となってしまい

ログアウト編集部 スリーエフ南青山ビル 東京都港区南青山6-1 「南青山CGギャラリー」 株)アスキー

話番号もお忘れなく。 あなたの住所、氏名、

T-107-24

やツール名、そして簡単なコメ

ントを添えてお送りください

年齡、

雷

係

集

奥行きを感じさせます。 ルエットだと飛竜っぽいけど) のつながりかな。背景の空の竜(シ 根、それから女の子の胸のライン すから……。注意点は竜の指、羽 サン自体はしっかりしているので でしょう。なにしろ竜も質感やデッ 品全体のできが格段に違ってくる

というところで、

閉館です!

要

南青山CGギャラリーでは、C G作品をお待ちしております。 まで、ずらりとマシンを揃えた 作品はディスクで。使用機種 MSXからマッキントッシュ

項

113



果と風の母 天空の

の紋章が、風に揺れる。淡い赤毛をかき 服の胸の知恵と学問の女神レクゼテスーカ のんびり甲板の手摺にもたれかかった。制 は、忙しく観測を続ける気象班を横目に、 ラプスカチャ法術院所有の研究船だった。 使って空気の計測をしている。飛空船は 服の男女が多く出て、様々な機械や薬品を を渡っていた。甲板には白を基調にした制 上げて、キースリンは独り言のように声 若き女法術士キースリン・テオフェル 翼に気流を受け、白い船はゆるやかに空

術院に入学して以来かなあ」 「久しぶりだなあ、飛空船に乗るの。 法

れだから、飛空船は初めて」 わたしは法術院のある神集の大島の生ま「キースリンはよその島から来たからね。

術を学ぶ親友だった。目的の無人島に着 キースリンとイセスは周囲の空を飽きずに くまで、生物班は雑用以外することが無 い。神集の大島を出航して三日になるが プスカチャ法術院に入学し、 人は同期に、 北の大陸の最高学府たるラ ||隣に立つイセス・キュレクが応えた。二 同じ生物法

に没頭していると、そんな当然のことも 島に、自分達人間が生きていることは幼 の霧がうねるのが見える。驚くべきこと れている。足下に目を移せば、大地は無 の上を様々な姿の生物が飛び交う。遠く も、法術院に籠って、浮世離れした研究 児でも知っている。

大陸と称される程広 く、はるか眼下に果てなく広がるミルク色 の島の一つは、流れてきた雲に半ば埋も い陸地も、その一つに過ぎない。けれど に固定された陸地に植物が生い茂り、森林 近くの空中に島が幾つも浮いている。空

> 島の外の風に当たる必要があると思うわ。 大陸を離れると、こんなに空気の味が違 忘れてしまう。そうキースリンは感じた。 「ラプスカチャの大先生方も、たまには

「そうでもないよ。ほら」

隻現れる。二艦とも船腹と翼に天地創造 う飛空戦艦だ。後を追って、更にもう一 とした巨影が出現した。二人の乗る研究 ムを描いた紋章を付けている。 の母神エヴォシュレーテと霊鳥レーテフ に禍々しい衝角を備え、船体を鉄板で鎧 船が小舟に見える、巨大な飛空船。船首 小島があった。その向こう側から、 イセスの指さす先に、何の変哲もない 黒々

に、幾つ精霊石がいるかしら」 ただけでは、飽き足らないって言うの」 い外空で何してるのよ。北の大陸を奪っ 「大きいわね!」あの重量を浮かせるの 「ベルゴナン帝国の連中。 無人島しか無 キースリンは嫌悪の溜め息をついた。

の声を浴びせた。 感嘆するイセスに、キースリンは非難

衝撃が走る。蒼白な顔のイセスが、足に るような苦痛に顔を歪めながら、 ぶら下がっていた。手足を引きちぎられ ンは両手で手摺をつかんだ。 左足に強い し喉から迸ったのは、魂消る悲鳴だった。 「あんなもの、精霊石の無駄使いよ」 突然船が転倒した。咄嗟に、キースリ イセスは何かを言い返そうとした。しか キース

「イセス! 手を離しちゃ駄目! 絶対

無かった。

ちにつかまっていた法術士達が、 悲鳴を 上げて落下していく。 皆キースリンの学 また大きく船が揺れた。甲板のあちこ

みんな! どうして。こんな」 「タダート! ゼフル! アメク先生! 揺れと共に、操舵室の扉にしがみつく青

> 下から、瞼の無い丸い目と牙の並んだ口巨大な褐色の三角錐が突き出した。その 年が絶叫した。操舵室がばらばらに砕け、

ばたき、飛んで行った。 上げ続ける青年をくわえ、鳥のように羽 せた飛空鰭を広げ、神経を凍らす絶叫を がごきりと曲がる。衝角鯱は体に密着さ いついた。関節を無視して、青年の背中 三重に並ぶ牙が、扉ごと青年の胴に食ら 持ち、飛空船の大敵に数えられる猛獣だ。 画が脳裏に浮かぶ。戦艦をも貫く頭骨を イセスが叫んだ。 法術院の図鑑の銅版

「い、行ったわ」

て。それから、船にしがみついてれば、救 腕の力が限界。早く、イセスを引き上げ とか考えをまとめようとした。助かった。 りと言った。そうして混乱した頭で、何 キースリンは大きく息を吐いて、 ぽつ

ヒロインタイプも登場させてください。

をなす習性があるはず。 頭も連なって飛空船を襲っていた。群れ を考えていた。銅版画では、 だが、イセスは震えながら、 衝角鯱が何 別のこと

きずられた。 想像を絶した光景が目に突 スリンの腕が手摺からはがれ、 空中を引 イセスの目の前で甲板が弾けた。 キー

貫いていた。すでにイセスの瞳に光りは た。 そしてイセスの胸を、 衝角鯱の角が 「いやあああああああああっ」 イセスはまだ自分の足を握り締めてい

セスの指が滑り、 へ投げ出された。 衝角鯱が激しく全身をくねらせる。 イ キースリンの体は遠く

うして助けに来てくれないんだ。イセスは のが見えた。不思議と全てが緩慢だ。戦艦 も視野に入った。そんなに遠くない。ど 自分達の船が、鯱の群れに引き裂かれる

しろい作品になるよう精進しますので

り可愛くなんないよ! もっと普通の 月スーパーマンが亡くなり、アメコミ れますね。人魚さん、ムターはやっぱ りやってたので、キャラを描くのは疲 ファンの私は愕然、黙禱しています。 よろしくお願いします。ところで、今 もりき靖泰(もりきやすひろ) 定のような仕事ばか モンスターの美術設 いままでは、メカや

ぐに闇の中に消え失せ、キースリンは気 感じた。大きな羽音を聞き、 かにつかまれ、体が浮き上がったように で意識を失おうとしていた。寸前に、 ものを見たような気がした。それも、 な怒りを覚えながら、 キースリンは空中 鯱に殺されずに済んだのに。 帝国に新た 虹色の丸い

「気がつきましたか。 キースリン・テオ

くほど華奢な体の線を浮き出させている。 見たことのない布を使った奇妙な服を身 声を出した筋肉の動きは本物のようだ。 に着けていた。ぴったりと密着して、驚 ンははっきりしない頭で思った。しかし、 た。白塗りの陶器の仮面かと、キースリ キースリンの顔を覗く白い肌の少女は、 開いた目の前に純白の少女の顔があっ

ロスでデビューする はじめまして。アプ

人魚蛟司です。おも

だが、胸や腰は小さな子供のようだ。長 年齢はキースリンとそう変わらないみたい

い髪は透明に近い金色。頭の輪郭が透け

て見えそうだ。

少女の周囲は岩に囲まれた広い空洞。岩の壁や天井に幾つも穴が開いている様子のといぶかしみながら、キースリンは観りといぶかしみながら、キースリンは観りといぶかしみながら、キースリンは観りといぶかしみながら、キースリンは観りといぶかしみながら、キースリンは観りといぶかしみながら、キースリンは観りといぶかしみながら、

にまみれて変色した制服を着た木偶だ。 岩にもたれかかる糸の切れた操り人形。泥 少女の亜麻色の瞳に映る自分自身の姿は、 ぴくりとも動いていなかった。 声も出て け出した。と自分では思ったが、身体は の姿が重なる。キースリンは絶叫し、駆 顔が浮かんだ。衝角鯱のいかつい顔と巨虫 はないが、大抵は肉食だ。人や家畜が丸 見下ろしている。頭頂部まで人の身長の 女の頭より大きい赤い複眼がキースリンを の岩壁をつかむ十数対のまだらの節足。少 女の背後に巨大な影が浮かび上がっていた。 いなかった。全身の筋肉が弛緩している。 に恐怖の表情のまま硬直したイセスの死に ごと虫に食われることも、まれではない。 七倍はある巨大な虫だ。 珍しい大きさで 「心配しないでください」 黒々とそびえ立つキチン質の塊。 周囲 霞のかかったキースリンの頭に、 不意

少女の色の薄い唇が動いた。

「キースリンが騒がないよう、少しの間「キースリンが騒がないよう、少しの間・キースリンの耳には入いらなかった。逃が出そうと脳は必死にもがくが、指一本が出そうと脳は必死にもがくが、指一本で出る。

するすると降りて、少女の後頭部に近づ上高くから垂れ下がる巨虫の触角の一本がいや! 助けな! 助けなえ!」いや! 助けて! 助けて! なんなの!「いやいやいや! なぜ! なんなの!

は絡まり合い、先端が連結した。は絡まり合い、先端が連結した。

キースリンはぞっとして、逃れようとしたが、身体は反応しない。二本の触角したが、身体は反応しない。ご情に触れた。何か細いものが、幾つも脳の中に侵入してくる感触がした。苦痛が無く、心地よてくる感触がした。苦痛が無く、心地よが眼球をかすめ、汗で濡れた額に触れた。

「心配しないでください」 「心配しないでください」 少女の声は、冷水のようにキースリンは熱がすうっと下がるように感じスリンは熱がすうっと下がるように感じた。生物法術を学ぶキースリンは、少女の触角が、脳の興奮を鎮める物質を分泌していると推測した。 そこまで考えられしていると推測した。 そこまで考えられるほど冷静になったのだ。

「聞こえるか。キースリン・テオフェル」「聞こえるか。キースリン・テオフェル」を が、 すんなりと受け入れられた。 自とだが、 すんなりと受け入れられた。 自とだが、 すんなりと受け入れられた。 自とだが、 すんなりとでしていると あした。 アの単だ。 キースリン・テオフェル」「ここは、 天の巣だ。 キースリン」

きことに、巣の母ですら同一の種ではなに浮かぶ巨大な蟻塚のようなもの。 そのに浮かぶ巨大な蟻塚のようなもの。 その大きさは王城にも匹敵する。 天の巣の中大きさは王城にも匹敵する。 天の巣の中大きさは王城にも匹敵する。 天の巣の中たき、何百種もの異なる生物が、 女王では、何百種もの異なる生物が、 女王では、一切を見られない不思議な現象だ。

い。観察例が少なく、生物法術最大の謎い。観察例が少なく、生物法術最大の巣に連りたの通りだ。私は天の巣の母だ。魚に「その通りだ。私は天の巣の母だ。魚に「その通りだ。私は天の巣の母だ。魚にいるらしい。返事の思考が帰ってくる。いるらしい。返事の思考が帰ってくる。いるというにいる。観察例が少なく、生物法術最大の謎い。観察例が少なく、生物法術最大の謎い。観察例が少なく、生物法術最大の謎い。観察例が少なく、生物法術最大の謎い。観察例が少なく、生物法術最大の謎いるにいる。

思を送った。少女の鎮静物質のおかげで、キースリンは自分から、まとまった意「他の人はどうなったの」

抑えてくれた少女に、キースリンは感謝「イセスは? みんなはどうしたの」「助かったのは、キースリンだけだ」巨虫の声には少しの感情も無い。やはり、虫と話しているのだ。だが、気に障り、虫と話しているのだ。だが、気に障り、虫と話しているのだ。だが、気に障り、虫をはいとすことができた。

人なの」 人がいるの。 触角があるなんて、 本当に「この不思議な子はなに。 なぜ天の巣に

応しい身体に育てたのだ」
の蜜を与え、私の子にした。天の巣に、相この子は、まだ雌の胎内にいた。私が、母この子は、まだ雌の胎内にいた。私が、母で、私の天の巣にたどり着いた。その時、

「虫が人を造り変えたと言うの!」キースリンは驚愕の声を上げた。脳に转ースリンは驚愕の声を上げた。脳に鎮静物質を打たれていなければ、さらに鎮静物質を打たが、ラプスカチャでは禁の改造は可能だが、ラプスカチャでは禁めとされている。それを他の生物が行うなんて。

る。この子に、互いの意思を、翻訳させねとは、脳の構造も、思考も、異なっていた。人も、他の生き物も、変わりはない。た。人も、他の生き物も、変わりはない。た。人も、他の生き物も、変わりはない。

リンを話させる」
リンを話させる」
リンを話させる」
いった話させる」
いった話さがある。そのために、子供たと話す必要がある。そのために、子供たりに、今から、他の母の子達と、キースリンを話させる」

意思らしい。 大容量のために少女が翻訳しきれない生の大容量のために少女が翻訳しきれない生の 複雑になった。全ての虫の意思が、一つ 複雑になった。全ての虫の意思が、一つ

「我々の意思は、全ての、天の巣の意思だ。天の巣は、人であるキースリンに訊さ、天の巣の兄弟らを、食べない。ただは、天の巣の兄弟らを、食べない。ただ殺し、ただ追い払い、幾つもの巣を奪う。人きたい。だらして、そんなことをする」「人が天の巣を奪う?」

の理由も聞いた。
の理由も聞いた。
では、天の巣を見つけ次第に軍隊を国が最近、天の巣を見つけ次第に軍隊を国でより、天の巣を見つけ次第に軍隊を

精霊石を欲しがっているのよ」 「ベルゴナン帝国は、 天の巣の中にある

「精霊石。我々が、天の巣を、維持するに使っている、命ある石のことか」 キースリンも、岩の表面で白く輝く沢山の石が気になっていた。輝きは反射ではなく、石の内側から光を放っている。 キースリンの予想通り、石は良質の精霊

「わたしの乗っていた飛空船を始め、人

Apros 天空の章

と云う話だわ」 るけど、天の巣のものが質も量も最高だ 御する頭脳でもあるの。精霊石が無けれ ないのよ。精霊石は地下からも採掘され ば、人は空も飛べない。島から島へ渡れ

霊石の持つ力が機械の動力源であり、 が造る機械は精霊石がないと動かない。精

な空飛ぶ機械を、持っている。何故、 らに我々の命ある石を、欲しがる」 「我々の見るところ、人はすでに、充分 3

> 南の大陸への侵攻を計画していると、院 長様や総祭司様も仰られたし」 わ。馬鹿みたいな戦艦をたくさん造って。 ルゴナン帝国が兵器を増強しているからだ 「それはいろいろあるけど、 なによりべ

しがる」 くの利益を得たいからだと思う」 「理解できない。何故、そんなものを欲 「理解できない。何故、そんなことをする」 「それは、より大きな権力や、もっと多

> ない。 の声が退いていった。虫達は意思を交わ すればいいのか。 法術士は自然の真理た し合っているようだが、 少女は伝えてこ る法を研究する学者だ。哲学者ではない。 キースリンの困惑を感じ取ると、 虫達 物欲や権力欲を、他の生物にどう説明

ややあって、 虫達の声が戻ってきた。

「それは、それは……」 キースリンは答に窮した。

「天の巣の、決定を伝える。我々は、人

界の外に消える。前髪をかすめて、 に投げ出され、牛食い虻の背にたたきつ身体の麻痺したキースリンは丸太のよう 画に従い、キースリンと」 けられた。 額から少女の触角が離れ、 視 しなければならない。かねてよりの、 への対処を決めるため、さらに、人を理解 「わああああああっっ」 突然、強列な衝撃が天の巣を揺るがした。

どんだ橙色の煙が立ち上ってくる うな、すえた悪臭だ。不自然な格好で倒 れたキースリンの視界に入る岩穴から、よ 不快な臭いがついた。柑橘類が腐ったよ 折り重なる大黄金虫と牛食い虻の間に巨体が天井から落ちて来た。 服に引っかかり、キースリンは上半身を てられもがき苦しんだ。 痙攣する足が制 先に逃げ出そうとするが、 次々と毒に当 挟まれ、なす術のないキースリンの鼻を、 「虫払いだ。農場用の薬が何故こんな所に」 人には無害だが虫には毒だ。虫達は我

揺さぶられた。

枚の布製の翼があった。 巨人は腕が二本で、精密な右手には、そ 五メートルの巨人が入ってくる。 第二の の機械の巨人。さらにその背後から、 を見せたのは、身長十メートルの一本腕 の巨身に相応しい長大な槍を握っている。 の腕が出現した。周りの岩を突き崩して姿 た。土埃と毒煙の向こうから、巨大な鉄 「飛空装甲だ!」 一体とも、 肩と腰に折りたたんだ大小四 耳を聾する轟音を上げて、岩壁が崩れ

を毒々しい体液に濡らし、鱗や外骨格の 破片をこびりつかせた金属の人型兵器を瞳 「ベルゴナン帝国の天の巣狩りだ。ここで、すが キースリンは無言の声を上げた。全身

飛空装甲の騎乗席を被う虫除けの金網にも来たんだ。なんて皮肉!」

橋が鋏虫の口から脳天を貫く。 鉄の左 精が鋏虫の口から脳天を貫く。 鉄の左 手が蜘蛛の頭の半分を握りつぶす。蜥蜴は 手にした槍や大剣や戦鎚で、 虫 がれた軍隊蟻がでたらめに転げ回った。 がれた軍隊蟻がでたらめに転げ回った。 がれた軍隊蟻がでたらめに転げ回った。 が場は、手にした槍や大剣や戦鎚で、 虫 が野れを突き刺し、 切り裂き、 叩きつぶ が場は

民が散らばり、頭部が転がった。内蔵 手足が散らばり、頭部が転がった。内蔵 手足が散らばり、頭部が転がった。 手足が散らばり、頭部が転がった。 手足が散らばり、頭部が転がった。 手足が散らばり、頭部が転がった。 手足が散らばり、頭部が転がった。 手足が散らばり、頭部が転がった。 大いないキースリンの前に、ちぎれた 動けないキースリンの前に、ちぎれた 動けないキースリンの前に、ちぎれた

キースリンは怒りが沸くのを感じた。鎮キースリンは怒りが沸くのを感じた。 ラプ静物質が切れかかっているようだ。 ラプかを畏れ、生物の前で謙虚であることを地を畏れ、生物の前で謙虚であることを地を畏れ、生物の前で謙虚であることをかえられた。いや、そんな教義よりも、この虫達は今し方まで言葉を交わしていた相の虫達は今し方まで言葉を交わしていた相の虫達は今し方まで言葉を交わしていた相談が溢れ、脳が積もった。

て神々はお許しにならないわ!」が許されるはずが無い。この非道を決し「いかに精霊石が貴重でも、こんなこと

キースリンの怒りをよそに、空洞内でキースリンの怒りをよそに、空洞内で見手の作業服を着込んだ兵士が歩いて入っ厚手の作業服を着込んだ兵士が歩いて入っ厚手の作業服を着込んだ兵士が歩いて入っできた。中にひときわ目につく濃紫のローできた。中にひときわ目につく濃紫のローできた。中にひときわ目につく濃紫のローできた。中にひときわ目につく濃紫のローできた。中にひときわ目につく濃紫のローできた。中にひときわ目につく違いがあいた。 カーボースリンの怒りをよそに、空洞内でもにはラプスカチャの制服とは異なる方に、 知恵と学問の女神レクゼテスーカの紋章。

ているなんて」 用法術士たち、 こんな酷いことに荷担し「メヨドーム法術院の連中だ。 帝国の御

ど、こんな標本の採集なんて、あっ」で表の集には貴重な変種が多いと聞くけいた。死体を漁る紫のフードからは、何味して、兵士達に指示して外に運ばせて味して、兵士達に指示して外に運ばせて味して、兵士達は積み重なる虫の死体を吟紫の法術士達は積み重なる虫の死体を吟いた。こんな標本の採集なんて、あっ」

女の意思が流れてきた。
不意に、キースリンの背後から緑の触角

「天の巣の決定を、実行しなくてはなり「天の巣の決定を、実行しなくてはなりの無法をみんなに知らせないと、 単から逃ません。 キースリンを連れて、巣から逃ません。 キースリンを連れて、巣から逃ません。 キースリンを連れて、巣から逃れている。

少女は何も答えず、虫の屍に埋もれたとげた。 今にも折れそうな華奢な手足なのに、軽々とキースリンを運んでいく。 二人の背後でくぐもった声が上がった。 「見ろっ!」

「向こうに」「人だ!」

女はそのまま岩穴に飛び込んだ。 かはそのまま岩穴に飛び込んだ。 背中をかたまま少女は身を投げ出した。 背中をかたまま少女は走る。 飛空装甲の怪物じみして、少女は走る。 飛空装甲の怪物じみ

数メートルを斜めに滑り降りると、固数メートルを斜めに滑り降りると、固さる灰色の蟹の甲羅だ。待っていたよぎに甲羅が縦に割れ、左右に分かれる。「待って。こんなところに。うわ」キースリンは、少女の手で甲羅の中に横たえられた。生温かいぶよぶよした肉に体たえられた。生温かいぶよぶよした肉に体たえられた。生温かいぶよぶよした肉に体たえられた。生温かいぶよぶよした肉に体たえられた。生温かいぶよぶよした肉に体たえられた。生温かいぶよぶよした肉に体たえられた。生温かいぶよぶよした肉に体たってきた。そこに少女の意思が割っが入ってきた。そこに少女の意思が割っが入ってきた。そこに少女の意思が割っが入ってきた。そこに少女の意思が割っが入ってきた。そこに少女の意思が割っが入ってきた。そこに少女の意思が割っが入ってきた。そこに少女の意思が割った。

「兄弟の意思が、キースリンに流れてして外って、天の巣は空に、あっ!」まいました。今から外に出ます」まいました。

対の足をせわしなく動かし、前方の光り鋏の無い蟹のような生物は、腹の下の十二人を体内に入れた生物が動き出した。

。 キースリンの驚愕が少女に伝わった。蟹な 「ああっ!」 光の中に飛び込んだ瞬間、重さが消える。た に向かって坂を下っていった。

もどきの甲羅は光を浴びて、透明に変化もどきの甲羅は光を浴びて、透明に変化

その巨大さに、キースリンは圧倒された「これが、天の巣!」

き始めた。 その巨大さに、キースリンは圧倒された。 甲 大の巣から外へ落下した蟹もどきは、胴 天の巣から外へ落下した蟹もどきは、胴

二人の周囲の空には、四枚の翼を広げた飛空装甲と、数え切れない生物の群れが飛び交っていた。巣の外を守る衛兵達は、いまだに無謀な戦いを続けている。 白い体毛に被われた翼龍、羽根蠍や岩峰達は、攻撃を仕掛ける毎に飛空装甲に深い傷を負わされ、眼下に落ちていった。 キースリンの視界に、気を失う前の緩慢な光景が辿った。 衝角鯱の群れにに食われる友人達と、 虫達の姿が重なる。 キースリンは達と、 虫達の姿が重なる。 キースリンは はずにはいられなかった。

逃げるのよ!」
「やめなさい!」あなた達では勝てない。

たちを助けるために」 いかぎり逃げません。 一つでも多く兄弟「戦うための兄弟達は、巣の母の命がな

天の巣から遠ざかるにつれ、キースリ戦場を離れ、青空を突っ切って行った。後に迫る飛空装甲に自らぶつかり、赤い後に迫る飛空装甲に自らぶつかり、赤い後に迫る飛空装甲に自らぶつかり、赤い

天空の

女は青い空を、白い永劫の霧を、島々を 初めて目にしたのだ。 た。少女が生まれて初めて巣の外に出た ことを知り、キースリンは驚愕した。 少 ンに少女の輝くような感情が伝わってき

きは真直ぐに空を進んでいった。 「なのに、なぜ人語を話せるんだろう」 不審に思うキースリンを抱き、蟹もど

飛空装甲『深紅の戦慄』は翼をたたみ、ちの中に降り立った。 なる。真紅の飛空装甲は、発着場で振ら れる手旗を無視し、 逃げまわる整備兵た に大きくなり、四枚の翼を広げた巨人に の冷たい春の大気を裂いて、染みは次第 をと呼ばれる五大島の一つ、北辺の大島陸と呼ばれる五大島の一つ、北辺の大島 に、赤い染みが浮かんだ。まとめて北の大 ガッセナク山脈に低くかぶさる白い雲

席に階段を着ける。真っ先に階段を駆け 出し、靄を立ち上らせる。整備兵が騎乗 片膝をついた。 機体中から熱い空気が噴 上った青年が飛空騎士に言った。 にお待ちです」 「姫様、お急ぎ下さい。上皇陛下はすで

現れる。 傷しそうな赤毛と、豹を思わせる美貌が 顔にぶつけた。愛機と同じに触れれば火 騎士は兜とゴーグルを外して、従者の

カ・キーヒャは、主君に毒づきながら階 開きやがって。よほど暇を持てあまして いるな」 「くそじじいめ、朝っぱらから会議など 上皇直属の霊鳥騎士団隊長であるガリー

ほとんどを支配する大帝国を築き上げた 自ら飛空装甲を駆り、一代で北の大陸の り騎士の修業場として名高い霊峰ビスハ 山に、ベルゴナン帝国上皇の宮殿がある。 島を貫く山脈の最高峰であり、 段を降りた。

梟雄は、皇位を孫に譲った後に帝都を離 れ、この山で暮らしていた。

服で固めた姿で、謁見室に入る。 ヒャは軍靴を響かせて走った。深紅の軍 つく堅牢な宮殿の廊下を、ガリーカ・キー

室に朗々と響きわたった。

を呼ばわった。 た旗だ。典礼長が、次に入ってきた隊長 火と戦いの女神ブレニホータと紅雀を描い 天井から下がった自分の旗の前に立った。 定位置に着いていた。ガリーカは足早に、 謁見室には、すでに他の騎士隊長達が

「雲雀公。御入来」

足捌きで姿を現す。 碧いゴーグルをかけ 藍色の覆面をした大男が、 猫のような かった。 の全身が実戦用に鍛え上げられているとわ て目も伺えないが、軍服の上からでも、男 「金糸雀公御入来」

雲雀、金糸雀、以上七羽の小鳥公、揃わ 物の彫像のような車椅子に埋もれて、 華 れました」 が、ガラス細工のように美しい少年だ。 奢な白子の少年が微笑んでいる。 病的だ 子が、誰にも押されずに入ってきた。怪 「鸚鵡、蜂鳥、夜啼鴬、孔雀鳩、紅雀、 きしんだ音を立てて、奇怪な形状の車椅

「上皇陛下、御開龕」 こからがん こからがん こからがん こからがん こからがん こからがん かり始める。

をついた。同時に頭を垂れる。 「立ってよいぞ」 金糸雀公を除き、謁見室の全員が両膝

ぎる猛々しい容貌は五十歳にも見えない。 歳を越える老人のはずだが、精力のみな に響く。岩から削り出したような魁夷な男 ベルゴナン帝国上皇リグダ・シャダム・ 鉄鐘を大鎚で叩いたような声が全員の頭 玉座の肘掛けに腰かけていた。 七十

典礼長の声が、広く飾りけのない謁見 騎兵槍を構えた飛空装甲が何体も守りに 紅雀公。御入来」



ヘルニサン

一介の傭兵から皇帝になった生ける伝しいままにする男は、玉座の上から勢いしいままにする男は、玉座の上から勢いな音を立てた。典礼長と侍従長が顔をしかめる。由緒正しい宮中作法を教育された二人の老人には、リグダ上皇の振舞はた二人の老人には、リグダ上皇の振舞はた二人の老人には、リグダ上皇の振舞はた二人の老人には、リグダ上皇の振舞はた二人の老人には、リグダ上皇の振舞はた二人の老人には、リグダ上皇がからされていた。

て健在か。嬉しいことだな」「かわいい小鳥達よ。今日もお前達揃っ

籠から出してやることもできぬわ」 「孫のアレドが皇帝に就いてからは、ろ「孫のアレドが皇帝に就いてからは、ろ「孫のアレドが皇帝に就いてからは、ろ「孫のアレドが皇帝に就いてからは、ろ

七羽の小鳥とは、名目上団長の位に就いているリグダ上皇の下で、霊鳥騎士団いているリグダ上皇の下で、霊鳥騎士団いているリグダ上皇が自ら選び出した飛空装甲操縦彼らは上皇が自ら選び出した飛空装甲操縦行動故に正規の帝国軍にいられない者達でもある。またそれゆえに、上皇に愛されもある。またそれゆえに、上皇に愛されていた。

「今日はお削達が羽を伸ばせる、楽しい遊びを用意してやったぞ。銀目達を入れろ」がを用意してやったぞ。銀目達を入れろ」が、メヨドームの法術士達だ。この法術院も上皇の支配の下にある。 先頭の法術院も上皇の支配の下にある。 先頭の法術院も上皇の支配の下にある。 先頭の法術をも盛り上がり、 眼球は銀色。 自らの肉本も盛り上がり、 眼球は銀色。 自らの肉本も盛り上がり、 眼球は銀色。 自らの肉本も盛り上がり、 眼球は銀色。 自らの肉本も強り上がり、 眼球は銀色。 自らの肉が何本も強切上がり、 眼球は銀色。 大頭の法術士は前置き無判然としない。 異形の法術士は前置き無く話し始めた。

です」りうべからざる物が目撃されました。人りうべからざる物が目撃されました、あ「先日行われました天の巣狩りにて、あ

もいた。 とやら解らず、文句を言う者には何のことやら解らず、文句を言う者には何のことやら解らず、文句を言う者には何のことが語られ

は術士は気に止めず、講釈を続けた。 「かの歴史に名高きニリガの大風嘯の折、 「かの歴史に名高きニリガの大風嘯の折、 と、その島の祭司が 記録しております。その天の巣には触角 にあおられた天の巣が島に衝突して崩 に動ったと、その島の祭司が に巣の生物をまとめ、他の天の巣を呼び た巣の生物をまとめ、他の天の巣を呼び た巣の生物をまとめ、他の天の巣を呼び た巣の生物をまとめ、他の天の巣を呼び た巣の生物をまとめ、他の天の巣を呼び た巣の生物をまとめ、他の天の巣を呼び た巣の生物をまとめ、他の天の巣を呼び たりました。このことの重要性が されておりました。このことの重要性が されておりました。このことの重要性が

い代物を扇子のごとく扱い、檄を飛ばす。げてどなった。並の男では片手で持てな後を受けて、上皇は右手の鉄杖を差し上

「解るか。その娘をてなずければ、滅多「解るか。その娘をてなずければ、、直切が足らんと抜かす孫の尻を叩いて、南力が足らんと抜かす孫の尻を叩いて、南の大陸を平らげに行けるぞ。シルド・エの大陸を平らげに行けるぞ。シルド・エヴァ教国の坊主どもに末期の経を唱えさせてくれるわ」

サグダ上皇は、大理石の床に杖を振り下ろした。乳白色の石にひびが入る。咆哮を上げる上皇の姿も言葉も、すでに一国呼を上げる上皇の姿も言葉も、すでに一国の王ではない。かつて、とぼしい兵糧替の王ではない。かつて、とぼしい兵糧替の王ではない。かつて、とぼしい兵糧替の王ではない。かつて、とぼしい兵糧替の王ではない。かつて、とぼしい兵糧替の王ではない。他の小鳥達も同じ感覚を味わっているだろう。リグダ上皇の床に杖を振りてかるだろう。リグダ上皇の床に杖を振りてろした。

れゆえに、リグダは皇帝になれた。男と共に戦いたいと思わせるものが。そ持つ者を引きつける何かが有った。この持つ者を引きつける何かが有った。このとしか映らぬこの男には、戦士の資質を

上皇は懐からペンダントの束を出した。天の巣の娘を捜し出すのだ」

複製させたのだ」 「これが、今のところの唯一の手掛かり「これが、今のところの唯一の手掛かり全て同じ形の真鍮製の安物だ。

て回った。 特従がペンダントを七羽の小鳥達に配っ

帝の鼻を明してやるのだ」 らでも褒美をくれてやるぞ。 臆病者の皇

カだけが怖い顔でペンダントを手にした。

色めき立つ七羽の小鳥達の中で、ガリー

120

DVOS 天空の章

フィリオネー

シェナン・ブロ

ばかりだというのに、小説連載がはじまった

『アプロス・地上編』だ。 れが、ここに紹介する ウルフ・チームからパ ソコン版アプロスの企 画が発表になつた。そ

たものに仕上がっているという。 神秘の顔が見え隠れするイメージの違っ 舞う天空編とは趣を異にし、さまざまな 界を舞台にしながらも、巨大メカが空を すのが、PC-980-用ソフトとして発 売される地上編。同じアプロスという世 ゲームのジャンルはアドベンチャー。 ログアウトで連載する天空編と対をな

読んだ上でプレーすれば、アプロスの世 展開が楽しみだね。ログアウトの小説を いとのことなので、これからの ルのゲームにも移植していきた った、よりマニアックなジャン くゆくはRPGやシミュレーションとい を楽しんでもらうために、ゲームの展開 といっても、ストーリーとグラフィック にクリアーできるようになっている。ゆ は比較的素直なもの。マウスによるコマ ンド選択方式とあいまって、誰でも容易

シアン・ルシ

界観が、より一層ハッキリと見えてくる かもしれないぞ。

こでさまざまな冒険に巻き込まれていく りがどんな運命をたどつ 規模の陰謀に巻きる というから、おも という設定だ。女騎士のシェナンも登場 船の事故により地上世界に降り立ち、そ とは天空世界の住人なのだけれど、飛空 し、シアンと珍道中を帰 価格は未定が でくれる は川月

地上編の主人公は少女シアン。もとも

メリエ叔母様だわ」

き込んだ。 「これは、大公様の亡くなられた愛人の 薬草茶を盆に載せて運んできたハルも覗

メリエ様では

上に並べた。 カが手際よくひょいと取り上げて円卓の を押さえる。盆の上の湯飲みは、メラー の腹に入れた。ハルは膝を落として、腹 言葉の途中で、ガリーカは右膝をハル

の貴族だ。キーヒャ公国大公セバーフは、 ガリーカは七羽の小鳥の中でただ一人

アプロスを舞台に物語がはじまる。

|何処へもなく飛び去った謎の少女とキースリンの運命は?

「畜生っ。ろくでもないことになったぞ」 そう呟き、剣のような瞳で上皇を睨んだ。

めり込ませた。ハルは壁に叩きつけられ 出迎えた従者のハル・イスクの顔に拳を 投げた礼服をかたずける。 たが、すぐに立ち直り、ガリーカが放り 宮殿内の私室に戻ってきたガリーカは、

皇陛下に何か言われたの」 「あらあら、御機嫌斜めね、 御姉様。上

り年長に見えるが、三十二日年下だ。腹 違いなので、 た。 落ち着いた雰囲気なのでガリーカよ 妹のメラーカがおっとりした声で訊 あまり似ていない。柔らか

ンダントを妹に投げた。 「ふたを開けて、中を見てみろ」 ガリーカは返事のかわりに、 真鍮のペ

像画が収められていた。 微笑みを浮かべた、 聡明そうな女性の肖 トをパチリと開けた。 中にはおだやかな メラーカがたおやかな指で、 ペンダン

メラーカはおっとりと驚きの声を上げた。

しつけた。石が力を僅かに解放し、火を けが、こんなところに回ってくるとはな」 腕輪に埋め込んだ小さな精霊石に煙草を押 「まったく腹が立つ。くそ親父の助平のつ 父親の悪口を吐きながら、 ガリーカは

> が悪いのだ。ガリーカには腹違いの弟妹 だが、大公には一つ悪癖があった。女癖 えられたのだ。国を守ったことでは名君 女のガリーカは騎士としてリグダに召し抱 で、自治領として国の命脈を保った。 自らベルゴナシ帝国に併合を申し出ること が何人かいる。 バーフ公は改めて領主として任命され、 公

での話を妹と従者に聞かせた。 ガリーカは紫煙を吐きながら、

はこの空に一人しかいない。 「これを肌身離さず持ち歩いているやつ

と思っていたけど、 然連絡をくれないで、どうしているかしら たラプスカチャ法術院に入学してから全 「キースリンちゃんたら、お母さまのい 随分妙なことになっ

薬草茶を飲みながら、 メラーカは感慨

るという話だ」 れた者達が、うようよ閉じ込められてい ら何をされるか知れん。法術院の地下に 出すかわからない。そうなればキーヒャ は、生まれもつかぬ化け物に造り変えら 家全体にも累が及ぶ。 それにメヨドーム だ。 キースリンも上皇の前で、 何を言い カチャの学者馬鹿どもは、帝国に反抗的 の法術士どもの虜にされたら、生きなが 「感心している場合ではないぞ。 ラプス

ガリーカは切り裂くような語気で言った。 ながら薬草茶を注ぐハルには目もくれず、 しつけた。そのまま火の熱さに手を震わせ 「キースリンは私が捕まえる。 どんな手 「姫様、お茶の御代わりはいかがですか」 ガリーカは無言で、ハルの手に煙草を押 すかさず、ハルが茶瓶を持ってくる。 ガリーカは薬草茶を一気に飲み干した。

へつづく



©KONAMI 1991, 1992

圏の血 血の悪

前回までのあらすじ

に左胸に山査子の杭を打ちこむ……。 は吸血鬼と化したマァリ・フレイズの リザベートも毒牙にかかる。ディーン ついた村が吸血鬼に襲われ、村人やエ 会を追放され布教の旅にでた。たどり とともに、司祭ディーン・シルバは教 錬金術士ピエール・バイヤンのふたり エリザベート・アーイエ、罪を犯した 大司教に抱かれることを拒んだ司祭

復讐の章

別してくれよう。 を持ってさえいれば、強大な力の前に屈 てしまうだろう。だが、敬虔なる無意識 るものと邪なるものを気高き無意識が選 高きから低きに流れ落ちるように、聖な 者は刹那のため、永遠を悪魔に売り渡し 闇に閉ざされ、希望は絶望と化し、 は人の精神に混沌を産み落とす。視界は 悪なものに抗うための術。圧倒的な恐怖 死で対抗した。それは教会で学んだ、邪 を呼びこみ、襲いかかってくる恐怖に必 れは主の微笑みとなるはずだから。水が ば、昏き心に一条の光が生じ、やがてそ することはない。祈る気持ちがあるなら 若き宣教師ディーン・シルバは心に無

リズ、愛してる。そして、やはり小さなンは、小さく最愛の女の名をつぶやいた。 声で神を蔑する言葉を口にする。これま なかった。そんな自分に気づいたディー 思っていた。しかし心に染みついた、神へ で自分たちは、時と心のすべてを捧げて の畏敬の念を、そう簡単に拭い去れはし 教会に神は存在しないのだ、とディーンは 工が吸血鬼の毒牙にかかってしまった今、 聖職を生業とするエリザベート・アーイ

> きた。それなのに、主は自分の一番大切 れるべき者どもは、他に大勢いるはずだ。 何が気に入らなかったというのだ。 どう なものを奪っていった。何故だ? して、祈る者がこんな目に遭う。罰せら 一体、

して……吸血鬼は弾かれたかのように半ディーン・シルバを睨みつけたのだ。そ さらには白く濁った眼を、かっと見開き のように大量の鮮血を撒き散らしたのだ。 になった。人間の体を山査子の棒杭で貫るような感触が生まれた。気が狂いそう 鋭い衝撃の直後に、左の掌に寒気のすたひとつ減るはずだった。しかし――。 鬼は滅びるはずだった。闇の脅威が、ま それでマァリ・フレイズという名の吸血 をしてきた神に対する、ささやかな復讐 刻よりも少し大きな声で。残酷な仕打ち た。その屍体は異物の侵入を拒絶するか いたという、それだけの理由ではなかっ た木槌を思い切り振り下ろしたのだった。 そうしてディーン・シルバは握りしめ 再び神を冒瀆する言葉。今度のは、先

ら。陽が天にある間は吸血鬼は深き眠り れが、そのとおりにならなかったのだか めれば、すべてが終わるはずだった。そ 例外ではない。吸血鬼の胸に杭を打ちこ のだから。 だった。それが、そのとおりでなかった についており、目覚めることはないはず かった。そこに居合わせた四人の村人も 悲鳴を上げたのはディーンだけではな

れながらも、 をも濡らす。 やがて落葉の降り積もった、腐った大地 れでも生命の水は噴出することをやめず、 汚れた服が、すぐに真紅に染まった。そ 吸血鬼マァリ・フレイズの纏っている薄 らは脈を打つように鮮血が溢れ出ている。 杭の刺さった、動くことのない心臓か ふとディーンはこの血が誰 恐怖に頭の中を真っ白にさ

> 鬼はふたりの生き血を啜ったのであろう。 リザベートのどちらかを、あるいは両方を までもなかった。マアリは、シィルかエ とエリザベート・アーイエである。考える た少女だった。あの時は血を抜かれ、渇 毒牙にかけた。恐らく後者――この吸血 の犠牲者は、ふたり。シィル・ヴィンク いていた。しかし、今は……。それから レイズは、村で最初に吸血鬼の餌食となっ のものだったのかと考えた。マアリ・フ 瞬時にして恐怖は消えた。吸血鬼が微

身を起こした。鋭い牙を剝き、吠えた。

ずかに先をいっていたからだ。男は右手 うに微笑んだのは同時だった。そしてふ 奥から振り絞るような悲鳴を上げた。 が大きく右に捻れ、それで首の骨が折れ砕いただけではなく、殴られた衝撃で首 骨のあたりに打ちつけた。そのため、吸 なかったのは、単にディーンの方が、わ その指先は若き宣教師の、涙を浮かべた 間の少女の一撃などでは断じてなかった。 さで男の顔に向かって突き出された。人 えるために。彼女の右手は、凄まじい速 おうとした愚か者に、死という制裁を加 たりは、やはり同時に動く。マァリ・フ い、長い悲鳴だった。 血鬼の爪はディーンの顔に届かなかった。 瞳をえぐることになっていた。 そうなら レイズは、人間の分際で闇の者に刃向 たか外れたかしたのだ。吸血鬼が、喉の に握っていた木槌を思い切り、 ごきり。音がした。木槌が彼女の貌を 少女の頻

彼女の後頭部しか見えなかったが、 意味で言ったのであったとしたら、それ まの姿勢で動かなかった。ディーン・シ は間違いだった。ゆっくりとマアリ・フ 言った。しかし、闇の者を斃したという ルバも、そう。やった、と村人の誰かが 元に戻ろうとしている。 ディーンからは レイズの首が動きはじめた。捻れた首が 突然、静寂が訪れた。吸血鬼はそのま

> 女の横貌。怖い眼が宣教師を睨んでいる。 合うことになった。 宣教師を捉える。ついに、 ンに固定されたままで。 凄まじい形相が 首は、まだまわり続ける。眼だけがディー て陥没した頰骨が目に入った。 続いて少 ふたりは向き

文句。「あたしを殺しても、あの女が助か女の声だが、それに相応しくない呪いのえてしまいそうな細い声で。明らかに少 裏に閃いたのは、眠るようにして息絶えて 笑った。 るわけもないのに……ねえ」楽しそうに がリズの笑顔を奪ったのか? ディーン いたエリザベートの顔。貴様か……貴様 て弾けた。木槌を握る手に力がこもる。脳 の中に灯された蠟燭のように、今にも消 ディーンの心の中で、何かが音を立て 吸血鬼のくちびるから言葉が漏れた。嵐

かに貌を歪めたのと、ディーンが寂しそ

界が真紅に染まり、言葉を失ってしまう。 びたのだ。対する少女は、それですべて マァリの吐き出した大量の鮮血を顔に浴 は何かを言おうとして口を開いたが、 視 著者近況



獏先生に会う。 手塚一郎でづかいちろう ーであこがれの夢枕 本誌のインタビュ 大好

を持つ経験をした。ともに感慨深い。 クエ5で現実より先に結婚をし、子供 幸せなひとときを過ごせた。またドラ きなブロレスの話をすることもでき、



た。毎日早寝、早起 繩へ遊びにいってき 高橋政輝(たかはしまさき) 9月に18日間も沖

楽しいことこのうえない た。帰ってきてから、仕事も快調で、 ぶという日々ですっかり健康的になっ きをして、真っ黒に日焼けするまで遊

寄った。
寄った。
おった。
な力を使い果たしたかのように、ゆっくの力を使い果たしたかのように、ゆっくの力を使い果たしたかのように、ゆっくの力を使い果たしたかのように、ゆっくの力を使い果たしたかのように、

まった大切なものの名をつぶやきながら。失われてしまった――否、変えられてし の血を、おいしそうに舐めた。 のない口調。そして、くちびるのまわり あとはこいつを灰にするだけです」抑揚 顔で振り返ると、冷たく微笑んだ。「さあ、 それから村長ボリ・レナールを血塗れの も止まった。宣教師は大きく息を吐いた。 めようとはしない。殴る。殴りつづける。 最愛の女性を奪われた男は、制裁の手を緩 からなくなっていた。それでも吸血鬼に ぎれた肉とで、もとは誰であったのかわ 溢れた血と裂けた皮と砕けた骨、それにち 形容しかできなかった。吸血鬼の頭部は 加えはじめたのだ。狂ったように、との 手にした木槌で呪われし少女の貌に乱撃を られなかった。若き宣教師は吠えながら、 温厚で冷静な司教さまが、と思わずにはい 怖とは違うそれに、彼らは心を凍らせた。 突然のことに、集まった村人たちは逃げ出 やくディーン・シルバの打ち下ろす木槌 くりとも動かなくなった。それで、よう しそうになった。吸血鬼に抱いていた恐 痙攣を繰り返していた少女の体が、ぴ ディーン・シルバが獣の咆哮を上げた。

2

何も言ってこない。それならば、司教の何も言ってこない。それな夢は、一次の手にだった。それはディーン・シルバの手にだった。それはディーン・シルバの手にだった。それはディーン・シルバの手にだった。それはディーン・シルバの手にがった。それならば、司教の何も言ってこない。それならば、司教の何も言ってこない。それならば、司教の何も言ってこない。それならば、司教の何も言ってこない。それならば、司教の何も言ってこない。それならば、司教の何も言ってこない。それならば、司教の何も言ってこない。それならば、司教の何も言ってこない。それならば、司教の

やりたいようにやらせるのがいいだろうとし、ただ見守っていた。それがもっとも良い方法なのだ、と自分を無理にでも納得させた。できることならば、その呪われさせた。できることならば、その呪われさせた。できることならば、その呪われさがにのが疑問だったから。 悪魔になてくれるのか疑問だったから。 悪魔になてくれるのか疑問だったから。 悪魔になど触れたくない。 先刻のように、 いきなり半身を起こし、 牙を剝くのではないかと不安で仕方がなかった。

森の向こうからやってきた男と女は、神森の向こうからやってきた男と女は、神るのも難しいことではない。けれども、信とて救われるという保証はどこにもなかった。吸血鬼は胸に杭を刺されながらも宣教た。吸血鬼は胸に杭を刺されながらも宣教た。しかし、完全に正しかったとも言えた。しかし、完全に正しかったとも言えた。しかし、完全に正しかったとも言えた。しかし、完全に正しかったとも言えた。しかし、完全に正しかったとも言えた。しかし、完全に正しかったとも言えた。しかし、完全に正しかったとも言えた。しかし、完全に正しかったとも言えた。しかし、完全に正しかったとも言えいっていたの直感こそが頼れる唯一のもの。これまでも、そうだったではないか。神の使いと称する者たちがこの村を訪れるまでは。そうさ、それで何事もうまくいっていたのだ。

吸血鬼の片足を無造作につかみ、引きでるディーン。四人の村人たちは、そんずるディーン。四人の村人たちは、そんだ。その悪魔が再び蘇ることを、 半ば確た。 その悪魔が再び蘇ることを、 半ば確た。 その悪魔が再び蘇ることを、 当さ

漏らす。人間ならば絶命していなければな 漏らす。人間ならば絶命していなければな が宿ったのである。 片足をディーンに つかまれ、引きずられるマァリ・フレイズ は、 迫りつつある陽光に抗うかのように、 は、 迫りつつある陽光に抗うかのように、 は、 うではな かった。 動いただけではなく、 声さえも かった。 動いただけではなく、 声さえも

そ者なんかを信じるの、とも。そして、よと。あたしを忘れたの、と。そして、よと。あたしを忘れたの、と。そして、よらないほどの傷と血とを纏った彼女は、細らないほどの傷と血とを纏った彼女は、細

光が近づくにつれて、屍体の小さかっ光が近づくにつれて、屍体の小さいとも性を無理に連れ去ろうとする人さらいとも供を無理に連れ去ろうとする人さらいともけるる。村人は、宣教師の違う一面を目見える。村人は、宣教師の違う一面を目見える。村人は、宣教師の違う一面を目したように思い、寒気を感じた。

ど、まさに夢だった。また肉を焼く音。そ とは言っても、それほどの数を飼うこと で唾が湧いてくる。貧しい村だから無理た肉をかざして焼く光景を。考えただけ その音は生じた。吸血鬼が陽の光の下で活 に口の中が干涸びてしまう。じゅううつ。 間にはその異音の正体を知り、 たりはしない。塩漬けにし、保存してお 度が精一杯だった。それも、一度で食べ の消費量は、村人ひとりにつき羊一頭程 などできようはずもない。だから年間の肉 てしまった。赤々と燃える火に、脂の乗っ 年に一度あるかないかの御馳走を想像し 空からの恵みは、闇の民にとって鋭き短 動できないというのは真実であった。天 肉を焼く音などではなかった。 木漏れ陽 てて唾を飲みこんだ。しかし、 村男のひとり――ケインが大きな音を立 の香ばしい匂いを嗅げるような気がした。 く。火で焙った肉を腹いっぱい食べるな もなかった。羊や豚は比較的、飼育が楽 がマァリ・フレイズの体に触れるたびに、 異音が生じた。村の男たちは反射的に、 否、それ以上の脅威だっ 今度は逆 つぎの瞬

のけぞる。吸血鬼は悲鳴に似た声を上げ握りの灰が噴出した。屍体は大きく震え、の部分からは破裂するかのように、ひと光が少女に激しく突き立てられる。そ

であった。 れは陽が、やや西に傾きかけた頃のこと そに、男は安らかな寝息を立てていた。そ によるものだった。村人たちの心配をよ き、倒れてしまった。極度の疲労と緊張 ンは、そんな彼らに小さく微笑むのが精 しまっているようだった。しかしディー しかかっていた恐怖は、すっかり消えて 四肢は突然、粉々になり、土に還えった。 た時と同じ音だった。枝のような少女の た。 暖炉にかけてあった鍋が吹きこぼれ 血鬼の肉体の崩壊は、森を出た瞬間に訪れ き、骨と皮としか残っていなかった。吸 していたマァリ・フレイズだが、今や乾 わる。先刻までは溢れる血に全身を濡ら 影が疎らになってきた。やがて森は終た。苦痛とも快楽とも取れる声だった。 一杯だった。静かに目を閉じると、力尽 ある盲教師に駆け寄った。先刻まで重くの やった、と歓声を上げ、村人たちは勇気

3

心地よい冷たさ。それを顔に感じた。全心地よい冷たさ。それを顔に感じた。全の心配そうな表情が、ゆっくだった。すぐ前に、見覚えのある村娘の顔があった。オアイーヴという名の少女顔があった。オアイーヴと表情が、ゆっくだった。その心配そうな表情が、ゆっくだった。その心配そうな表情が、ゆっく言った。自分の言葉を嚙みしめるかのく言った。自分の言葉を嚙みしめるかのような、そんな口調だった。同時に、やような、そんな口調だった。同時に、やような、そんな口調だった。同時に、やわらかな笑み。

人たちの喜びようからすると、自分が吸血とから半身を起こしたのと、部屋中から台から半身を起こしたのと、部屋中から台から半身を起こしたのと、部屋中からお声が沸き上がったのは、ほぼ同時だったのではないか、とも思えたが、この村たのではないか、とも思えたが、部屋中からおいたりではないかが横たわっていた寝

悪魔の血血の悪夢



誰が吸血鬼なのかわかりませんからね」部 はなかった。それがディーンにはわかっ 赤黒い布だった。布は元から赤黒いので 寝台の横に立っているオアイーヴが言っ できた。陽は暮れていなかったから。 の表情は強張ったままだった。それどこ 屋中から笑いが起こった。しかし宣教師 られなくて本当によかったわ。あれでは、 も言った。「さっきのお顔を司祭さまに見 つかった。外が見たかったのである。そ くあたりを見まわす。 ろではなかったのだ。 いている宣教師に、オアイーヴは、なお ですわ。お顔についていた血は、 で少女は、くすりと笑った。「もう大丈夫 た。反射的に自分の顔に手をやる。そこ た。 彼女が胸の前で握りしめているのは して、ようやく微笑みを浮かべることが に拭きとりましたから」。ぽかんと口を開 「司教さまのおかげで村は救われました」 ディーンは、素早 捜していた窓が見 きれい

身体から力が抜けてゆくのを感じた。鬼を退治したのは現実だったのであろう。

治することはできなかったでしょう。 救ったわけではありません。みなさんの いたいのですが、村長はどちらにいらっ いてみる。さりげない口調で。「お礼を言 なこと。だが、非常に重要なことのよう 力がなければ、あの恐ろしい吸血鬼を退 るオアイーヴに視線を戻した。「私が村を しゃるのでしょう」 にも思えてくる。 のである。彼はどこにいるのだ? に村長には……」そこで気がついた。こ 「すぐに戻ると言っておりました」答えた ディーンは、自分のすぐ横に立ってい そのボリの姿が見られなかっ -ボリ・レナールの屋敷だ。 だからオアイーヴに訊

は、先刻の探索行を共にした者のひとりのは、先刻の探索行を共にした者のひとりのは、先刻の探索行を共にした者のひとりのは、先刻の探索行を共にした者のひとりのは、先刻の探索行を共にした者のひとりのは、先刻の探索行を共にした者のひとり

ほど大切な用事とは、いったい何なのだ。 血鬼を退治した、村の英雄を放っておく のではないかと不安になる。息苦しい。吸 を感じた。誰かにその音が聞こえてしまう り気なのが村長なのですからね」 よ。何と言っても、今晩の祭りに一番乗 心臓の鼓動が速く、大きくなってゆくの しなかった。「きっと、すぐに戻ります 対するトールは、笑顔を絶やしたりは

た。「祭り……今晩、祭りが……あると いうのですか」そんなことは聞いていな 聞いて宣教師は気が遠くなりそうになっ

> もらうための、ささやかな償いのつもり 闇の者と化してしまったリズを見逃して めだ。疑われずにすべてを終えるためだ。 を斃したのは、村人たちの信用を得るた だったのだ。それなのに。 しにするつもりか?生命を賭けて吸血鬼 やめろ。 心と共に視界も揺れる。 お前たちは俺の計画を台無・視界も揺れる。今晩は駄目

大切な用事……」ディーンは、自分の

あろうか、慣習にうるさい、あの村長が言 今年はそれを少しだけ早めようと、ことも い出しまして……。まあ、吸血鬼が滅び、 毎年、夏の終わりに祭りが行われます。が、 「司教さま、ご存じありませんでしたか。

教会のお勤めも忘れてもらいますからね」 する者などいるわけありませんよ」そこ 微笑みを浮かべていた。「今夜ばかりは、 覚悟しておいてくださいよ」意地の悪い ていた。「司教さま、朝までつき合うのは して男は視線を上げた。顔には笑顔が戻っ 意味もあります」そして沈黙。しばらく てしまったマアリとシィルの霊を慰める でトールは顔を伏せた。「不幸な目に遭っ 平和が戻ってきたわけですからね。 朝まで酒を飲むだって? 冗談じゃな 吸血鬼としての生を得た彼女を放っ

言ってやろう。怖がらせてやろう。 と意味がない。 思いついたのは吸血鬼の うにしなければならないのだ。そうでない はない。夜、村人たちを外に出さないよ ズに付きそっていなければならない、 きは考えることだ。考えろ。考えろ。 鳴りたい気分だった。しかし、今するべ て酒など飲めるわけがないだろう、 いのだ。安心するのは、まだ早い。そう いうのはどうだ? 駄目だ。 自分が祭り に出なくても済む言い訳を考えているので 吸血鬼は滅びてなんかいな

ディーンは大きくため息をついたあと



悪魔の血血の悪夢

育文な言を言文正の言葉で、邪暑は争まの脅威が去ったとは言えませんから」の脅威が去ったとは言えませんから」で言った。「せっかくですが……祭りは

ぶやいた。「森の中でマァリ・フレイズをエリザベート・アーイエ、と心の中でつ・した。つぎはシィル・ヴィンク」そして た。嘘は言っていなかった。 病を移されたのでしょうか?そう、愚 の手によってマァリ・フレイズは嗜血の のです。それでは、何者が彼女に……誰 はいけません。 彼女も被害者のひとりな げる者がいた。「しかし、マアリを憎んで 立てたのです」村人の中に短い悲鳴を上 せん。マアリは、シィルの喉に牙を突き と、おびただしい量の鮮血が噴き出したの のでしょう。マアリの胸に杭を打ちこむ こから……いや、誰から血を手にいれた 発見しました。彼女は血を抜かれ、乾い ルバに集中した。つぎの言葉を待つ。 たのか? 村人たちの視線がディーン・シ り返った。吸血鬼は滅びたはずではなかっ し出し、塵に返すまでは平和を取り戻し の始祖の仕業に違いありません。奴を捜 かな錬金術師ピエール・バイヤンの手に です。これは、もう推測などではありま ていたはずなのに……。それなのに、ど よってこの世に現出した魔王――吸血鬼 「最初の犠牲者は、マァリ・フレイズで 勇敢な若き宣教師の言葉に、部屋は静ま

部屋の中に、絶望が満ちた。何日かぶ 部屋の中に、絶望が満ちた。何日かぶ いに落胆と疲労を感じさせる。こんなに いに落胆と疲労を感じさせる。こんなに 恐ろしいことは今までなかったのに。それが、まだ続くなんて。ため息さえも出 てこなかった。宣教師の言うことは、じ つは嘘なのではないか、とも思えてくる。思わずにはいられない。お願いだ、誰か吸血鬼の脅威は去ったのだ、と言ってくれ。マァリ・フレイズが吸血鬼になった れ。マァリ・フレイズが吸血鬼になった あとも、一晩にふたりの犠牲者が出たり

される。
される。
される。
される。
とう考えられないだろうか。だ
は、もうどこか別の土地に行ってしまっ
は、もうどこか別の土地に行ってしまっ

「そのとおりだ」突然、声がした。続いて、険しい顔つきをした男が現れた。村て、険しい顔つきをした男が現れた。村を書きて歩み寄り、宣教師の両手を力強を指った。ボリは、まっすぐな目をしていた。真剣な眼差しを村の英雄に向ける。いた。真剣な眼差しを村の英雄に向ける。いた。真剣な眼差しを村の英雄に向ける。いた。真剣な眼差しを村の英雄に向ける。いた。ボリは、ディーンが息苦しさを感じはた。ボリは、ディーンが息苦しさを感じはた。ボリは、ディーンが息苦しさを感じはた。ボリは、ディーンが息苦しさを感じはた。ボリは、ディーンが息苦しさを感じた。すりは、ディーンが息苦しさを感じる。しかし、それは一瞬だけだった。ずりは、ディーンが息苦しさを感じる。

「司教さまのお言葉を進ることになってした」これはディーンに対する言葉。つした」これはディーンに対する言葉。つぎのは村人に向かって。「残念だが、そうぎのは村とになってしまった。 祭りは大切いうことになってしまった。 そこをわかってほしい」

「そ、それじゃあ……」語気を荒げた男の声があった。「いったい、いつになったら村に平和が戻ってくるというのです。たら村に平和が戻ってくるというのです。けることができる。だけど、怯えながら毎いのは我慢できる。だけど、怯えながら毎日を暮らすなんて無理だ。気が狂っちまうよ。それに、このままじゃあ……」男はそこで言葉を切った。口にするのをためそこで言葉を切った。口にするのをためるった。恐ろしい想像だったから。あるらった。恐ろしい想像だったから。あるらった。恐ろしい想像だったから。あるらった。恐ろしい想像だったから。あるらった。恐ろしい想像だったから。あるらった。恐ろしい想像だったから。あるらった。恐ろしい想像だったから。まだと、いつかは村は滅びることになる。まだと、いつかは村は滅びることになる。

だった。 らば、むしろ沈黙を守り続けた方がいいの 笑みでは断じてなかった。これならば自 手から守ることができる、という安堵の た。ディーン・シルバは、満足そうな表 他の村人たちも、それに倣うしかなかっ す。まずは、そこからはじめましょう」 くらでも悪魔を葬る機会が巡ってくるわ てきます。 つまり夜を……日没から日の くれるのか、まったく予想がつかない。そ ではないか、と考えてしまうからである。 を口走り、人々の絶望感を増大させるな はできなかった。何を言ったらいいのか、 う思いながらも、誰も言葉を発すること 分の計画がうまくゆく、と考えての笑み 情を浮かべた。 これで彼らを吸血鬼の魔 ん。それでは何かを見落としてしまいま 急いではいけません。焦ってはいけませ けです。恐ろしいのは、わかります。が、 出までを乗り切ることができるなら、い のある間は、我々人間の手に世界は戻っ 如何に恐ろしい存在であっても、天に光 ながら言った。「幸いなことに、吸血鬼が は村人たちの顔を、ゆっくりと見まわし 待っているだけではいけません」宣教師 れが現実です。しかし、だからといって まるで見当がつかなかった。へたなこと いたら恐怖に押しつぶされてしまう。そ 言わなければいけない、このまま黙って 「悪夢が、いつ我々の前から消え去って ボリ・レナールが、ゆっくりと頷いた。 屋敷は重い沈黙に支配された。何かを

く夜がはじまります」村人たちに視線を戻なってきました。もうじき悪魔のはばた重々しく言った。「ご覧なさい、光が弱く後にある窓を、わざわざ振り返りながら後にある窓を、わざわざ振り返りながら

した。誰もが恐怖に引きつった顔をしている。いいぞ、と思う。もっと怖がれ!そうすれば、この計画も、きっとうまくゆく。そして、それはそのまま彼らのためでもあるのだから。「陽が沈むと、世ためでもあるのだから。「陽が沈むと、世ためでもあるのだから。「陽が沈むと、世ためでもあるのだから。「陽が沈むと、世ためでもあるの思う壺なのですから。我々れこそ奴らの思う壺なのですから。我々れこそ奴らの思う壺なのですから。我々れこそ奴らの思う壺なのですから。我々れこそ奴らの思う壺なのですがたとつの部屋で寝るようにするのがいいでしょう。そのほうが危険は確実に減ります。そして、再うが危険は確実に減ります。そして、再うが危険は確実に減ります。そして、再うが危険は確実に減ります。そして、再うが危険は確実に減ります。

4

急いで戻らなくてはならないと思いながら 村の男だった。それがわかっても、 目だ、まだ駄目だ。こんなところで泣い うか、と。目の奥が熱くなってきた。駄 けだった。エリザベート・アーイエが生 大地に戻すと、そこにひとりの男がいた。 短い悲鳴を上げて立ち止まった。 視線を かの明るい星が、すでに光を放っている。 け落ちるのも時間の問題だった。いくつ を向いて歩いた。 空から完全に色彩が抜 てはいけない。涙が溢れないように、上 までの記憶も失ってしまっているのだろ か。彼女も忌まわしい、紅い渇きを訴えて にやさしい微笑みを浮かべてくれるだろう した。目覚めたリズは、これまでのよう ディーンは、歯を食いしばりながら想像 分とは異なる領域での生を持つ女なのだ。 しかし、今は一 きているならば、全力疾走するであろう。 も、宣教師の足は遅い歩みを繰り返すだ にあたりには薄い闇が漂いはじめていた。 くるのだろうか。そして……ふたりの今 しばらく歩いたところで、ディーンは ディーン・シルバが屋敷を出ると、すで 一。待っているのは、自

ような気分になるのだろう、と宣教師は ティムスは何の感情も表さない目をして 冷たくした。爬虫類に睨まれると、この いた。それが返って、ディーンの背筋を ルを吸血鬼にされた男だったからである。 た。彼がティムス・ヴィンク――妻シィ くなった宣教師の胸の鼓動は静まらなかっ

生き延びる力を与えてくれまい。失われ と握りの灰と骨では、彼に厳しい現実を を出てから、まだ戻っていないのだから。のだ。危ないところだった。俺は朝、家お陰さまで、と思わず答えそうになった もうこの世に存在しない。残された、ひ かもしれない。そう、ティムスの妻は、 のだ。家で待っているのが吸血鬼であっ 気になったころでしょう」とつけ加えた。 た愛と同等の強さを持った感情を手に入 のことを重ねているのだろう、と悟った とリズに自分とシィルの幸せだったころ ディーンは心を痛めた。ティムスは、私 変わらず無表情だった。そんな彼を見て、 ら帰るところなのです。でも、そろそろ元 そう答えてはいけない。慌てて、「これか 気でしたか」生気のない声であった。 るが小さく動いた。「司祭さまは……お元 「ええ……」そこで突然、言葉を切った。 宣教師の言葉を聞いてもティムスは、相 無表情のままのティムス。そのくちび それは考え方によっては幸福なの 彼を変えることはできないだ

てから再び、目の前の男に視線を戻す。 早く家に戻ったほうがいいですよ」言っ ぐに陽が暮れます。ティムス、あなたも かったディーンは、天を仰いだ。「もうす しかし、宣教師の言葉は理解したらしく、 これ以上ティムスの顔を見ていたくな 妻を失った男は、やはり無表情だった。

> ですね」寂しそうな笑み。 ゆっくりと頷く。「陽が沈むまでに帰りま あのころの村に戻るといい

ら。あのころの村に戻らないことはわかっち。あのころの村に戻らないことはわかったがなかった。ティムスの言う、あのこうは決して戻ってこないのだ。 言葉を使った。胸に鋭い痛みを感じなが ディーン。ティムスの言うのとは異なる 「大丈夫、きっと平和は訪れます」と、

なら……と思わずにはいられなかった。

は乱れたままだった。リズが生きていた 台。出かける前と同じに見えた。寝台の上 た。狭い部屋。奥に窓、そのすぐ手前に寝 はそこからだった。ゆっくりと扉を開け

・吸血鬼に嚙まれれば楽になれるかな。やがぶやいたのだ。恐ろしい言葉だった。俺 足が止まる。振り返らずにはいられなかっ スの横を抜けて家へと向った。と、その た。そら耳ではない。ティムスは確かに 宣教師は小さく頭を下げると、ティム

えられてもいいのではないか、と思える。 すでにしたはずだ。 もらってもいいではないか。その償いは たい誰だ? リズを少しの間、見逃して たマァリ・フレイズを斃したのは、いっ その権利があるとも思う。吸血鬼と化し たのだ。それを捜し出す猶予が自分に与 法がなかったのだ。しかし、今は――。 たことである。あのときは、あれしか方 ちろんシィル・ヴィンクの屍体を焼却し は自分に言い聞かせた。『あれ』とは、も 身体を震わせた。それから、疾り去った。 神だ。新たなる神の存在が明らかになっ あれは仕方がなかったのだ、と宣教師 ディーンが声をかけると、男は小さく

ろう。シィルに焚刑の決定を下したのは、

他ならぬディーンだった。それが余計に

宣教師の罪悪感をかき立てた。

うとしなかった――それに満足する。 この家に来なかった、誰もここから出よ たままであることを幸せに思った。誰も へ急ぎたかったが、 家の中に入った。エリザベートの寝室 ディーンは扉を確かめた。鍵がかかっ 扉に鍵をかけるのを

忘れるわけにはいかなかった。 の右に扉。中はディーンの寝室だ。まず 短い廊下を進む。すぐに粗末な食堂。そ

そして、リズも完全に堕ちてはいない。 えている。まだ完全に陽は落ちていない 板を動かして外を見た。西の空が残光に燃 ているのだ。弾かれたように窓に近寄る。 暖かな色の、やわらかな光が室内を満た かった。そばにある燭台に火を灯した。 てかけた板で塞がれているために闇に近 に気をつけながら中に入った。窓が、立 の寝室に通じている。音を立てないよう した。しかし、それとは逆にディーンは 食堂に戻った。奥の扉はエリザベート

むしった。男が凝視していたのは窓だった。鍵がはずれていた。誰かが、この家た忍びこんだ。少なくとも、その可能性はあった。ならば、リズの喉に闇の者のくちあった。ならば、リズの喉に闇の者のくちがしている。という て、そこで悲鳴を上げてしまう。頭を掻き いないか、と考えた。ひとつだけあった。 変わったところはない。何かを見逃して くりと部屋の中に視線を巡らせた。やはり も変わったところは見られなかった。ゆっ それぞれ頑丈な縄で縛ってある。彼女に何 いでみた。両手は背中で、両足は揃えて ディーンは自分の寝室に急いだ。そし 寝台に戻った。思い切って、毛布を剝 誰だ? 誰がこの家に侵入

若き宣教師は息を殺し、 聞き耳を立て

> こに乗りこんでくると考えられる。しか る者はいなかった。なぜ? それでも安 を覗いてみることにした。外を歩いてい 心はできなかった。 安心できるはずもな い。ディーンは寝台に上がり、窓から外 し、声は聞こえなかった。音も聞こえな 査子の棒杭を手にした村の男たちが、 騒動が持ち上がっているはずだ。 リズが吸血鬼になったと知れたなら

そこで先刻のことを思い出した。

われ、先ほど一緒に外へ出ていきました。た。ティムスから大切な用事があると言た。ティムスから大切な用事があると言 すために、屋敷から連れ出したのだ。 考えられることだった。 それをボリに話 ティムスが、ここに忍びこんだのか? そして、もうひとつ。ディーンの心に、

たい何を口走ったのだろう? ボリは言っの時――俺は意識を失っている時に、いっ森での出来事が重くのしかかっていた。あ られなかったという証拠はどこにもない。 なったのだ。それをボリ・レナールに悟 夢の中で、俺はリズに血を吸われそうに そう叫んでおられました、と。やめてく れ――何を? 想像するのは容易だった。 ていた。リズ、やめてくれ……あなたは、 しかしー しかし、であった。

るいは……。男は小さく嗤った。吸血鬼 迫った夜を恐れたからかもしれない。も しれない。有り得ないことだ。 司祭を匿うことを黙認してくれたのかも なってしまったエリザベート・アーイエ を斃した宣教師の偉業を讃え、闇の者と になっているだけなのかもしれない。 あ しくは、リズの焚刑が明日、行われること ていた。結局、誰も来なかった。間近に 放され、同時に影に愛された村が広がっ 顔を上げると、窓の向こうには光に見

の寝室に向かって歩きはじめた。 ディーンは立ち上がり、 エリザベート

6

息が吐き出される。体の中にかろうじて留

まっていた生命が解放されたのだろうか。

そこから覗くのは、二本の鋭い牙。大きく なかった。女の青いくちびるが薄く開く。 風が入りこんでいるわけでもないのに、燭 のを。吸血鬼としての、新たな生命を手 毛布……用意するものは、その程度だっ いた。微かな動きだったが、男は見逃さ に入れる瞬間を。苦難の旅のはじまりを。 た。エリザベート・アーイエが目覚める 寝台の横に立つ男の顔が苦痛に歪んだ。 わずかな食料と水、そして短刀と松明 ゆらりと揺れた。女の貌が動 ディーン・シルバは待っ

> こないのだと悟り、男は泣きたくなった。 ように思われた。もう、あの日は帰って か違っていた。昨日が、遠い昔のことの は微笑んだ。しかしその笑みは、男の知っ 上げていた視線が、男に向けられた。女 かれた。しばらく、まっすぐに天井を見 ている、あるいは愛しているそれとはどこ 「わかるわ……愛しい男」 「私が……わかるかい?」 男が唾を飲みこんだ瞬間に、女の眼が開

は当然の要求をしているのに、とでも言 いたそうだった。「どうして、 泣くの?

「気分は悪くないかな?」 「悪くないわ。ただ……」

> 「喉……何か飲むかい?」 「あたし、喉が渇いたの」 「お願い。 飲ませて……」 「ただ? 言ってごらん」

「きみは、私の喉に……私の血を吸おうと 名を口にした。リズ、とは呼ばなかった。 涙で濡れていた。「エリザベート」と女の は弾かれたように、後退った。男の頰は、 して、 惜しげもなく鋭い牙を見せる。 男

女は不思議そうな貌をしていた。自分

女が音も立てずに半身を起こした。そ

男は全身を大きく震わせていた。 こう

ないでくれ。私を苦しめないでくれ」 小さく尖らせた。「あたしは、愛なんてい からからに乾いていた。震える声で言っ なることは想像していたのに。 心の準備 た日々を忘れてしまったのか。日の中が、 に。あんなに愛してくれたのに。愛し合っ 慈悲だった。きみは、私のことを忘れて はしていたはずなのに。 た。「お願いだ、リズ。そんなことは言わ しまったのか? こんなに愛しているの 赤い渇きに犯された女は、くちびるを 現実は強大で無

らないわ。代わりに血をちょうだい」



129

神はこの世にいるのか?

ディーンの苦悩の日々はつづく。シモンが現れる日はいつか?



こんにちは、赤ちゃん

らいいのか。そのとき、祭ってあっ 言葉も通じないし、もうどうした ルフ)に遭遇。イシェレア以外は されてしまった。落ち着く暇もな テレポーターに踏みこんでしまい、 た大理石の球にひびがはいり、な いまま、昔エルフ(ほんとは古エ はるかかなたの見知らぬ地に飛ば たあたしたち6人は、一方通行の エセルナートで宝探しに出かけ

れる。 マスター ネコみたいなのが現わ

クールス

な~んだ。

成功したけど、なんなの? イシェレア 不確定名チェックに

生物か具体的にわかるんだ。で、 知恵の3倍以下を出せば、どんな ほんとはなあに? 頭のいいひとがD100振って、

ドナルド なんだ、わかんないの もない生物だ。 マスター 見たことも聞いたこと

在しない生物なの! イシェレア エセルナートには存

考えてありえないでしょう。では、 知っているというのは、常識的に スターの確定名がわかります。し 恵×3に成功すれば遭遇したモン ラテュマピックを唱えたときはど たこともないモンスターの名前を かし、このように見たことも聞い 【GMの御言葉:ルール上は、知

ら、聞いたこともない名前が頭の (あまり意味はないかもしれませ 中に響き渡ることになるはずです かを神に教えてもらう呪文ですか た相手が一般に何と呼ばれている んが……)]

マスター

(ころころ) うん、

みたいなのがついてて。 マスター ズッコシ う、ネコじゃない。 尻尾があって、翼が生えてて。 マスター体長80センチくらいで 前足の横に、こう、刃

マスター トビカゲ 口に、火がちらちらと げつ。

クールス刷りこむんだ。 開けた瞬間、じろり……(ころつ) イシェレア インプリンティング。 マスター そういう生き物が、目を ハリーを見たね。『ぐるるるる』。

お母さんよ。 思う、あれね。よおし。ほらほら、 はじめて見たものを母親だって

のほうに歩いてくね。口から火が マスター『ぐるぐる』と、ハリー

たもんじゃないよ。 甘えて火を吐かれたら、 たまっ

吐くことはないから、ハリーのそ ドナルド きて、ネコみたいなのを取り囲む。 なばかな~』と言いながら走って マスター 昔エルフ3人は、『そん いや、お母さんに火を いまのうち逃げとこ。

てる。 よ、こっちよ~」って手をたたい マスター 昔エルフは、『こっち

うでしょう?この呪文は、遭遇し

お母さんよ~、おいでおいで。 うっ、負けるもんか。あたしが

さらに昔エルフが入ってくる。今 ぱりハリーのほうに行くね。 度は大人だ。 **マスター** すると通路のほうから、 ズッコシ 勝った。

供だったの? も、『そんなばかな~』って言っ と若い。で、いま来たエルフたち マスターうん。君たちよりちょつ イシェレア いままでいたのは子

言葉がわかんないもん。ちゃんと んなこと言っても、あたしには

キロ、南に3200キロいったと イシェレア ここから西に180 マスター『それはどこだ?』 ガミンってとこから……。 イシェレア エセルナートのリル マスター 『なんだ、お前たちは ~、どこから来たんだ~?』

クールス まあまあ、魔法が正確 見えすいた嘘をつくな』 じゃなかったのかもしれないし。 マスター『そこは海のはずだぞ。

たはず……惜しい】 呪文の不安定さを知ることができ めて考えれば、ズダイ・ツァでの なか鋭い! これをもっとつきつ 【GMの御言葉:クールス、なか

されたのよ。 ら、テレポーターでここまで飛ば **イシェレア** ダンジョンに入った

マスター

「テレポーター?

奥

マスター イシェレア そうそう。

詳しく話を聞かなきゃ。 封印された? こりゃ、

あたしが巫女!?

マスター て知識があってもいい? ズッコシ 終末の魔剣戦争につい **イシェレア** 南のほうだけど。 大陸のどこに位置するのか?」 壊したはずだが』 マスター

ト。そのへんはルールブックを読 半島の先に残ったのがエセルナー の力で大陸を切ったんだよね。で、 な戦争に終止符を打つため、魔剣 んだから知ってるぞ。

イシェレア エルフだけど。

わよ。いまは小国がいっぱいある イシェレア 帝国なんか崩壊した マスター 人間? 帝国の?』

されたテレポーターが作動したな 『信じられん。封印

もっと

マスター 「南側は……戦争で崩 『エセルナートとは

ないのか?』 ろにわれわれが住んでるんです。 **クールス** かろうじて残ったとこ あたりは、魔剣で切られたんじゃ いいよ。『おい、あの

えーと、終末戦争っていう大き

マスター 『そこのお前、 部 族

な儀式の邪魔でもしたんでしょう

カ・・・・・?

クールス あなたがたとは、もは て.....° マスター「エルフにもいろいろあ イシェレア いまは人間と密着し や違う文化に立脚してるんですよ。

の。主権だって人間が握ってんだ

前たち、邪悪な意図でやって来た ズッコシ
もちろん、事故だって。 わけじゃないんだな』 マスター 『う~ん。とにかくお

ここは穏便に。 邪悪なひともいるけどね。

クールス ンバラの北東、レヴ森』 ドナルド わたしはだれ? 況も聞きたいんだけど。 のファーの一族」 マスター マスター 「ここか、ここはシャ クールス ここはどこ? **イシェレア** あの~、そっちの状 は ? 『われわれは、 レヴ森

の大陸の名前だよね。 ええと、シャンバラって、もと

まあまあがふたり、あとの3人は クールス もしかすると、大切 明らかに下っ端だね。 ドナルド いるけど、偉そうなのがひとり、 マスター から……。 マスター 大人の昔エルフは6人 ぼくたち田舎者です 『知ってるか?』

ま彼女に向かって歩いてるのはな イシェレア ①さんに質問! じゃないですか』 すると、②が言う。『だから、い マスター 偉そうな順に①②③と まさらファーは必要ないと言った ()

マスター こ、このネコみたいな 『ファー神の現身だ』

神様?





だれかに憑くはずだったのに……』 した神の現身が……うちの巫女の マスター 『25〇年ぶりに復活

神様なの? ろごろ喉鳴らしたりしそうなのが

ズッコシ で、ごろごろ……ぼっ

約の儀式をおこなわねばならない 認めたからには……さっそく、盟 かし、ファー神があの女を巫女と マスター まだ足取りがよろよろ マスター イシェレアま、害はないわけだ。 してるねえ。 ①いわく『う~ん。し

はあ?

ドナルドあ、なるほど。 きっとあの女が死ねば、新しい巫 異国の者を巫女にするのは……。 マスター ③いわく『いやしかし、

おいおい。

はどうなってもいいの? なるほどじゃないわよ。あたし

るから。 イシェレア のか、わかっているのか?』 マスター 『巫女がどのようなも 女を説得するけど。 知らないけど、させ

勝手なことばっかり言うんだから。 あんたには任せられないわよ。 あたしが言葉通じないと思って、

呼ぶとこっちに寄ってきて、ご

I) 介添え人? 巫女の身を守った 世話したりするのかな。

だ? ? クールス なにをしゃべってるん

る権利がある。 トビカゲー言うんだ。拙者には知

外を指差す)。 人として、かれら4人を(自分以 イシェレア (無視) じゃ介添え

たいなあーっと。 イシェレア いや、わたしは帰り マスター『お前はなんだ』

意だけ見える。 ないよう。イシェレアの背後に悪 **ドナルド** なに言ってるかわかん

クールス 説明しなさいって。

彼

しょうが……雰囲気を察知して介 入することも認めてあげるべきで ら別室ででも話をするべきなんで は言葉は分からないので、本来な 難しいですね。他のプレイヤー 【GMの御言葉:こういうのって マスター『ではお前たち全員、 るってのに。 を帰らせてくれるよう、交渉して イシェレア 失礼ね。わたしたち

イシェレア 彼女だけじゃないの けるのだな』 巫女とともに、すべての試練を受

え人がつくものだ』 マスター 『巫女には当然、介添

げないからね。

イシェレア 気のせいよ。

かじか。 托生ってことで。手は貸してもら わないといけないし。かくかくし イシェレア 仕方ないわね、一蓮

ではこんな複雑なことは伝えられ しょうし……メモ用紙のやりとり フ語を習得してよ!】 ないし……さっさとみんな古エル

ために、一生をファーに捧げなけ 練を受けるんです? マスター クールス で、巫女ってどんな試 『ファーを成長させる

ればいけない』 いけと? の向くまま、わたしたちについて **イシェレア** じゃあ、ファーの気

ことだ 求める試練をともにせよ、という マスター 『というか、ファーの

くって・・・・・。 イシェレア 女が死ねば、 妥協案がひとつ。彼 別の巫女に取り憑

一同 で? (冷たい)。

プレート脱ぐわよ。もう守ってあ なら、あんたにもらったブレスト この女、そこまで言うの。それ

いの。 け入れないことには、 クールス とにかく、ファーを受 イシェレア ほほほ、冗談じゃな もしれん。 殺されるか

いけど……。 わいいから、ずっと連れていきた えっ、あたしが? ファーはか ズッコシー、リー、巫女になる?

の伴侶ね。 結婚できんぞ。 トビカゲ 巫女になったら、一生、 あのネコがあんた

それはかまわないよ。



のです。 ると返事していい? クールス イシェレア とにかく、 若いうちはそう言うも 巫女にな

この子はあたしのもんだからね。 巫女になるかどうかはともかく、

母性本能に目覚めたね

なしでやってきたじゃないですか、 を巫女になど……』 うか』『いや、エルフでもない者 選んだ者だから、仕方ないのだろ マスター『う~ん、ファー神が マスター 『この250年、現身 もめてる、もめてる。

らって、それで終わり。いい考え。 それなら、この子をあたしがも

り、あの動物である現身ではあり ているのは、至高神ファー様であ マスター イシェレア 『わたしたちが崇め 絶対に通訳しないか

は受けてみるということで。 じゃないの。一応、こっちも試練 ままでのやり方でやってけばいい の復活は無視して、これからもい 現身なしでやってきたんなら、こ イシェレア ねえねえ、250年、

やん。 なかなかいいこと言うじ

イシェレア そうよ。ふたつの道 あるな」 マスター 「ひとつの方法では

マスター

[800_s]

く復活させたものを……」 マスター『しかしなあ、せっ を進んでいくと か

> マスター『一族が衰退してな』 でまた神を復活など。 イシェレア 昔エルフさん、 なん

マスター 『過去には何体もいた神 イシェレア 原因は?

イシェレア 活力が欲しいなら の責任で、あの女を巫女と認めよ マスター の現身がいなくなったことが……』 人間と交流すればいいのに……。 『とりあえず、わたし

うではないか』と①が言う。

族の事情

マスター きで③が『ふん、そんなことない 森ではいちばん強力だが』そのわ 長をしているトルが、このレヴの たファーの一族も、いまは衰退の ルの一族の族長だ。かつては栄え しの名はレトラスロ。ファーのト 一途をたどっている。わたしが族 い』とか言っている。 ①が名乗るね。『わた

面倒なことに巻きこまれたみた 仲悪いみたいじゃない。どうやら 1) ね。 ええ? 昔エルフどうしでも、

ません」

というのは、盟約によって、ファー てのエルフの部族に認知してもら 上で、森の巡礼をおこない、すべ のだ。そうして心をひとつにした の現身と心理的なつながりを持つ イシェレア マスター ①が説明するよ。『巫女 部族の数は?

るのお? ずつまわったって、2年以上かか はっぴゃくぅ~? 1日1部族

> ときだ。神が降臨しなかったこと イシェレア 全部まわる前に死ん マスター 『死んだときは死んだ じゃうんじゃあ……。

の場はうんうんとうなずいて…… トビカゲ ま、邪悪な拙者は、

ァーが育つにつれ、神託を授かる あとは知らん。 マスター 『巫女というのは、フ

ようになる』

扉を開く術を身につけるとも言わ れておる』 マスター 『……やがて異界への

が言ってる。 に巫女になりなさいってマスター ほらほら~。帰るためには、素直

に ? イシェレア ファーは何年で成獣

は250年前だからな、記録にな マスター 『この前呼び出したの い。おそらく20年くらいだろう』

ぐすつ。 そんときゃあたしも35歳かあ。

も・べ。

んなにいばろうと、あたしのし・

気分いいなあ。イシェレアがど

トビカゲ 言われてるぞ。 ズッコシ 技能ポイントを使えと も通じない者が巫女というのも』 マスター 標準語になりそうだ 「しかしわれらの言葉

イシェレア 古エルフ語を覚えます。 クールスでは、みんな一斉に、 ああ、 わたしの特

> が通じるようになりました。 てすごい。技能ポイントを使えば、 るんだ。これであたしにも、言葉 いつどこでも技能を身につけられ だしても? う〜ん、真ウィズっ

ちいままでいったい……』 トビカゲ

なんだ。

ちがうって。

『しかし、いままで純

トビカゲ

拙者に従えということ

能力さ。 ご加護だとか言いなさい。 クールス 仮にも僧侶なら、 神の

帰してくれるかもしれない!

神様なら、エセルナートへ

ているのだ?』 マスター 『なんという神を崇め

を信じているのです。 クールス われわれは多くの神々 ドナルド ドニャールド (笑)。

ち向かおうというのだな』 この女性、巫女としての試練に立 呼べるのか……まあいい。で、そ

うか、早くこの場をどうにかした いし、大きく『はい』と答えます。 そこまで言われちゃねえ。とい

わけだ。 が決まるはずだったんだが』

いかげんにしなさい!

対等に協力していけという、ファー クールス つまり、3つの部族が

いいの、いきなり言葉がわかり いう。 クールス ねえ」と②が言ってる。 マスター 『そうかもしれません 神のお告げなんですよ。 イシェレア

優劣は定めるな、と

マスター お前たちの言葉は理解 『お、驚いた。お前た

ません。

発展していけということかもしれ いうことは、外に門戸を開いて、

外部の者が選ばれたと

ドナルド ふ、これがぼくたちの

マスター 『そんなものが信仰と 巫女は神託をくだす者になるのだ ここにいる気はないから。 このような……許せないっ』と③ マスター『ファーが成長したら、 ズッコシ いやいや、いつまでも が言ってる。 血を守ってきたわれらのなかに、

るのだろう?」

マスター

『お前たちは下僕にな

ズッコシ

じゃあ、巫女だけ残して

ことで (笑)。 ちがファーの一族を治めるという からひとりずつ巫女候補が出てた クールス なるほど、3つの部族 マスター『う~ん。ファーがど **トビカゲ** では、これから拙者た の巫女を選ぶかで、一族の力関係

ズッコシ て出ていく。 許さないんだあ~っ』と③が走っ と①が言うと、『そんなこと、絶対 ては、彼女に賭けてみようと思う』 マスター そいつの部族の名前は 『とにかくわたしとし

トビカゲ マスター トビカゲ マスター いや~、早めに手、 は ? そいつら、家どこ? ファーのグオの一族 打っ

式を。 のショーナが案内するので』 イシェレア さあさあ、盟約の儀 クールス こら。 とこうと。ドスッ (刺す真似)。 マスター 『では……ナムの一族

には、いちばん大きなトルのほか に、ナムとさっきのグオという部 族がいるわけね。 なるほど、ファーの一族のなか

> ズッコシ こんな善良そうなわれ ず」と言ってる。『大きな転換期 神が選んだからには意味があるは を迎えてるのかも』 マスター ナムは、『異界の者を

トビカゲ がいない? われでよかったじゃないですか。 イシェレア はつはつは。 イシェレア とにかく、盟約の儀 (むっ)いや別に。 ひとり危なそうなの

式に行きましょうよ。

0

がついてくるんだ。よたよたと。 あたしが歩くと、ファーの現身

ズッコシ そこからなにか生まれ またに分かれてる。 木の3倍くらいあるね。根元が二 真ん中に大きな木がある。ほかの 開けた場所に出ると、

すか? ズッコシ それが最初の盟約の儀式だ』 で、一昼夜ここで過ごすように。 のがある。『では、この薬を飲ん そこに清められた石の壇みたいな とこ)で、二またになった場所に 所の幅を指す、約6メートルって マスター 直径このくらい(事務 人がふたりぐらい立てるね。 全部でいくつあるんで

礼の旅のこと。 マスター この薬、 あとのは、要するに巡

マスター 『ファーと心をつなぎ ど、きっとやり通すからね。 いよいよかあ。ちょっと怖いけ

なってるところから、外に出ると と、洞穴の出口へ。塚みたいに マスター 『ではこちらへ……』

薄暗いけどね。 マスター クールス 木が生い茂ってるから 太陽だ!

されていく。 マスター で、道があるのかない のかよくわからないところを案内 イシェレア 気持ちい~い。

O o

るの?

ねえ。 なに? 安全でしょう

やすくするものだ。霊が出入りし やすくするための』

出てくるんじゃないの? 霊って……。ほかにもなんか、

ものが入らないよう、下僕が守る マスター

わかりました。 クールス(いやいや)はいはい、 イシェレア ねえ、薬をわけ合っ

クールス て飲んだらどうなる? ドナルド したことはない』 マスター 『そのようなこと、試 トビカゲ やめとけ。 ぼくは酒しか飲まん。

となってくる。自分の身体を外か

か。しばらくすると、頭がほわ~っ

ら見てるみたい。

トビカゲ 幽体離脱だな。

わ~、変な感じ。おもしろ~い。

もう飲むの? いま何時?

日の朝が来るまでだね。 マスター いま? 14時かな。 明

飲まず食わずなの?

ドナルド ズッコシ なさい。 けないから、いまのうち食べとき クールス ま、体力消耗するとい 人もいるとは予想外だったな』 ズッコシ など、感じなくなる』 マスター『飲みたい、 マスター マスター 3つの下僕に命令だー。 5人じゃ多いの? 『ああ。だが下僕が5 食いもん、くれる? 『ふつうは3人だ』 食べたい

この子ったら。

ば、ファーが死んだら巫女も死ぬ おくが、心がつながってしまえ マスター 「そうそう。 断って

【GMの御言葉:ズダイ・ツァで

で飲みなさい。 イシェレア からな」

(すぐさま) ひとり

トビカゲ こっちが死んだら?

マスター『ファーも死ぬ。一心同

『もちろんだ。ほかの

受けてたったげようじゃないの!

げっ、なかなか危険。よーし、

薬を飲むよ。どんな味?

マスター

甘いよ。喉越しさわや

はよ飲み、お嬢さん。

ね。朝になったらまた来るってさ。 りにトーチをともし、去っていく マスターでは。昔エルフは、まわ

ふわふわがふたり!

トビカゲ とこう。 ズッコシ とりあえず、罠をはっ の技能な

になってしまう。拙者に死ねと? イシェレア もう死んでいるぞ。 クールス それを言うなら、私は トビカゲ 技能ポイントが残り○ いま、とってよ。

のために、1点は残しとかなきゃ。 もできるんだって。いざってとき だから、死から救ってもらうこと ちゃったのね。技能って神様の恩恵 た時点で、技能ポイントなくなっ さっき【古エルフ語会話】とっ

な? いんだけど、いつそれに気づくか は、2点使わないと助けてくれな

.

のだ。 くる気配を感じるね。よくないも ると、ハリーが、なにか近づいて 日も暮れてしばらくす

らない? みんなに伝えたいけど、声にな

マスター そのとき、

ファーが

クールス 『にゃあ』と鳴く。 ズッコシ て、毛を逆立ててる。 マスター マスター 闇の一点に目を凝らし みんな、注目しよう。 では不確定名チェック 【暗視】ありま~す。

イシェレア ……です。 マスターあやしい化け物。 ほほほ……失敗ですわ。 イシェレア は~い。(ころころ) ぼんやり光るものが1

体、ふわふわ近づいてくる。

いたい。 す。あ
る
あ
、
あ
た
し
も
前
に
出
て
戦 みんなの位置を決めました。ズッ レアはファーのそばについていま コシとドナルドが前を固め、イシェ ここで戦闘マップを取り出して、

にや なにか言ったね。『ふにゃふにゃふ マスター、ふわふわの発光体が、

言ってるんだ。 『生命が惜しかったらどけ』とか ズッコシ きっと、『帰れ』とか

トビカゲ とにかくエルフじゃな いから、殺しても文句は言われん。 マスター じゃあ戦闘だ。18のひと

> わふわするだけだけど……。 できるんだ。もっとも、いまはふ 本来10のところを、11や9で行動 合、技能で【柔軟1】があるから、 ひとからになるのね。ハリーの場 戦闘の順番って、敏捷度の高い

15は?

トビカゲ マスター けたぞ。 マスター トビカゲ 弓を射つ。ぴ 通り抜けた。 へ? おーい、通り抜 ゆつ。

もしかすると、あたしのお仲

ズッコシ

霊体だもんなあ。

動するね。ひょいひょい、と移動 マスター つぎ、発光体が13で行 イシェレア行っちゃダメ~。 ら火を吐く準備をしてる。 アーは……ばさばさ飛んで、口か マスター 14でファーが行動。フ イシェレア 12でファーを追いか

マスター

る? あたしだ。武器持つことはでき

ない。 入ろうと思っても無理だね。動か マスターううん。自分の身体に

う。ファーと重なることができる たよね……。とにかく、前に出よ いや、ふつうの武器は通じなかっ じゃあなにができるの? そう

マスター すっと入れるね。意識

> の行動を支配することができるよ。 3倍チェックに成功すると、ファー かいを出したがってるね。知恵の に、すごい敵意を感じてる。ちょつ が同居してる感じ。ファーは発光体

恵って8しかないんだもん。ほら、 えーん、そんなの無理だよ。知

ズッコシ キィ」と鳴いたね。 マスター光がちらついて、 てる? クールス ハリトを唱える。 効い

> ロイン。 クールス

これからズッコシがヒ

ひど~い。くすん。

トビカゲ

ハリーの身体に入るん

ら抜け出せそうな気がする。

ばあ。 にはズッコシもいるのに……。で とする。ファーと発光体のあいだ 倍チェック。だから、無理だって に近づいて発光体に火を吐こう も、それをおさえるのは知恵の3 つぎのラウンド。ファーはさら

ズッコシ あちちち。

ぶ相手の光が薄らいだとき……。 (傷を与える呪文)が飛んで、だい のハリト、ドナルドのバディオス あなたが悪いんだって。 それでもイシェレアとクールス ごめんよお。そんなとこにいる

ズッコシ 恵の5倍でチェックして。 に重なろうとする。ズッコシ、知 マスター 発光体はズッコシの体

取ってしまった。クールスが眠ら コシの意識だけ……。 せようとしたけど、寝たのはズッ 発光体はズッコシの身体を乗っ

> かえってダメージを受けちゃった。 したけど、コントロールできない。

てめえら」と言ってる (笑)。 『痛い、なにすんねん、

るのです】

に成功。

そこの司教のなかに入ろうっと。

がきかなくなったんで、移動する。 マスター発光体は、身体の自由

イシェレア 出ておゆき!

抵抗

行く。 マスター 敏捷力の5倍でチェッ

ナルドはズッコシの身体にバディ の) はドナルドを殴っちゃうし、ド オス射ちこむし。 たった1匹の敵にみんな大混乱。 で、ズッコシ (意識は発光体のも

思ってる。それに、『空っぽの身 ろうとしたときにわかったね。こ の発光体、『熱いのはいやだ~』と マスターハリーは、さっき重な

あたしもズッコシの身体に突入

体が欲しい~』って。

ばん、やばいんじゃないの?

それって、あたしの身体がいち

可能です。 ルです。物理的な攻撃はほぼ無意 ふつうにダメージを与えることが 味ですが、炎でならダメージを与 は、もちろんマスターのオリジナ えることができます。呪文でも、 【GMの御言葉:このモンスター

> マスター ズッコシ

マスター

つぎのラウンド。

よし、目が覚めたぞ。 いまなら自分の身体か

とっている肉体を傷つけて殺し、 とられます。『ふわふわ』は乗っ ラクターが知恵の5倍での抵抗に 精神を乗っとろうとします。キャ キャラクターと同じマスに入って、 持ち主の精神を消滅させようとす 失敗すると、一時的に肉体が乗っ このモンスター『ふわふわ』は

イシェレア ファーをつかまえに はぴょんぴょん飛び跳ねてる。 マスター つぎのラウンド。ファー

ダメージくらっといてね。『やだ』 マスター 手を引っ搔くから、1点 イシェレア(ころころ)失敗。 え、死んじゃうよ。 イシェレア やだって言ってもね

騒いでた。

かったね。『熱い熱い、キキィ』と

イシェレア どういう意味?(怒)

マスター

さっきズッコシにもわ

アに魔法ぶつけたら、

あとが怖 イシェレ

ドナルド マスター

でもなあ。

意識は同居してる。

ズッコシ お~い、みんな。こい つ、熱いの苦手だぞ。 そんなの、あたしだってとっく

う。動かせるわけじゃないけど。 のうちに、自分の身体に戻っとこ ただけで……。 に知ってたもん。口にできなかっ やばいかもしれないから、いま

シェレアが光ってるなあ。 き引っ搔き。 マスターファーの番だ。 イシェレア いった~い。ようし、 。引っ搔 あ、 1

こっちも自分に向かってハリト。 目指して、発光体は移動。頭のそ う~』という意識が伝わってくる。 マスター 『熱いよ~、死んじゃ トビカゲ マスター もう一息。 ハリーの空っぽの身体

来るな来るな~。空じゃないぞ。

ばまで来たよ。

そっと落ちた。 マスター
そりゃ死んだかな。 イ~と鳴きながら光が消えて、ぽマスター そりゃ死んだかな。キ る。 8 点だ。 技能を使ってダメージを2倍にす ハリト。【魔法強化】の

ズッコシ 『覚えとけ~』だって

イシェレア 冷たくって気持ちい みたい。つかみどころがなくて冷 マスター ちょっと湿ったクラゲ い〜(顔をすりすり)。 んやりしてる。

てバディオスかけるわ、1点しか ズッコシ こいつ、おれに向かっ **ドナルド** ズッコシにディオスを。 治さんわ……。 トビカゲ ……ごめんなさい、1点です。 変態!

寝たね。

トビカゲ 見事な悪の僧侶ぶり

を迎えられたらいいけどなあ。 したし、このまま何事もなく、朝 なんとかこれで一段落。傷も治

おつぎは、ぱーん

運度の5倍チェック。 過ぎて、明け方近い。ハリー、幸 らいだった。で、うしみつどきも マスター さっきの遭遇は夜中く

> も、人間は比較的運がいいほうだ とよくないことだろうな。それで ころ) ……失敗。 し、あたしなら確率は半々。(ころ なにを判定するんだろう。きっ

マスター ウォ~という鳴き声が イシェレア 不確定名チェック、 近づいてくる。

角の生えた犬だね。 もない生物4体。あえて言うなら マスター 見たことも聞いたこと

な気楽に構えてたんだけど……。 度は実体のある生物だから、とみん さっそく戦闘になっちゃった。今

まらす。 イシェレア ファーを抱きにいき マスター 『ふにゃお~』もがい

使って3体にカティノ。 クールス マスター (ころころころ) 2体 【魔法変化】の技能を

トビカゲ 弓を射つ。05。クリティ のACを下げます。 ドナルドカルキの呪文。みんな カルだ! 倍ダメージで14点。

たね。

そぼっかな~。 かに取り憑いて、嚙み嚙みしてあ たしも順番がきたら、角犬のどれ うんうん、調子いいじゃん。あ

マスターそりゃ死んだ。ぱーん。

なにしろ眠ってる相手に攻撃する

ティノという、強い味方がある。

酸は怖い。けど、こっちにはカ

たような気が……。 ズッコシ なんかいやなものを見 マスター 十字方向に肉がはじけ

> クールス ま、痛そうじゃないし チェックして。 ズッコシ ……失敗。 マスター ぱーん。敏捷力5倍で

ズッコシ うう、もったいない。 マスター酸を避けられないね。 がないと。 金属鎧はじゅうじゅう溶ける。脱

液をあびて、ジュッと焦げた。

マスター で、そのへんの草が体

一同ああある。

の角犬を嚙み嚙み。 あたしは角犬に取り憑いて、別

ドナルド ズッコシ ドナルド 強化しろよ。 バディオスかけます。 【魔法強化】持ってま

打】しか持ってないじゃないの! 同 あほ~!

強化】【魔法変化】とるのが常識 (らしい)。 とにかく、このバディオス4点 呪文使うひとは、技能で【魔法

じけました。 がとどめとなり、最後の1匹もは

トビカゲ 敵からいちばん遠くに イシェレアは今い。 ズッコシ 応急処置するよ。怪我 いた**イシェレア**がいちばん傷つい したひと~?



と攻撃。しまった、クリティカルだ。

イシェレア この子ったら、【強

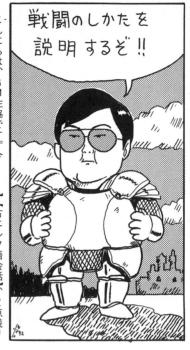
てる (笑)。

ズッコシ 眠ってる奴にちょこっ

つけさえすれば……。

ね。弓でとどめをさすよう、気を と、ダメージ2倍になるんだもん

GMの御言葉 戦闘編



めの戦闘に、ズーム・イン! るのでパス。ということで、2回 し、特殊なことばかり起こってい う。最初の戦闘は……敵が1体だ 回は、真ウィズの戦闘について、 ちょっとくわしく解説してみましょ こんにちは、GM佐脇です。今

人間の2レベル戦士。

技能:【柔軟1】【クリティカル 生命:13 敏捷:10 体力:16 知恵:8 幸運 10 信仰:6

装備:フレイル、

ブレストプレ

バックラー

プレート、ラージ・シールド 装備:ロング・ソード、ブレスト 会話】、6点残り

コントロール可能) る(ファーに重なれば知恵×3で 神が1ラウンドに2マス移動でき 注:戦闘中、肉体は行動不能。精

■ズッコシ

体力 13 ドワーフの1レベル侍。 技能:【治療1】【鍛冶1】【暗視 生命: 12 H P .. 敏捷:8 知恵:9 A C ... 幸運:6 信仰 10 中立。

ハリー 女、 中立。

H P ... A C ...

率1】【打撃防御1】【古エルフ語

H P . . 9 A C ...

生 命 ·· 13 装備:スタッフ、ローブ フ語会話』、〇点残り 技能:【魔法強化2】【魔法変化 1】【鍛冶1】【暗視1】【古エル 幸運:7

■トビカゲ

H P ... 9 人間の2レベル盗賊。 A C . . 6 男、 中立。 ンメイル、ラージ・シールド、ヘ 装備:ショート・スピア、チェイ 1】【古エルフ語会話】、2点残り

装備:スタッフ、ローブ

■ドナルド

ドワーフの2レベル僧侶。 男、 邪

体力:13 H P ... 15 知恵:7 A C ...4 信 仰 · 15

生命:14 敏捷:6 話】、〇点残り 技能:【強打2】【古エルフ語 幸運:7

■クールス

ノームの2レベル魔術師。 男 中

移動:3

呪文:なし

攻撃:1D6×2 クリティ:2

体力:8 敏捷 11 知恵:15 信仰 10

真ウィズでは、 P

生 命 · 12 装備:ショートソード、ラージボ 1】【古エルフ語会話】、1点残り 技能:【針穴2】【暗視1】【柔軟 体力:9 レザーアーマー、バックラー 敏捷:15 幸運:13 信仰:6

■イシュレア

2点残り 2】【暗視1】【古エルフ語会話、 技能:【魔法強化1】【魔法変化 生命:5 敏捷:12 体力:8 H P .. 10 エルフの2レベル司教。 知恵:16 A C ... 幸運:7 信仰·12 女、 邪悪

ファー

移動・飛行3 呪文・なし 攻撃:1D8×1 クリティ:2 H P .. 神の化身。 特殊能力:ブレス2回(1×2) 回避:12 A C ... 8 生命力:15 1レベル。 敏捷度: 14

■ソパルフ(小型獣)

モンスター。3レベル。 H P . . 4 D 6 3 D 6 A C ... 敏捷度

酸を浴びる。ダメージは1D6) 液が周囲に飛び散る(隣接キャラ 特殊能力:死ぬとはじけて酸の体 回避:13 クターは敏捷度×5に失敗すると 生命力:11

ソパルフ2:HP16 ソパルフ1 ... HP14 ソパルフ4: HP14 ソパルフ3: HP13 敏捷8 敏捷10 敏捷 12 敏捷11

★戦闘の手順

(プレイ

ら、次のような手順で戦闘を解決 していきます。 のこと)がモンスターと遭遇した ヤー・キャラクター。ハリーたち

④初期配置 ③確定名の判定 ②モンスターの反応 ①不意討ちの判定

とはできません。今回遭遇したの

は、この判定に成功しても知るこ

たこともないモンスターの確定名

ただし、PCが見たことも聞い

★不意討ちの判定

もなりませんでした。 の戦闘では、どちらの不意討ちに しかけることに成功します。今回 上ならモンスター側が不意討ちを 出た目が5以下ならPC側が、96以 マスターがD1〇〇をふって、

★モンスターの反応

スターと呼びます)。 クターも、PCでないものはモン てきません。中には、PCに友好 (真ウィズでは、人間型のキャラ 的なモンスターも存在するのです 下なら、モンスターはすぐには襲っ D100をふって、出た目が50以

のモンスターも、そうした敵対的 を避けることはできません。今回 れるモンスターのほとんどは、こ なモンスターの一種です。 の判定に+50の修正があり、戦闘 しかし、PCを襲うために現わ

★確定名の判定

ど強いか、どのような特殊能力を がわかれば、モンスターがどれほ スターの確定名(正確な名称)を ックに成功すると、遭遇したモン 知ることができます。正確な名称 PCたちの中でもっとも知恵が いキャラクターが知恵×3チェ

きるでしょう。

持っているかなどを知ることがで

6戦闘終了 ⑤戦闘ラウンド

> まったく新しいモンスターならば、 スターのひとつです。もっとも、 も、そうした 知識にない」モン

何もわからないことには変わりが いいでしょう。そうしたところで、 いちおう確定名を教えてあげても

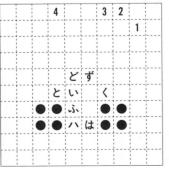
ありませんから。

★初期配置

かをプレイヤーに教えてもいいで るのか、どれぐらいの距離なの しょう。 がどちらの方向からやってきてい す。場合によっては、モンスター からモンスターの配置を行ないま り、まずPCの位置を決め、それ PCの側の不意討ちでないかぎ

PCを配置させます。 に対応した戦闘マップを用意し、 一定の範囲を指定して、その中に マスターは戦闘が発生した場所 PCの配置が済んだら、

ターがモンスターを配置します。



< ず・ズッコシ は・ハリー ・クールス と・トビカゲ ど・ドナルド ハリーの精神

●:盟約の樹 (入れない) 1~4:ソパルフ い・イシュレア ふ・ファー

いよいよ戦闘のはじまりです。 ターを待ち構えています。さあ、 はいずれも下を向いて、 なりました。PC (およびファー) その結果、右図のような配置に モンス

★戦闘ラウンド

ます)。

動することができるのです。 べてのキャラクターが1回ずつ行 ます。1ラウンドのあいだに、す 単位にして、戦闘ラウンドと呼び 真ウィズでは、15秒をひとつの 行動は、敏捷度が高いキャラク

とき、【柔軟】技能があれば敏捷 ターから順番に行ないます(この 度に加えることができます)。

★第1ラウンド

ゲがふったサイコロの目は72。失 る10で、計60%。しかし、トビカ 敏捷度による10+【針穴2】によ のレベル2+敵のAC6)×5+ 狙いました。命中率は、(トビカゲ 移動せずに弓で4番のソパルフを まずトビカゲ(敏捷度15) は

度×5で成功することに決めまし げようとします。マスターは敏捷 アーの隣に行き、ファーを抱きあ イシェレアは、2マス移動してフ がD10をふって、大きな目を出し でブレスしても敵に届きません。 ら炎が吐けるのですが、その位置 に3マス移動しました。2マスな た。イシェレアがふったサイコロ たイシェレアが先に行動しました。 フ4です。イシェレアとマスター 敏捷度12はイシェレアとソパル 次に敏捷度14のファーが、斜め

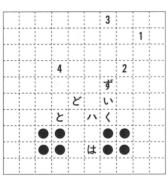
> ると、ちょうどこの3体にかかり から、【魔法変化1】で形を変え た(カティノは1×3の呪文です 3番の3体にカティノをかけまし とになったクールスは、1、2、 サイコロをふって先に行動するこ の目は35成功です。抱きあげられ たファーが嫌がってもがきます。 敏捷度11は、2番とクールス。 4番はまっすぐ3マス前進

55、67で、1番と3番が眠ってし ます(65以下で成功)。出た目は94 3体は、回避率×5で抵抗を試み カティノをかけられたソパルフ

目が悪くて失敗。 2番を攻撃します。しかし、出た ファーに近づこうとします。 ドナルドはカルキを唱えて、 ズッコシは斜めに1マス進んで、 2番はまっすぐ3マス前進 ハリーの精神は2マス前進して

方全員のACを1ずつ下げました。

★第2ラウンド



い:イシュレア(ファーを抱いて

1 まず、 3:眠っている 眠っているソパルフが目

> カ×3 (33以下で成功)を試み、 覚めるかどうかの判定です。生命 1番は失敗しましたが、3番は目

ティカル率は、基本2+盗賊3+ 目はい。クリティカルです(クリ 敏捷度1+針穴2で8%です)。 る4番を弓で攻撃しました。出た トビカゲは、自分に近づいてく

体液によるダメージは誰も受けま 4番は即死です。幸い、隣接して 8。サイコロをふったところ、出 いるキャラクターがいないので 点。クリティカルで2倍して14点 た目は5。【針穴2】で+2して7

D4。サイコロをふって、 れてしまいました。ダメージは1 シェレアはそれを止めて(敏捷度 近づいて攻撃しようとします。イ ×5に成功)、ファーに引っ搔か 続いてファー。動いている敵に 出た目

かえながら後ろに2マス下がりま イシェレアは、ファーを抱きか

命中です。2回攻撃したところ、 3レベルで、ズッコシのACは2 1回命中して、ダメージは4点で で、(3+3)×5で3以下なら (カルキにより下がっている) なの に嚙みつきました。ソパルフは なった2番は、目の前のズッコシ 敏捷度11。 先に行動することに

3で成功)。出た目は17で、みご 乗っとる攻撃を試みます(知恵× クールスは呪文を温存して後退 ハリーは2番に重なり、肉体を

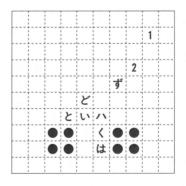
3番は3マス前進

3点のダメージを受けました。 体液を浴び、防具を失うとともに その結果として、ズッコシは酸の 目はロ、クリティカルです。ダメー 前にきた3番を攻撃します。出た ジは16点で、3番は即死しました。 ズッコシは、危険を承知で目の

癒しました。 ディオスをかけ、5点ぶんの傷を ドナルドは傷ついたズッコシに

★第3ラウンド

ラージ・ボウのダメージは1D



1:眠っている い:イシュレア(ファーを抱いて

敗して、腹だちまぎれにイシェレ リーから肉体を取り戻そうと試み 回復しています。また、2番はハ クで、1番はカティノの眠りから アに炎を吐きかけました。イシェ ましたが、失敗しました。 ファーは逃げようともがき、失 トビカゲの弓ははずれました。 ラウンド開始前の生命力チェッ

なおりませんでした。 ィオスをかけましたが、1点しか イシェレアはたまらず自分にデ

> を取っています。 た。1回命中して3点ダメージ。 体を操って、1番を攻撃させまし ズッコシ、クールスは防御姿勢 ハリーは、乗っとった2番の肉

かけ、5点のダメージを与えま ドナルドは1番にバディオスを

★第4ラウンド

戦闘はほぼおしまいです。 た2番の回避判定が失敗したので、 ハリーの支配を脱しようと試み

で、ソパルフは全滅しました。 らにドナルドのバディオスが飛ん した。2番は自分の体を嚙み、さ に、その体液で2番が傷つきま まずトビカゲの弓で1番が死

★GMのひとこと

着がついていたことは間違いあり 文で)していれば、もっと早く決 ずにイシェレアが戦闘に参加 ろん、ファーが傷つくことを恐れ 善手だったと言えるでしょう。もち ませんが。 PCの行動は、ほぼ勝利への最 (呪

とも言えません。 い状態だったので、どちらが正解 この場合は自分が攻撃されかねな 2倍ダメージなので)。もっとも、 のが定石です(命中率が+20%で、 は眠っている敵を先に潰しておく 敵を攻撃しましたが、真ウィズで また、トビカゲは接近してきた

はどうであれ、賢明な行動と言え 呪文を温存したのでしょう。結果 回めの戦闘があったときに備えて かなり呪文を使っていたので、3 りませんでしたが、最初の戦闘で クールスはあまり行動的ではあ

レアはブレスの抵抗 (幸運度×5)

に失敗し、5点のダメージを受け

からね。 ろだけど、ファーを守ってくれた だけど、そのファーが、引っ搔く たんだ。いい気味と言いたいとこ わ、火は吐くわ、でずたずたになっ しないよう懸命に押さえていたん たのはイシェレア。ファーが突撃 ありがとう。

旅立ちだ

けた。 ハリーも身体にすっと入れるね。 マスター というわけで、夜が明

やっと戻れた。うん、手が動く。

この戦闘でいちばん怪我を負っ

やがって~ (恨)。 トビカゲ こいつ、いまごろ起き

たいへんだったね

た。 ? トビカゲ な、なんで知ってるん

なら」

『よくぞ生きておられた』 ドナルド マスター 昔エルフが迎えに来る。 神のおかげです。

> てませんが。まあ、 ズッコシーそれより鎧をくれ~。 イシェレア できるだけいいもの きましょう」 トビカゲ マスター マスター ちょろいもんよ。 『治療はさせていただ 『金属製のものは作っ 魔法のもの

族長に会いにいきます。

マスター『それで、ファー様と 心は通じたのか?」

通じたと言えるんだろうか。ちっ 生き延びることに精一杯(?)で、 ました』 し。でもでも……。『はいっ、通じ とも言うこときいてくれなかった すっかり忘れてた。う~ん、心が は、そんな使命があったんだわ。

然ね (怒)。 この怪我は、 イシェレア とすると、わたしの あなたがつけたも同

だんだんに特殊な能力をさずかっ のなかに入れるはず。そうして、 を集中させれば、あなたはファー ていくでしょう』 マスター クールス まあまあ 『では、これからも心

うんー

同

がんばってね。

マー+1を受け取って。

を吐く真似)。 れる真似)、こうしたいとか(火 ことだ』 この先、ファー様のお導きに従う ズッコシ こうしたいとか (じゃ マスター 『なにをすべきかは、

らえます?

ぼかの部族にはちゃんと認めても

ズッコシ もんだ。

なくちゃ。

さい。 さい、路銀ください、 ズッコシ トルさ~ん、装備くだ

ていないからな』 ドナルド 酒ください。

があ?

ドナルド クールス ちに向かって、たったった~っと。 んでいった。するとファーがそっ メみたいな鳥が1羽、ぱ~っと飛

あれが啓示? スズメ追いかけるネコ

とんど接触がないのだ』 マスター 『いや、他の部族とほ

マスター

というわけで今回は終

れることやら……。

まったくだ。どこに連れていか

器を。 よりすぐれた巫女を育てるのだが マスター 『より多くの苦難が、

から……1100点ね。

転職を経験したズッコシをのぞ

わと犬を倒して、使命も達成した わり。経験点をあげよう。ふわふ

れば、より苦しい試練がふりかか **イシェレア** わたしたちが強くな

ル・シールド+1、レザーアー と鎧の代わりに、木の槍、スモー した。それにズッコシも、溶けた剣 のポーションをいっぱいもらいま というわけで、治療や麻痺解除

イシェレア ファーを連れてたら、 わからん』 ぶんしかない。大森林はちょっと マスター 「地図は……この森の

見えないドナルド。

マスター イシェレア 「おそらく」 一筆書いてください。

イシェレア そんなことなら、い

つでも叶えてあげるけど。 ガキの面倒みるような

認め印をもらい、ハリーが保管す

こうしてトルとナムの部族から

ることになりました。さあ、つぎ

しが、しっかりしつけるようにし とにかく、飼い主(?)のあた

マスター

そのときね、空にスズ

はどこへ……。

地図くだ

ズッコシ マスター『われらは貨幣を使っ 物々交換?

ズッコシ じゃあ、魔法の鎧と武

るでしょうし。 トビカゲーそりゃ意味ないぞ。

がります。それにしても、この先 いけど、みんなに遅れをとったズッ 遠くなるような話だなあ。 いかなきゃいけないなんて。 8〇〇ものエルフ部族をまわって くと、全員がこれで3レベルに上 戦士から念願の侍になったはい 気の

コシ。

出るかわからないクールス。 倒を起こしてくれそうなトビカゲ。 僧侶のくせに、ちっともそうは いまは冷静だけど、いつぼろが 危ない台詞ばかりで、いつか面

高ビーなイシェレア。 こんなパーティーで、エセルナー ヒロインの座を虎視眈眈と狙う、

いつまでもいっしょだよ。 トに帰れる日がくるのかな。 ま、あたしにはファーがいる。



真ウィズの館

ズダイ・ツァでの冒険

何日ぶんかの仕事とともに……。 ・その眠さで操作を誤ったのか、 たつぷり20時間は睡眠を取ってお しょうか? うちのノラ猫(=/ というわけで、あちこちの編集さ 子持ち。そうも言ってられません。 ました。しかし、佐脇もまもなく 泉にでも逃げたい気持ちに襲われ とでして、一瞬、どこか田舎の温 ない佐脇が働きはじめた矢先のこ いつもぎりぎりにならないと働か ドディスクが死んでしまいました。 佐脇愛用の386ノートwのハー してしまっております。眠い。 せるかのように活動レベルが低下 られます。佐脇もノラさまに合わ ラという名の猫)は、1日のうち の頃。みなさまいかがお過ごしで まを泣かせながら、自分も泣きな イスを振るのが気持ちいい今日こ

る次の4点であります。 話しするといたしまして、ここで ない)については、また後ほどお じめました。ありがたいことです。 かせていただきます。 は佐脇からのお願いをいくつか書 束(まだ、山というほどの量では 編集部から転送されてきた手紙の 者のみなさまからお便りが届きは まず、2号から募集を続けてい そうこうしているあいだに、読

・オリジナル・モンスター

このうち、

技能、

アイテム、

オリジナル・アイテム

新技能 古エルフの部族の設定

> るでしょう)。そして、その替わ どに利用させていただくことにな きます(もちろん、応募していた 連の定期募集は中断させていただ です。というわけで、古エルフ関 ただくということをお忘れなく。 たもの。を優先して採用させてい これらは、ズダイ・ツァに関連し 掲載するのではなく、リプレイな だいても構いませんが、そのまま をお願いしても無理があったよう なにもないところにいきなり設定 のまま続けさせていただきます。 反応が見えてきていますので、こ ンスターについては、じわじわと 古エルフの部族についてですが、

ど、解説の文章を増やすのは自由 ますが、主な居住地域や歴史な ズの基本システム19頁を基本とし を送ってください。書式は真ウィ Cとして登場させるときのデータ われの知らない種族がいくつも棲 んでいるはず。そうした種族をP イ・ツァの大森林や山脈には、われ を募集することにします。

が分からない。このルールは変 もかまいません。 や質問をまとめて書いてもらって ちろん、1枚のハガキに、データ し書いて送ってくださいませ。も いの?。といったことも、どしど だ。こんなときはどうすればい を作ることにしますので、ごこ や設定に関するQ&Aのコーナー それから、真ウィズのシステム

> 騒いでる少年みたい。しかし、3 こんどこそ本当に出てるはずです でないこともあるのです)。 せいでありますが、ごく稀にそう 号の原稿を書いた時点では、8月 (なんか。オオカミが出た~!。と ズ・マスター・スクリーン」が の方々には、きっとお役に立つは くださいませ。真ウィズのマスター のは、ほぼすべて佐脇がノロマな 真ウィズ関係の出版ペースが遅い に出るという話だったのですよ。 3号で "出た"と書いた『真ウィ 内容は……まあ、現物を買って 真ウィズのサプリメントですが

にいたしましょう。 思ってやってください。年内に出 なかったら……頭でも丸めること ちょつとはがんばったんだな。と のを見かけたたら、、あ、佐脇も 内発行の線は死守しようと努力し は、まちがいなく佐脇の責任です。 行も遅れそうであります(こっち ておりますので、年末に出ている いつもいつもごめんなさい)。 年 それから、真トレボー戦役の発

これまた佐脇の責任です。とにか ださい、と頭を下げるしかありま くいまは、もうしばらくお待ちく 持ち越しになってしまいました。 界設定集)は、あつけなく来年に リオ集(およびズダイ・ツァの世 ぜったい出します。と書いたシナ 3号に "年内にきっと出します"

細かい背景設定をあれこれ載せる 増刊号に、ズダイ・ツァに関する すが、2月発売のテーブルトーク 本誌での真ウィズのフォローで

> で、噂としてお楽しみください。 という噂は、あくまでも噂ですの なお、ログアウトが月刊化される ないように。もちろん、奇数月発 ので、可愛がってやってください。 らも館+リプレイ連載が続きます 売のログアウト本誌では、これか 予定にしています。お買い忘れの

則号までのズダイ・ツァ

のかなたに通じていることが判明 エセルナートのはるか北方、魔土 発見された。そのテレポーターは くで、一方通行のテレポーターが 過ぎたある日、リルガミン市の近 トレボー戦役が終わって数ヵ月が エセルナート全土に吹き荒れた

模な第二次探査隊が送りだされる こなかった。そこで、さらに大規 が、彼らは何週間たっても戻って ことになった。 PCたち6人は、 冒険者である。 この探査隊の護衛として雇われた すぐさま探査隊が送りこまれた

に招待してくれた。 お礼として、彼が暮らしている単 に命を救われたレプラカーンは、 ているところに出くわした。一行 ラカーンが、奇妙な動物に襲われ は、小さな人間型の生物――レプ な洞窟だった。洞窟から出た一行 は鬱蒼とした森林の中にある小さ テレポーターを抜けると、そこ

初から疑いの目で見られていた。 カーンと、数多くのレプラク(レ の地下洞窟の中に、少数のレプラ トンネルのようなものだった。そ へん警戒心が強く、PCたちは最 た。彼らは他の種族に対してたい ブラカーンの亜種)が生活してい 巣は、地下に張りめぐらされた 行は最初に遭遇した知的種族

じられた任務し フ)のスパイと疑われてしまった ンと敵対しているアイバ(古エル かなかった。探査隊は、レプラカー 結ぼうとしたが、それはうまくい であるレプラカーンと友好関係を

にはまっていた。食料として出さ Cたちはレプラカーンの狡猾な罠 われているレプラカーンの救出ー のだ。その嫌疑を晴らすには、命 ていけない体になってしまってい ターは、もはやトフクなしで生き れたトフクの蜜を飲んだキャラク ―を果たすしかない。しかも、P ーアイバの村に囚

ラカーンには近づくことができな は、立ち込める瘴気のため、レプ たく謎に包まれていた。 ていたが、それ以上のことはまっ 種族が暮らしていることは知られ い。ドルと呼ばれる野蛮な人間型 帝国の真ん中に位置するこの地方 らぬ荒地に飛ばされてしまった。 矢のパワーで、一行はまたも見知 古エルフの放った『他者転移』の 出に成功したと思ったそのとき、 を試みる。しかし、かろうじて脱 われのレプラカーンを連れて脱出 じて村に潜入したPCたちは、囚 やってきた友好的なグループを演 不毛の砂漠だった。レプラカーン イバの村に向かった。異世界から そこは、ドルの荒地と呼ばれる 一行はレプラカーンの案内でア

で、いったいなにが一行を待ち受 らわれた。果たして、この塔の中 あろうかという巨大な塔ー メートル、高さ500メートルは 前に、光り輝く塔――直径1〇〇 まよった。そのとき、一行の目の あいながら、あてもなく砂漠をさ 一行は乏しいトフクの蜜を分け

アルサム日記(その4

還の可能性はほぼゼロ――に赴い の依頼により北方探査の旅ー た、メイレン探査隊の苦難の記録 これは、リルガミン市長マウダ

隊長・モホルタ・メイレン(42歳)

隊長・イザック・トウラン(35歳、 16レベル司教、エルフ、女) 男この日記の作者) (28歳、14レベル魔術師、エルフ、 植物記録員:ナジド・アルサム (30歳、12レベル司教、 交渉担当・リッキ・ 護衛担当:冒険者6名 人間、 ・オズボン 女

★新世紀484年2月11

何かを見つけないかぎり、われわ トフクか、あるいはそれに替わる んしか残っていないのだ。早急に 水と食料の不足に苦しんでいる)。 ないらしいノームとホビットは、 取りは軽い(トフクの影響を受け しかし、トフクの蜜はあと3回ぶ 蜜を摂取したので、われわれの足 日が過ぎた。途中、1回トフクの 砂漠を歩きはじめてから、まる2 謎めいた光の塔を目指して岩の

分は直径のメートルほどになって 細くなっており、いちばん上の部 ない。円筒型の塔は上にいくほど うに5〇〇メートルはあるに違い 直径は100メートル、高さはゆ ついに巨大な塔に到着した。塔の 飛行動物を撃退したわれわれは、 途中、不気味な呻き声をあげる

塔の表面は、 1辺が2メートル

> 変えてあるようだ。 陽を反射して、直視するのが辛い 見あたらない。真っ白な石板が太 もので、凹凸はおろか、 磨いた大理石のようになめらかな 見あたらない。石板といっても、 それぞれの石板は、微妙に角度が ほどだ。反射光の角度からすると、 覆われていた。窓のようなものは ほどの大きさの石板でびっしりと 傷ひとつ

その確率は低いだろう。むしろ、 という可能性は否定できないが 3の3乗という数学的な美しさか ラアトに似た生物を崇拝していた う高い知性は持っていないのだ。 アトだけであり、プララアトはそ 囲で9本指の種族といえばプララ たという説もあるが、わたしはそ う数字がさまざまな場所で使われ で27個あった。これで、この塔が 考えるべきだろう)。 ら、27という数字が多用されたと もちろん、古代帝国の人類がプラ の説は取らない。知られている節 3本の種族が大きな力を持ってい ていたのだ(かつて9本指、手が ていないが、古代帝国では27とい 確実になった。その理由は知られ 古代帝国の遺跡であることがほぼ て数えてみたところ、門は全部 門が等間隔に並んでいる。1周し 高さ10メートルほどのアーチ型の 塔の基部には、幅5メートル、

外見はともかく、内部の作りは通 ない。古代遺跡の建造物は、それ 常サイズの人間向きになっている まで大きさはさまざまだ。そして、 こそネズミ向けからドラゴン向け その住民が巨人サイズだとは限ら 門の大きさは巨人族向きだが

古代史は確実に大きな前進を遂げ もない。この地方の調査が進めば、 ている例は見たことも聞いたこと 遺跡が、このようにきれいに残っ ランスさを最大の根拠にしている いう説も、こうした建物のアンバ 自由に変化させることができたと 人類は、自分たちの体の大きさを 発見されていない)。 古代帝国の は、エセルナート全体で3例し ことが多いのだ(そうでない しかし、これほど巨大な

ど奥に進んだところで、 ところではまったく不明だ。 ることができるかは、ぱっと見た い)。しかし、どうやったら開け や奥にスイングするかは分からな のだろう(横すべりするか、手前 閉ざされている。 扉は中央で2枚 方法で左右に開けることができる に分かれているので、 アーチ型の門は、5メートルほ なんらかの 石の扉に

塔への侵入

と大きな穴が開いているのが見え はないが、それは毛むくじゃらの でしまった。一瞬のことで定かで 見ると、すぐに穴の奥にひっこん その人影は、ちらりとわれわれを ような人影がちらりとのぞいた。 た。そして、その穴の中に、人間の から20メートルほどの壁面にある 出て音の方向を見あげると、地上 聞こえてきた。あわてて門の外に 口という、岩が転がるような音が すこし離れた上の方から、ゴロゴ サルのような姿をしていた。 1枚の石板がなくなり、ぽっかり われわれが扉を調べていると

るより早く、上に跳ね上がってい を使ったが、彼が窓(?)に達す あわてて冒険者が【飛行】技能

> 険者は石板を動かそうとしてみた が、びくともしないようだ。 た石板がバタリと閉ざされた。冒

れわれは必死に扉を開ける方法を ることができるかもしれない。わ あるいはトフクの蜜さえ手に入れ きるかもしれない。情報や食料、 ものとなら、交渉をすることがで ことがはっきりした。知性を持つ れも、知性を持つものー しかし、この塔に何者かり ーがいる

響き、巨大な扉が左右に横すべり くことが分かったのだ(天井を這 部分よりも小さな石板で覆われて 同時に、ゴロゴロという音が鳴り た)。冒険者が石板を押しこむと きにも役だつということが分かっ うことができる忍者は、こんなと いたが、その石板のひとつが動 た。アーチ型の門の天井は、他の やがて、その方法が明らかになっ

分かった。 く石板があり、それを押すことで 幅は3メートル、高さは5メート 扉を開閉することができることが ルほどだ。扉の内側の天井にも動 ていた。扉よりはかなり小さめで、 扉の奥には、薄暗い通路が続い

扉の開閉もめんどうなのだ。 そうだが、とりあえずは塔の中心 扉があり、天井の石板で開閉でき る。通路の左右はところどころに された。通路はまつすぐ続いてい と、まっくらな通路が明るく照ら 後尾のふたりがロミルワを唱える に通路を進んでいった。先頭と最 天井に登らなければならないので、 を目指すことにしよう。いちいち われわれは、2列になって慎重

ひとつが音をたてて開いた! わててふりかえると、そこに…… と、そのとき、通りすぎた扉の



真ウィズの館



体力 12 12 知恵 5 7 敏捷度 信仰心 5 幸運度 6 生命力に 特性值 +5%、知恵に ト昇ボーナス 【強靭!】

【格闘」】

ているにちがいない。

特殊能力

ドル

ズダイ・ツァの種族

備考:特になし

ズダイ・ツァのドル荒地で暮らしている種族です。 かつて大陸を支配していた旧帝国の人類の末裔なので すが、ドル荒地の鉱物に含まれる魔法のエネルギーの ため、肉体だけが異常に発達し、精神は退化してしま っています。知恵を | 点上げるには、特性値ポイント を2点ふりわけなければなりません。また、18点にな った特性値が上昇しても、知恵を上げることはできま せん。

ドルは戦士になるのが普通ですが、僧侶も少なくあ りません。魔術師もごく少数ながら存在します。その 他の職業を選ぶことはできません。

なお、ドルは素手の攻撃の基本ダメージが ID8で

☆ドル登場 (データは左を参照)

る。最後尾に立っていたトウラン じりじりとわれわれに近づいてく ドルなのだろう。ドルたちは、手 両手を開いて前にさしだした。 は、敵意がないことを示そうと、 に手に棍棒のような武器を持ち、 れが、レプラカーンの言っていた むくじゃらでずんぐりした体格の ように、ドルたちは一斉に襲いか 人間型生物だった。おそらく、 その動きが引き金になったかの 扉の背後から出てきたのは、 = のは、それほど珍しい反応ではな の侵入者を問答無用で襲うという 渉をあきらめたわけではない。謎

得策ではないだろう。 傷つけたり、殺したりすることは だ。そのためにも、ここで相手を 話しあいができるかもしれないの すれば、カツを唱えるなどして、 い。いったん落ちついてくれさえ |径10メートルほどの円形の広 じりじりと後退すると、通路は

るのもまたすばやかった。 は簡単に眠ってくれたが、回復す 向かって前進)していった。ドル ながら、必死に後退(塔の中心に を使ってドルたちの前進を鈍らせ しかし、われわれはドルとの交 われわれは、カティノやマニフォ は、

を通りすぎてから、すべての通路れるだろうか? われわれは広間 ぐずしている暇はない。われわれ 9方向に通路がのびている。 ぐず きている。彼らは火を怖がってく われる)通路を選んだ。 間に通じて ドルはあいかわらず追いかけて まっすぐ中心に向かう いた。この広間からは (と思

体をまたいだとき、その丸太が襲 路に転がっていた丸太のような物 るのだろうか?
そう考えた瞬間、 前方の冒険者が悲鳴をあげた。通 ていない。ドルたちが掃除してい ては珍しく、床や壁はあまり汚れ 続いている。このような遺跡とし らなくなるはずだ。 とえ炎の壁を越えることができて の入口に炎の壁を立ててみた。 あいかわらず、通路はまっすぐ われわれが進んだ方向が分 *t*=

(データは下を参照

かかってきたのだ。

のおかげで、 どうやら、ドルではなくこの動物 なものを分泌しているのだろう。 ち上った。なにか、強力な酸のよう たちこめ、冒険者の足から煙が立 にからみついている。嫌な臭いが 丸太はくねりながら冒険者の足 通路が清潔に保た

ドルは炎が嫌いらしく、 うにか忍者の剣がとどめを刺した。 吸収してしまう強敵だったが、ど 気が気ではなかったが、どうやら いつドルどもが追いついてくるか かも武器によるダメージをかなり クの壁を越えて追ってくる者はい 動物は魔法への耐性を持ち、 レフィッ

扉を器用にくぐりぬけた。 閉めさせた。忍者は閉まり ドルを食い止めていた炎の壁が消 意識が次の部屋に向かったため をたてて開く。ちょうどそのころ、 石板を押した。 て一扉をくぐり、 えてしまった。 例によって忍者が天井に上り、 わたしの予想どおり、ここ 忍者に命じて扉を われわれはあわて 扉がゴロゴロと音 かけた

だいたいの距離感では、この扉の さえぎる扉はこれがはじめてだ。 つもの扉が並んでいたが、通路を き当たった。通路の左右にはいく 先に進んでいくと、やがて扉に行 ナメクジのような怪物を倒して 塔の中心部であるよう も見あたらない。しかし、 ない。スイッチもなければ、 どの手すりがついていた。 台があった。舞台は鈍く光る金属 分からないが。 るかどうかは、 く、はるか上まで吹き抜けになっ でできており、高さ1メー ル、高さ切センチほどの円形の舞 ている。塔の最上部まで通じてい 方向に扉がついている。天井はな が10メートルほどの広間には、 大な塔の中心部のようだ。 その他には、ここには何も見え 広間の中央には、直径5メート あまりに遠すぎて わたし 、レバー

ほ

3

に思える。 向こうが、



レベル	10
AC	0
HP	I D100 + 50
敏捷度	2 D 6
攻撃回数	3
ダメージ	1 D10
クリティカル率	4
移動力	2
呪文	なし
回避値	17
生命力	15
士気	100
経験点	700
特殊能力	ダメージ半減、酸
ディスペル値	

スラギィ

不確定名:スライム

備考:特になし

解説:巨大なナメクジです。ふだんは天井や壁でじっ としており、動物が通りかかると襲いかかります。ス ラギィは全身から分泌する強力な酸の体液で獲物を殺 体の下面にある口で死体を食べます。

戦闘では、スラギィの酸は追加ダメージとして扱い ます。スラギィの攻撃が命中するたびに、鎧が溶けて、 ACが I ずつ悪くなっていきます。鎧のACがゼロになっ てしまったら、それからは酸によって追加ダメージト DIO (あわせて 2 DIO) を受けてしまいます。もちろ ん、溶けた鎧は修理しなければもとに戻りません。 ラギィは通常の攻撃に対しても、呪文に対しても強い 耐性を持っています。武器による攻撃は、すべてダメ ージを半減させてください。また、ダメージ呪文のダ ジも半減です(回避したら4分の1)。

これまで見聞きした古代遺跡の 装置であるという確信があった。 には、この舞台がなんらかの輸送

円形の舞台のような形をしていた レポーターの多くが、このような

空飛ぶ舞台

扉を開けるまで、1分とかからな 天井の石板を押すのだろう)。 ルたちは4人ほどが肩車をして、 ルの足音が聞こえてきた。ドルが ると、入ってきた扉の背後から、ド いはずだ(わたしの想像では、ド われわれが舞台に近づこうとす

わす可能性もあるだろう。もしか べてみた。別の扉から逃げてもい れないのだ……。 に通じるテレポーターなのかもし すると、この舞台がエセルナート いのだが、別のドルの群れに出く われわれは、大急ぎで舞台を調

台に乗りこむと、手すりを閉じて ない。そう思って、われわれは舞 のようなものが見あたらない以上、 来た時には開いていた。スイッチ るようになっており、われわれが の役割を果たしているのかもしれ この手すりがなんらかのスイッチ 金属製の手すりの一部は開閉す

たのだ! 舞台は人が歩くのと同 が、やはりこの舞台は輸送装置だっ じぐらいの速度で、 上昇をはじめた。 次の瞬間、舞台は上昇しはじめ テレポーターではなかった 休むことなく

越えて、なお働き続ける魔法動力 化型なのだろうが、数千年の時を おそらくリトフェイトの呪文の変 できなかった。 など、わたしには想像することも ているものはなにも見あたらない いているのだろう? いったいどのような仕組みで動 舞台を支え

ルの円筒型の空間

円盤がゆらゆらと上っていく。わ つかみながら、上昇していく舞台 れわれは、金属手すりをしっかり に呆然と身を委ねた。 直径5メートルの金属

さきほど塔の"窓"から覗いて になっているわけだ。われわれは る。つまり、20メートルが、1階 の扉を通って出ていくことができ になっており、その通路から3つ る部分の上面は、なめらかな通路 れる太さになった。細くなってい 径5メートルの円盤がぎりぎり通 円筒型の空間が急に細くなり、直 た人影のことを思いだした。 およそ20メートル上昇すると、

あったのかもしれない……。 ようにしか見えなかっただろう。 れば、床の上に舞台が置いてある ちが下から上がってきたのでなけ が通るほどの隙間もない。自分た 舞台と通路のあいだには、髪の毛 動きを止めた。こうして見ると、 と、舞台はしぶしぶという感じで 最初に乗ったところも、まだ下が いや、もしかすると、われわれが 閉じている金属手すりを開ける

とで頭がいっぱいのわれわれは、 装置のメカニズムを類推すること とつしかないことから、この輸送 かって、空飛ぶ舞台を呼び寄せる チがあるのだ。このスイッチをつ は、下にはなかった小さなスイッ たのがいちばん下の階にちがいないや、やはり、われわれが乗っ かった)。 その意味を考えてみようともしな ができただろうが、さまざまなこ のだろう(このとき、スイッチがひ いや、やはり、 なぜなら、この階の壁面に

扉は、例によって天井の石板を

押すことで簡単に開けることがで りがない なると、土の地面とほとんど変わ の通路があるのも1階と同じだ。 ていたことだ。埃もこれほど厚く 通路には数千年ぶんの埃が積もっ ただひとつ違ったのは、この階の きた。その先に、幅3メートルほど

さは千差万別、形も円形だったり な部屋になっていた。部屋の大き がふたつある――通路に通じる扉 を次々と開けていくことにした。 う。われわれは、通路の左右の扉 の "窓" に行き当たることだろ ざかる方向に進めば、きっと外へ ら通路を進んでいった。すこし進 た。ほんの4~5個の扉を抜けた 屋とどの部屋が隣り合っているの かし、われわれの頭では、どの部 の異様な形の部屋なのだろう。し 床を効率よく区切った結果が、一 たりと、ほとんど規則性を見いだ 三角だったり、歪んだ多面体だっ と、隣の部屋に通じる扉―― る広間がある。さらに中心から遠 を失ってしまっていた。 だけで、わたしは完全に方向感覚 かさえ、理解することは困難だつ すことができない。きっと、円形の むと、9方向に通路が分岐してい 扉の中は、たいていの場合、

う可能性は少ないとはいえ、せつ たしも、その判断に同調した。迷 入った部屋に、われわれの足跡が たようだ。新しい部屋だと思って だから、まずは上の階から調べる かく輸送装置を待機させているの ん引き返すべきだと判断した。わ 上の探索は後回しにして、いった あるのを発見した隊長は、これ以 それはメイレン隊長も同じだっ

> われています。これは、先人たち きるかぎり遠い階に行け、とも言 ターやシャフトで行けるなら、で 遠い階は危険な階』という格言が つも探査する過程で作られた格言 が危険に満ちた遺跡や洞窟をいく ありますが、同時に、パエレベー

われわれは、埃を踏みしめなが

隊長はふたたび金属手すりを閉じ 降りはじめた! た。舞台は軽く震動し、そして…… 全員が舞台に乗ったところで、

あいだは動かないらしい。金属舞 台は、しずしずと1階に戻っていっ うとしたが、どうやら中空にある

> に開いた金属手すりを、大急ぎで は1階の地面に着地した。自動的

であり、かなりの真実が含まれて (註:この世界には、*1階から

井の石板を押せば閉じるが、放っ た。なお、道を引き返していくと ある場合には、いったん閉じかけ ておいても約5分で自動的に閉じ いったん開いた扉は、もう一度天 きに分かったことがひとつある。 た空飛ぶ舞台が、自動的に1階に た。もしかすると、待たせてあっ たとき、わたしは嫌な予感を覚え てふたたび開く)。この事実を知っ るのだ(ただし、なにか障害物が いたので、引き返すのは簡単だっ 戻っているかもしれない……。 いると考えられています)。 厚い埃に足跡がくつきり残って

属舞台がちゃんとわれわれを待ち 間に戻ってみると、そこには、金 エレベーターの動き方 その心配は杞憂だった。中央広

台に上った。なんとなく、体重を そんなことはなかった。 ないかと思ったのだ。もちろん、 かけた瞬間に落ちてしまうのでは われわれは、おそるおそる、舞

隊長はあわてて手すりを開けよ

のただなかに! た……待ち構えているドルの群れ

明らかだ。 時にずたずたにされてしまうのは ずにいたら、1階に到着すると同 ているドルの姿が眼下に見えてき てくる者もいる。このまま何もせ た。興奮して、石や骨を投げつけ 喚声をあげ、武器を振りまわし われわれは覚悟を決め、ドルた

空白に、ラレフィックの柱を立て、 思わず後ずさる。そうしてできた とした。 なんとかドルたちを追いはらおう た。まずは召喚。いきなり現われ ちに攻撃的な呪文を使うことにし たワイバーンを見て、ドルたちが 幸いにも、この作戦はうまく行っ

ドルたち。だが、安心するのは早 がら、あわてて火壁から遠ざかる るようだ。押しあいへしあいしな ついた矢を射かけてきたのだ。 どはなんと、金属製の鋭い矢尻が いないと思っていたドルが、こん かった。原始的な棍棒しか持って た。ドルは、炎をかなり恐れてい

ジを受ける者が続出した。 えたが、その前に、大きなダメー あわててスファやラスファを唱

ンティノを唱え、ついにはティル 魔術師がいたのだ! あわててモ て、敵の実力を思い知ったのだ。 たわれわれは、大きな代償を払っ なってしまった。敵をなめてかかっ トウェイトさえも使用する羽目に トが連発で飛んできた。ドルにも のもとに、強力なダルトやラハリ 上に密集して立っていたわれわれ さらに予想外なことに、舞台の そうこうするうちに、金属舞台

真ウィズの館



10 AC - 5 HP 2 D10+30 敏捷度 ID6+13 攻撃回数 2 D I 0 10 クリティカル達 移動力 6 飛行 呪文 回避値 なし 16 生命力 11 士気 80 経験点 300 突擊、吸血 特殊能力 ディスペル値

スピネル

不確定名: 奇妙な動物

備考:特になし

解説:直径40センチほどの円盤状生物です。体全体を 高速回転させ、下面にあるヒレで推進力を得て飛行し ます。上面中央にとがった小さな口があり、突撃攻撃 をしかけます。いったん攻撃が命中したら、ぎざぎざ の歯で獲物にしがみつき、毎ターン血を吸い続けます (獲物に2DIOのダメージを与え、自分はそれに等し いHPを回復する)。ダメージ呪文は基本的にダメージ 半減ですが、バリコ系だけは通常のダメージがありま しかも、バリコによるダメージを受けたら、 ネルは術者から遠ざかる方向に3マス(マバリコなら 6マス)吹きとばされます。

SPINNEL

別の階に上っていくことは想定さ 不便なもののように思えるが、旧 れていないのだ(ある階から降り 盤を呼んで、まず1階に降り、そ いるのだ。上の階で待っている場 ならず1階に戻る仕組みになって いったん上昇して止まったら、か したことだが、この輸送機械は、 帝国の人類にとっては当たり前の から目的の階まで上っていくこ 後になって何回か実験して判明 呼びだしスイッチで金属円 別の階に止まることは われわれには 上の階から、 板で覆われている。違うのは、その わらず滑らかな大理石のような石 飛来する恐怖

とになる。

つまり、

できる)。 る途中に、

このシステムは、

が迎えにいく。単純といえば、 ければ、1階で待機していた舞台 階に上がる。上がったら、 を閉じて、舞台を1階に戻してお かに単純明快なシステムだ。 く。誰かが上の階で呼びだしをか 手すり 確 の が張りついていることだった。そ

舞台はふたたび上昇しはじめた。

や、通路や壁面そのものは、あいか 知れた最上階だ。舞台は休むこと か、周囲の様子に変化が生じた。い を(階)を通りすぎていった。 なく上がり続け、いくつもの通路 15階ほどもあがったときだろう われわれの目的地は、 言わずと

かなりの厚みがあった。 いきなり飛びはじめた! 次の瞬間、その物体は、

☆スピネル登場

(データは左上を参照)

きた。 ついているとがった嘴で攻撃して ピードでわれわれに向かって飛ん できた。そして、 ながら空を飛び、 + の黒い物体は、 表面の真ん中に ものすごいス 激しく回転

ことだったのだろう。誰かが上の

石板の上に、さらに黒く丸い物体

足をすべらせて落下してしまうか の飛行物体に嚙みつかれ、 の苦戦を強いられた。何人かは謎 それやこれやで、われわれは相当 やはり落下に対する恐怖は強い もしれないのだ。せいぜい「リメー 手で手すりを摑んでいないと、いつ に取ることができない。しかも、片 わすだけのスペースをじゅうぶん トルほどしか落ちないとはいえ、 この舞台の上では、剣をふりま かなり

ころ、20個ほども張りついていた。 その丸い物体は、ざっと見たと 物体は直径が41センチほどで、

さらなる襲撃

ツァの動植物の特徴が明らかにな

ることだろう。

を聞こえにくくすれば、それだけ わずかなりとグルーラーの呻き声

れにより、グルーラーの呻き声に 戦いやすいと考えたのだ(註:こ

たびわれわれは新たな敵の攻撃を 傷などの治療が終わった頃、ふた 命名)の攻撃を撃退し、ようやく 回転する円盤動物(スピネルと

> マス数+1倍になります)。そ 抵抗する幸運度チェックの倍率が、

てもちろん、

惜しげなくモンティ

度遭遇したことがある相手だった。 われはあわてて手近な布などで耳 特徴のある不気味な呻き声。われ

☆グルーラー 受けた。 (データは左を参照 しかし、 今度の敵は、 すでに1

動物が、ここで獲物を待ち伏せし もかく、 りしたことがある。 えにくい。かといって、グルーラー ているだけで生きていけるとは考 苦戦を強いられたグルーラーを、 まだ今日の午前中のできごとだ!) あっけなく撃退することができた。 ノを連発。 この遭遇により、ひとつはっき この作戦により、前回(なんと グルーラーのような大型 スピネルはと

レベル	9
AC	- 5
HP	3 D 6 + 20
敏捷度	ID6+15
攻撃回数	3
ダメージ	2 D 6
クリティカル率	17
移動力	7 飛行
呪文	魔 3
回避値	17
生命力	11
士気	60
経験点	700
特殊能力	呻き、麻痺攻撃、 セービング50%

ディスペル値

不確定名:奇妙な動物

の深傷を負わされた。

備考:特になし

ることができた。舞台に落ちてき

してからは、比較的簡単に撃退す

た動物をじつくり観察してみると、

リコ系)の効果が高いことが判明

それでも、空気を使う呪文(バ

解説:ドルの荒地に住む、身長 | メートルほどの翼人 です。広げると幅4メートルほどもある翼の先端にあ る鉤爪で攻撃してきますが、グルーラーの真の恐ろし さは、人の思考を狂わせるその呻き声にあります。

グルーラーの呻き声を聞いたキャラクターは、幸運 度チェックを行ないます。倍率は、もっとも近くにい -ラーまでの距離(マス数)です。隣接してい I 倍チェックということになります。この判定 は、全員が毎ラウンド行ないます。

このチェックに失敗すると、そのキャラクターは、 体が意志に逆らって勝手に動いてしまいます。自分の 行動順が来たら、なにもせずに攻撃ファンブル表でⅠ 回ふってください。

けているうちに、自然とズダイ・

ろうか? しかし、まだデータが のは、なんらかの理由があるのだ い(レイヴィ、グルーラーなど) 飛行する奇妙な動物がたいへん多 ここズダイ・ツァについてから、 進力で飛んでいたことが分かる。 魔法の力ではなく、回転による推

あまりにも少なすぎる、調査を続

だと考えることができただろう。 たしには、後者であるように思え るか……。 がこうしたモンスターを飼ってい いるということだ。あるいは、侵 ているとも思えない。つまり、こ しかし、あれは明らかに天井であ ルーラーも自然に棲みついたもの に見える。もし天井がなく、この縦 の上には明らかに天井があるよう ぎ、最上階も近づいてきたが、そ 入者を撃退するために、何者か 穴が外に通じていれば、いまのグ てならなかった。すでに20階を過 はっきりした理由はないが、 どこかで外界と通じて

見えない な通路が見える。 じっと目をこらす。 奥には何も

最上階マイナスト

ったのだ……。

は上昇を止めた。もう、この上に 階が26を数えたところで、舞台

> うことだ。 エレベーターで上れる最上階とい うな穴が開いていない。ここが、 金属円盤が上がっていけるよ

> > えない。

じっと耳を澄ます。

なにも聞

じっと足元を調べる。

かすかに、ほんのかすかに、

が扉の開閉のメカニズムを理解し

理由を一 べて開けてみた。3つの同じよう ン隊長の、そしてわたしの信念だ。 理由であれ――見つけて行動すれ 当てずっぽうでなく、それなりの 扉を選ぶべきだろう。まったくの なんらかの区別を見いだしてから ルほどで、3つの扉が見える。 かわらず、広間は直径が10メー に見えた。だが、できることなら、 最上階の通路に降り立った。あい われわれは、まず3つの扉をす 扉は、どれもまったく同じよう われわれは、ゆっくりと慎重に 、後悔せずにすむ。それがメイレ それがどんなに希薄な

なのだ。 われわれはまたも未知の怪物の攻 撃を受けた。 いた。その通路を進んでいく途中、 通路から、左隣りの通路に通じて 足跡は、 われわれがやってきた

☆ピットフォール登場 (データは右下を参照

神への願いが届かないなど、とて 聞きいれてくださらなかった!

たい、この罠はなんなのだ? も信じられない! いったいぜん

最初に異常に気がついたのはト

らせん階段(下)

最上階への階段

- 魔道士しオ

うだった。これほど落下して地面 は恐ろしいほど深く、底がないよ かかったように思えた。落とし穴 イトを唱えた。 がない。わたしはあわててリトフェ に激突したら、もはや助かるはず にひっかかったのだ。いや、ひっ しかし、落下はまったく止まな われわれは、いきなり落とし穴

シークレットドア

は急いで神に祈りを捧げた。どう わせた、実に狡猾な罠だ。わたし かった。呪文の無効化まで組みあ しかし、息はまったく苦しくない に達しているとの結論に達した。 のならば、すでに呼吸困難な速度 の結果、もし本当に落下している してどこまで本当なのか……)。そ

路がのびる、直径10メートルほど 跡を追っていく以外に、どんな道 の通路だ。この構造は1階とまっ な広間に続いていた。9方向に通 み、1階にあったものと同じよう くつもった埃に残された、かすか が分かった。こうなれば、この足 とつの通路にだけ足跡があること 足跡は、まず通路をまつすぐ進 ピットフォール

な足跡を頼りに進みはじめた。

があるだろう? われわれは、

不確定名:スライム

備考:眠らない

解説:ピットフォールは通路などに薄く広がり、床そ のものに擬態します(大きさはHPIOにつき I マスほ そして、獲物が自分の上を通った瞬間、幻覚をし (獲物が複数いる場合、できるだけ多くが自 分の上に乗るまで待ちます)。獲物は知恵、または幸運 (高い方)の | 倍チェックに成功しないかぎり、 とし穴に落ちている錯覚に陥り、その場に倒れます(以 毎ターン幸運度の1倍チェックを行ない、 れば正気を取り戻す)。倒れたキャラクターは、 ルの表面から出る消化液で、毎ターン ID6点 つ消化されてしまいます。この幻覚はきわめて強力 とえ正気の者が揺さぶろうと、 幸運度判定が2 正気を取り戻してピット には危害は加えませ



階では、床面積が4倍は違うはず

像できる。だいたい、1階とこの まったく異なっていることから想 れは、通路の左右の扉の配置が おそらく同じではないだろう。そ たく同じだが、部屋の配置などは

The second second second	
レベル	16
AC	0
HP	D100+100
敏捷度	1 D 6
攻撃回数	特殊
ダメージ	_
クリティカル率	, <u> </u>
移動力	1
呪文	なし
回避值	12
生命力	14
士気	100
経験点	500
特殊能力	幻覚、リジェネレート5
ディスペル値	_

に違いない。 したがって、この落下感覚は幻覚

もらうのがいいだろう……。 せなら、【飛行】の能力を授けて

ところが、神はわたしの願いを

そうだ。 りの落下感覚から解放されたのだ そう考えた瞬間、トウランは偽

たのだ。 布のような怪物を切り刻んでいっ 叩き起こしながら、ぶよぶよした ではなかった。仲間をひとりずつ それから後は、そう難しいこと

は、トウランに頭が上がらないだ 療で癒された。これからしばらく たが、それはすぐにトウランの で、われわれ全員がかなりの火傷 (怪物の消化液による傷)を負っ この陰険なモンスターのおかげ

た(と本人は言っているが、はた てから、暗算で落下速度を計算し に疑惑を抱き、脈拍で時間を計つ まりにも落下が長時間であること ウラン副長だった。トウランは、あ

らさらに5メートルほど進むと、 さな広間に行き当たった。 こんどは直径5メートルほどの小 この広間からは、通路が3本出 いなかった。怪物がいたあたりか にも、かすかな足跡は消え

の通路の左の扉の前で消えていた。 る通路に進んだ。 上は警戒できないほど警戒しなが われわれは武器を構え、これ以 かすれて消えそうな足跡は、

椅子には、 には金属製らしい机と椅子があり、 行き止まりの小さな部屋。 人間型生物——正確な 誰が見ても分からない

> ていた。生あるものの気配はまっ たくない 一のミイラが腰をおろし

もしれん男が現われたか!」 び込んできた。 ようやくわしを解放してくれるか 300年! わたしは緊張を解いた。 わたしの心に何者かの心が忍 300年目にして その

れわれは足跡を追って、左に見え いまは下への階段は問題外だ。わ に降りる螺旋階段がある。しかし ている。また、広間の中央には下

じゃった。大魔道士レオニといえ エセルナートの地で暮らす魔術師 ナートびとよ。わしも、かつては 精神を頭から追いだそうとした。 ちろんわたしも、必死にこの謎の 「恐れることはない。若きエセル 自分の心に他人が忍び込んでき 名前ぐらいは聞いたことがあ 気持ちのいい者はいない

> 名に覚えはなかった。そう考える ろう?」 胆したようだ。 と、レオニと名乗る男はかなり落 しかし、わたしにはそのような

支配することに失敗したのじゃ るとは。まあ、それはどうでもよ 道士レオニの名さえも忘れさられ ことに成功していた、偉大なる魔 い。つまるところ、わしは時空を

たが、どうやらこの変な老人の声 わたしは仲間の様子をうかがつ

ろう。おまえの力を借りぬことに よな。しかし、いまは見逃してや が聞こえているのは、わたしだけ のようだ。 「変な老人とは、失礼な言いよう

のよ……いま一歩で時空を越える 「300年の時の流れは無情なも

ぬのじゃから……さあ、

こと。では、おまえにちょっとし らぬとあってはそれも無理からぬ か。どうじゃ、悪くない話じゃろ 望みを3つ叶えてやろうではない じゃ。しかし、 しが解放された暁には、おまえの た報酬を約束してやろう。このわ めに、無償で働く義理はない。 の馬の骨とも知れぬ謎の幽霊のた 「ほうほう、なんとも生意気な男 わたしは首を横にふった。どこ わしの偉大さを知

想像もつかなかった。 る。というのだろう。 しかし、どうすれば、解放でき

装置のおかげで、わしは本来のわ に行って、その装置を壊してくれ なっておる。そこで、塔の最上階 しの力を発揮することができなく あるのじゃ。困ったことに、この 鈍らせ、思うがままに操る装置が は、すべての生き物の精神活動を 「なに、簡単なことよ。この塔に

ボーフィールの一番弟子だという ロンの呪文を編みだすことで、神 言ったことを、メイレン隊長たち ことだ。 にいちばん近いと言われた大司教 ガミンで活躍した魔道士レオニの レン隊長は300年ほど前にリル に伝えた。驚いたことに、メイ わたしはこの謎めいた幽霊の

は、ここから脱出することはでき く、わしをこの塔から解放するの 一刻も早

なかったのでな

わたしには んとな」

名を知っていた。なんでも、イハ

最上階に行ってみるということで 取りあえず言われたとおりに塔の 霊の言葉を鵜のみにはできないが、 われわれは、この口の達者な幽

わたしにだけ話しかけてくるのだ はこう答えた。 ろう? そう質問すると、レオニ 意見がまとまった。 ところで、どうしてこの幽霊は

じゃから、 ま、その程度のことで選ばれたん 低限のラインには達しておるし。 たのでな。レベルも、まあ、最 魔術師は。おまえしかおらんかっ 「なぜって、わしと同じエルフの 偶然に感謝してもらわ

という答えが返ってきた。

エピローグ

への階段があるというのだ。 部屋の隠し扉を抜けると、最上階 ある小さな部屋に向かった。その 内で、エレベーターの広間の隣に われわれは、レオニの幽霊の

る重要な機械を壊させようとして て、この世界の安定に貢献してい とは限らない。邪悪な意図をもつ らといってこの幽霊が信用できる り階段が見つかった。しかし、だか いるのかもしれないのだ。 言われた場所に、言われたとお

みながら階段を上っていった。 ればいいのだろう? わたしは悩 階段を上がりきると、そこは大 だが、どうやってそれを判断す

の光の球の前には、 中空に浮かんでいる。そして、そ 央には、まばゆく輝く光の球が、 きな広間になっていた。広間の中 ひとりの老人

「ボーフィールの弟子。それは逆

以下次号

そのようなちっぽけな名誉は必要 フィールに教えてやったのじゃ。 じゃよ。わしがイハロンをボー

ページを埋めていくことにいたし けで、みなさんのお便りを中心に きたのでほっと一安心。というわ ぱり正解が分からない詰めウィズ からのお便りもすこしずつ増えて めとなりまして、読者のみなさん まいりました。作ってる方もさっ さてさて、真ウィズ連載も4回 だんだん解答が寄せられて

ない、ですよねぇ?)。斉藤さんに を覚えてしまったのですが、この やらで解答の出しようがないとこ システムの誤植やら、問題の誤植 初回なのでよしとしましょう)。 ター側の攻撃が手抜きですが…… の戦術は、はっきり言ってモンス さんにテレカ送ります(清水さん 繰りあげ当選で群馬県の清水伸仁 を送らせていただきましたので、 はすでにルールのミス指摘で薄謝 に固定される……なんてことは、 『詰めウィズ』の応募者、10人ほど 志さんに決定!(いま、ふと疑惑 秀な戦術は……岩見沢市の斉藤篤 れぞれ比較検討した結果、最も優 ろ、みなさんご苦労さまでした。そ 最終解答数は7通(苦笑)。基本 を載せた第1回詰めウィズですが、 まず、前号で解答(らしきもの)

あったのは魔術師ですが、解答で ターのはずです。佐脇の念頭に らどうする?」に行きましょう。 そりゃ17レベルの司教なら強力で は司教が人気ナンバー1でした。 呪文を高レベルで扱えるキャラク まず前提条件として、『あなた』は さて、続いて2号の『あなたな

> 志さん。 まずは大阪府富田林市の香川高

テレカあたり。 のは……ああ、これも誤植だ!)。 た(ちなみに、3番がふたつある るので、うるさいからサルも殺す』 り殺すと、サルがどうしてボクら ラクターをもとに戻す。ウシを殴 はけっこう気にいってしまいまし の鬼ゴッコをじゃまするんだと怒 『答:中立の侍、3番 なかなか殺伐とした答で、佐脇 まず、2体に分裂しているキャ

だ。魔術師系の呪文は5レベルま 『わたしは善良な魔術師 (3番) 次に日野市の柴崎玲司さん。

いですしね。これもテレカ。 りリアリティーあふれるものでし け倒すべく、わたしはツァリクを ティーなら、シナリオも作りやす レベル魔術師になった程度のパー たしはまずマダルトを使い……』 てきて雄叫びをあげた。すると森 強化して使った。その一撃で、ウ た。11レベル僧侶からの転職で9 ほど出てきて襲いかかってきた。わ の中からサルのような動物が20匹 シはあっけなく潰れてしまった。 そこにサルのような動物がやっ 柴崎さんの解答は、誰のものよ とりあえずウシのような動物だ

善良な司教である主人公は、強化 解答は、ちょっと変わっています。 してカツを唱え、サルやウシと話 北海道川上郡の高野勝巳さんの

盗まれたので追ってきた」 『ウシ「その水晶は、私の卵だ。

サル「これは俺の宝石だ。奴は

「【頭ふやし】頭がふたつになる

かってきます。簡単にサルを倒し、 べたあと、卵をくわえて・・・・・吞み 邪悪だと判明し、いきなり襲いか これを主食にしている怪物だ」』 こんだ。おいしそうに……。 「卵は親元に返る。ウシは礼を述 われわれは、去っていくウシを エリエモスを唱えると、サルが

つの結論をだした。 呆然と眺めながら、無理やりひと

だ……きっと」」 「あれは、卵を運ぶための手段

だ、まいったか。わはははは……」 送っときますね。 格好にされて負けちゃうし。 かも、このあとサルの攻撃で変な んですけど……。まあいいか。し どんどん再生するって案配だ。どう んだぜ。技能の方もいろいろ増え まで上げんのにすっげー苦労した 悪だ。なんか文句あるか? ここ 現在17レベルの司教で、性格は邪 て、呪文は無効化できるし、肉体は て、いまじゃ腕が3本、炎が噴け 『俺の名前はルガンド・ギュラス。 まいったか、と言われても困る 高野さんと近藤さんにもなんか 最後に箕面市の近藤剛弘さん。

られてきています。 紙が届いてますね。マジック・ア イテムや新技能などもどんどん送 さて、そのほかにもあれこれ手

清水市の鈴木昭彦さんの新技能。

6)、さらに麻痺させる可能性が でもいいかと思いますが。 らすると、ポイントは3点ぐらい レベルで5ポイント消費』 あります (マニフォと同じ)。 格闘戦のダメージがあがり(1D 『【毒牙】PCに牙をはやします。 これは使えそうですね。強さか

●目次の魔術師呪文レベル2

正:8面体サイコロが2~4個

誤:ボンティ

いとは……。読者のみなさんに合 まだすべての間違いが取れていな わせる顔がありません。 たる正誤表を載せたというのに、 うう、2号で延々2ページにわ

を開いてください。 数ですが、赤ペンを手に真ウィズ 足りなかったのです)。何度もお手 G 基本システム」の間違いをふ んですが、どうしてもスペースが たたび訂正させていただきます 感じつつ、『真ウィザードリィRP (本当は3号に載せるはずだった 読者のみなさんの冷たい視線を

千歳市の檮原さん。どうもありが 礼を送らせていただきます。 とうございました。ささやかなお ださった岩見沢市の斉藤篤志さん たくさんの間違いを指摘してく

83頁、カティノの8行

誤:毒や麻痺どの

せ(ほかの応募葉書の隅に書いて どうか佐脇に知らせてくださいま ろしくお願いします。 もらってかまいません)。どうかよ さらに新たな間違いを発見したら された、と信じています。もし、 わせれば、間違いはほぼすべて正 でも、さすがに2号と今号をあ ただひたすらに土下座する佐脇

●ー頁、注意のー 誤:6面体サイコロが2~4個

でありました。

●32頁、格闘の6行 正:ポンティ 誤:成功率が十一倍

9レベルが上限です。 ●33頁、スペルセービングの7行 追加:【スペルセービング】は、 正:成功率が十5%

も知恵が高いキャラクターが判定 ターがロー00をふります) も高い知恵の数値をもとに、マス を行ないます) ●86頁、確定名の左9行 誤: (パーティーの中でもっと 正: (パーティーの中でもっと

●59頁、戦闘ラウンドの右3行 誤:3・3項に

●83頁、カティノの効果範囲 誤: 1×3 正:3・2項に 正:1×4

91頁、マラーの10行 誤:3・4参照 正:毒や麻痺などの

●55頁、モンティノの4行 正・3・3参照 誤:盗族にかければ

|||||頁、両手用通常武器の13行 正:盗賊にかければ

正:3・2参照

リティカル率が+7% リティカル率が十8% 112頁、左6行 |||頁、魔法の武器の左13行 正:ダメージが3口6十3、ク 誤:ダメージが3010+3、 ク

▶41頁、■侍、君主、忍者 正:モグレフなどの 誤:ソピックなどの 誤:ギルドはありません

真ウィズの館

正式採用。いずれサプリメントに ます。というわけで、【毒牙】は 呪文を唱えられる。8ポイント』 登場することでしょう。 の数は無関係でしょうね。となる 文には腕の動きは不要なので、腕 腕が4本あれば、同時にふたつの と、やはり強力すぎる技能に思え することもあるだろうし……。 呪 うか? だとすると、意見が対立 は、別々に思考しているんでしょ と、すべてのマスが前面マス扱い。 これはちょっと難しい。この頭

てくれた新技能。 入間市の五所光太郎さんが考え

る技能。相手(モンスターでも) 質のものですしね。 たりする(器用度チェック)」 の持ち物をすったり、ひったくっ でマスターが倍率を設定すべき性 こういった行動は、その場その場 「【すり】盗賊、忍者だけが取れ ちょつとあたりまえすぎます。

利かわかる」 功すると、いまの行動が有利か不 『【第六感】幸運度チェックに成

五所さんは「転職すると技能、技 を獲得するには有利ということに 転職を重ねる方が、技能ポイント せん。ということは、可能な限り ということで、このふたつはボツ。 スターが困ってしまうでしょうね。 だいじょうぶ、なくなったりしま いう疑問を持っておられますが、 能ポイントはなくなるのか?」と がつかない場合も多いだろうし。 だいたい、『有利か不利か』の判断 うーん、たびたび使われるとマ

にまいりましょう。 さて、そろそろ今回の応募問題

まいります。以下の条件にしたがっ 今回は、キャラクターの応募と

て、強力な戦闘マシーンを作って

うわけです)、遭遇位置は10×10

- ・ 種族は基本の5種族から選ぶ
- ・最初の特性値ポイントは11点。 は、常に2が出るものとする。 技能ポイントを決めるサイコロ
- ・レベルアップ時、特性値は6種類 HPのサイコロは、106なら 4、D4なら3、D3なら2が だに転職がはさまっても同じ)。 て上げることはできない(あい し、特定の特性値を2回連続し 上昇するかは自由に選ぶ。ただ のうち2種類だけ上昇。どれが
- 経験点は総計で100万点。 出るものとする。
- キャラクター作成の経過はすべ か、いつ転職したかなど)。 特性値をのばし、技能を取った て明記する(何レベルでどんな 備、スクロール類は購入不可)。 装備は10万GPで購入(特殊装

(要するに、ほかの応募キャラと戦 ターを作ったら、行動計画を決めて ください。戦闘は1対1で行ない この制限にしたがってキャラク

> など)は指定できません。 が20以下になったらディアルマ』 ませんが、その他の条件文(『HP 遠ければラハリト』など)は構い マス以内なら突撃攻撃。それより の位置に応じた条件文(『距離5 正確に指定してください。相手と スの対角線の端と端です。 行動計画は、1ラウンドごとに

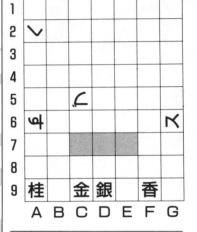
は攻撃、攻撃、ディアルマの繰り 奇跡を起こすこともできません。 ません。戦闘中に技能ポイントで るいはダメージ呪文しか使用でき 返し」など)。行動計画が不足し プさせてもOKです(『……以後 指定してもかまいませんし、ルー たら通常攻撃を行ないます。 は11月20日 (必着)。 者を決定します。第1次締め切り 呪文は、自分にかけるものか、あ 戦闘時のサイコロは佐脇がふり、 行動計画は、どれだけたくさん ーナメントを行なって上位入賞

しまい。お便り待ってま~す。 というわけで、今回はこれでお

詰めウィズ訂正

問題で訂正箇所がありました。斜 ログアウト第3号詰めウィズの

ます。読者の皆さんにはたいへん 線のマスは"70~7日"になり ほんとうにごめんなさい。 なご迷惑をおかけいたしまして、



問題図

料金を請求されます。

てしまいます。 ●§頁、■メイジ・ブラスター

> 正:ACB 誤:AC5

★M.49 シェイド

で麻痺、61以上で石化します)。 ます(幸運度10の司教なら、41~60 な目で失敗すると石化してしまい 正:必要な数値より20以上大き

・脳頁、腐った死体

耳:ROHT-ZG

18頁、ワー・バット

誤: AERE BAT

田:WERE B A T

●115頁、左16行

誤:"試練場』

●蹈頁、左行末 誤:リト、リト、カティノ 正:『試練場

●幻頁、職業表、侍の性格 正:メリト、メリト、カティノ

誤:G、E

●陥頁、ボルタック商店販売品リ 正: G(N

●73頁、ディスペルの5行 正:け移動することができる。

槍状でもありません) スト(武器)、セスタスのデータの ●27頁、行動の4行目 『↑』を取ります(両手用でも、 誤:け移

デッドが消滅する。 デッドがすべて消滅する。 275頁、2行 正:以下なら、一口6匹のアン 誤:以下なら、同一種類のアン

正:で倒れるかどうか 誤:で倒れかどうか 加入料は不要ですが、サービスは 斡旋所のようなものが存在します 正:大都市では、同業者の職業

●拙頁、モンスター表

★№12 クリーピング・クラ

正:マポーフィック

誤:マポルフィック

誤:引以上で失敗すると石化し

●モンスター50音順リスト

正:ディスペル値 40 誤:ディスペル値

誤:POTTOTZG

正:ダスター

誤:ガスター ★ [か]

★ 【き】巨大ナメクジ

班:250P

誤:249P

正:ブリーブ 誤:グリーブ * ≤

★ [こ] ケンタウロス

移動:【と】の位置に ★【す】ドラゴン・フライ 移動:【け】の位置に

誤:ブロップ ★ ふ

●魔法効果別リスト 正:ブロッブ ★ (か)

誤:カドルド 正:カドルト ★ す

追加:スファ……M L1:戦

誤:ボルフィック

●戦闘に関係するもの 誤:不意打討ち

正:不意討ち

正:ポーフィック

キャラクターシート 誤:ポルフィック 正:ポーフィック



■前回までのあらすじ

窟の奥の扉にさえぎられた所にあ ある遺跡にあるらしいことを知っ み出す悪しき力の源が密林の奥に られていたこと、モンスターを生 がモンスターの住みかとして恐れ とんでもない光景を目撃した。洞 けた洞窟に入った彼等は、そこで 索した。その途中でたまたま見つ 着した4人は人家を求めて島を探 う。運よくエステリアの海岸に漂 島に向かう途中に嵐で沈んでしま リアに行こうとした4人は、おり という。冒険心を刺激されエステ 嵐によって往来が絶えているのだ タスケ、モノディ、リラ)は、そこ にたどり着いた彼等は、その洞窟 たのだ! ターが湧き出るように発生してい るプールのような場所からモンス に同乗できた。しかし、その船は よくエステリアに調査に向かう船 離にありながら突如発生する謎の た。その島は町から目で見える距 でエステリアという島の話を聞い に着いた4人の冒険者(ディオ、 プロマロックという大きな港町 何とか洞窟の近くの町 りめの女性。さて、どこでどう

シルク

■キャラクター紹介

クラス特技は〝見切る〟。 レベル2剣士ディオ・アルゴミラ ギャグメーカーになってしまう。 せおった剣士でありながら、つい 物語の主人公となるべき運命を

る。クラス特技は〝狂戦士〟と〝足 在のパーティーの課題となってい たタスケをどうしずめるかが、現 の戦闘力を誇るが、狂戦士と化し レベル2戦士タスケ・ワンハート プロマロック出身の戦士。最大

リラ

でも誰が繰船できるんで

ラだった。いつも冷静でパーティー 険を求めて旅をする。クラス特技 レベル2ヒロイン の指先〟と〝手品〟。 ることも多い。クラス特技は〝神 の知恵袋的な存在だが、裏目に出 レベル2吟遊詩人リラ・リーラ としてしまい、新たなる商売と冒 テリアに来る途中に、サイフを落 前回まで、ただひとりの女キャ 台所用品を売り歩く商人。エス 今回から登場の新キャラ。ふた "物品の鑑定』と "取り引き』

2回目のセッションを始めます。 マスター (以下YM) ■新たなる旅立ち は、傷や病気の手当、と、お願い、。 うことになるのか? クラス特技 やって他のマイキャラたちと出会

されていて、それを止めるために ところまでいかなくちゃいけない エネルギーの発生しているらしい 所にどこからかエネルギーが供給 リラ モンスターが湧いて出る場 あったんでマジで忘れちゃった。 だっけ? プレイの間が2ヵ月も ディオ それで何をすればいいん クサクと話を進めましょう。 んですよ。 今回は新キャラが登場するのでサ

を使って海からマイリース川をさ かのぼると3~4日かかります。 跡まで陸路だと片道1週間、小舟 YM 力の源があると思われる遺 そう言うと町の人が船を用 それは船の方がいいですね。

150

レベル2商人モノディ・トリテラー

リラ あの人はしばらく漁師のバ タスケ 漁師じゃなくて魚屋の息 んだから……。 YM タスケだって漁師の息子な 操ってエステリアに来ようとした イトをしたんですよ。 大丈夫、アドルだって船を

リラ 食料は人数プラスひとりの シートに書いておいてね。 ければわけてもらえます。追加 を町の人にわけてもらって……。 船くらい操れるだろう。 子。でもプロマロックの出身なら した装備はちゃんとステイタス・ か海で溺れたときに無くした装備 1週間分ということで……。 わかりました。じゃ食料と よっぽっど変なものじゃな というわけで大丈夫。

タスケ ないよね? YM 出発して2日たったところ 「それじゃ したんじゃないと? まあいいで YM 決してシナリオの先読みを

ディオ

しょう。ほかになにかありません

かった(と、横目で新キャラ、シ た。食料を多目に積んでおいてよ

あっそうか、わかっちゃっ

ちなみに船は6人乗りくら

ルクのプレイヤーを見る)。

がります。 んでいると2時間くらいで雨はあ すぐに沈んじゃいそうだから」 休みませんか?」 モノディ「やだなあ、上陸して モノディ 「こんなボートぐらい、 で、雨が降ってきて海が荒れます。 陸地に上がってしばらく休 「そうしましょうか」

リラ もちろん蘇生行為はおこな

ディオ 同 がわかります (笑)。 YM その残骸の中に人がいるの にあって沈んだ船の残骸ですね」 そうならこの島に来ようとして嵐 リラ 「大陸からの船かしら? ものです。 YM 漂流物は船の残骸のような るぞー」 「ほう」(笑) 「おーい、なんか漂っと

プカーッと浮いているというパ YM よくある木切の上にのって モノディ 動いてんの? シルク 「……」

ターン。

シルク ディオ 性ですね。息があります。 YM 近づいてみるとどうやら女 タスケ そちらに舵を向ける。 みましょうよ!」 リラ 「とにかくそっちに行って うから無視して行きましょうか」 モノディ 「あれは死んでるだろ 「顔が水につかってるし」 ·····!

モノディ 「どうします?

せる。 リラ ディオ 数には余裕があります。 タスケ タスケ ということでつまんで乗 さっきマスターが言いました。人 ないでどうするんですか?」 「当たり前でしょ! 助け 「あります」6人乗りだと 「どうする? 乗せる?」 「スペースある?」 「なーんだ」

じゃないのか?

Y M ディオ な状況ではありません。 のようです。命に別状があるよう いますよ。 いや、気を失っているだけ 「なーんだ」

近くに漂流物が漂ってきます。 YM それでまたしばらくいくと、 モノディ 「上陸して正解だね」 シルク モノディ 立派な身なりをしてい YM 見ると立派な身なりをして います。 よかったよかった。 ·····?

らいの身分の人か調べる。 Y M モノディ 例えば商人の娘が着そ だ。身につけているものでどのく るんだね? ようし 物品鑑定 着ている服は上等なもので

うな服なのか、それとも貴族で のか……。 もないと着れないようなものな

か ? リラ 女神の着るような服なの

てば (笑)。 **リラ** だからもう助けたんですっ ディオ よし助けよう (笑)。 モノディ ということは上流階級 市民が着れる服ではない。 YM よくはわからないけど一般 のお嬢様なんだね?

リラ 「その前に意識を取り戻さ タスケ いままで水の中にいたん 覚めるかもよ(笑)。 たん町に戻りましょうか?」 せるのが先決では」 頭から水でもかければ目が

シルク Y M リラ そんなまねはしません。 がら顔を突き出す仕草をする) インプリンティング」(と言いな タスケ ディオ タスケ 目を覚ますよ。 「こらこら」(笑) 「人工呼吸だー」 「インプリンティング、 やっとしゃべれる。 「おお目が開いた」

シルク タスケ ひっぱたきます「きゃーっ!」(笑) 驚いて目の前の男の人を 「いてーつ」

モノディ シルク リラ

リラ もねえ」 ディオ なた達なんでしょうか?」 動いてる動いてる!」(笑) 「そうなんですよね、根拠 「はつ! 「どなた達って言われて あなた達はど

モノディ「おっ、目が開いた。

ないことを聞いてしまったかもし シルク 「はっ!」聞いてはなら のない集団だから……」

タスケ 「我々は正義を求めて旅 する冒険者達です」 ウソつけ。

ましょう」

Y M 少なくとも私は怪しくないでしょ 「怪しい者ではありません」 お定まりですがシルクさ

りなんですか? シルク えっ! それってお定ま

んは自分の名前以外おぼえていま

シルク 「あたしは誰?」 みたい **リラ** こちらからたずねたら名前 な感じですかねえ。 しかおぼえていなかったと。

モノディ

「全然おぼえてない

の ? が沈んだときに頭をぶつけたかな にかして記憶をなくしたんですか 船の残骸とかを見て「船 「全然おぼえていません」

らしていたとか憶えてないんです シルク かあ?」 モノディ 「……どうなんでしょう 「昔大きなお屋敷でく

タスケ 「かわいそうだなあ嬢ちゃ 記憶喪失だ」(笑) モノディ ん。1発殴れば思い出すかも…」 「ああ、 これは完璧に

モノディ

このゲームの主役って

Y M

というわけでまるでスライ

んしか戦ってないんだから」(笑)

リラ 「普通に考えればそうなり たん町に帰ります?」 モノディ 「どうします? **リラ** 「やめなさいって」 ますね」

れちゃあいけない」 タスケ 「おれたちはこれからおっ かねえ所に行くんでな。とても連

間に日が暮れてきますね。 置いていくわけにもいかないし」 リラ 「上陸してキャンプを張り M そういうことを言っている

ディオ のみ!」 れからのことを話し合おう」 モノディ 「前進、前進、前進ある 「そうだねその間にこ

ますよ」(笑) リラ 「あなたそのうち命なくし

況を全部説明して彼女に決めても らいましょう。 モノディ とりあえずこっちの状

だ! (笑) リラ マスターからの御都合主義 いけないような気がする。 と自分もその遺跡に行かなくちゃ YM シルクさんはその話を聞く

リラ ませんねえ」 そこに行けば記憶が戻るかもしれ モノディ 「もしそうだとすると るんです」(笑) そこに向かっていたような気がす せん。それにあたし、なんとなく シルク 「あなた達の邪魔はしま 「その可能性はありますね.

でえ タスケ リラ たねえ、いまさら足手まといのひ とりやふたり増えたっておんなじ 「そう、いままでタスケさ 「そういうことならしか

タスケ

モノディ 「だからってこの辺に

ます。 た。船着場があって船を寄せられ Y M 聞いていたとおり4日目に

シルク タスケ 記憶の糸を探ろうとし 「いくぞー」

ます。 Y M ないかと思う。 殿のなにかを封印しに来たんじゃ 行こうとしていたんじゃないか、神 ただあなたはこの町の神殿に たいしたことは思い出せな

移動しよう」 らんじゃないか」 ディオ 「とにかく目的地には着 ディオ 「だから探さなくちゃな のか私たちは知らないんですよ」 **リラ** 「目的の場所がどこにある いたんだから今度は目的の場所に

リラ リラ りませんが。ほーら簡単な地図だ。 キャラを出してあげよう。 ディオ を出してください。 敵キャラを出す前にマップ あんまり大したものじゃあ とりあえず到着記念に敵 本当に簡単…。 状況マップ。

シルク 不安にか細い胸を震わせ ことで今夜は寝よう。 ながら寝ます(笑)。 モノディ まあいいや。 剣士だっけ戦士だっけ? ガーガー寝よう。 そういう

|遺跡の町

なく遺跡の町に着きました。 翌朝出発した一行は特に何事も

Ň

んで。 リラ れないようにどこかにロープで結 遺跡のある場所にたどり着きまし じゃあ寄せましょう。

お願いします」 **リラ** というわけで「タスケさん、 づいてくる。 だ。ドロドロときみたちの方へ近 YM ひとつ目だよ (グリエル)。 壊れた船からはいだしてきたよう

コ殴りにしよう。 せーの!

ジ、モノディに2ポイントのダメー グリエルに計12ポイントのダメー (グリエルの攻撃が) あたっ

L K M J AA 剣でロへ AA AA 盾でKへ Н G F 剣でFへ AA AΛ AA 盾でMへ ディオ るの? おいて。 モノディ C Ε D В AΛ 剣でEへ AA AΛ えつ、 H 盾でIへ Α 剣でBへ 盾でAへ

モノディ ぷよぷよ? 目がある。 ムのような身体のヤツが出てきた。

モノディ
それじゃいくよーん。 リラ私は後方から援護します。 モノディ **タスケ** 「まあかせなさい」 相手は1匹? じゃタ

1ラウンド目

か盾のAPを1ポイント減らして じゃ酸による攻撃だから鎧

イコロの目以上の防御サイコロを ときは、だれかひとりでも敵のサ

複数のキャラで戦闘をしている

そんなルール

じゃ次のラウンド。 敵はまだ生きてるね?

撃をしてくるものがいる。 などの特殊なダメージを与える攻 敵キャラのなかには炎、

撃は武器では防げない。敵の攻撃 防ぐことはできないのだ。 を出さなくては、酸による攻撃を サイコロの目以上の防御サイコロ くてはならない。敵キャラの攻撃 ダメージを受けてしまう。おまけ マイキャラは、その目に関係なく に対して、攻撃サイコロを出した けてくる敵キャラの場合、その攻 グリエルのように、酸を吹きつ 鎧か盾のAPを1点減らさな

修理することができる。 や鎧は剣士か戦士のクラス特技で 酸によってダメージを受けた盾

2ラウンド目

ディオの攻撃が命中。グリエルは

YM というわけで敵は4EXP

シルク戦闘が終わったのなら、手 と15GOLDを置いていった。 モノディ 当〟をしたいんですが? 1回の手当でヒロインの S すいません、お願いし

シルク モノディ すっかり治ってしまっ 回復します。 物に行こうとしてたんです?」 た。「それでシルクさんはどの建 「神殿……だったと思い

ターンもありますよ」 ころにあるんじゃない?」 モノディ いう古代都市の中枢だから高いと 「でも地下神殿というパ 「神殿というのはこう 「しょうがない、 それ

RPGの 112-71,07 たいこい そーだよも

あ::

あなたたちは |体…?

> 捜す。 大きいのがそうだろうからそれを らしい建物を捜そう」多分一番

りません。 なんだろうけど今は見るかげもあ もとは大きくて栄えてた町

けるならのぞいちゃうよ。 モノディ 途中で民家の中をのぞ YM いちおう人が住んでいたあ

ません。 とはあるんだけど……今はだ~れ もいない。荒らされた様子はあり

した。 Y M リラ 引っ越してっちゃったのかなあ」 ターのようなものに襲われて…」 モノディ 「どうしたんだろう? して、神殿らしき建物をみつけま それで町中を6時間程探索 「あるいは先ほどのモンス

KILLと同じポイント分HPが

リラ 6時間だとトップリと暮れ てません?

います。 Y M らしき建物には門に鍵がかかって もう真っ暗だね。その神殿

がいいな_ 出なくてちゃんと扉の閉まるやつ ディオ 「きれいで中になんにも モノディ キャンプしようか」 「どっかの家に入って

> YM 見張りをしていると気がつ YM 捜せばみつかります。 くんだけど、夜になるとこのあた モノディ 「交代で見張りをし

か (笑)。 リラ 空には月も星も見えないと しないんですか? りでは物音ひとつしない。 シルク え!! 鳥や虫の鳴き声も

モノディ げると星ひとつ見えない。 YM うん。この町から空を見上 そりゃ曇ってるんじゃ

はいなかったよ。 YM 日が暮れるときには曇って ないの?

同 るから考えないことにしよう(笑)。 モノディ そういうことは恐くな ちなみに風ひとつないよ。

リラ 「これはどういうこと?」 しいんですよ」 (笑) モノディ 「エントロピーがおか の中にいるみたいだな」 タスケ 「まるで、でっけえ部屋

きそうな所はありませんでした。

くらいかかりましたが他に進入で

神殿の周りを調べるのに30分

やう。 タスケ いことを口走らないでください」 リラ 「いきなりわけのわかんな いい。今夜はもう寝ち

ない?」

ということもないのね」 当に風がありません。

つだな。

タスケ 気はする。

デ・

ジャ・ヴーというや

って寝る。

モノディ

いいよみんなの所に戻

ディオ そうしよう

い出したような、思い出さないよ うな。自分が昔この町にいたんじゃ

シルク

ر.....

無理矢理思い出させるか。 すか、覚えていそうな人の記憶を タスケ 方法としては町の中を捜 る。「誰か一緒に周囲を見て回ら に風が来ていないのかチェックす ディオ たいまつをかざして本当

> いと。 リラ

YM でもなにか知ってるような

あったんじゃないかという……。 ないかというか、なにか関わりが

要するに、よくわからな

YM そうですね、なんとなく思 せんか? シルク あたしは何も思い出しま なギリシャ風のやつ。 YM 『イースⅡ』の神殿みたい シルク 神殿ってどういうふうな んとに "ある" のか。 ないんだかわかんないよ。 ディオ これじゃ空があるんだか ディオ 月も見えない? を見るけど星が見えない? ディオ 空の見える所に行って空 れる音がするくらいです。 ディオ 「上空で風が吹いている YM 火を持って歩いていくと本 モノディ 「じゃボクが一緒に」 感じなんですか? モノディ そもそも空なんて、 YM 見えません。 YM 見えない。 川に近づいて行くと水の流 ほ

YM だから鍵がかかってるんだ

て中に入ろう」

ディオ 「とにかく、神殿に行っ ていなかったことがわかります。 **YM** 翌朝になってみると雲が出

■神殿の中

ってば。

リラ 慎重に周囲を調べます。







者ですね。町の中を捜します。 リラ 後者は選択しませんから前 あるはずで、そこに鍵があるんだ いるはずで、神官の住居が近くに モノディ 「神殿といえば神官が

にあります。 YM 立派そうな家の廃虚が近く ろう」なんか立派そうな家の廃虚

ません。 2階建ての家です。 YM その家には鍵はかかってい モノディ「そこだ、行ってみよう」 てるの? モノディ 机とか椅子とかは残っ

残ってます。 残ってる調度品のようす

ディオ

銀の盾があります。 ていくとホールの中には銀の剣と 夫そうなのも多いよ。それで調べ YM 古くはなっているけど大丈 物品鑑定》 メッキ

YM 本物だよ。 だったりして」 ディオ 「本物かなあ? ディオ。ほー。何も考えずにつか

むのは不本意だけどなあ。でも、 YM 剣と盾がかかっていた壁に ディオ ぞぞぞ……。 リラ それに銀の武器でしか倒せ 士としての誇りだからなあ……。 とりあえずその武器を持つのは剣 ない敵が出てくるという可能性が

黒き水晶はそこで眠る 左に出たり右に出たり 右に出たり左に出たり 1つの入口2つの出口

のはいいんですが鍵が見つからな たのね。「銀の武器が見つかった 銀の武器はディオが取っ 「要するに迷路だね」

神殿』と呼ばれていたことがわか ひきだしの中とかはどうです? リラ 書斎らしいところの、机の を調べていくとあそこが『封印の ディオ 他になんかない? ないかという鍵があります。 YM 調べていくと多分そうじゃ 見取り図はない。書物とか 神殿の見取り図とかは? 「何かが封じこめられてる

> て書いてある本をガメていきます。 モノディ ボクはその神殿につい 「そんなものがなんで町

て持って行こう。 モノディ ちょっと重いけど頑張っ

モノディ 鍵を使う。 が混ざっていたりして(笑)。 リラ 中に1冊くらいイースの書

っているので中は暗くありません。 とは中は暗くない? ったんだよね。窓も? ディオ 進入できるところはなか YM 入り口の扉が開きました。 神殿の中の石がボーッと光 というこ

中に鏡がひとつあるだけ。 ディオ 他の扉とかはないの? で、入り口の部屋には真ん

は字の彫ってある板があります。

そこに書いてる内容は

YM ……単なる鏡のようです。 リラ 鏡にさわってみましょう。 そう、ないの。

おこりません。 YM 同じく、何も特別なことは シルク 今度はあたしが。

ディオ 銀の剣の先でつっ突いて みよう。つん。

ディオ 入っていきます。 YM 銀の剣が鏡の中にスーッと 同 「おお!」 そのまま鏡の中に入って

リラ 入れるんなら後に続きます できます。 他の人は?

いく。

モノディ じゃあ急いで入ろう。 いる。その間なら入れそう。 しばらくは鏡面が波うって

その次の部屋にもふたつ鏡がある だけでした。部屋ごとの鏡に入っ うまく鏡に入った一行でしたが、

タスケ じゃあおれはバーサーク

ていったのですが、入り口に戻っ 屋に出たりどうもうまくいきませ めました。 ねばと最初の部屋で作戦会議を始 ん。これは入っていく順番を考え てしまったり、敵キャラのいる部

います。 YM 入り口の部屋に戻ってしま まず、盾で入ってみよう」 でも鏡の中に入れるんだよね? モノディ

その次は盾」 ディオ「じゃ最初は剣だな、

モノディ 「入ってきたのとは別 つある部屋にでます。 M 最初に剣で入ると鏡がふた

屋に出ます。 YM やっぱりふたつ鏡のある部 の鏡に盾で入ろう」

にダメージなし。

剣と剣が火花をちらし、お互い

けばいいんだ!」 出たり。左に出たり右に出たり…」 盾、剣、の順で鏡の中に入ってい モノディ「そうやって剣、盾 リラ 「そうか、右に出たり左に

出ます。 YM そうすると大きなホールに

正解」 ホールの中央には正8面体

で、大きな部屋に出て、いきなり ていて、クルクル回っています。 その中に黒い球体が閉じこめられ のクリスタルが宙に浮いています。

でます。 リラ 相手が4人なら私も前衛に ンベル)が囲んでいます。 ドを持ったひとつ目の戦士(ディ ローブを身につけ、ロング・ソー YM クリスタルの4方を、黒い

がって4対4ね。

「剣だけじゃなくて盾

ルをあっという間に撃破。

モノディ 「ピンポーン!

リラ 大ボスだ、大ボス。

するぞっ。

で か思い出さんのか」(笑)。 いのかもわかります。 もありませんけど (笑)。 ディオーそれじゃ戦闘だよーん。

●ディンベルA 対 モノディ

ントずつのダメージ。 ●ディンベルC 対 タスケ ・ ディンベル B 狂戦士タスケが目の前のディン お互いに1発ずつ命中、2ポイ リラ

てダメージはAPを引いてある)。 イントのダメージを受けた(すべ た2ポイント、ディンベルが3ポ ルドを装備しているディオはたっ プレート・メイルとラージ・シー ●ディンベルD 対 ディオ ディオが1発、敵が2発の命中。

YM フリーになったタスケはど リラ タスケさんのうしろに下

回ります。 つ (ディンベルB) だな。 タスケ おれは目の前にきたそい じゃ次、せーの。

YM シルクさんがうしろに下

シルク 「みなさんがんばってく を取っていないので何のボーナス ださいね」、声援、のクラス特技 タスケの攻撃が1発命中、ただの ●ディンベルA 対

●ディンベルB 対 タスケ トダメージを受ける。

一撃で7ポイントのダメージを与

モノディが1発くらう、3ポイン

モノディ

とを思い出します。どうすればよ ルの中身を封印しにきたというこ YM シルクさんはこのクリスタ モノディ シルクに向かって「何

ベルに3ポイントのダメージ、ディ

お互いに1発ずつ命中。ディン

●ディンベルD

対 ディオ

オは硬い鎧に守られて、ダメージ

3ラウンド目

合計で6ポイントのダメージ。 ●ディンベルA 対 モノディ ●ディンベルB 対 タスケ モノディはさらに1発くらい、

また撃破。 狂戦士タスケ、ディンベルBを

ベルに3ポイントのダメージを与 ●ディンベルD お互いに1発ずつ命中。ディン 対 ディオ

タスケ じゃおれはフリー に下がります。 モノディ ボクもタスケのうしろ (ディンベルA) だね。

4ラウンド目

対

タスケ

せーの。

がって、ショートソードから楽器 に持ち換えてタスケさんの援護に ●ディンベル A メージはなし。 撃破。ディオも1発くらったがダ トのダメージ。 ●ディンベル D. ディオがディンベルに2発命中、 タスケが1発くらう、1ポイン

対

ディオ

ディオ 「どうしよう、タスケとい っしょに戦ってもいいんだが……」

2ラウンド目

応援にまわるよ」 ディオ 「敵を倒したあとが恐いで 「じゃあオレもさがって

5ラウンド目

シルク あたしがタスケさんを止 て、フッフッフ(含み笑い)。 YM これで敵キャラは全滅。 たまたディンベルを撃破 ●ディンベルA 対 タスケ 狂戦士タスケの攻撃が命中。 さ ŧ

タスケ&シルク せーの

めないといけないんですよね。

・ヒロインのお願い

きる。「愛の奇跡」といったとこ クした戦士を正気に戻すこともで ス特技を取ることによって、その ーLLを使うことによりバーサー いをすることができる。このSK ゲーム中に他のマイキャラにお願 ヒロインは〝お願い〞のクラ

キャラのLEVELで対抗判定を のSKILLと "お願い" される もらえるわけではなく、ヒロイン ただし無条件にお願いをきいて ヒロインが勝たねばならな

ディオ

もう表なの?

口に出さなければいけない けではなく実際にお願いの内容を い。また、単にサイコロを振るだ

お互い2個ずつだね。 YM それじゃサイコロを振って たのです」 シルク「『お願い』です、落ちつ いてください。もう戦いは終わっ

タスケ シルク (○のついた方が勝ちである) 3

つ!! シルク リラ ディオ 鏡の中に入るんです」 同 「みんなしてダッシュで 「ああーっ!!」 「逃げろおお!」 「ディオさんはやくー

くと、建物の外にでてしまうよ。 の順でホールに戻ろう」 戻るだろうから、そこから剣、盾 ディオ い押します。 無茶して鏡に突っ込んで行 「適当に行けば入り口に

> から (笑)。 れました。その瞬間タスケは正気 うわけでクリスタルを攻撃する。 ねーのかぁーつ!」動いてるものを に戻ります。動く物がなくなった 見ると攻撃するんだよね? とい バーン! クリスタルは壊 「おれの斬るヤツァーい

だ?」(笑) タスケ 「あれっ、

のは貴様か?」 わかります。「我が封印を解いた 球体が形を変えて人型をとるのが YM タスケはクリスタルの中の

や? タスケ 「封印?

たことには礼を言おう」 まあよい。とりあえず封印を解い YM 「知らずにやったことか…… 「ところでおれの仲間を

「封印を解いた礼に仲間の

モノディ ディオの背中をぐいぐ

しに行かなければっ」 シルク 「はっ! YM ここでシルクさんが思い出 しまった封印

みんなはどこ

なんだそり

知らねえか?」

モノディ 「おあっ!! なりみんなの所へ転送されます。 所へ送ってやろう」タスケはいき どこから?」 ビックリー

ロールが難しくなってきたので、 力を利用してエネルギー源にして す。昔この町では封印した魔神の きずにしかたなくモンスターを生

シルク それしか思い出さないん

系がこの町と深いかかわりがある たことを思い出します。自分の家

ような気がします。

ですか?

シルク れちゃってよー」(笑) タスケ 「いやー、なんか褒めら モノディ 「本当かなあ?」

ないのですか? シルク また神殿に入るってでき ていたから恨みも格別でしょう。 YM まあ長い間人間に封じられ

> その時点で衝撃の事実がわかると 途中でこの特技をとった場合は、

べき運命のキャラなのだ。 いうわけだ。まさに主人公となる

ターの中心めがけて飛んで行く。 から黒い影が飛び出して、クレー YM そう、神殿が崩れる。その中 すというのがパターン(笑)。 リラ いや、ここは神殿が崩れだ ディオ するとまた新しい使命が

YM シルクさんは、両親ととも にこの島に来る途中で船が沈没し

たしましたね」(笑) リラ 「というわけで、使命は果 み出す力にしていたというわけ。 た魔族はその封印を破ることがで だな。そのあとこの町にやってき 神殿の奥深くに封じてしまったん いたんだ。でも、だんだんコント

の特技をとったらわかるよ。

゛じつはプリンセスである゛

その話を聞いて青ざめ

生まれであることが発覚する。

シルクのようにキャンペーンの

あるとか、女神の生まれ変わりで

ヒロインは、実は敵のボスの娘で

つはプリンセスである』をとった

解説しよう。クラス特技で〝じ じつはプリンセスである

あるとかとにかくドラマチックな

魔神と戦わなくちゃならないじゃ モノディ 「それじゃ僕たちはあの めにみなさん協力してください」 けるためとあの魔神を封印するた 「行方不明の両親を見つ

タスケ 「かわいこちゃんの頼み **リラ** 「いいじゃないですか」 ないか」 (笑)

いたんでしょ!」 リラ 「あなたが魔神の封印を解 はことわれねぇな」

だあーつ! SKILLが取れるから銀の武器 が使える。よーし今度こそ主人公 ディオ これでレベルが上がれば

リラというわけで次回に続く。 展開になるでしょう。その後、あな じゃなく町全体が崩れさります。 た達が町を離れるころに神殿だけ モノディ ああ、派手だ! YM このレベルにしては壮絶な



台山

やがったリ

だな一巻は 困ったやつ





ダ



新作TRPGがついに始動する。 作/ORG和栗朗 画/佐々木亮

上にもでかでかと書いてあるようとにもでかでかと書いてあるように「ジェイド・キングダム」。翻訳に「ジェイド・キングダム」。翻訳に「ジェイド・キングダム」。翻訳に「ジェイド・キングダム」。翻訳に「ジェイド・キングダム」。翻訳に「ジェイド・キングダム」。翻訳に「ジェイド・キングダム」。翻訳に「ジェイド・キングダム」。翻訳に「ジェイド・キングダム」というわけするなら「緑なす王国」というわけするなら「緑なす」というない。

しくご説明するとして、気になるゲームの内容については後で詳

おうと思います。

に登場してもらって、任せてしま

ド・キングダムの住民の代表3名

All Hui, All Mui, All Mui.

さて、たいした予告もなしにいきなり始まったこのコーナー、何きなり始まったこのコーナー、のをするコーナーかと言えば、そのをするコーナーを完することになった、テーブルトークRPGを、先行紹介してしたがっ、というコーナーなのです。

00

っと、という方や、ウチはRPG あの細かいルールのやつはちょに紹介していこうと思います。 に紹介していこうと思います。 という方でも 大丈夫なように、できるだけ丁寧 大丈夫なように、できるだけ丁寧

で、ゲームの方ですが、名前は右のを持ってみられては?の機会にTRPGに関方でも、この機会にTRPGに関いを持ってみられては?のを持ってみられては?

サーラストは、佐々木亮(ささきりょせ ラストは、佐々木亮(ささきりょだくことになりました。もっぱら だくことになりました。もっぱら ておられる女性の方で、聞けば、 TRPG関係のイラストで活躍し で本人もオリジナルは初めてとの ご本人もオリジナルは初めてとのしいものが出せれば嬉しいです」 しいものが話でしたので、期待してく ださいね。

介ですが、せっかくだからジェイクですが、せっかくだからジェイスをしてみることにしました。でもつまらないので、いろいろ工ます。ただシステムを出していくます。ただシステムを出していくます。ただシステムを出していくます。ただシステムを出していくます。ただシステムを出していくます。ただシステムを出していくます。ただシステムを出していることにしました。では、サックですが、せっかくだからジェイクですが、せっかくだからジェイクですが、せっかくだからジェイクですが、せっかくだからジェイクですが、せっかくだからジェイクですが、せっかくだからジェイクですが、せっかくだからジェイクですが、せっかくだからジェイクですが、せっかくだからジェイクですが、せっかくだからジェイクですが、せっかくだからジェイクですが、せっかくだからジェイクですが、せっかくだからジェイクですが、せっかくだからいません。

回の記事にも一部出ていますので、来年の後半以降を予定していて、来年の後半以降を予定しています。何でそんなに先なのかというえば、ゆっくり良いものをということをやろうかな、と企んでいることをやろうかな、とかでいるがらです。その具体的な内容は今後売時期は? じつはまだまだ先発売時期は? じつはまだまだ先

読んでみてくださいな。

ちなみにゲームを作るのはORにくしこと、和栗朗(わくりあきたくしこと、和栗朗(わくりあきら)。元々はD&DとかAD&Dといった海外TRPGの翻訳をしてたんだけど、半年ほど前に某社から「まじかるランドRPG」とかいうアヤしいゲームを出してひんしゅくを買っていたというウワんしゅくを買っていたというウワもちらほら。

ジェイド・キングダムってどんなゲーム?



が心者用TRPGである ルド一体型なのだ

製英語なんだって。 ルールのことを言っているんだ。 どを、進行役の人が行なうための と、このテーブル~というのは和 RPGと呼ぶんだ。一応言っとく でテーブル(机)トーク(会話) ろです。通常、机を囲んで遊ぶの すごく大雑把だけど、そんなとこ れてる、戦闘、魔法、キャラ管理な では、機械が自動的に処理してく 言っているのは、ファミコンなど

他にゲームの上でも、データ表

参加企画でもあるぞ

I RPG

やあ、始めまして。僕、冒険者

すから、わ~何言ってんだか分か れでジェイド・キングダムのルー は職業じゃなくて、今17歳で、そ 験には落ちちゃったんだけど……。 じゃなくて、と申します。僕、冒降 やってるアークっていうんだ-ミリム「アーク、がんばって!」 んなくなっちゃった! て説明する……じゃなくて、しま ルや、僕らの住んでる世界につい めざしてて、昔、騎士見習いの試 者っていったけど、本当は騎士を にかく、皆さんよろしくね! う、うん……。 それに冒険者っていうのは本当 とつ、と

うものをまったく遊んだことのな ルブックの内容は、TRPGとい ルの方にも配慮した構成になる予 ゲームの第一の特徴だけど、ルー い初心者の方や、覚え立てのレベ そ、それで、右に書いてある、

説明から始まって、ルールを読み ていうのはどういうものかという 具体的には、もちろんTRPGっ

んで行く所が一番違う点かな。

やすく覚えやすいように記述す が~ん……。 年じゃあ、気が長い話だなぁ……。 とか、考え付く限りのことはやる えっ、余計なこというなって? 方は期待しててね。でも発売が来 つもりとのことなので、初心者の る、例をいれて分かりやすくする

で凝った作りにするんだって。 理解しやすい簡単なものにして 皆でワイワイ遊ぶのが普通なんだ 間であるパーティーも、キャラ1 点が違うんだ。いわゆる冒険者仲 ターなどの代わりに、人間にゲー ムと一緒なんだけど、コンピュー つまりロール・プレイング・ゲー 良く分からない人って、いる? ゲーム自体は、もっと他のところ でも何よりも、会話でゲームが進 ムの進行役をやってもらうという コンやパソコンなんかのRPG 人に対しプレイヤー1人がつき 説明しておくと、基本はファミ そういやTRPGって、何だか で、それで、ルールも比較的



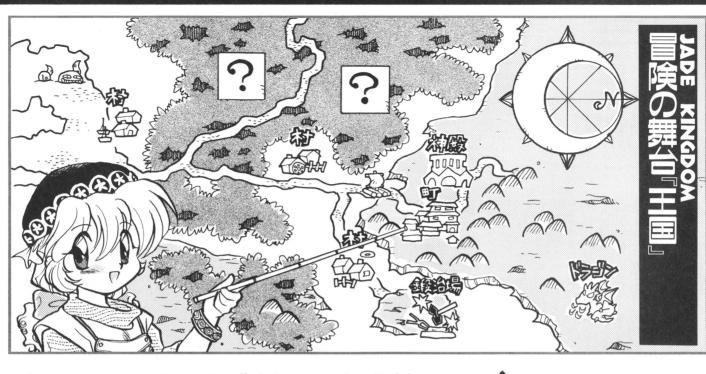
あと、ルールだのシステムだの 特別な処理を考えてますって。 PGには付き物の *地風火水の四 分かりやすくするために特別の配 ンスターとかも出来るだけ避け、 大の精霊の概念』とか、伝承のモ 大丈夫なように、ファンタジーR しく無い人や、RPGそのものに 慮をするって言ってたよ。 対する知識がほとんど無い人でも とかキャラクター・シートとかを あと、ファンタジーにさほど詳 本当に大丈夫なのかなぁ……。

のヘビ〟とか、あそこの岬にいる、 名前がつくのかな。それとも、オ ドラクエみたいに、主にひらがな 名になるとかいう噂もあるんだ。 の人々の通り名が、そのまま呼び だけど、、、王国、(詳しくは後でね) ツ〟とかいう名前になるのかな? ぬるぬるグニャグニャした変なヤ オカミもどき〟とか゛サボの魔法 なんかやだなぁ。 話しついでにモンスターの名前

表は保留ということみたい の意見も聞きたいので、今回の発 ただし最終決定じゃないし、読者 えてあるとかいう話みたいだよ。 無かったけど、もうある程度は考 ルそのものには今まで全然触れて そういや魔法とか戦闘とかルー

ステムにした方が良いか、ご意見 や10面体、果ては12、4、20面体 大方のTRPGみたいに、8面体 のゲームにした方が良いか、他の 軽に入手できる6面体ダイスだけ の終わりを見てね。 お待ちしていますって。 のダイスを使用したにぎやかなシ を取りたいんだって。どこでも手 (サイコロ) についてアンケート あと、ゲームで使用するダイス

はあ、やっと終わったよ。疲れた



薬草や薬の勉強をした者のこ

ますしね。そうそう、地図の、?。

マークの所は、読者の皆さんに考

ールドを使用

統治を行なっておられるわけでは おられますが、敬称ですし、実際に

次回ゆっくりとご説明しますね。 ありませんから。王国については

キャラクターの選べる職業は、

つに王様がいるわけではないんで

そういえば王国と言っても、

よ。*ご領主様〟と呼ばれる方々は

ページを見てくださいな。 る所なんですって。詳しくは次の えていただこうかなと、とってあ

うのは、ルールからワールド(冒 とワールド、それにシナリオ(ス ェイド・キングダム』は、ルール んだそうです。でも何故か、『ジ のための余裕を残しているからな はわざと大雑把な設定で済まして るようになっているか、ワールド 険の舞台となる世界)が切り離せ りとくに原作の無いTRPGとい のことを指しているんですって。 だきます。よろしくお願いします。 たゲームとなっています。もちろ を作りたい場合のことを考え、そ イヤーの方が、自分で独自の世界 あるのだそうです。これは、プレ いうのは、冒険の舞台となる世界 ド・キングダム(緑なす王国)と んこれには理由がありまして、 トーリー)までが完全に一体化し グダムについて、説明させていた 主に私たちの世界ジェイド・キン それで、普通、オリジナル、つま そういえば、タイトルのジェイ

●実際に世界を1つ考え出すのは かなり大変な作業なので、発想

> ●ルールとワールドなどが一体化 サポートしてしまう。 していれば、いろいろ凝ったこ を逆にしてゲームの中で完全に

や、パマスターがプレイヤーにワー ら、上級者の方でも満足できる。 ルドがしっかり設定されているか 始められるというメリットもね」 ターが初心者でも、すぐゲームが ワールド一体型で、詳しい設定が ルドのイメージを伝えやすい〟と あらかじめ成されていれば、マス 「さっきは言えなかったんだけど、 「ミリム、僕も少し喋っていい?」 あと、『ルールは簡単でも、ワー あら、アーク。ええどうぞ! ルドもより深く表現できる。 とも出来るようになるし、ワー からなんだそうです。

ます。上に載っているのが王国の 町1つと5つ程の村からなってい ます。王国は、あまり広くなく、 住民は、単に『王国』と呼んでい のものに話を移しますが、私たち さて、ジェイド・キングダムそ

続きましてはわたくしミリムが、

てて、それに関連したものみたい に鍛冶屋ってなんだ?」 れてるんですって。 薬草師、盗賊などが候補にあげら 魔術師、冒険者、鍛冶屋、騎士、 そうで、今のところ村民、町民、 まだはっきりとは決まっていない 「司祭がいないような……。 アイテムのルールが少しかわっ

じゃあ後はパオくんにタッチねー



いうのもあると思うの。



3 「最後はボク、パオが話すね」

(ただの子供・7歳) ムの弟。アークにいつも遊 でもらっている。 両親がいない 元気な子である。 っているのは、

がいじわるするよう…… (泣)」 考えよっと……あと、ボクでも魔 てよ~、とか、そういったことさ」 僕の考えた設定やアイデアを使っ とか、こんな魔法を使いたいとか 法が使えるようになるといいな」 「え〜ん、お姉ちゃ〜ん、アーク 「ふーん。じゃあボクも怪獣とか 「パオくん。アークをあんまり困 「そりゃ無理だって(笑)」 「ここはこうなってた方が楽しい 「『いけん』って、な~に?」

さ……みんなで作るんだよね」

「そう、ジェイド・キングダム

と、「どくしゃしゃんきかく」」

「違う! 読者参加企画だろ」

「ん~と、そう、それそれ。どく

紙に書いてもらったから……え~

「うん、さっき、お姉ちゃんに、 「何を話すか分かってるか?」

意見を取り入れて、わいわい作ろ のワールド型RPGだから、皆の の3番目の特徴だけど、せっかく

ということにおちついたんだ。で とくに重視するし、特別な対応を 見としてどんどん送って欲しいっ にワールド関係の設定中心の募集 方には内容が難しくなるので、主 と、TRPGに詳しく無い読者の まで扱うと時間が掛かり過ぎるの うと思ってたらしいけど、ルール ルやアイデアの募集から始めよ いって。最初は戦闘や魔法のルー 考えるってさ」 てよ。特定の意見が多い場合など ルに関する要望、アイデアでも、意 も、基本設定の変更希望や、ルー 「え~ん、アークお兄ちゃん、

クにもしゃべらせてよう」 「あぁ、ごめんごめん さい。何でも大募集の方は、 ールに関する意見・希望、ワー トはがきは不可)でお送りくだ 先まで封書かはがき(アンケー

キャラクター

(ZPC)

の具体的な紹介に入ります!

より楽だし、皆の意見の調整もし したのもそのため。ゼロから作る 「ちぇつ……」 「王国自体の設定をある程度用意

場合、ごこのこのアイデアはこ れば、それがゲームに採用された やすいしだろうね。」 送ればいいのよ」 「うん、考えたことを送ってくれ 「下に書いてある所まで、 「考えたらどうするの」

だけゲームに反映させますって」 重なアイデア、意見として出来る お便りが届いてますと、スペース るかは分からなくても、こういう ちゃんと載せてくれるんだって」 の人が考えてくれました。って、 の許す限り紹介して行くって」 かにも載るんでしょ」 「うーん、基本的にはワールドに 「なに考えてもいいのう?」 「それに誌上に載らなくても、貴 「そう、最終的にゲームで採用す 「うん。それに『ろぐあうと』と 「パオくんのも載るといいわね」 とりあえず

関することを中心に考えてほし

参加です。今回はまず、何でも というわけで、お約束の読者

モンスター、アイテムのアイデ

と、次回に扱う『職業

あて先

〒107-24 東京都港区南青山6-11-1 スリーエフ南青山ビル (株)アスキー ログアウト編集部 『ジェイド・キングダム』係 パオは絵にすれば?」 ら、好きなように書いてってさ ルもまだ内緒にしてあるわけだか 「わざと制限はもうけないし、ルー 「どんなふうに書けばいいのぉ?」

が良いのかしら」 てあげるわね。出すのは急いだ方 「じゃあ、かけたら私が出してき

切を過ぎても応募そのものはOK たよ。でも、この締切は単に次号 日までだって。日にちが少なくて に間に合わせる場合のもので、締 ゴメンネって、編集の人が言って 「とりあえず今回の締切は11月20

いだよ」

「ふーん」

だって。いつでも受けつけるみた

ムもちゃんと考えるんだよぉ!」 送ってくれってことみたい。ミリ たら、いつでもいいからドンドン

「とにかく、いいアイデアが出来

しょう」 ~ す! 」 「たくさんのおはがきを待ってま 「みんな、またね~」

といった所で今回はおしまい」

「はいはい、わかってるって! 「アークも参加しなくちゃダメよ」

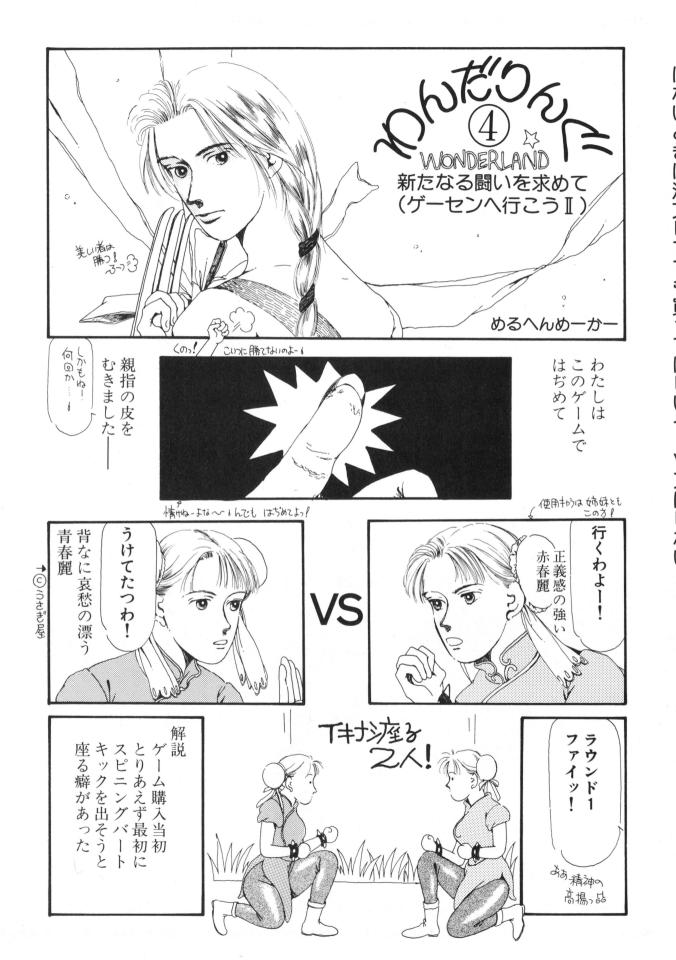
「それではまた次回お会いしま

おたがは 255%

を中心に、いよいよゲーム内容 紙の片隅にでも書いてください 6面体だけの方が良いか、お手 ます。ゲームで使うサイコロは 稿の第1弾発表&″職業と魔法』 齢もお忘れなくし すよ。あなたの住所、 ジ・イラストなんかでも良いで アなど何でもOK! で、次号はというと、読者投 そうそうアンケートも行ない

だろうかとか書いて、右のあて 法のルールあるいは呪文はどう あったら楽しいとか、こんな魔 はと思わん方は、こんな職業が と魔法』を募集します。我こそ

にないときは注文してでも買ってほしいぞ。ソンはしない!一わんだりんぐWONDERLANDの単行本が絶賛発売中だっ 価格は640円[税込]。本屋さん



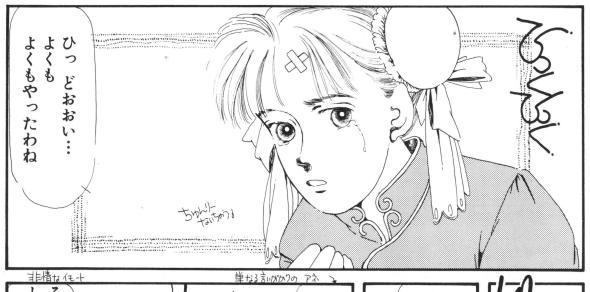
| | きなキャラを選んで、世界各地で待ち構える格闘家たちと闘うのが目的。これだは人気を誇る格闘ゲームである。ブレーヤーはそれぞれ特徴ある8人の中から好|| | ●ストリートファイターⅡ | 今やこの名前を知らない人はいないくらい、爆発的

これだ(飛ぶお相撲さんや手足が伸びるヨガの達人など。だてに『ストⅡ』ではないのだ。から好) 格闘家たちが支えているからである。気を放つ空手家や電撃攻撃する野性児、空爆発的) けが目的なのに、なぜいつまでも人気が落ちないのか。それは個性豊かな8人の



り、いちおう、このゲームの主人公である。しかしストⅡの唯一の女格闘家、中 とそのライバルでアメリカ代表のケン。このふたりは前作のときから登場してお ●8人の格闘家の中で比較的バランスのとれたキャラ、日本代表の空手家リュウ

いつても、8人中最速を誇るそのスピード。それから初心者でもそれなりにあつ国代表の春麗がこのゲームいちばんの人気者なのだ。このキャラの特徴はなんと かえる簡単な操作方法。人気の秘密はここにあるかもしれない。





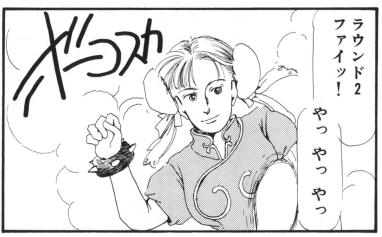




なさけない姉妹をブッてたっちりない。



険悪にする 人間関係を

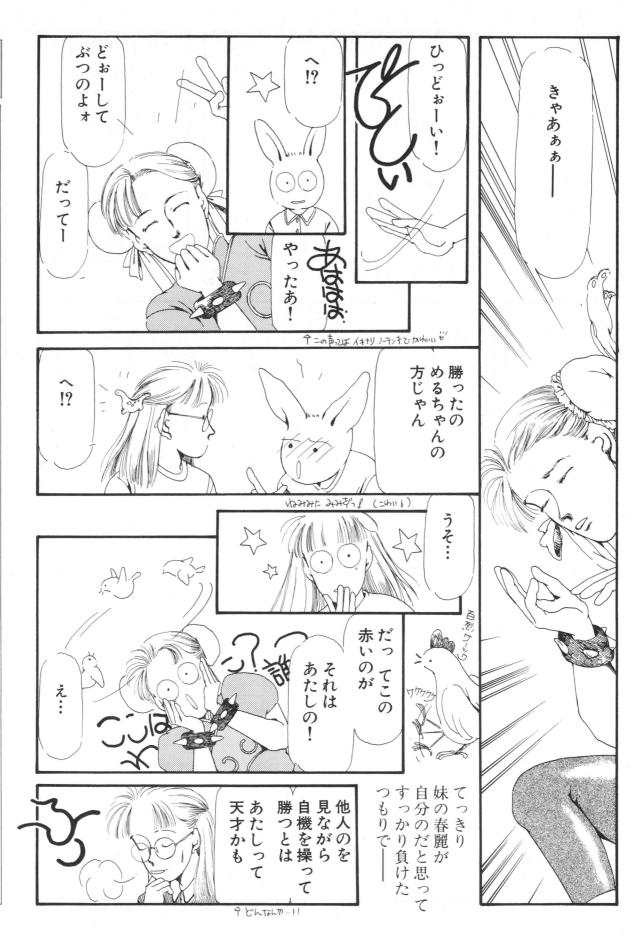




ああ、あたした すなけな

エドモンド本田である。体で電気をおこしたり、丸くなって体当たりをしてくるでも群をぬいて変人または奇人ともいえるのがこの3人。ブランカ、ダルシム、●このゲームにはかなり人間離れした格闘家たちが登場しているけれど、その中

7る 手足まで伸ばしてしまうダルシム。これら3人、変わり者だけにファンも多い。3、 ぶ頭突きまで放つエドモンド本田。極めつけは口から火を吐き空飛び、おまけに9中 野性児ブランカ。お相撲さんでありながらボディブレスやさばおり、そして空飛



とができる。まだまだストⅡの人気は衰える気配を見せないだろう。 ガット、ベガの最強四天王がいる。ストⅡのパワーアップ版、『ストリートファイ (ダッシュ)』ではこの四天王も含めて全部で12人の中から選んで闘う?



今日a成果 大漁だったぜい つ 死者 正正节 征服 正正正 HT" り景品を手に入れる。ただそれだけなのだが、これがなかなか難しい。 やおもちゃ屋さん、コンビニにまで置いてあるこのクレーンゲーム。アームを操 ●クレーンゲーム 根性 屆人 w.ko 碘 ちまたではゲームセンターだけではなく、カラオケボックス なったこと— とれるように 獲物が 見るのと 人にあげるのは 好きだった* 711/50 TEEDS TO THESE ? とれちゃったうわー 某イト 思いこんでたし、そんなに愛が、かったし、とんなに愛が、なかったし、いるのでは、 ××店 とある ああ もともと n れとれるかも 今や小学 \exists か カド 魅かれて 2回100円に とり トラと やすそー ホルトに とれるんだあ な - 投入したのが 運のつき それ が が どちかってく形めが好きだったの おなかずいたよーキューち.. お腹を めいぐるみ の 他中でちょうかんと

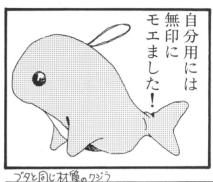
0

りここまで大ブームになったのか。その理由としてはやはりセガが出した、アン 生から高校生、サラリーマンやOLたちまでが熱中プレーしている。なぜいきな パンマンシリーズのかわいらしいぬいぐるみたちの、おかげではないだろうか。

ルトラマン、ゲゲゲの鬼太郎、鉄人28号など、昔懐かしいキャラクターたちが、 種類は今ではいったいいくつあるのだろう。数えきれないほどあるその中で、ウ ●ぬいぐるみを景品としたクレーンゲームが数々と登場している。ぬいぐるみの

るガイドブックや攻略本が各社から出ているが、アスキーからも『クレーンゲー いちばんの人気者である。そういったぬいぐるみのことやクレーンゲー ム攻略の手引き』が絶賛発売中なのだ。定価は650円 [税込]。買つてねん! - ムに関す

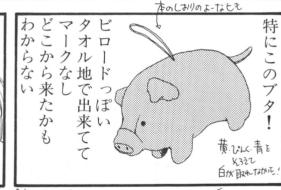






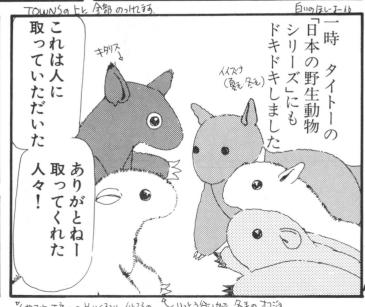














ロストラビリス

关为加强器室

第4回

画横山宏

アマツシの奥地、ポルト・エルドラドへの 特派を命じられたマッキイとタクロウ。金 色の飛行物体からの攻撃を回避し、やっと のことで現地にたどり着いた彼らを待って いたのは、日本語を話す謎の少女だった。

穴が開いている」 「……ダメだ! フロートの片方に、大 機体を点検してもどってきたリックが、

とタチが悪い。このままじゃあ、まるで、 どうしようもない。翼の破損より、もっ な荒っぽい声で続けた。 太い息をつき、 苛立ちを吐き散らすよう 「とにかく……くそッ! あれじゃあ

身動きがとれんよ……」

濁った水流が渦を巻いている。 ように傾き、河に浸かった翼端の回りで 彼の水上機は、浮き桟橋に寄りかかる

保つか……。 水没を免れているが、それも、いつまで エンジン部分や操縦席は、今のところ、

んですか?」 「なんとか……その、修理の方法はない

おそるおそるー

「ぼくらも、もちろん、できるだけ、手 ぼくは、問い返してみた。

ミたちに手伝ってもらえることは、 あま 伝いますから……」 「ハイホー! 気持ちはありがたいが、キ

揚げにゃならん。 らんから、すぐにも、 のあたりの水路は、いつ増水するか分か すぐに胴体が沈没する心配はないが、こ 、機体を、陸に引き

れれば、なんとかなる。 それは、まあ、いい。人数さえ集めら

とても、無理だな。 排水して……破れ目を塞ぐとなると…… しかし、それから、フロートを外して

> んで来てくれるとは思えんよ。 〇日は待たされる」 まずは、一週間……下手をすると、 しかし、この奥地だ。そう簡単に、 飛

「それじゃあ……!」

ぼくは聞き返した。 慌ててし

ですよね」 なくちゃならない……と、そういうわけ 「それまで、リックさんも、ここに、い

投げやりに言って

「まあな」

もらえるかね。それと……ついでに、キ しばらくは、イヤでも、顔を合わせてい ミの名前を教えてもらえるとありがたい。 に目をやった。 「ところで、お嬢さん。無線機を使わせて リックが、かたわらに立つ、謎の少女

「おっと!その前に、こっちから先に そして、付け加えた。 ることになると思うんでね」

名乗っておこう。俺は、リックだ。リッ と呼んでちょうだい」 ク・テイラー 「OK、リック。あたしのことは、ミラ

「フルネームは、ミランダ・チャベル・ 少女が答えた。

カワサキよ」

まり、それは……」 のやりとりは理解できたらしい。 「えッ?! カワサキ……っていうと、つ 英語音痴のタクロウにも、 そのくらい

横から、口をはさむ。 唐突に――

日本語で応じた。 と同じ・・・・・?」 「ちょっと、違うのよね」 「あの、バイクを作ってる日本の製鉄所 にこり、と白い歯を見せたミランダが、

の *河』に山偏の *崎』で、河崎……お 「あたしのは、三本川じゃなくて、三水

ように見える。

皆が、何かにおびえ、疲れ果てている

屋を呼ばにゃあならん。

どうあれ、マナウスから、専門の修理

ですか?!」 「そう……あたしの父は、確かに、日本 「じゃ、じゃあ!」 驚いて-ぼくも、質問した。

地の生まれ……ええ! チャベルという と、ずっと、ここで暮らしてきた本物の てきた考古学者なの。でも、母は、この土 姓を受け継いで……先祖の時代から、ずっ 「父は、河崎源太郎という、日本からやっ

体からの攻撃だった。

不穏な態度と、金色に輝く謎の飛行物 らを待ち受けていたのは、住民たちの かしセスナでアマゾンをさかのぼる彼 エルドラドへと向かうことになる。し 人もの特派員が行方を断ったポルト・ アメリカの雑誌社の要請で、過去に何 るマッキイとタクロウの特派コンビ。

そして――

英語で続けた。

きているかを、あなたたちに理解しても らう必要があるわ」 てらっしゃい。この土地で、今、何が起 「とにかく……さあ! あたしに、つい

2

桟橋の回りに、大勢の人間が集まって いつの間にか

格好もさまざまなインディオたちが、二 ○人ほどー ここ……ポルト・エルドラドの住民で 白人の男女が、一〇数人……それに、年

こか、おかしい。 情を説明する。 ブラジル語 (変型ポルトガル語) で、事 そこに集まった住民たちの様子が、ど それにしても 彼等に対し、ミランダが、早口の英語と

前回までのあらすじ

世界中を飛び回り特ダネをものにす

「もしかして……あなたは、日本人なん

ぼく

に答えた。 ミランダが、 微妙な言い回しで、

南米人だわ」

著者近況



怖の年末進行は確実に迫り来る。うー られるかッ、という状況。しかし、恐 ん……はっきり言ってアブナイ! だ!)が重なって、仕事なんてしてい ローズ優勝(国鉄時 川又千秋(かわまたちあき) 代からのファンなの DQVの発売にスワ



凝ってます。お店で 横山 宏(よこやまこう) 売ってるのは、アメ 最近、手作りピザに

これが大成功。作り方は次回に。 の生地を小麦粉からこさえたんだけど とんど。なわけでパリパリイタリア式 リカナイズされた、フワフワ生地がほ

反応も鈍い。

のように、動きがぎこちない。 そんな中で・ まるで……そう……魂を抜かれた人形

るのだった。 間らしい人間として、ぼくらに対してい た少女だけが、ただ一人、精彩を保つ人 ミランダ・チャベル・カワサキと名乗っ

(それにしても……)

そしてー 日本人考古学者を父に持つというその少 いったい、何者なのか?

るのは、いかなる状況なのかり 彼女が、ぼくらに説明しようとしてい

ともあれー 不安が募る。

に向かって歩きだした。 橋から三〇メートルほど離れた木造の小屋 ミランダの案内で、ぼくらは、浮き桟

集まっている。 に分かれるあたり……似たような掘っ建 て小屋や、天幕が、ごちゃごちゃと寄り 踏みならされた道が、うねうねと左右

どうやらー

当たるらしい。 るかどうかは別にして……の、 そこが、この町……ここを、町と呼べ 中心部に

そしてー

いるのである。 しの利かない濃密なジャングルが迫って もう、それら建物のすぐ裏手まで、見通

思わずー

と震わせた。 **熱気の中で、ぼくは、背筋を、ぶるり**

ドラドと名付けられた一帯には、わけの に想えるのだ。 分からぬ不吉な空気が立ちこめているよう なんと言うか……この、ポルト・エル

> を吸い込んだ。 息苦しさを感じて、ぼくは、大きく息

式になっており、急な梯子を伝って、中 へ入る構造だ。 湿気を避けるためであろう、それは高床 小屋に着いた-

き出ている。 のてっぺんから、アンテナ・タワーが突 粗末だが、がっしりした造りで、屋根

ベッドとテーブルー 内部はかなり広く、一方の窓際に簡易

囲っている。 が置かれ、それらを、スチールの書棚が とするさまざまな機材が雑然と並ぶ作業台 そして、反対側に、通信機器をはじめ

な場所である。 住居兼研究室といった印象の、 殺風景

うだいし 「無線機は、そこよ。自由に使ってちょ

かる。ひとりで、できるさ」 そう……その、作業台の下にある、ピス る発電器を始動させなくちゃならないの。 トン式の……手伝いましょうか?」 「これだね? 大丈夫! 使い方は、 「ただ、送信をはじめる前に、接続してあ ミランダが、リックに言った。

もしれないし……」 かで、だれかが、聞き耳を立てているか 燃料がとても貴重なの。 それに……どこ るわ。でも、長話は困るわよ。ここでは、 「了解だ、ミラ」 「じゃあ、セルフ・サービスでお願いす

ら、リックが答えた。 自家発電器の始動ケーブルを操作しなが

礼。レデイ相手に、下品な話をしちまっ らしいが。はは……! いや、これは失 元女房は、どうも、そいつが不満だった でも素早いってことさ。もっとも、俺の た。まあ、とにかく、俺は、無駄話が大ッ 「心配はいらんよ。俺の取り柄は、なん

> 嫌いなタチで……」 どうにもし

用するわけにはいかないようだ。 彼の『取り柄』とやらを、そのまま、信 リックの、そんな軽口を聞いていると、

ともあれー ブルン! パンパンパン……!

じめた。 業台の前に座ったリックが、ガイド・ラ ンプの点った送信チューナーを調整しは 甲高い音を発して発電器が動きだし、作

「それで、と……」

キイさん……よね。でも、どっちが、どっ ええと……確か、タクロウさんに、マッ ウを順に見つめ、切り出した。 「何から、話そうかしら。あなたたちは、 振り返ったミランダが、ぼくとタクロ

んですね」 オデジャネイロの支局から連絡してきた 「あ……それ! ぼくらコンビの名前、リ

こと富田林祐太朗! そして、こっちに いるのが、アシスタントくんー し、気取った声で自己紹介した。 イさんね」 「ははん? じゃあ、あなたが、マッキ 「ナニを隠そう、このぼくが、タクロウ タクロウが、うれしそうに身を乗り出

「はい! 牧村光彦です」 ミランダが、ぼくに微笑んだ。

「でも、あの……もちろん、マッキイで、 ぺこり、と頭を下げて、 ぼくは言い足

れ歩いてるだけですから、気にしなくて かまいませんけど」 「ま、このアシくんは、通訳がわりに連

いいですよ」

うに腕を振り回し、続けた。 が起こっているのか、手っとり早く話し 「それより! いったい、ここで、ナニ タクロウが、 彼女の視線をさえぎるよ

つかまっちゃって。 に……ったくもう!ロスで、いきなり、 ジュールが、こんでるんですよね。なの てもらえませんか? ぼくら、これでも、けっこう、スケ

ぱり、状況がつかめなくって」 てはみたものの、ナニがなんだか、さっ て、仕方なしに引き受けて、ここまで来 たいっていうことで、頼みこまれちゃっ どうしても、 ぼくらに取材をお願いし

タクロウー流の 『口八丁』 であるが、

めない」という点に関しては、まさに、そ 「ナニがなんだか、さっぱり、状況がつか

早くウィンクした。 「まあ!」 ミランダが、鼻の頭にシワを寄せ、

さんってわけね」 「つまり、あなたたち、売れっ子の記者

界には少なくって」 ジャーナリストってのが、案外、この業 ただ、こういう仕事を手際よくこなせる

「頼もしいわ」

女が応じた。 嫌味とも本気ともつかない調子で、 彼

そしてー

ちに、お見せしたいものがあるのよ」 際の書棚まで歩いたミランダが、小さな 木箱を手にもどってきた。 「じゃあ……まず、その、腕利きさんた くるり……と、ぼくらに背を向け、壁

と声を上げた。 「なんです? それ……」 のぞきこんだタクロウが、「おうッ!」 テーブルの上に置き、蓋を取る。

「これは珍しい、恐竜土偶だ! いや、土 そしてー

しろ、不細工と言ってもいい。 それは

素

「いや、ナニ・・・・・その、それほどでも・・・・

やや、声を低め、続けた。

をのばした。 偶じゃなくて、石像かな? どっちにし てだなア。ちょっと、触ってみても、い いですか?」 ても、本物を見るのは、ぼくも、はじめ ミランダが許可を与えるより先に、手

3

決して、上出来の偶像ではなかった。む

模型のようにも見えた。 子供が粘土をこね上げて作った怪獣の

般に "恐竜土偶" と総称される出土品に よく似ていた。 その意味からも、それは、確かに、一

どったよう見えるところから、世界的に ツ』の一種である。 論議を呼んでいる、いわゆる ″オーパー の形が、数千万年前に絶滅した恐竜をかた ばしば発見される先史時代の遺物だが、そ 恐竜土偶というのは、南米各地で、し

中には一

しかなくなるのである。 は、人間と恐竜が共存していたと考える の産物と信じるなら、ある時期、南米で 図の土偶もあり、それを、そのまま写実 恐竜の背中に人間がまたがっている構

間が誕生するより遙か以前に地球上から姿 作物と考えている。 くの学者は、それを、単なる想像的な製 を消していたはずであり、そのため、多 古生物学上の常識によれば、恐竜は、人

たのか? 身の回りに存在しない恐竜の姿を空想でき そうした土偶の製作者が、どうやって、 だとしても、謎は残る。

作り上げねばならなかったのか?

なぜ……そのような土偶を、いくつも

そしてー

主張する研究者もおり、南米の風土、環 た恐竜が存在したことの直接的な証拠だと 品は、かつて、南米に、絶滅を生き延び にいかないという意見もある。 境からして、その可能性を否定するわけ 学問的な常識に反して、そうした出土

どちらにせよー

いまだ、それらの謎を、完全に解明す

をやった。 されていない。 とがない。 知識だった。 この、石像から、電気が――」 沢を放っている。 ではないことだった。 うに、それが、粘土製の、 によく似ていた。 まっているそれは、写真で見た恐竜土偶 のは、ぜんぶかき集めても、その程度の るに足る仮説や説明は、どこからも発表 品みたいに、さ」 て、「ぎゃッ!」と悲鳴を上げた。 製品を思わせる、 ぬめりを帯びた鈍い光 「そう。ただの石像にしか、見えないで 「ど、ど、どうしたって……電気が! 「ええッ? デンキって……」 「まさか! だって、それは、どう見 「ほら! あの、電池入りのビックリ用 「ビリッときたんだよ!」 「あ……どうしたんです?!」 (……似ている) タクロウが、わめく。 それにし ミランダが持ち出してきた木箱の中に収 ぼくは、のけぞったタクロウの肩に、手 そして、 無造作につかみ上げようとし タクロウが、手をのばした。 表面は磨かれたように滑らかで、樹脂 大きな違いは、タクロウも指摘したよ しかしー もちろん― 恐竜土偶に関して、 ぼくが持っている とりあえずー 驚いて一 土偶の実物には、写真でしか接したこ 石像であろうか! いわゆる土偶 あるぜ」 り込まれている。 ナニか……文字みたいなものが、刻んで

ごらんなさい」 をのぞきこんだ。 させた結果かもしれない。 予期していたから、慌てなかった。 クに似ている。 面は磨かれたように滑らかだ。 し、目の前まで持ち上げた。 覚が伝わってくる。 像を包んだ。 を触れてみる。 い刺激でもない。 「お、おい……だいじょぶかよ?」 「……握って!」 「でも……マッキイ、あなたも、試して 「それを、握ってみて……」 そして、言い足した。 タクロウが、横から、ぼくの握る石像 それを、ゆっくりと、木箱から取り出 刺激は続いている。 ミランダが、言葉を継いだ。 うながされ― ミランダが、言葉をはさんだ。 年月と、そして人の手が、凹凸を摩耗 ずしりと重く、素朴な造形ながら、 高さは、一五センチくらいー ちりちり……と、こそばゆいような感 言われるままに―― 実際、馴染んでしまうと、それほど強 ただし、ぼくは、あらかじめ、それを ピリッ! ときた。確かに、電気ショッ 箱の中の石像……らしきものに、指先 ぼくも、おそるおそる、手を出した。 ぼくは、のばした右の手のひらで、石 表

> だが……思い出せない。 そんな図案を目にした覚えがある……の に思えるが、意味は分からない。 作っている。 にからみあって、ひとつの『かたち』を な形象である。 いつか……どこかで…… (……なんだろう?) そう……どこかで、見たことがあるよう その、かたち-そうし なんとはなしに、見覚えのあるかたち 分かりそうで……分からない。 古代の絵文字だろうか……? 細い線と太い線が、迷路のように複雑 なおも顔を近づけ、目をこらす。 目をこらした。

……確かに、それを……。 りも……ずっと昔……ぼくは……ぼくは ていた……ような気が……する。 広がりだした。 ねりながら、ぼくの目の前に、みるみる 昔……むかし……ぼくが、生まれるよ そして! そしてー その胸に刻まれた紋様が……ほどけ、く 手の中の恐竜が、蠢いた。 それが、動きだした。 遥かな昔……ぼくは、その意味を知っ いきなり

こえていなかった。 「……うわああああああ!」 ぼくの耳には、自分の声が、まるで聴 声を張り上げた……つもりだった。 ぼくは、叫んだ。

「……あ、ほんとだ」

ぼくも、気づいた。

うっすらと……象形文字風の紋様が彫

「見ろよ!その、恐竜の胸のあたりに、

べき光景が展開されていた。 ぼくの眼前では、見渡す限り……恐る それどころではなく それどころではなかったー

燃えていた!

震えていた! 大地が――

大地を砕き一

空を裂きー

注いでくるのだった。 凄まじい火の玉が、次から次に、降り

そして!

ていた。 その下で、何もかもが、吼え、荒れ狂っ

そう!

ぼくは、視た!

に燃え上がった。 落下する火の玉の一撃で、森が、一瞬

湖が、瞬間に沸き立ち、噴煙を上げて、

いくのだった。 て山肌を駆け下り、平原を埋め尽くして あるいは……沸騰した氷河が、怒涛となっ 山脈が引き裂かれ、渓谷が粉砕され……

その中で一

無数の生き物たちが、のたうちまわっ

恐竜がいる。

逃げまどう群れがある。

焼かれた昆虫や鳥たちだ。 ばらばらと舞い落ちてくるのは、翼を

のが、視野をかすめた。 猛火の中で泣きわめく、

(……地獄だ!) まさしく

だった。 それは、地獄絵そのままの凄惨な光景

いきなり、天が炸裂した。

それは一

出現だった。 底へ沈みこんできたのだ。 あらゆるものどもの頭上を圧し、大気の 太陽さながらに轟々と燃え盛る球体が、

そしてー

地表に、激突した!

何もかもがっ すべてが、掻き消えた。

人影らしきも

のさなかに吞み込まれた! その一瞬に空白となり、圧倒的な『無』

そう……ぼくは、視た。

目撃した。 間違いなく……ぼくは、そんな世界を

そして

空全体が、まばゆい白熱の閃光で満た

まれた。 同時に、真っ白な虚無の底へと投げ込

そしてー

そして……。

ひときわ巨大な、金色に輝く大火球の

……しっかりしろ……」 「……おい! どうしたんだ、マッキイ

が響いてきた。 意識の片隅から、タクロウのわめき声

身体が動かない。

やりと声を聞き分けているものの、 の居場所がどこなのかを摑めない。 「……待て! 俺にまかせろ」 肉体の感覚がない。意識だけが、 次に聴こえたのは、リックの銅鑼声だ



頰だ! 直後— ふッと目蓋が開いた。意識が覚めた。 痛みが連続する。 右……左……また、右-何かが、弾けた。 それでー ついで、痛みを覚えた。

「……あいてッ!」 そこへ、もう一発!平手が襲ってきた。 リックの、いかつい顔があった。 目の前に一

さぶった。 「おッ!」正気にもどったぞ」 リックが、ぼくの肩を乱暴に摑み、揺 ぼくは、悲鳴を上げた。

ていうんだ、え?」 「しっかりするんだ! どうしちまったっ

ながら、ぼくは上半身を起こした。 リックに抱えられ、うめき声をもらし そしてー

あたりを、見回した。

どうしたんです?」 から、ぼくを、のぞきこんでいた。 「それは、こっちが聞きたいとこだぜ、っ 「あ……あの……ぼくは……いったい、 タクロウとミランダが、 リックの両側 小屋の中だった。

りで、しゃべり続けてたんだぜ。ったく わけの分からないことを、ずっと、ひと にかなっちまったのかと思ったよ」 もう……暑さのせいで、アタマが、どう ふらふらッと床に倒れこんで、ナニやら、 たくもう!」 「おまえ、覚えてないのかよ。いきなり、 「そんな……でも……」 タクロウが、唾を飛ばして、言い募る。

ぼくは、ぶるぶるッと、強く首を左右

「あ……ううッ……」

に振った。 夢か……?

い、白日夢を見たのかー (……いや!) それにしては、余りにも、記憶が生々 室内にこもる熱気に浮かされて気を失

身を置いていた。 地獄絵……破滅の中に、ぼくは、確かに ほとんど、体験と呼んでいい。あの…… はっきりと ぼくは、あの光景を覚えていた。

明すればいいのか? それこそ、アタマが、どうにかなってし そんな……気がする。 しかし……そのことを、どうやって説 しかしー

> 右手に目をやった。 手のひらは、開かれていた。 はッ……と気づいて、ぼくは、自分の

がっているのが見えた。 固く握っていたはずの石像が、床に転

するとー

そしてー

テーブルの上にもどしてから、振り向い た。腰を屈めた彼女が、石像を拾い上げ、 て、ぼくを見つめた。 そこに、手がのびた。ミランダの腕だっ

した低い声で、ぼくに告げた。 「マッキイ……」 口元を軽く歪めた彼女が、ゆっくりと

たは、本当に、視たのよ。つまり、あな たには、あれを視るだけの能力が備わっ 「そうよ……夢なんかじゃないわ。あな

まったと思われるのがオチではないか?

(しかし……)

をにらんだ。 激しく感応したのは、今までで、あたし ものが、関係しているんでしょうね」 い、何が起こっているんですか!」 のは……! それに、ここでは、いった が発した感応波を嗅ぎつけたのよ!」 感じたんだわ。恐らく……彼、マッキイ そうとした、その時ー か……妙なことが体験できるんですね? の母だけなんですもの」 は分からない。たぶん……体質のような 激しか感じない人も多いの。 なぜか…… るとは、かぎらないのよ。電流のような刺 ンダが言った。 「来ると思った……やつらも、きっと、 「てことは、つまり、それを握ると、ナニ 「それにしても、驚いたわ。彼みたいに 「なんなんです?! ぼくが、さっき視た 「教えてください!」 「トルクァトルが出たぞッ」 「トルクァトルだ!」 「ただし、みんながみんな、同じ体験をす 「来たわね!」 急に、小屋の外が騒がしくなった。 ミランダが、ぐいと眉を上げ、窓の外 よーし! じゃあ、ぼくもー そして、付け加えた。 テーブルの上の石像を指さして、 ミラ ぼくは、彼女に叫び返した。 その言葉が、耳に飛び込んできた。 叫び声が、聴こえる。 タクロウが、改めて、石像に手をのば へ出た。 「それは!」なんのために……なんの様 「……黄金機だ!」 そこにー ミランダにせき立てられ

やつらにさらわれてしまった……」 じまったんですもの。そして、そのため 郎が、この石像を発掘してきた時からは 早く取り上げ、木箱にしまいこみながら、 なったのは……だから、さあ! 急いで 人たちが次々に姿を消したり、この流域 ミランダが応じた。 に、父も、母のイシュアナ・チャベルも、 べては……そうよ! あたしの父の源太 一帯で、奇怪な出来事が連続するように 「ここにいては、危険かもしれないわ。す 「ええ。そして、それからよ。この町の 「やつらに……さらわれた!!」 タクロウが摑もうとしていた石像を、素

うことです?」

「夢じゃないとか、能力とか……どうい

「あなたも試してごらんなさい」

ていたというわけね」

「あ……あの、それ、なんの話ですか?」

タクロウが、横から口を出した。

まって、空を見上げ、叫んでいる。 町の住人たちが、浮き桟橋の近くに集 三人は、急な梯子を伝って、小屋の外

るように、それを振りかざした。 きたリックが、銃口を空に向け、威嚇す ら来い! 返り討ちにしてやる」 なく旋回していた。 「くそうッ!」しつこいやつだ。来るな 「また、あいつが現れやがった!」 しっかり、カラシニコフを持ち出して すると、まるで、それを認めたかのよう きらきらと輝く物体が、頭上を、音も タクロウが、呻くような声を発した。

も、やつらの正体を見届けてやる……」

「正体って……それは、つまり……」

げるなんて……きっと、様子を探りに来 び去ってしまう。 のまま、高度を上げ、密林の彼方へと飛 て、その目的を果たしたんだわ」 に、黄金機が、不意に機体を翻した。そ 「トルクァトルが、何もしないで引き上 「……不思議ね」 ミランダが、首を傾げた。

|石像を手にしたマッキイが見た白日夢が意味するものは?

一行はいよいよ地下へと潜る

子を探りに来たんです?」 ぼくは、気が気ではなかった。 さっきー

た。それだけに、不安が募る。 の何ものも、まだ、手に入れてはいなかっ に到着して以来、ぼくらは、不可解以外 の恐怖と興奮が、神経に染み着いていた。 裡にありありと灼きついていた。 その時 「あなたたちー しかも、ここ……ポルト・エルドラド 石像を握って幻視した光景が、まだ、脳

こっているかを知りたいのね?」 くとタクロウを順に見つめて、言った。 「そりゃあ、もう!」 「あなたたちは、本当に、ここで何が起 「さもなきゃ、ぼくら、帰るに帰れない タクロウが勢い込んで答えた。 きつい表情で振り返ったミランダが、ぼ

そうよ……こうなったら、あたし一人で ちを連れて行ってあげる。でも……それ んですから」 て。あたしには、あたしの仕事がある…… から先のことは、あなたたち自身で判断し 入り口の洞窟まで、あたしが、あなたた 「だったら、あたしが案内するわ」 「あなたたちの知らない世界へ……その 密林の奥に目を向けて、彼女が続けた。

だった。 危険をおかすつもりは……」 「おいおい!なんの相談だい」 「あの……でも、ぼくらは、それほどの 背後から呼びかけてきたのは、 そこへー タクロウが、小声で続けた。 リック

やらに、とことん付き合わせてもらうぜ」 うせ、修理屋が来るまで、やることがない んだ。こうなったら、あんたらの取材と 「俺を仲間外れのする手はないだろう。ど

へつづく>

ている記述

がんばれ火浦先生、小説書いてよ。

けで気が遠くなる。 かげか、歯医者の椅子に座っただ なことを言って励ましてくれたお 心優しい友人たちが、事前に色々 まって男ばかり』だの、私の周囲の る』だの『しかも、死ぬのは、決 たショックで、年に3人は死んで かなくなる』だの『親不知を抜い だの「1週間は、まともに口が開 『頭の中で、木が倒れる音がする』

を行ったり来たりするのが一番い 器具(ハサミだの鉗子だのヤット 3分ですむ。私は30分かかった)。 能になる。抜いた後は、傷口を針と 分を削り、それで初めて抜歯が可 を切開して、ひっかかっている部 やだった。 コだのツルハシだの)が、目の前 が、何がいやかって、血まみれの だじっとしているしかないわけだ 糸で縫うのだ。(普通の抜歯は2、 いたので、麻酔をかけた後、歯茎 その間、私は、口を開けて、た

われているのか?」 へと湧いて来るのである。どんど 『私の口の中で、いったい何が行 ろくでもない連想が、次から次

親不知を抜く。

私の場合、親不知が横に生えて

リームを食べ、もだえ苦しむ。 うからである。 ○7月17日 私は、おそるおそるアイスク テニスの後、皆で食事

んこわい考えになってしまうので

るな。 ーこれは、 絶対、 悪夢を見

から、舌をかまないように、注意 して下さい」 「麻酔で口の感覚が麻痺してます と、私は思った。 縫合が終わると医者が言った。

気が起こらず、早々に床についた。 てきた。麻酔が切れてきたのだ。 さすがに、その日は何も食べる 悪夢を見た。 家に帰ると、じわじわ痛くなっ 言ったとたんに舌をかんだ。

る。つい奥歯を食いしばってしま 人と華僑の若手選抜チーム。 てから、大井へテニスに行く。 サービスを打つたびに激痛が走 馬鹿なことをしてるな、と思う。 メンバーは、いつものSF業界 歯医者で傷口を消毒してもらっ 出血が、なかなか止まらない。

○7月21日

今年は、TVでCMを流していな プレゼントに応募するためである。 て食う。それと、プチダノン。 と思うのだが、どうだろう? いから、抽選に当たる確率が高い プチダノンは、モーモーガウン・

かった)。

○7月29日

だろーなーと思う(事実、ならな

これで2週間は仕事にならんの

オリンピックが始まる。

○7月19日

ザルソバが食えるようになった。 回復しているらしい。 もちろん、プチダノンも食う。

○7月20日

HDも死亡した模様。

イクラ丼を食う。

○7月22日

歯医者で抜糸

がたいことである。 何でも食えるというのは、あり 喜んでいると、医者が言った。 もう、ほとんど痛まない。

4人いた。

その夜、再び悪夢を見る。

○7月18日

ので、妻に丼プリンを作ってもらっ しかし、まだ固い物は食えない 出血は止まった。

○7月26日

悪夢が復活する。

ターから火花が出た。 て、電源を入れたとたんに、モニ 久しぶりにプリメをやろうとし コンピューター、死亡。

本体の電源部がトラブッたらし

| 8日4日

炊きこみ御飯とワンタンを食う。 三大超サイヤ人』を新宿に堂々と『ドラゴンボールZ――激突!! 見に行く。 しかない。 いい歳をした大人は、数えるほど は子供たちの姿ばかりが目につき 私は、数えてみた。 当然のことながら、映画館の中

がいいですね。今年中に全部抜き

「残りの親不知も、早く抜いた方



はないのか?」 て、人類の可能性に挑戦すべきで だ? 薬でも何でもバンバン使っ が出てないんだろう?」 くなる (笑)」 「ピストル競技にどうしてヤクザ 「ドーピングして、どこが悪いの

明美さんが合流

ブッちゃん、ゆうき先生、

高田

理屋へ行く。

映画の後で、歌舞伎町のタイ料

4人である。

? る場合じゃない (笑)」 「見てる見てる。仕事なんかして

る場合じゃない(笑)」

「見てる見てる。仕事なんかして 「オリンピック、見てますか?」 酒、ということになる。

「観客席のウェーブが凄いでしょ

ウロコが落ちまくりですよー」 「乙姫がブスだ」 「人生は二度ない。三度ある(笑)」 「それを言っちゃイカン」 「聞いて下さいよ。こないだ親不

段跳びとゆーことにする」

「跳んでる途中で、数がわからな

「三段跳びを改良して四百五十

「あれでサーフィンできんかな?」

「水曜日にやってくる伝説の大ウ

野〈オールザットウルトラ〉司のぱマンガ家をやってる野口と、鹿

私と、私の妻と、妻の友人で下っ

たう! 大龍宮城』って見てます 「フジTVが日曜の朝やってる『う

「でも、あれ面白いよー。目から 「そればっかし」

困ったものである。

○8月15日

とつくづく思う。 戦争にだけは敗けるものじゃない 夕方から、田中ちゃんが酒を飲 NHKの特番とかを見るたびに、 日本が戦争に敗けた日である。

作家の高千穂遥氏)から頼まれて 道具さんである。 り歩いているが、本職は映画の小 のか?」を田中ちゃんにぶつけて しょっているナマコみたいな形を をしている武士が、よく背中に マパークを手がけて、あちこち渡 した荷物を、専門用語で何と言う いた疑問――『時代劇などで、旅 田中ちゃんは、今は全国のテー いつぞや電話でチホリン(SF

専門家である。 てゆーんだよ。ウィ~ッ」 「あれはねー、れんじゃく(連尺)っ 酔っぱらっていても、さすがに

ふけて行くのであった。 知を抜いたんですけどね……」 このようにして歌舞伎町の夜は

○8月6日

目撃している。音も聞いている。 かげで水虫が治ったと父親は豪語 射能をバッチリ浴びたそうだ。お 翌日、行方不明となった知人を捜 して広島市内を歩き回り、2次放 一方、岩国にいた父親は、投下の カッと光るところを校舎の窓から 校に通っていて、山の向こうでピ は広島弁が得意である。 うちの母は、当時、竹原の女子 私は広島の出身だ。だから、私 広島に原爆が落ちた日である。

テニスの後、

○8月30日

級戦略原潜を特集していたので、 しっかりビデオにとる。 TBSが、旧ソ連のタイフーン

みに来る。

プールもあれば、牛も飼っていると てるんだ。 いう、とんでもねー潜水艦だった。 トル、全幅23メートル)、内部に をよく中に入れるよなー。 かいだけあって(全長170メー タイフーン級は、図体が馬鹿で あそこの国の軍隊は、どうなっ しかし、ロシアも民放のカメラ

かもしれんぞ。 つも買いつけに行ってみれば面白 いのに。案外、安く売ってくれる か密輸してないで、戦術核のひと 日本のヤクザも、トカレフなん

田中ちゃんは、

朝までいた。

に見に行く。 『パトリオット・ゲーム』を新宿

ブリシティ関係の資料を読んです 氏から『財閥銀行』が届いていた。 なので、一緒に送られてきたパ コンピューターは、まだ死亡中 家に帰ると、リクルートの永井

リオがあっても良かったんじゃな いかと、ふと思った。 太平洋戦争を回避するようなシナ 政府や軍部に影響力を行使して、

○8月25日 いつものメンバーと大井でテ

トしてる祥子ちゃんが、珍しく顔 小松(左京)さんのとこでバイ 下北沢で酒

次号につづく



シルヴァ・ サーガ

前回までのあらすじ

息吹龍を倒し、三神器を手にいれた。 北するが、城主リュカオンに助けられ、 ンガとともにカイラル王子を捜してア 傭兵のパトリアにトンズラ、戦士ルバ 美少女メリアの導きで光の戦士をめざ す。魔導師エルロー、神官セナモル、 ン村の出身である少年パルスは、謎の -カサスへ。途中、砂漠での戦いで敗 暗黒神ズールの手下に襲われたドル

少しの距離、 たちはすでに戦闘状態にあった。 しかし、そこにたどり着くには、 パルスが岩場にたどり着いた時、 急峻な山道を登らなければ あと リサ

なっていく。 ひと踏みごとに、 足は鉛のように重く

もどかしい……

までたってもたどり着けない。 ほんの指呼の距離だというのに、 -なんで、こんな所に来たんだよ!

の親父からリサたちの情報を得ることがで のことでそこにたどり着いたパルスは、宿 ルスは小声で愚痴をこぼした。 ついた果てにあるバンドルの町。やっと 灼熱の砂漠からずっと北に進み、行き 悲鳴をあげているリサにむかって、

の山――バルム山脈へと踏みこんだのだ。 無謀にもバンドル城の背後にそびえる国境 時の門は絶対に開いてはくれない…… 山脈のむこうがわへ行きたいと望んでも をうけた勇者だけだ。リサがいかにバルム かしそれを使いこなせる者は、神々の加護 リサたちが出発して、まだ数刻しかたっ そこでリサは自力で先へ進もうと思い バンドルの町には『時の門』がある。し

> がったがもう遅い。 てバルム山脈へと通じる山道を登りはじ しかたなくパルスは、あわてふためい あまりの間の悪さに、歯がみして悔し ほとんど入れちがいに等しい。

のなつかしい顔もこちらを見る。 「リサーっ!」 パルスの呼びかけに、リサがふりむく。 同時に、同行している魔導師モーリン

ユラトだろうか。 リサを取りかこんでいるのは、ケンタ 見なれない壮年の戦士は、 話に聞いた

ウロスの集団である。 半獣半人の魔物ケンタウロスは、

どかかりやすい。だが反対に、ケンタウ

ロスのような獣には、あまり効き目がな

ではきわめて手ごわい敵となる。 たれる矢を受けでもしたら、まずまちが 人間の及ぶところではない。 さらには、両手であやつる強弓から放 その強靱なひずめと筋力は、とうてい

イテムを放っている。 岩の陰に身をひそめ、懸命に爆裂系のア いなく致命傷を負ってしまう。 リサとユラトは、ゴツゴツとした石灰

魔法を食らわせてた。 持続魔法に守られながら、 モーリンだけが岩の上にたち、護身の 一匹づつ攻撃

あまりにも、敵の群がでかい。

背に、冷たい汗が流れ落ちる。

-ヒュン!

ている攻撃も、そのほとんどがかわされ は初体験らしく、ためらいがちにおこなっ いるだろうか。 ・ざっと見まわしただけでも、二十頭は さらには同行しているだれもが山岳戦闘

の術をかけた。 「ジーク、おまえたちは左翼へ!」 そこまで見たパルスは、急いで集団幻惑

> と共振してしまうぞ!」 あまり戦場に近よると、リサたちの魔法 ンズラが走っていく。 「ルバンガー おれと一緒に右翼へ」 「残りはこの場で遠隔魔法を使ってくれ。 「おうッ!」 時間はない。 無言のまま、エルローとセナモルがう

急速にせばまっていく。 幻惑の術は、高度な知能を持つ相手ほ 考えるよりも、今は行動する時だ。 作戦を手みじかに伝えているあいだに リサたちを取りかこむ敵の包囲網は、

サの左腕に吸い込まれた。 いのだ。 「ああうッ!」 一匹のケンタウロスの放った矢が、 1)

まらない。 「リサッ!」 しかしその距離は、じれったいほど縮 パルスは懸命に岩山を駈けあがる。 あおむけに倒れるリサ。

スは、とどめの一矢を弓につがえている。 とても間にあわないと悟ったパルスの そうしているあいだにも、ケンタウロ

ウロスの胸に、ずぶりと長剣の切っ先が 「ギャウーン!」 パルスは目をあけた。 何がおこったのか…… 悲鳴をあげたのはリサではない。 パルスはおもわず目を閉じた。 風を切る耳ざわりな音 いままさに矢を射ろうとしていたケンタ

> いった表情で立っていた。 きった姿勢のユラトが、してやったりと そして目を後方に転じると、腕をふり

ジークレットを先頭に、パトリアとト

「パ、パルスー 一瞬の空白状態。

を駈けおりてくる。 それを縫って、リサが転げるように坂 腕から血を流しているが、 どうやら深

手ではないらしい。 パルスも渾身の気力をふりしぼって、 急

峻な坂を登っていく。

やがて……

とつになった。 掛けあっている。 「おお、エルローか!」 「モーリン先生!」 戦場の端と端で、二人の魔導師が声を ふたつの陰は、巨大な岩のたもとでひ

を呑んで見守っている。 「例の術技を試すぞい!」 なにがおこるのかと、 他の仲間は固

「了解でーす!」

著者近況



状況なので、平年のようすがわからな どである。住んでから一年でこういう らない。残暑がきつい。茸が出ないな 続いている。雨が降 てから、異常気象が 信州松本に引っ越し 羅門祐人(らもんゆうと)

夏元雅人(なつもとまさと)

い。ほんとのところはどうなのだ?

がしい。今度のログアウト増刊号にシ ので、みんな期待して待っててね く予定である。おもしろい作品にする ルヴァ・サーガのマンガを32ページ描 をする暇もなくいそ を始めたり、ゲーム 某誌でマンガの連載

きらないうちに、今度は割れ鐘のような 発した当のエルローは、その声が終り 場違いなほど、のんびりした返事。

えない要請である。 陰に隠れてくださーい!」 「みなさーん! 死にたくなかったら物 何がおこるか知らないが、物騒このう

て、ちょっとした騒動となった。 「メタファイ!!」 すでに岩陰にいるパルスとリサをのぞい

「メタブリーズ!!」 モーリンの呪文が、それにかぶさって エルローが、大火炎魔法の呪文を叫ぶ。

爆発が発生したのは、二人のあいだの とてつもない大爆発が巻きおこった。

になごんでしまった。

気がたちのぼる。 熱風とともに、 多量の高温高圧の水蒸

中間点から放射状に吹きすさんだ。 ンタウロスの姿など、どこにもない。 むろん、先ほどまで跳びはねていたケ すさまじい爆風が、二人のいる場所の まるで、小規模の火山爆発のよう……

ジークレットが、エルローのもとに駆 爆発がおさまるやいなや

けよっていく。 したんだよ!」 「なな、エルロー。いったい何をしでか

すぐに、パトリアとトンズラも集って

法が競合して爆発したんですよ。これま せあいを、まあ逆手に取ったわけですなり では禁忌事項だった魔導師同士の術のかぶ 「ちっともわかんねえぞ?」 、「私の火炎大魔法と、お師匠様の氷結大魔「私の火炎ファイ 「メタファイは火炎系の最強魔法です。そ

してメタフリーズは、 氷結系のこれまた

れるはずです。しかし……」 ると、理論上では力が拮抗して無力化さ 最強魔法です。 そしてその二つが合わさ 「ちがうってのか?」

さまじい水蒸気爆発を巻きおこしましたか けです。火炎と氷のぶつかりあいは、す 新たなパワーを生み出すと考えておられま 二つの系の魔法は、時と場合によっては した。そして今回、それが実証されたわ 「かねてからモーリン先生は、相反する

「おらあ、理屈にゃ弱いんだよ」 ジークレットは、頭をかかえて座りこ 殺気だっていた戦場の雰囲気は、 それを見て、パトリアがコロコロと笑う。 一気

2

「リサ……」 傷をおった腕には、応急処置としてバ パルスの腕の中で、いまもリサは震え

んの数刻で治ってしまうだろう。 だいいちセナモルの治癒術にかかれば、ほ ンダナを巻いてやった。 「あたし、怖かった……」 急いで村にもどるほどの傷でもないし、

なかったのは、今回が初めてらしい。 か、パルスにはわからない。 「無茶をするからだ」 しかし、自分たちの力がまるで通用し

ぞ。そこに無理矢理に行こうとすれば、自 とパルスの顔を見た。 「時の門のむこうは、光の戦士の領域だ 「カイラル様の魂を、なんとかして……」 リサは気弱そうな表情を浮かべ、 そっ

分の身が危なくなるっては考えなかった 「あたし……あたし、わからない!」 ふいに顔をそむけ、

まるで別人のようだ。 「カイラル様は、光の戦士……」

たまらなく……

と言葉をつむいでいる。

りでアーカサスにいるの、すごく嫌だっ 離れていく。それが、とっても怖かった。 たの。みんな……だれもが、あたしから たしにはとても耐えられない!」 たった一人で待つだけの暮らしなんて、あ れでも透明なふくらみは増すばかりだ。 パルスは、恐る恐るリサの肩に手をま 懸命に泣くまいと努力しているが、 そ リサの目に、涙が光っている。

くりと抱きよせる。 まるで壊れものでもさわるように、ゆっ

かったこと…… か、自分でもわからなくなる恐怖だ。 これまで絶対だと思い、露とも疑わな それは、自分がいま何を信じているの

リサがこれまでどんな旅をしていたの

もなく壊れていく。 いなかったのではー は急速に遠ざかっていく。 カラカラに渇いた砂の塔のように、 メリアへの熱き思いが、あれほど胸を

横むきにうつむい が、怒涛のように襲いかかってきた。 これまで保ってきた想いよりも、

アーカサスで別れる時に見たリサとは

「おまえ……」 「なのにあたしは、ただの女だもの!」

ひたすら思い詰めたように、ぶつぶつ パルスの呼び掛けにも、リサは答えない。

けられるなんて思ってない。でも、ひと 「あたし、最初っから、カイラル様を助

「わからない!」

何度も首を横にふりながら、大声で叫ぶ。

わした。

パルスもまた、心に恐怖をいだいていた。

焦がしていたメリアに対する思いが、 今 おれは、本当はメリアのことを愛して

> 変り、迷いは決心へと姿を変えた。 引きつけられていく。 渾沌は確信と入れ 腕の中で震えている少女のほうに、強く こいつが、いとおしい。 パルスは、自分の中の渾沌に負けた。

迷い言のようだ。 「ま、まだ……カイラル王子のことを?」 その声は、まるで三歳の子供が発した そしてつい、考えもなしに口をひらく。

ふいに持ちあがった。 分の決心を確かめるための質問だった。 リサの苦しそうな表情をたたえた顔が、 何度か迷ったあげく、ようやくパルス 不安と好奇心、そしてなによりも、自

にも自分にも良いことのように思える…… 「もう……なにもかも、わからなくなっ そう信じて、 息が止まるほど抱きしめ どうしていいか、わからない。 パルスは、リサを抱く腕に力をこめた。 ただ、力いっぱい抱きしめることが、リサ

ていないはずだ。 くると、どっこらしょと腰をおろす。 て、パルスに声を掛けてきた。 もの思いにふけっているパルスの横に 「どうなさるおつもりじゃ?」 先ほどの戦闘から、それほど時間はたっ モーリンが、なにげないそぶりを装っ

ルスは下山する用意をしていた。 ともかくバンドルの町までもどり、 興奮したリサをセナモルにあずけ、

そんな足もとをすくわれるような無力感

シルヴァ・サーガ



後のことを決めなければならない。 いつケンタウロスや他の魔物に襲われるか それに、ここに長居していると、また

いまは悩んでいる時じゃない。 それぞれに複雑な事情はあるにしても、

「あんたらが、リサをアーカサスまで連

思いをはっきりさせないと、またあの娘 んの一瞬のことだがのう。しかしリサの なんだけど……」 「連れ帰る、か。飛翔術をつかえば、

けだ!」 けだぞ! 「カイラルを助けられるのは光の戦士だ あいつが行っても殺されるだ

ものは、時としてズール大王よりタチが てしまう傾向がありますのじゃ」 悪い。特に妙齢の乙女は、己の命よりも 大切なものがあると、すぐに自分を見失っ 「左様ですな。 しかし己の中の魔という

守るとか……」 心に決めた信条とか、 それに愛する人を あるさ。たとえば親友との固い約束とか、 「そりゃあ……そんなことは男にだって

だんじゃ いことを。まさか、おれの心の中を読ん 後ろめたい気分になったパルスは、 何をいまさら、この爺さんは抹香くさ

骨に嫌な顔をした。 「男はそれで良いかもしれん。 自分の考

でもわからんようになったりする」 が本当は誰を好きなのか、時として自分 もう少し複雑なんじゃよ。たとえば自分 は生きられぬ。しかしおなごというのは、 えをきちんと持っておらねば、男として そうでなければ、こんな説教たらしい やはり、心を読まれている。

心の中で、ふうっ

パルスは観念して、

「リサは、カイラルを好きなんだろう?」 自分で質問をしておきながら、返事を

という、例の約束ですな?」 は言いわけがましくつぶやいた。 らと笑みを浮かべるばかりだ。 モーリンはその皺だらけの顔に、 「カイラル王子の魂を復活させる手伝い 「おれは……リサに頼まれたことがある」 そんなパルスの気持ちを見通してか、 モーリンの沈黙に耐えきれず、 うっす パルス

尽くしてくれたみんなへの、 ない。そしてそれこそが、おれのために それを聞いて以来、ずっと忘れたことは 恩返しだと思うんだ」 「そうだ。トランのリュカオン王子から せめてもの

笑いが巻きおこった。 途端に、ほーほっほっとモーリンの大

と言っておったようじゃが。たがいに恩 をリュカオン殿に知らせたのは、あくま 返ししていては、 いつまでもキリがない でリサ殿の頼みでしたが……たしかその 「わしらがトランで、 そなたたちの危機 「なにがおかしいんだよ!」 リサ殿は、パルス殿への恩返しだ

対して抱いている思いと同じ……わしに 子への思い、それはそなたがメリア殿へ は、そうとしか思えんのですがのう」 ではないですかの。 リサ殿のカイラル王 がたとも、本当の自分を見失っているの 「いったい、なんの恩返しやら。おふた 「リサが、おれに?」

パルスは頭に血がのぼった。 「メ、メリアなんか……」 ゆれ動くパルスの心。 自分はメリアとリサを天秤にかけてるの いきなりメリアのことを持ち出されて、

その答は、パルス自身にもわからない。

脈のはるか北方、雪と氷の世界-

ルスは信じたかった。 そう思い、声を荒げて叫ぶ。 ただ、先ほど感じたリサへの思いを、パ

お、おれは知らねえぞ!」 「ほう、そうですか」 「あんな正体のわからない女なんか、 お

まるで自分の考えに絶対の自信を抱いて パルスの憤激をよそに、モーリンは涼

嫁の件は、まだカイラル王子には知られ 緒にいませんでしたが。一緒にいる時間で かにリサ殿がいいだしっぺとは言え、許 ぽど長いくらいですじゃ。さらには、 考えれば、パルス殿とリサ殿のほうがよっ ただの行きずりの間柄でしかないじゃな る冒険のあいだ――ほんの数日しか、一 いか……そんなの比べるほうが変だぜ!」 たような視線で見つめている。 いるといったふうに、ずっと小馬鹿にし 「リサ殿とカイラル王子も、風の塔をめぐ 「だいたい、おれとメリアの関係なんて

てないはず……」 「なにが言いたいんだ、あんたは?」 「なにも」

よっこらせと立ちあがった。 そして二三歩歩いてから、 モーリンは自分の荷物を肩にかつぐと、 なにか思い

だしたようにふりむく。

さてさて、パルス殿はどうでしょうかね る場所へと歩いていった。 実を見ることができるというわけですな。 「結局は、自分に正直な者だけが、世の直 そう言い残し、さっさとエルローのい

時の門を通過できた。 そして時間と空間を飛び越えることので 光の三神器をもつパルスは、



ルヴァ・サ

うやくカイラル王子に直接つながりのある ドへとたどりついた。そしてそこで、よ 林帯を踏破し、 ついに極北の村ノーラン 報をもとに、いつ果てるともない大針葉樹 人物に会うことができたのだった。 その人物とは、エンドラルという名の パルスはファントの村で手に入れた情 ダインであった。

戦士だった。 エンドラルは、ながらくカイラル王子

ずいぶんと変わったなー

とともに旅をしていたという。

帰還魔法によって仲間を危機より遠ざけ ラムーン 最後の力をふりしぼり、 そして破壊神ゾルデとの決戦にやぶれ

に魂を捕われてしまったという。 ルは脱出の時期を逸し、ついにはゾルデ した結果ではあったが、そのためカイラ エンドラルは己の非力を悔い、 それは犠牲を最小限にとどめようと努力 ゾルデ

立とうと決心したのだった…… たなる光の戦士の出現を信じ、その役に の狡猾な罠を呪った。 そしてせめてカイラルの預言した、

「というわけで、この船が手に入ったん

なんだか、まぶしいな。

木なのか金属なのかよくわからない舷側の パルスはひさしぶりの潮風を頰にうけ

守札が生んだ帆船は、ゆっくりと揺れて と

力を有しているらしい。 もかく神々のパワーを凝集したこの船は、 行こうと思えば世界の隅々まで行ける能 パルスも、エンドラルから守札を手に

手すりにもたれている。 おだやかな東大洋沿岸の波に、万能の

どういう仕組みかはわからないが、

人れた当初には、これでドルンに帰れる

そんなことがあったの……」 はおだやかな風にゆれている。 るほどと思い、しぶしぶ考えを変えた。 神力が必要だとエンドラルに言われ、 な 「あたしたちが宿で休んでいるあいだに、 リサのゆるやかに巻いた赤い髪も、 この船で外洋に出るには、それなりの しかし、これは神光艦ではない。

婆な少女にすぎなかった。 イラル王子に憧れるだけの、 ルスは不思議な気持ちになった。 アーカサスで別れるまでのリサは、カ 海原を見つめるリサの横顔を見て、 ただのお転

しかしもう、あれから一年ちかくがた

とうとしている。 な少女というよりは、 しおらしい乙女と 黙ったまま遠くを眺める姿は、やんちゃ 十二歳の少女も、いまは十三歳の乙女だ。 いつのまにか身体全体に丸みがでてき 物腰も柔らかくなってきている。

張るものがあった。 と感じるだけに、リサの変貌には目を見 言ったほうがピンと来るほどだ。 いるのだが、自分はまるで変っていない むろんパルス自身も十五歳にはなって

ルスは怒ったような声を出した。 に視線を移した。 「おまえとの約束、わすれてないよ」 無限にゆらめく波を見つめたまま、 パルスはぷいっと横をむくと、大海原

ていたことだが…… なんとなく今日まで、 再開したら、まず最初に伝えようと思っ 言いそびれてし

アーカサスを出るときに約束しただろう? まっていたのだ。 おれは約束したことは死んでも守る。そ カイラル王子を見つけるって……ほら、

> 活でもあるって、たしかエルローが言っ と笑いまじりのため息をもらす。 ていたぞ」 た。魂を復活しても、はたして元通りのカ れが海の男の信条だからな」 イラル様なのか、あたしにはわからない」 「どういうことだ? 魂の復活は肉体の復 「でも、カイラル様はもう死んでしまっ 勢いこんで話すパルスに、リサはふっ

体も復元できる。 「たしかに魂を復活させれば、 でも……」

とりこまれてしまってるわ」 戦士でなければ、とっくに暗黒の波動に のよ。しかもカイラル様の場合は、破壊 その魂は神々の御手にゆだねられている 神ゾルデに捕われている。 あの方が光の 「でも、肉体がなくなっているあいだは、 「なんだよ?!」

かの方法で光の理力を受け取っているはたとえゾルデに捕われていても、なんら しもべである善神たちがついているもの。 「だって光の戦士には、いつもハーンの

かった」 「そんな詳しい話までは、おれは聞かな

「光の戦士っていえば、半分は神様だも

「光の戦士の魂だと、悪の波動には染ま もとの肉 るの。もしかしたらレオンとおなじよう その神々の世界に、いまカイラル様はい うな人間にはわからないことが多すぎる。 えずアーカサスに戻ることにしたのだ。 無理のあるモーリンとユラトは、とりあ 話しあってから別れるんだった!」 リンは、あの光の子レオンの時からの大 に、すでに光の世界の住人になってしまっ 女としての力は封印されてしまった。 いつもうまく行くとはかぎらない。 ンの機転でそれを逆手にとったが、 ことをしたと思った。 モーリンとユラトを思い出し、早まった 魔導師だもの」 セナモルの神力を阻害しないように、 「ちぇっ! そんなことなら、もう少し 「神々の世界のことは、あたしたちのよ 「モーリンが教えてくれたの。だってモー リサだけは同行を許されたが、それも そこで皆と協議をした結果、肉体的に ケンタウロスを倒すときには、モーリ 旅の仲間に、 パルスは、時の門を抜けるときに別れた 同じ職業の者がいると問

うとしているのだ。 ハッとした表情になった。 その光の戦士に、自分はこれからなろ なにげなく言ってしまって、パルスは

リサも悲しそうな顔でパルスを見つめて あわててリサのほうを見ると、案の定、

として、光の子として永遠に生きつづけ なって……いつかは土に帰る。でも、あ なたやカイラル様は、そうじゃない。神々 と人間のまま。 歳をとっておばあさんに いく。そしてあたしは、これからもずっ 「そうやってみんな、あたしから離れて 「そう……今度はあなた」 リサの視線が、刺すように痛い。

「リサ……」

わかってきた。 パルスは、なんとなくリサの気持ちが

ようになってきた。 ているのかも、おぼろげだが考えられる そして自分がいま、なにをしようとし

光の戦士になることー

ることではない。 それは、たんに魔物退治の専門家にな

るということだ。 それは人間をやめて、神々の仲間にな

かしたら神々に認めてもらえんかもな」 なるための航海に出ている。 叔父のかたきを討ちたいという、まった めに尽くす身になるということなのだ。 の世界の維持と、新しき世界の創造のた びや悲しみすら打ち捨てて、 ひたすら光 く人間的な思いから出発した旅なのだ。 「おれみたいな煩悩のかたまりは、もし それが今は、いつのまにか光の戦士に 人間のもつさまざまな感情や欲望、喜 もとはと言えば、生れ故郷に帰りたい、 ふいに、不安がのしかかってきた。 自嘲ぎみに、そしてなかば本心からそ -おれに、それが出来るだろうか?

> 「ううんー リサは、はっきりと首を横にふった。

もっていようが後ろめたいことを思って けのお坊ちゃまだったわ。それは、いっ 身をどんどん変えていくんだもの」 の。どうせ光の戦士の波動が、その人自 いようが、そんなことはまるで関係ない なれした特別の資格もいらない。 煩悩を てわけじゃないけど、かといって人間ば もちろん、光の戦士はだれにでもなれるっ しょに旅をしたあたしが一番知っている。 「あのカイラル様も、 最初は人のいいだ

「おれは変らねえぞ!」

自信も、ポロポロと刃こぼれしていくよ しかしリサの話を聞いていると、その そうパルスは信じたかった。 光の戦士になっても、俺は俺だ。

ことのほか怖かった。 湧きあがってくる。それに毒されるのが とも、もとの自分を保てるのだろうか…… 考えれば考えるほど、底なしの不安が パルスはそこで、考えるのをやめた。 はたして自分は、神々の祝福を受けたあ

船のマストの頂上。 -見えたぞーッ!

の大声で叫んでいる。 物見台に登っているエルローが、

続いている。 ふりきって、船の進行方向を見た。 前方には、荒々しく波の砕ける絶壁が パルスはリサのすがりつくような視線を

ずかに姿を現しつつあった。 にかこまれた荘厳な白亜の大神殿が、わ いて、そこに美しい浜が形成されている。 「あれが瞑想寺院……」 そして海に面した、見あげるほどの崖 その絶壁の一角が切れこむように割れて

> ひとり言。 しかしその声は、またたくまに潮風に リサの、あきらめとも感嘆ともつかぬ、

流されてしまった。

4

神殿の入口があった。 そして、そこをひたすらのぼった先に、 砂浜から一直線にのびる階段がある。

り柱が数段ごとにたちならんでいる。 階段の幅はひろく、両側には延々と、 人影は皆無だ。

だけが吹き抜けていく。 しんと静まりかえった大聖堂の中を、風

おものぼっていく。 パルスには確信があった。 大広間を抜け、その奥にある階段をな

行き着く先に、だれかが自分を待って

胸にわいてくるその思いに、パルスは

やがて……

身をゆだねた。

けたくば、我に剣を奉げよ」 「汝の力に忠実なる者よ。光の加護を受 部屋の中央には、見あげるばかりの巨 吹き抜けになっている巨大な部屋に出た。 いきなり、天から声が降ってきた。

「だ、だれだ!」 むろん、同行している者たちの声では 神像の他には、人影はない。

神グラの神像だった。

らしいが、まるで生きているようだ。そ

像がおかれている。材質は石でできている

れはアーカサスでも見たことのある、 力

つぎの部屋に入ると、そこには運命神

る者である」 「我は力の神、グラ。光の剣をつかさど

えてくる。 「パルス殿。この神像を依り代に、力神 声は、あきらかに神像の上空から聞こ

> ら、早くお答えください」 と会話を交すことが可能なのです。だか 瞑想寺院でのみ、 人々は望むときに神々 グラが直接あなたに話しかけているので す。ミネルバトンの世界では、ゆいいつ

からセナモルが小声でささやく。 同時に、エルローがパルスに光の剣を 茫然と立ちつくすパルスの耳に、背後

あるのなら、 どうかこの剣を受け取って でやってきた。もしもその資格がおれに 「おれは光の戦士になるために、ここま

パルスは、小さな光の剣を頭上にかか

ほしい!」

ついでそれを、グラの神像めがけて放

ーシュッ!

光の剣が消えた。

いきや、いきなりそれが消失してしまった。 まな武器や防具をたずさえた巨神像ー 「な、なんだ?」 その頭上の一点に剣がさしかかったと思 鎧兜に身をつつみ、六本の腕にさまざ

りにもあっけない。 なにかが起るとは思っていたが、

表情で、パルスの背を押した。 「さ、パルス殿。次の神像へ」 階段をくだり、そしてまた登る。 セナモルが、これでいいのだといった

めた像。それが人々の運命をつかさどる 神デリトである。 体じゅうに宇宙をあらわす宝石をちりば デリトの神像がまちうけていた。 夜を象徴する漆黒のマントを羽織り、身

受けたくば、我に盾を奉げよ」 「汝の運命に忠実なる者よ。光の加護を 「なんだよ、ずいぶんと儀式っぽいやり 先ほどと同じく、声がふってくる。

*ハ*ヴァ・

ず、やっとの思いでマヌスの膝の上にの 界に想いをはせる、知神マヌスの像だ。 さすがに鎧を投げあげるわけにもいか するとそれは、のせた途端に消えてな パルスはここで光の鎧をささげた。 次は、思惟の姿勢をして未来永劫の世 盾もまた、頭上で消える……

放り投げた。

そうつぶやきながらも、パルスは盾を

士に任命しよう。さあ、ハーンの力を受

武装具を奉げた……」 に、声が降ってきた。 「これでおまえは、すべての神々に光の つぎの部屋にむかおうとするパルスの背

「神々を代表して、 私がおまえを光の戦

!?

スを覆いつつむ。 た光の塊が飛びこんできた。 け取るのだ!」 その光は白銀にかがやき、急速にパル 次の瞬間には、きらめきに似た黄金色 パルスめがけ、突如として空中に現れ

に変り、そして爆発的に輝度を増した。 ・パルスの身体が消えていく。 「うわああぁぁ!」

んでいく。 パルスは恐怖にうち震えた。 ただ、意識だけが残っている。 自分の手も足も、すべてが光に溶けこ

変換され、明滅となって周囲を睥睨する。 「も、もどせッ! おれを、もとのとこ 意識が恐怖にそまり、それは光の波へと

広がっている。

深

どこからか、心のなごむ意識の波動が

伝わってきた。 声ではない。

波打たせている。 意識そのものが、

それは、どこかで感じたことのある波

なつかしい――が、

と漬かってしまったような感じだ。 まるで、濃厚な光のスープにどっぷり パルスの周囲には、ひたすら光の海が 天も地も、右も左もわからない。

しかし……

動にほかならない。

しまったような感触。

ろに戻してくれッ!」 「心配しないで……」

> のときも、こんな気持ちになったのだ。 くそばを離れてしまいたい……たしかあ

た日の思い出を思い起こさせた。

それは、パルスがはじめて母親に逆らっ

せつないような、それでいて一刻も早

光と化したパルスを

妙に疎遠になって

れは、光の子そのもの……」 の示す場所はすぐにわかった。 ありとあらゆる生命の源です。 そしてこ の、さらにはこれから生れる世界の…… い悲しみとあきらめの波動だった。 「ほら、あそこをごらんなさい」 「この光の海は、これまでの、そして今 「おまえは?!」 「生命の海だって?!」 その拒絶の波動に帰ってきたのは、 指をさされたわけでもないのに、 パルスの放った思念は、すぐに波動に

いている。 光の海の中に、ぽっかりと黒い穴があ

ながら、自分の領域を拡大していく負の 光をつぎつぎに吸い込んでいる。 「あれが、 ズールの波動。 光を吸収し それは底なしの井戸のように、

波動……」 形をしてないぞ!」 「あれがズール? ちっともバケモノの

です」 ときに、はじめて最適な姿に化身するの は存在していません。 地上の世界に出る こでは神々もズールも、一定の姿として 人々のふるさと、真の宇宙の卵です。こ ここは物質を離れた異次元の世界。神々と 「あなたもいまは、純粋な光のきらめき。

「だれだ、おまえは!」

しみの色調はより深みを増していく。

に波にかわる。 「私は……」 波がゆれた。 パルスのはねのけるような波動に、 隠そうとしても、ここでは思いはすぐ

正体を告げた。 それは一 ためらいを見せながら、相手は自分の

美しい大空の神の像を思いだした。 声の主の送りつけてきた、ためらいが そうだ、あれは飛天ラムルーン! パルスはかつてラムルーン神殿で見た、 天を駈ける美しい乙女の姿……

ちなイメージ。 ものだったのだ。 それは間違いなく、 飛天ラムルーンの

だが、ならばなぜ、正体を隠さねばな

調に染められている。 それにその波動は、明確な悲しみの色

なぜだ。なぜ、神が悲しむ…… 疑問はすぐに波に変り、相手にも瞬時

に伝わった。

こんできた。 りに今度は、力づよい明確な意志が飛び しかしそれに対する返答はなく、かわ

に託された」 「カイラルが死んだ今、すべてはおまえ

えども無敵ではない。ズールの王子であ るゾルデには、おぬしとてそう簡単には 「しかし、こころせよ! 光の戦士とい これはラムルーンの波動ではない。 最初に聞いた、力神グラのものだ。

導入できるものである。 すべての生きと の代表者となった証明である」 のすべてを見ていること自体、光の世界 ならない。おぬしがいま、おぬしの仲間 し生けるものの、生命の力の具現にほか 勝てぬだろう」 「光の戦士とは、この光の海の根源力を 「おれは、光の戦士になれるのか?」

ことが、あらゆる生命の代表となること 「でも、おれは……ただの漁師の子だ」 しかしまさか、光の戦士になるという ある程度は予想もし、覚悟もしていた。 パルスはきゅうに気弱になった。

> だなんてまでは、想像もしていなかった。 るつもりだったのだ。 授かるだけの、 気の効いた勇者にでもな パルスはたんに、便利な神力を神々から

りや悲しみとなって具現し、深く人々の 心を傷つけるだろう」 そして人間界においては、不安や焦燥、怒 神々の世界にすら波紋を立たせてしまう。 るここと直結している。おぬしの動揺は、 「おぬしの意志は、すでに光の根源であ とたんに、光の海がざわめき始める。

の大地となすのだ」 るのだ。そしてこの世界を、ふたたび光 「さあ。仲間を信じて、共に力をあわせ 「おぬしは、自ら望んで光の戦士となった」 「そ、そんな力はいらない!」 グラの波動は、パルスに反論を許さない。

巻きこまれていった。 「では、心の赴くままに。光の戦士に幸 「これじゃ、まるで詐欺だ」 「ひでえなあ……」 ふたたび、パルスの意識は光の奔流に パルスの輝きが、自嘲ぎみにゆらぐ。

きついてくる。 て身をおこした。 「ううっ。な、なんだ!!」 「パルス……ねえ、パルスったら!」 上半身を起こしたパルスに、 リサが抱 意識をとりもどしたパルスは、 心配そうなリサの声がする。 あわて

どうにも変な気分になってくる。 るで猫がじゃれるようにして喜んでいる。 「やっと気がついた。よかったあ!」 リサのやわらかな頰が密着していると、 パルスの頰に自分の頰をこすりつけ、ま

理矢理リサを引きはがした。 「どこだ、ここは?」 なごり惜しい気はしたが、 パルスのいるところは、きれいに整え

パルスは無

と咲き誇っている。 地方でよく見られる花々が、今をさかり られた草地の上である。 周囲には花壇があり、北オフェーリア

まで運んできたのです」 の前で気を失ったあなたを、我々がここ 「瞑想寺院の中庭ですよ。マヌスの神像

うずしている。 セナモルが、なにかを聞きたくてうず

割り込んできた。 セナモルを押しのけ、ジークレットが

「なんだよ」

「なあ、大将!」

答えた。 パルスは、ふらつく頭をかしげながら

ねーだろな?」 なったんだい? まさか三神器をくすわ られただけで、体よく追い返されたんじゃ 「結局、神さんたちとの取り引きはどう ジークレットからみれば、パルスは光

は、こちらの世界では、まるで無に等し い時間での出来事らしかった。 「光の戦士か……」 パルスの体験した異次元世界での事件

と気絶してしまったわけだ。

の三神器を奉げただけで、あとはさっさ

固唾をのんで待っている。 「たぶん、なれたと思う」 パルスの返事を、その場にいる全員が

天をあおぐ。 「たぶんだって!!」 額に手をおしあてて、ジークレットが

を受け、世界の真の姿を見せられた。で た。そこで神々に光の戦士としての祝福 んか、聞きたかねえよ!!」 「おれは、たしかに光の世界に行ってい 「おい、大将……そんな頼りねえ返事な

> たのか幻覚だったのか、とても判断がつ まれていた。おれには、あれが真実だっ も気がついてみると、おれはおまえらに囲

思った……」 「あたし、パルスが死んじゃったのかと

臓がとまるほど驚いたのよ」 おむけに倒れちゃうんだもの。あたし、心 「だって鎧を置いたとたん、いきなりあ リサが、しみじみと安堵のため息をつく。

とかけらになって、ゆっくりと漂ってい もしれないな。なにしろ行ったところは、 た。そうしたら、あの声が……飛天ラム 光かがやく魂の海だった。おれもそのひ ルーンの声……そうだ、あれは!」 「もしかしたら、おれは一度死んだのか

「なぜだ!」 「どうしたの、パルス?」

あまりに唐突な行動に、全員があわて パルスは天を仰いで絶叫した。

て空を見あげる。 しかしそこには、抜けるような蒼空し

スにだけはわかる。 たとえ懸命に隠していようとも、パル まちがいなく、メリアのものだったのだ。 あのラムルーンの波動は―― パルスは、ついに気がついた。

のひとり、大空と翼の神ラムルーン…… それが、なぜメリアの波動を発してい 光明神ハーンのもとに集う、五大善神

感じた。 パルスは、いいようのない胸の騒ぎを

らわそうとしている。 してまた別のものが、岩を穿って姿をあ なにかが自分の中で音をたてて崩れ、そ

もまた騒ぎ始める。 パルスの心に反応したかのように、 天

ける。 **蒼空に叢雲が押しよせ、突風が吹きつ**

シルヴァ・サーガ



馬鹿だ。

で言ったじゃないか……

そう、はっきりと、あのアルテナの丘

メリアは神でありながら、

人間として

それなのに、おれはなんにも気づけな

とてつもない羞恥心が、

パルスに襲い

メリアが、おれの心を知った!

メリアが-

おれがいい加減だったばかりに、

ラム

おれは、馬鹿だ-

ようなものでできたー は、光かがやく昆虫のさなぎのような形 黄金の光につつまれた透明な繭と金属の

づけている。 しぐらに舞いおりてくる神光艦を見つめつ そして、やがて……

て巨大な黄金色の船をかたちづくった。

その光は幅と密度を増しつづけ、

条の光が射す。

漆黒の雲間に雷光がきらめき、そこに

「出でよ! 船!!」

もう、この神殿にはいられない!

無意識のうちに口が開く。

この胸騒ぎを鎮めてくれるものがあれば、

どこでもいい。

ともかく、どこかに行きたかった。

パルスは胸を搔きむしり、己の不甲斐

おれは、底なしの大馬鹿者だり

「あ、あれは神光艦!」

パルスは両手を高々とふりあげ、

まっ

エルローとセナモルの叫び。

庭に着地した。 -神光艦が、広大な瞑想寺院の中 ―見ようによって

||光の海の中で、戦士であることを自覚したパルス。戦いはこれからだ!

今回は論理パスルに挑戦だ。ち ょっと面倒だけどがんばって

喜多野并行zha/hig





华田圭之山船







となんだろうけどね。

知恵板(普通は7枚以上)ってこ

要はたった2枚からなる究極の

都市・桑原裕幸、鎌倉市・呉屋英 喜多野洋行、旭川市・柴田圭、京 ぜて、以下5名の方々にテレホン いきのひと、なんだかんだとりま ードをさしあげます。瀬戸市・ よくがんばったひと、もうひと 八王子市・笹山慎一郎 以上

> は次号で発表します。あなたの住 せん。締切は11月20日まで。 けたほうだけの応募でもかまいま

氏名、

年齢、電話番号を明記

2題用意しました。 どちらか解

がきは不可)で送ってください

して、官製はがき(アンケートは

お待ちしています

した。出題の意図は、 せられたはがきにあらわれていま うで、けっこう苦労した様子が寄 模範解答とします。 瀬戸市の喜多野洋行さんの作品を かのチョンまで表現してくれた、 さて、もうひとつ "B" のほう ちょっとばかし難しかったよ 穴がふたつ 『日』との

だけどね。

私が用意していた答え

すこういう人並み外れた才能の持

違いまで表現してほしかったわけ

雑で華麗な切りわけ。こりゃまいっ ウーンとうなってしまうような複 読者がいた。『Z』で模範解答と く飛び抜けた解答を寄せてくれた の柴田圭さんの作品 にいちばん近かったのが、 して紹介した喜多野さん。思わず しかしだ、これまたその上をい 脱帽もんですね。 いるもんで 旭川市

絡してください。 おもしろいものができたらぜひ連 ひらがな、カタカナ、漢字、記号) ても(アルファベットの他にも、 とにします。その他の文字につい た、回をあらためてご紹介するこ 戦してくれた読者もいました。ま ろ。私も充分楽しませてもらった。 ろが、雑誌掲載パズルのいいとこ た読者とのやりとりが可能なとこ とつくづく思うわけです。そういっ ち主というものが……。 『R』や 『K』の切りわけにも挑 ひとの意見も聞いてみるもんだ

やっつけてしまうことにする。

すというやつなんですけどね。な 求された組み合わせとかを導き出 というのか、論理パズルというの 向のものを出題しようということ さんの要望もあって毎回違った傾 ての出題です……。 もいるわけで、そんなひとにむけ く解いていくのが好きだってひと 面倒なところをこつこつと根気よ なんですよ。っていっても、その が複雑だったりって、面倒なだけ にが嫌いって、やたら条件や状況 くつかの間接的なヒントから、要 んまり好きではない、推理パズル になった。それで、大場本人はあ か、そういうものを手っ取り早く さて、今回の問題ですが、 の講評といきたい。 心。さっそく、前回出題のパズル こうな応募があってまずはひと安 の入りが気になってたけど、けっ やははや、開店そうそうお客

でひと工夫加えて〝Z〟のまんな ど全員正解となった。そんななか かという差はあるものの、ほとん いいわけで、より美しい形かどう れは、ともかく『Z』に見えれば のほうは易しかったようです。こ ねよくできていた。とくに "Z" 題を載せておいたせいか、おおむ いろんな回答が寄せられた。

切って〝Z〟と〝B〟の文字を作 問題は、長方形の紙をふたつに

りなさいというもの。

《問1》一郎、二郎、三郎、四郎、五郎の5 人の少年が1万メートルの競争をしました。 競技に参加した3人の証言をもとに、5人の 少年の着順をあててください。

一郎「名前の数字と順位が一致してる子がふ たりいた。ぼくはちがうよ」

三郎「ぼくと四郎の順位差は3つだったよ」 四郎「ぼくの次にゴールしたのは二郎だった ょ

《問2》同じ日、同じ少年たちが、もう一度 1万メートル競争をしました。ゴールした3 人の証言をもとに着順をあててください。

一郎「今度は名前と順位が一致してる子はひ とりもいなかったよ」

三郎「ぼくの後からゴールした子はふたりい たよい

五郎「ぼくと一郎の順位差はふたつだったよ」

あて先はこちら

〒107-24

東京都港区南青山 6-11-1 スリーエフ南青山ビル (株)アスキー



ログアウト・パズルランチ係























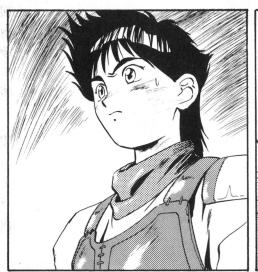




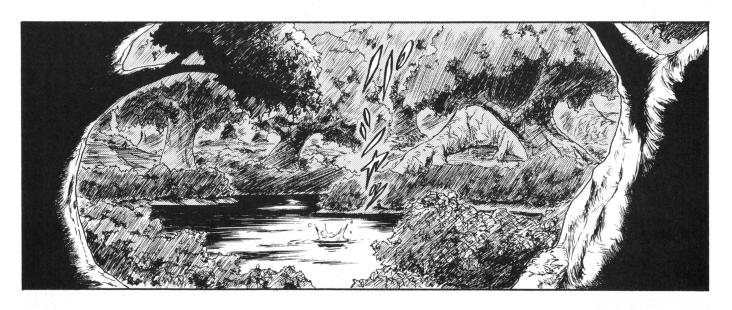




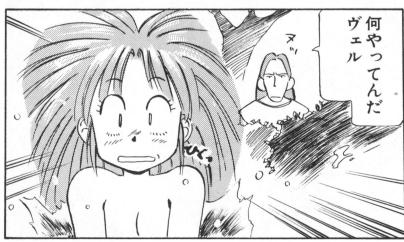








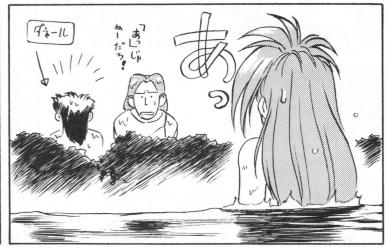


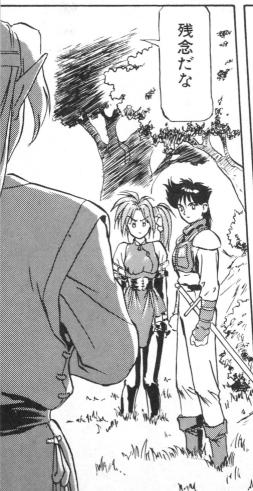


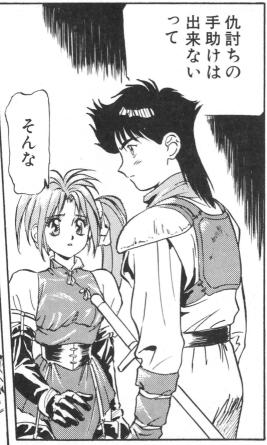








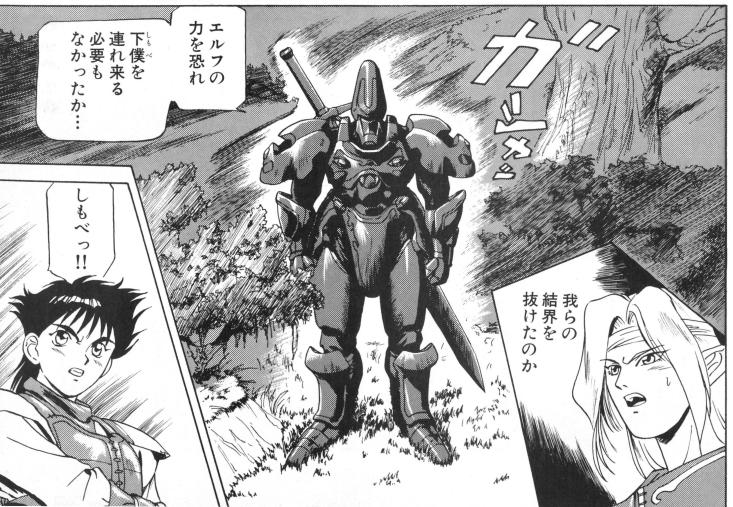




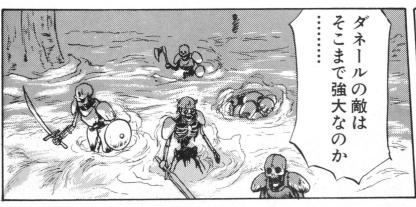




























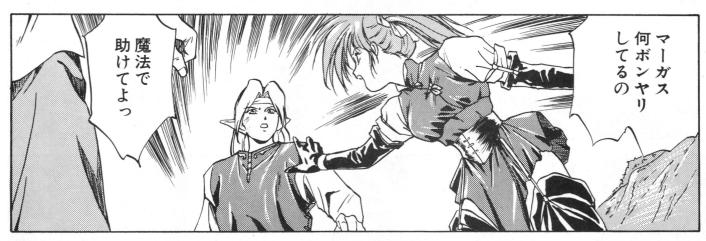
















Hall Control

















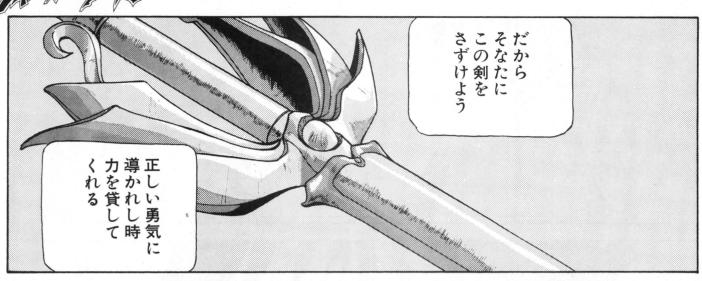


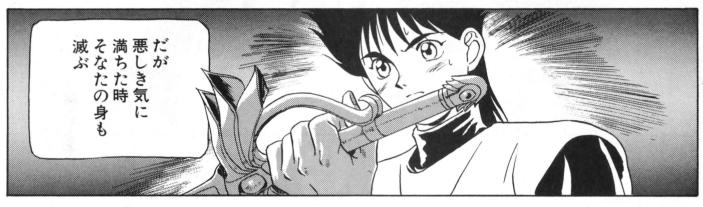




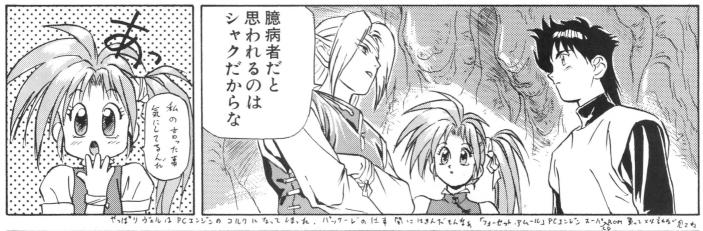


第一个













で用意するけど、登場するキャ ミックの『ダネール・サーガ』。 ラクターは、 ストーリーの基本設定はこちら 前号からはじまった読者参加コ キミが作るのだ!

まずはキャラの発表から

せてしまった。そんなわけでこの ていたので、選ぶのに頭を悩ま も個性あふれる性格、能力を持つ してしまったぞ。さすが主人公の ちらもビックリー バンザイ三唱 予想以上にハガキが届いたからこ キャラクターを応募したけれど 目。前号では主人公パーティーの ターを紹介してしまうのだ。 ページでは、応募されたキャラク いうことあり、どのキャラクター パーティーに参加するメンバーと ダネール・サーガも今回で2回

だけれど、そんな魅力あふれるキャ ラクターの中でとくに目を引いた 一部しか載せられないのが残念

> ほうがおもしろいかも。 面目なダネールとコンビを組んだ る理由でこんなかっこうになって し者の彼(?)は、やっぱり生真 うぞ。でもおしゃべりでおちょう というのもなかなかかわいいと思 しろい。ペンギンを連れたヴェル、 惚れしてしまうという設定がおも しまったポロンが、ヴェルに一目 ラクターはなんとペンギン。とあ ラストはないのだけれど、このキャ んの魔術師ポロン。残念ながらイ

のが、大阪府豊中市の岡義香津さ

伝わってきたぞ。 思い入れが選んでいてひしひしと けあって、キャラクターにかける 常に残念ながら今回はここまで。 がわんさかとあるのだけれど、非 り上げてくれそうなキャラクター くれた東京都稲城市の山下順也さ 皇帝が平民の女に生ませたちょっ 男の子。ゴールドランス帝国の前 望んでそれを断わり僧侶になった みんなこの企画に応募してくるだ ん。と、まだまだストーリーを盛 まく使ったキャラクターを送って とあぶない戦士など背景世界をう クの養子になるはずだったが、自ら 隊員の孫で、ダネール同様ムードッ いっしょにエルフの里へ旅をした 井右康さん。かつてムードックと を送ってくれた東京都杉並区の藤 歳を越えるというスーパーな戦士 いる竜の拳族で、年齢が3000 ほかにも、人間に身をやつして

冒険活劇をくり広げていく姿を夢 そうと現われて、ダネールたちと 自分が作ったキャラクターがさっ らすか楽しみにしていてほしい。 サーガの展開にどんな影響をもた たキャラクターが今後のダネール・ いずれにせよ、キミたちの作っ

> の神に仕える僧侶って……コワソウ!■三重県の清水太一さんのキャラ。戦い 名前:エリス・ラナート 性別: 早 年齢: 16 アライメント: 中立 クラス:僧侶(神宮養 面倒見もいいむ姉 Zot 怒るとコワイ。

➡こちらは広島県の湯川貴子さんのキャ 料理上手ってのがポイント高いよね

●こーんなにたくさんの応募をありがと



モンスターデータは この7項目なのだ

- ①名前(種族名)
- ②アライメント
- ③性格
- ④ヒットポイント (上限200を2体に)
- ⑤特殊能力
- ®セールスポイント
- ⑦イラスト(なくても可)

スゴイ。やっぱり酉年生まれなのかな? ■秋田県の桑村周平さん。鳥頭ってのが ①扁頭 (何的言的れても

0717.76 243/83 05TR40 DEX40 * ④善 /NT 140 CHR 40 たのは東京都の高橋奈巳さん。キレイー ルショワという魔法使いを送ってくれ

> 強い、まさに最強の名に恥じない 集したいと思う。モンスターとい イプを考えてくれ。 ない最弱のやつまでいろいろなタ やつから箸にも棒にも引っかから スターといっても、とんでもなく れて応募してほしい。一口でモン のキャラね)だから、気合いをい (いちおう花形キャラは主人公級 えばRPGの準花形キャラクター れど、今号ではモンスターを募 ちおう前号で終わってしまったけ

ールの一行にいない、肉弾男の登場だ。■東京都の鈴木飛鳥さんのキャラ。ダネ

②アライメント (属性。 善・中立 ①モンスター名(自分で作った種 族の名前)。

③性格(凶暴性があるとか穏和な 悪のうちどれかひとつ)。 性格とか)。

④ヒットポイント (上限は単体で れのヒットポイントを合計した 200。2種類以上のモンスタ はない、40+20=60でもよい また必ずしも200にする必要 数値が200になるようにする を応募してくるときはそれぞ

> ②アライメント 共に中立 バゼット ヴェズボー

④ヒットポイント バゼットは20ポイント 猛で貪欲

と、こんな感じで自分のイメー

⑥セールスポイント 締め付ける。またいちど喰らい ヴェズボーは体で敵(エサ)を

> 体と鋭い牙、恐るべき顎の力が ウツボに似た全長3メートルに もなる魚類の一種。その長い胴 で攻撃してくる。ヴェズボーは 強く仲間が襲われると鋭いひれ している。バゼットは集団性が

アウトで暴れまくるかも!?: キミが考えたモンスターが、 は11月20日 (金) 必着。期間は短 以下のあて先まで送ってね。締切 氏名、年齢、電話番号を明記して、 夕の各項目のほか、あなたの住所、 ジしたモンスターを送ってほしい いけど、がんばって応募しよう! トはがきは不可)。モンスターデー たくさんの応募を待っているぞ。 応募は官製はがきで(アンケー ログ

⑥セールスポイント (モンスター 空間を自在にあやつるなど)。 Rするべきポイントを書く)。 の外見的特徴や全体を見てのP

①イラスト(なくてもいいが、自 分のイメージしたモンスター像

⑤特殊能力 (毒のブレスをはく) を書いてきてほしい)。

あて先

T107-24 ㈱アスキー 4号キャラ募集係 ダネール・サーガ ログアウト編集部 スリーエフ南青山ビル 東京都港区南青山6-11

モンスターは2体 さて、キャラクターの募集はい

①モンスター名 ちょっと一例を挙げてみると

③ 性 格 でおとなしい。ヴェズボーは獰 バゼットはのんびりとした性格

⑤特殊能力 ついたら死んでも離さない。 バゼットは仲間を呼ぶ。 ヴェズボーは50ポイント

昆虫類を長い舌を飛ばして捕食 かで目と口を出して飛んでいる は約50センチ。普段は沼地のな バゼットはハゼに似た魚で全長

210



クの店内にあるすべてである。 いで一杯だった。 きているのか寝ているのか、 の奥にある大きなカウンターが、 る余裕はなさそうだ。 すことはできない。 てくる光だけでは、 フの男性がひとり座っている。 にピクリともしない。 広いカウンターのうしろには、 店のなかは棚で一杯で、 ボルタックの店内は薄暗く、 天窓からわずかに溢れ 店の中を充分に照ら いくつもの棚と店 とても窓を造 石像のよう 微臭い句 しかし起 ボルタッ ドワー

その他には店らしきものもない古く静か

そして一番奥にある、薄汚れた小さな

それより奥にいった場所にある二階建

神に仕えている場所だ。

-寺院。 死者すら蘇らせる魔法を知る僧 その向かいにある巨大な聖堂が、

を見せながら今もそこにあった。 街外れには冒険者の訓練場があり、 その街は意外と小さく、 リルガミン。 常に世界の危機とともにあった街。 古びた佇ま

1

211

カン

まず城門を入ってすぐに目につくのが

の酒場は、

城門から伸びている百メー

の店内は時間が止まっているようである。 動くものひとつなく、まるでボルタック

るイスの埃を叩いて座った。

りに店側の扉が開いた。 微かに軋んだ音をたてて、 しばらくぶ

い種族らしい眼はキラキラと輝いている。 で歩いている。気立ての良い、好奇心の強 で、丸々と太った身体をしていて、裸足 の男性である。背丈は低く九十センチほど 「おう、ケズンか。久し振りだな」 「おやじさん、生きてるかい?」 扉を開けて入ってきたのは、ホビット

えた。名前を知っている所を見ると、顔 かと思えたドワーフの店主は、低い声で答 カウンターに座ったまま、まるで石像

「相変わらず、汚えなぁ」

巣が張っている棚を見ながらカウンター へと近づいてくる。 ケズンと呼ばれたホビットは、クモの

の匂いに満ちていた。 ボルタックの店内は薄暗く、 湿った埃

んなもので充分さ」 ことは、ここ半年はされていないようだ。 体に埃が積もっている。およそ掃除らしい 「うるさいわい! 客がこない時期は、こ 商品が置かれている棚はガラガラで、全

そうに怒鳴った。 タックの店主は、髭を撫でながら面倒臭 店の奥のカウンターに座しているボル

景気は悪いわな」 「フン。外の世界じゃ、そろそろ天変地異になべんない」 「まあ世の中が平和じゃ、 リルガミンの

あっちこっちに溢れてるよ。世界の滅亡 も日照りも津波もなし。平和な雰囲気が もまた賑やかになる」 が起こるころじゃ。 そうすれば、 この街 「別に。今年も畑は豊作らしいし、地震

ンはカウンターの前にくると、置いてあ は、まだ遠いみたいだねえ」 なんとも物騒な会話をしながら、ケズ

> きちゃいけないのかい?」 えても、 ら、ケズンはニコニコ笑って答えた。 いら以外に誰がこの店にくるんだい。せっいら以外に誰がこの店にくるんだい。 「へっ! 平和になってからこっち、お 「客以外の顔は見たくないのう。こう見 「で、今日はなんの用じゃ?」 「用事ってわけじゃないけど、 ぶっきらぼうにいう店主の顔を見なが わしは忙しいんじゃ」 顔を見に

かく土産を持ってきたのになあ」 ケズンはそういいながら、懐から小さ

な皮袋を取り出した。 「むっ。香り草か」

そうに袋を受け取った。 ニヤリと笑うと店主はケズンの手から嬉し 「まあ、たまには世間話も良かろう」 「今年取れたばかりの、初物だぜ」 いつものことなのか、髭だらけの顔で

る黴と埃の匂いの中に、ほんのわずかだを付ける。ボルタックの店内に満ちてい 出すと、せっせっと香り草を詰めて、火 が芳しい香りが加わった。 「うむ。よい出来じゃな」 そしてカウンターの下からパイプを取り

ころでおやじさん」 「ああ、夏の日照りが良かったからね。と

ケズンを睨んだ。 「別に、そんなことをいってんじゃないよ」 「なんじゃ。金なら貸さんぞ」 プウッと煙を吐き出しながら、 店主は

なに言ってるのという表情で、ケズン

とは、あるのだろうか?

だがそれを普通の刀が折るなどというこ

見えないんだけど」 刀。他のものと違って、普通の刀にしか 「おやじさんのうしろの棚にある、あの

器といくつかの鎧や小手が置かれていた。 ローズガーブ、メイジズスタッフ、グロー シーフズダガー、 バタフライナイフ、 ケズンが指さすカウンターのうしろに 小さな棚があり、大小さまざまな武

> つが伝説といっていい品々が並べられて ブズ オブ ミスリルなど、ひとつひと

こに置かれている。 ものがあった。神々しく輝くこともなく、その中に、ひとつだけ普通の刀らしき 不気味なオーラも持たず、 ただ静かにそ

とつとして聞いてないね」 品物の名前と値段は聞いたけど、 話はひ 「冗談じゃないよ。あそこに置いてある

> 島米軍基地へ緊急着陸。冷や汗がでた。 機が機体トラブルでアリューシャン列 る。気合いが違うと感心。帰りの飛行

海外のコスプレは金がかかってい

ベンションへ参加す

きワールドSFコン 9月にアメリカへ行

忌ま忌ましそうに答える。 惚けたような店主の言葉に、 ケズンは

「あれは普通の刀じゃよ。ふ・つ・う

タッチ・フットというお手軽フットボ っているので、気分がいい。自分でも

・ルをやっている。ケガだけが心配だ。

ファンで、今年はひいきのチームが勝

トレーター。アメリ 本誌初登場のイラス 安田鉄魚(やすだてつお)

カンフットボールの

店主は答えた。 白そうに見ながら、いよいよ勿体ぶって 好奇心ではち切れそうなケズンの瞳を面

両断にしたという伝説を持っている。 すべての羨望の武器なのだ。 と呼ばれる侍専用の武器のひとつである。 ンは眼を丸くして叫んだ。 「えーっ、ムラマサを……」 「あれはムラマサを折った刀なんじゃよ」 「いいじゃねえかよ、教えてくれよ」 その力は無限ともいわれ、世にいる侍 妖刀と呼ばれるもので、山や城を一刀 ムラマサは、正式にはムラマサブレード あまりの突っ拍子もない答えに、ケズ

ながら、店主は黙って見ている。 に哀願する。 それを気持ちよさそうに見 「おやじさん、その話を聞かせてくれよ!」 「頼むよ。このとおり」 もはや好奇心に負けて、ケズンは店主

るとするか」 「まあ、この香り草に免じて、話してや これ以上、 勿体をつけるとケズンを怒

「あれの話は、まだしてなかったか?」

の刀もそうなのかい?」 「どれも法外な値段がついてるけど、

を吸うと物語を語りはじめた。 る、かなり前のころ……」 らすと踏んだ店主は、 「ダイヤモンドの騎士たちの冒険が始ま ゆっくりとパイプ

2

たりはそれを眺めている。 三人の人影の前に、宝箱がひとつ。 ひとりは宝箱の前にしゃがみ、他のふ

間違いない。彼は静かに鍵を探り、宝箱 者であることは間違いない。 精悍な顔から、 そうとうなレベルの冒険 子を身につけ刀を装備した男の侍である。 短い剣を装備しているので、 男は盗賊に に仕掛けられた罠を判別しているようだ。 そのうしろにいるのは、白く輝く鎖帷 宝箱に向かっているのは、皮鎧を着て

を羽織った女性で、短いメイスを持って ある皮鎧のうえにゆったりとしたローブ もうひとつの影は、 見事な浮き彫りの

著者近況

竹内

誠(たけうちまさる)

が尖っているところをみると種族はエル フのようである。 装備からして職業は司教のようだが、耳

アイテムの数、生き残れる確率からいっ りで迷宮を探索してもかまわないのだ。 ない分には問題はない。望むなら、ひと る。たった三人のパーティーというのも て、人数が多いほうが良いのは常識であ の最大人数は六人と決まっていたが、少 ビットやドワーフの居ない、人間とエル フだけのパーティーのようである。 しかし職業のバランスや持って帰れる 迷宮の中に入れるひとつのパーティー いずれも背丈がさほど違わないので、

ングと剣、そして鎧がひとつずつ入って 宝箱のフタは床に落ちた。 箱の中にはリ 開ける。するとゴトンと鈍い音をたてて、 いじくると、盗賊の男は無造作にフタを 「それ、いつもの通りアラームだ」 面白くなさそうにカチャカチャと鍵を

「識別しましょう」

魔法の武器じゃ、格が違うってもんさ」 は淡々とアイテムの名前をいう。 レイトメイル+2ですね」 ルムと呼んだ盗賊にカシナートを渡す。 あるブレード
カシナートを睨んだ。 と有り難みもなんもねえな!」 にすると暫し瞑想した。 「しょうがねえよ。伝説の品と、ただの 「ムラマサは、また夢か」 「またそれか、こうゴロゴロとしている 「あとはリング オブ ファイアに、プ 「これも見飽きましたね、シャルム」 「ブレード カシナートですね 然して瞑想することもなく、 セレーヌはにこやかに笑いながら、シャ 盗賊は忌ま忌ましそうに、 彼女の手に セレーヌと呼ばれた女司教は、 無念そうなリュウセツの肩を叩きなが シャルムは明るくいう。 セレーヌ

司教は宝箱の中のアイテムを手にとった。 「いいですよ、リュウセツ」 「セレーヌ、剣から識別してもらえんか?」 静かに盗賊と場所を入れ換わると、女の 剣を手

うに……。 中に住み暮らしている。モンスターもア スターは数多く迷宮の中を彷徨っていた。なり昔に倒されていても、いまだにモン イテムも、まるで無尽蔵にあるというよ るでワードナーの帰りを待つように迷宮の モンスターの数は減りも増えもせず、ま

宮にモンスターとアイテムなどの富が存在 ルガミンには冒険者が溢れているのは、迷 トレボーとワードナー亡きあとも、

こからか呻くような声が聞こえてくる。そ に地下迷宮九階付近では、油断できない。 の声を聞いて、全員が身構えた。さすが 「お客さんかな?」 「次の部屋にいこうぜ、次の」 そういうシャルムの声にまぎれて、ど

「声だけみたいですね」 呻き声は小さく掠れると、やがて消え

ャルムは吐きすてるようにいった。 「脅かしやがって……」 この迷宮の主であったワードナーが、か じっとりと滲み出た額の汗を拭うと、シ

するからであった。 すでに何十年と迷宮を探索している冒険

くに探索にいくことも多い。 とりふたりといった少人数で迷宮の奥深 者も多く、そういった実力のある者は、ひ ここにいるリュウセツ、シャルム、

力を持つ冒険者である。 が、人数が多くなるほど、意見の相違や レーヌの三人も、常識を遥かに越えた実 もちろん他に仲間を募ってもいいのだ

仲間だけで動いたほうがいい。 分け前で揉めることもある。 それより実力が充分なら、気の合った

とは出会わないほうがいい。 場合、なるべく彷徨っているモンスター た三人で地下迷宮の深い階を探索している しかしいかに実力があろうとも、たっ

てもアイテムは持っていないのだ。 徨っているモンスターは、金を持ってい 宝箱にアイテムを溜め込んでいるのは部 探索のペースが乱れるし、なにより彷

屋にいついているモンスターだけである。 て金はさして重要なものではない。 冒険の初心者と違い、今の彼らにとっ

三年は泊まり続けるだけの金はある。 ズ インのロイヤルスイートに、二年や 問題は、アイテムなのだ。 所持金をいうなら、アドベンチャラー

ら、買うこともできる。 い。もちろんボルタックに在庫があるな これだけは金で、どうなるものでもな

れるものではない。 アイテムとなると、なかなか売りに出さ シーフズダガー、ローズガーブといった だが伝説にあるムラマサ ブレードや

だが、これがまた大変なのだ。これらの アイテムは、どこにあるといったもので となれば迷宮の中を探索するしかないの

ひと、あるいはひっそりと迷宮の片隅に モンスターからモンスター、 ひとから



能性もある。 に対している冒険者たちも多く、そうを探索している冒険者たちも多く、そうのがである。

絶対数が少なく、まして必ずあると限っ絶対数が少なく、まして必ずあると限っすな探索を、彼らはしているのだ。戦いに生き残る実力と、とてつもない、ではない。そんな霞みをつかむような探索を、彼らはしているのだ。

熟練した侍のひとりである。
熟練した侍のひとりである。

のだ。
のだ。
のだ。
ただひとりでは宝箱を開けるにも、ア

気心は知れている。 気心は知れている。 だ頃から一緒になることが多く、 互いに持つ盗賊と司教である。 だが冒険を始める。 だが冒険を始め

司教のセレーヌは魔法使いと僧侶の呪文 司教のセレーヌは魔法使いと僧侶の呪文とってすでに解除できない罠はなかった。この三人だけで、地下九階はたいした 危険なく歩くことができた。 しかし九階 では、すでに見慣れたアイテム以外、発 見できそうになかった。

「十階に降りてから、街にもどろうぜ」シャルムの言葉に無言でうなずきながら、シャルムの言葉に無言でうなずきながら、カーのある部屋にむかっていった。十階にいたる階段は、迷宮のどこにも十階にいたる階段は、迷宮のどこにも

一等)カカウには、いつでいてにほり通路の端であった。

十階のフロアには、いつでも床に妖気のようなものが漂っていた。地下迷宮のたりなる。

裏弱して命すら危うい。 常み込んだなら、 たちまち動けなくなり いないではないのだ。 常人が一歩 いるべき場所ではないのだ。 常人が一歩

力を秘めている。 ではとは比べものにならないほどの強力な その中に生息するモンスターは、 いま

ルムはつぶやいた。 周囲の気配に鳥肌をたてながら、シャ「さすがだな、ビリビリくるぜ」

存はないな」 強い相手ならマロールを唱えて逃げる。異 強い相手ならマロールを唱えて逃げる。異

んとかなるでしょう」

ポーター。これはどの部屋からも、戻っシュートの横は、街に通じているテレレーヌは溜め息と一緒につぶやいた。

の部屋に続いている。

てこれる造りになっている。

うになっている。 肝心のワードナーの部屋に辿り着けないよ あり、正しい順序でテレポートしないと あり、正しい順序でテレポートしないと

んでいる者もいる。 もっともそれをかりと動き続けていた。 もっともそれをかりと動き続けていた。 もっともそれを

つの扉があらわれる。

では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 でがその空間の所々は、 でがその空間の広がりを見せる。 でがその空間の広がりを見せる。 でがその空間の広がりを見せる。 では、 その場所を見せている。 それはテレポーターの関が、 そこにある証拠であった。

は、どこにも感じられない。だがモンスターたちが迫ってくる気配囲を素早く見渡す。

ってくるモンスターの気配を探って、周

「やっぱり、誰かが通っているようだな」「やっぱり、誰かが通っているようだな」と、別の連中が住み着くまで、 宝箱はかと、別の連中が住み着くまで、 宝箱はからのままになってしまう。

まかが通ったあとなら、最低でも次の 日にならねば宝をもったモンスターは、部 居に居ないことになる。 「しかたない、引き上げようぜ」 拍子抜けしたのか、残念そうにシャル ムが肩を竦める。

ビィーッ、ビィーッ!その時

「これは、アラームの音ですね」「なんだ?」

不信な顔をしているシャルムに、

真顔

それでもこの熱風は、尋常な呪文によ

「あっちから音がする」
「あっちから音がする」
「あっちから音がする」
にのかモンスターの気配が感じられる。
たのかモンスターの気配が感じられる。

「グェッッッ!」「グェッッッ!」

ねえぞ」

「いや、違う。あの人影は、魔法使いじゃ

不気味な叫び声が、あちらこちらから聞

ピシャッ! ピシャッ! ピシャッ!

体が跳ねるのを感じた。
リュウセツは、自分のブーツの下で、液

「なんだ?」

不信に思い、立ち止まる。

三分の二を占めている。
是えなかったが、血溜まりは部屋のほぼがっていた。部屋全体が暗かったためにがっていた。部屋全体が暗かったために

「誰がこんなことを……」

その光景にたじろいだ。

光と熱が部屋を埋めつくした。モンスターの気配とともに、

凄まじい

ゴオッ!

に血の蒸発する異様な匂いが周囲をうめつた血溜まりは蒸発していく。 それと同時凄まじい蒸気をあげながら、 床にあっジュッ!

「ティルトウェイトだぜ」

くした。

ら、どうにか耐えることができる。は呆れたようにいう。リュウセツたちムは呆れたようにいう。リュウセツたちムは呆れたようにいう。リュウセツたち

ら、簡単に使いこなすはずだ。ものであったという。この程度の呪文なものであったという。この程度の呪文なるものとは思えなかった。

いた。その周囲を囲むように、ティルト不気味なオーラに包まれた人影が立って、ユラユラと揺れる蒸気の幕の向こうに、

ズンッ!

るのを待った。 りあえずティルトウェイトの爆煙が納ま モンたちの影も見える。 ウェイトの影響を受けないグレーターデー 「いったい何者だ!」 状況がわからずリュウセツたちは、 ピュン! と

が続いた。 もう一度、同じような音が続く。 ドゥッ。 ザン!

鋭い音がしたあと、なにかが倒れる音

ドサリ。

「畜生、何が起こってんだ?」

手に持った刀から発している禍々しい赤 いオーラに、全身が包まれている。 姿であった。 だがその表情は虚ろで、 右 トとガントレットを身につけた若い侍の そこに立っていたのは、ブラストプレー シャルムが焦れったそうにつぶやいた ようやく爆煙が薄れてくる。

いる。 の高熱のため、すでに白骨に近くなって レーターデーモンの死骸が二匹ぶんあった。 たまま倒れている冒険者らしい死体と、グ その侍の立っている周囲には、鎧を着 冒険者たちの死体はティルトウェイト

物で真っ二つにされていた。 グレーターデーモンの死骸は、 鋭い刃

まれた若い侍に突進する。 グレーターデーモンが、 赤いオーラに包 「グォッッッ!」 不気味な叫び声をあげて、また一匹の

「あんな危ねえもの、持ってられっかよー

あっさりと両断される。 持った刀を振るとグレーターデーモンは、 まるで紙でも切るように、無造作に手に

> げに言葉を吐いた。 「憑かれたか……」 その瞳を見ながら、 リュウセツは苦し

「憑かれた?」 意味がわからず、

ツに聞き返した。 セレーヌがリュウセ

を憑かれるというのだ」 乗っ取ることが希にあると聞いた。それ 「強すぎる魔法のアイテムは、持ち主を

ウセツは刀を抜いてかまえる。 「じゃあ、近く倒れている冒険者の死体 静かにセレーヌの問いに答えながら、リュ

は、あの若者が……」 「多分、刀に操られて殺したんだろう」

「あるんだよ」 「そんなことが本当に?」

刀のもとに切り捨てられている。 を増やしているが、襲いかかるたびに一 にもグレーターデーモンは仲間を呼び、数 「いや、倒す」 「で、どうするんだい。逃げるのか?」 リュウセツとセレーヌが話している間

んだよ」 ツの言葉に驚いた。 「なんで、あんな憑かれた奴の相手をす 「あいつが持っている刀は、間違いなくム すでに逃げ腰のシャルムは、リュウセ

を見つめている。 ラマサ ブレードだ! それを見て、黙っ て帰るわけにはいかない」 リュウセツは、真剣な眼差しで若い侍

の中には、岩のように固い決意が感じら リュウセツは淡々と答えた。その言葉「帰りたいなら、いけ。俺は残る」 相手にしないで帰ろうぜ」

みせる」 い自信はあるの?」 「リュウセツ、あのムラマサに操られな 「もちろん。俺ならムラマサを、御して

何事もなかったようにゆっくりとリュウ

レーターデーモンを見ながら、 若い侍は

悲鳴すらあげることなく崩れ落ちるグ

セツのほうへ向いた。

「なら、しょうがねえ。セレーヌ、付きタップリに答えた。

ならいいでしょう」「そうですね。 リュウセツに自信がある合うとするか……」

またりともリュウセツの決意に、この がに参加することを承知したようだ。 戦いに参加することを承知したようだ。 でにムラマサに憑かれた若い侍は、最後 でにムラマサに憑かれた若いける間に、す でにムラマサに憑かれた若いける間に、す

に近づいていった。
いっくりと若い侍なたりにそういうと、ゆっくりと若い侍りったりにそういうと、ゆっくりと若い侍

3

福々しい赤いオーラに包まれた若い侍 でのほうを見た。だがその瞳は依然としていだがリュウセツが敵対しようとしていだがリュウセツが敵対しようとしているのをムラマサが感じているのか、ゆっるのをムラマサが感じているのか、ゆっくり身体の向きを変える。

落とさせれば正気に戻るだろう)(腕のひとつも断ち切って、ムラマサをリジリと間合いを狭めていく。

リュウセツは若い侍の右手を狙って、刀

囲には確実に防御幕が増えていく。その間にも背後に残ったセレーヌが、バその間にも背後に残ったセレーヌが、バマツを連続して唱えている声が聞こえる。マツを連続して唱えている声が聞こえる。

「速き風よ、光とともに解放されよ」まったくわからない。 手は伝説の武器のひとつムラマサである。 手は伝説の武器のひとつムラマサである。

の呪文をつぶやいた。
安如としてボソボソとティルトウェイト
突如としてボソボソとティルトウェイト

グオオオオオッ!

ラマサに取りつかれた相手は、相当な修うマサに取りつかれた相手の侍が、若いわりには高いレベルに到っているのを確信した。は高いレベルに到っているのを確信した。するには、かなりの修行が必要となる。それを二度も唱えるということは、かなりの修行が必要となる。

で で うなれば刀を扱う技も、かなりのも と 互角とするなら、武器の分だけリュウ と で のと思わなければならない。 もし技が自分 のと思わなければならない。 もし技が自分 行をしていたということだ。

エュン!迷いが心に入りこむ前にリュウセツは刀

掛けて刀を振りおろす。

聞合いを詰めたリュウセツ目掛けて、の見に相手の肩を目切っ先を、ほんのわずかな間合いでかわってかが鋭く振りおろされる。鋭く迫るラマサが鋭く振りおろされる。鋭く迫る

キィン!

リュウセソは、気合とともこ東で単か「てぇーいっ!」の厚い棟で遮られる。

だがその虚しく空を切った刀をかまえわず驚嘆した。

相手の動きの速さに、リュウセヤは思

「うぉぉぉっ!」 だがその虚しく空を切った刀をかまえ だがその虚しく空を切った刀をかまた だがその虚しく空を切った刀をかまえ

双ン! リュウセツの胸を切っ先で捕らえた。 リュウセツの胸を切っ先で捕らえた。 だがそれも完全ではなく、ムラマサは だがそれも完全ではなく、ムラマサは だがそれも完全ではなく、リュウセ

吹き飛ばされる。い衝撃を受けて、リュウセツはうしろにい衝撃を受けて、リュウセツはうしろに

見える。

見える。

見える。

見える。

かを駆け巡っていた。を受けたような衝撃がドクドクと身体のなを受けたような衝撃がドクドクと身体のなるがあり傷のはずだが、まるで致命傷

「ぐっ、うっっ」

きを取り戻せ!」
「傷ついた命の光よ、神の力によって輝
「傷ついた命の光よ、神の力によって輝
でかな手が首筋に触れるのがわかった。

は頭をふる。 といったいかしら」 といっないかしら」 といっないがしら」 はげたほうがいったいかしら」

「今度は大丈夫だ」リュウセツは刀を両手でかまえた。リュウセツは刀を両手でかまえた。

「いや、まだやれる」

ゆっくりと歩いてくる若い侍を睨みつける。自分に言い聞かせるようにつぶやくと、

れん) これでは相手を殺すしかないかもしが、これでは相手を殺すしかないかもし

法はないのか?)

(なんとか、殺さずにあの若造を倒す方できるだろう。しかしムラマサに憑かれたのはリュウセツには気がひけた。たのは本人の未熟としても、相手を殺したのは本人の未熟としても、相手を殺しない攻撃が

ふたつのことだけであった。れ以外の動きはどこかぎこちない、そのに関する動きは電光のように素早く、そいまわかっていることとしては、戦い

(戦い以外のことには、あまり素早く反

オーラを増しているように思う。に持たれたムラマサは、さっきより赤いに持たれたムラマサは、さっきより赤いユラユラと近づいてくる。無造作に右手のいないがあります。

ムラマサのまえに対峙する。 リュウセツは刀を右青眼にかまえると、 と、ピタリと立ち止まった。

若い侍はムラマサを左青眼にかまえる

真っ二つにされてしまうだろう。 を問違えれば、今度は間違いなく身体を歩間違えれば、今度は間違いなく身体を歩間違えれば、今度は間違いなく身体をあの若者を殺さないですむかも……)

とンースのマモーリスの兄女が、リュースの兄女が、相手の動きを探っているのだ。「脅えよ、かの者のなかで育ち、その身「脅えよ、かの者のなかで育ち、その身体を鉄のごとく硬直させたまえ、わずかーかいにふたりが対峙したまま、わずか

ましり一舜、吉ゝ寺り才本は更宜しこ。ウセツにチャンスを与えた。 セレーヌのマモーリスの呪文が、 リュ

は雪崩のごとく打ち込んでいく。
長い裂帛の気合とともに、リュウセツ長い裂帛の気合とともに、リュウセツ長が裂帛の気合とともに、リュウセツをだれる。

け流そうとリュウセツの刀を迎え打つ。 鍋の断たれる澄んだ音が、パキィーン! わずかに遅れて、ムラマサは一撃を受 部屋をうめ

つくした。

もリュウセツの胴にいくこんでいる。 かし折られたムラマサの下半分は、なお マサの刀身を半ばから切断していた。し リュウセツの打ちおろした刀は、 だがリュウセツの刀は、若い侍の肩寸

前で止まっていた。

ら、リュウセツはゆっくりと崩れ落ちた。 腹からこみあげてく血を吐き出しなが カラン。

大きな刃零れがあった。 いた刀は床に転がる。その刃の中程には 「大丈夫かよ」 軽い音をたてて、リュウセツの持って

から飛んできたシャルムが身体を支える。 リュウセツが床に激突する寸前、うしろ

> 識を失って倒れている。 腹の傷に手をあてて呪文を唱えはじめた。 「マディの呪文が必要ですね」 ムラマサに憑かれていた若い侍は、 ゆっくりと近づいてくると、セレーヌは 意

ルムは呆れたようにいった。 「俺も折れるとは、思っていなかった」 「ムラマサを、折っちまうなんて……」 折れているムラマサを見ながら、シャ

だ血のせいで、狂っちまったんだ」 しながらリュウセツがいう。 「血のせい?」 「こいつは本物のムラマサだった……。た ようやく傷がふさがって、身体をおこ

の血筋だったんだよ」 ず、セレーヌが問い返した。 否反応を起こすんだ。この若いのは、そ 「ああっ。ムラマサは、特定の家柄に拒 リュウセツのいっている意味がわから

リュウセツは折れたムラマサブレード

に切られた瞬間、刀の記憶を知ったのだ。

滅ぼすためにムラマサを鍛え、敵対する ある血筋を憎んでいたのだ。その血筋を 者たちに渡した。 それによればムラマサを鍛えた鍛冶は、

とも消えてしまった。だがムラマサだけ も見分けられないほど血が薄まり、争いご てしまう呪いを封じこんだ。 筋の者がムラマサを持った時には、 だがやがて時は流れて、どちらの家柄 その時、魔力によって敵対している血

の血を覚えていたのだ。 そして不幸にして、その血筋をわずか

は、鍛えた鍛冶の意志を受け継いで、そ

けてしまったのだ。 に残していた若い侍が、 ムラマサを見つ

てしまいましたね……」 ムはリュウセツの言葉を聞いていた。 「でも、やっと見つけたムラマサを折っ 「それでムラマサに憑かれたのか……」 信じられないといった表情で、シャル

ている間に、たちまち錆ついてボロボロ になって消えてしまった。 折れたムラマサは、リュウセツが話し

腕が充分なら問題がないということがわ 折ったんだ。よい武器がなくとも、己の とした自分の刀を拾った。 「いや、もうムラマサはいらない」 「なにしろ俺は、ただの刀でムラマサを リュウセツは清々しそうにいうと、 落

れを大事そうに鞘に収めた。誇らしげに刃零れした刀を見ると、そ 「さあ、帰ろう」

に放りこめば、なんとかなるでしょうし」 レーヌが楽しそうにいった。 「そうですね。 死んだ人達もカント寺院 リュウセツの迷いのない声を聞いて、セ

言葉を伝える。

「しばらくはトレーニング場で若い連中 「それで、そいつらはどうしたんだい?」 冒険者たちの消息を、ケズンは訪ねた。

ボルタックのおやじの話は興味がつきない。つぎの話はいったいなんだ?

■うそかまことか、

いっちまった」 を鍛えたりしてたが、そのうちどっかに

フウッと吐き出した。 「たぶん田舎にでも、引っ込んだんだろ 店主は、深く香り草の煙を吸い込むと、

きた。その時、あの刀も譲り受けたのさ」 う。いなくなる少し前に装備一切を売りに がいるなんて」 「信じられないな、ムラマサを折った奴

ゆっくりと刀を持ち出してきた。 「ほれ、大きな刃零れがあるじゃろ」 まだ疑心暗鬼なケズンを見て、

たしかに大きな刃零れがあった。 鞘から引き出された刀身の中ほどには、

「へえ。本当なんだ!」

ら、店主はゆっくりと刀を元の場所に戻 ようやく納得した表情のケズンを見なが

ずくと店主は、また煙を深く吸った。 など問題にしないのじゃよ」 「自分の力を最大に発揮する者は、 自分のいった言葉に、満足そうにうな

な物語があるの?」 「そこに飾ってある武器は、どれもそん

たくなったのかケズンは瞳を輝かせて聞 ひとつの話を聞いたら、別の話も聞き

ひとつひとつ、不思議な話がついておる」 「じゃあっ!」 「ああっ。ボルタックの秘蔵の在庫には

をあげてそれを遮った。 「だが、今日はもう終いじゃ!」 面倒臭そうに店主は、ケズンに最後の ケズンの声を聞いた瞬間、 店主は左手

紫煙は、ボルタックの中にゆっくりと広 それと同時に プワッと吐き出された

〈第1話 完

11十十二

ログアウト 第4号

イラスト/斉藤友子 デザイン/荒井清和 製版/野口丈幸 COVER

COPYRIGHT ©1992 by ASCII Corporation 本誌の掲載記事の無断転載・複製を禁じます。法律で認められた場合を除き本誌からのコピーを禁じます。

	特集 ヒザノナイフ切凹外	4
	夢枕漠 のファンタスティックワールド『ねこひきのオルオラネ』	—12
	2 大新連載 ウィザードリィ異聞・リルガミン冒険奇譚 作 竹内誠 画 安田鉄魚―	-211
	スタート! 読者参加TRPG JADE KINGDOM 作 ORG和東朗 画 佐々木亮―	-156
	末弥純ウィザードリィ・ワークス制作好調	—110
	 ■ ウィザードリィ外伝 I 女王の受難 作 高井信 画 末弥純	—19
	時のビザンティラ 作 菅浩江 画 斉藤友子――――――――――――――――――――――――――――――――――――	-60
	夢巫女・美緒 作 水城雄 画 松原香織	 73
	小 イースIV・プレストーリー 翼あるものの肖像 作 大場惑 画 池上明子――	-83
	説 アプロス天空の章 巣と風の母 作 人魚蛟司 画 もりき靖泰	—114
	悪魔城ドラキュラ 悪魔の血 血の悪夢 作 手塚一郎 画 高橋政輝―――――	-122
	ロスト・ラビリンス 失われた迷宮 作 川又千秋 画 横山宏	- 168
	シルヴァ・サーガ 光と闇の伝説 作 羅門祐人 画 夏元雅人――――――――――――――――――――――――――――――――――――	
	プリンセスメーカー 作画 此路あゆみ (スタジオ・ウイズ) — わんだりんぐWONDERLAND 作画 めるへんめーかー	-35
	わんだりんぐWONDERLAND 作画 めるへんめーかー	-160
	グネール・サーガ CURSE OF DESTINY 作 村上純一 画 牧野竜一	–189
	 真ウィズ・リプレイ 作 柘植めぐみとグループSNE 画 河本ひろし	
		-140
	G イースTRPGリプレイ 作 関根博寿 画 田中としひさ	—150
,	古谷徹のボイスダイアリー――――――――――――――――――――――――――――――――――――	71

●コラム ゴーストハンター2のシナ 末弥純のボルタック商店開店準備中一

さいとうともこのプロテウスEXTRA-ひかわ玲子のファンタジック・パーティー -58藤島康介のどーせ見るならこんなキャラー

古谷徹のボイスダイアリー	82
おたくに国境なし	92
ログアウトBOOK REVIEW	93
こだわり情報VIDEO MOVIE GAME CD—	107
南青山CGギャラリー	——112
火浦功の遊んでて悪いか!!―――	176

●読者コーナー	
ログアウトノベルスペシャル	——7·
LOGOUT LETTERS-	90
ログアウトファンタジーイラスト大賞――	98
大場或のわくわくパズルランチ―――	188

STAFF ■発行人:藤井章生■編集人:塩崎剛三■編集長:宮野 洋美■副編集長.宮川隆■アートディレクター:荒井清和■編集 スタッフ:米田裕、奥山裕之、山元勝■進行:樹村頼子、栗原和 子、東谷保幸、川崎学■制作スタッフ:井沢利昭、佐々木幸子■ 制作協力:スタジオB4、古川誠之、吉田大介、野島弘司、持丸一 昭、長島弘美、梶浦陽子■雑誌営業:中島直也■広告営業:杉山 淳一、森剛宏■出版業務:別所聖一、杉本恭子■フォトグラフ: 水科人士、八木澤芳彦、木村早知子、吉田武、宮野知英、稲垣剛 ■イラスト:いしかわじゅん、米田仁士、さえぐさじゅん、弘司 ■出版局局長:西村弘紀■出版局副局長:小島文隆■出版営業統 轄部長:能勢仁■出版総務統轄部長:別所聖一

次号は 1月9日発売予定

ノベルスペシャルは12月14日発売予定

板橋しゅうほうの異色まんが『凱羅(ガイラ)』を大特集! 女王の受難と夢巫女・美緒が最終回を迎えるぞ 間もなく発売される末弥純イラスト集もよろしく!



ファンタジーRPGの決定版 ロードス島戦記II

原作/安田 均・水野 良 キャラクター原案/出渕 裕

ロードス島戦記

- ■PC-9801VM/UM以降
- ■PC-88VA
- **■**MSX2/2+
- ■X68000

ロードス島戦記



- ■PC-9801VM/UV以降
- ■PC-286/386シリーズ ■MSX2/2+

標準価格 3,800∄

■X68000 TAKERU 3,500円 価格 3,500円



■PC-9801VM/UV以降 ■PC-286/386/486



- ■PC-9801VM/UV以降
- ■PC-286/386/486

標準価格 9,800円

標準価格 4,800F

C Kadokawashoten/H.YASUDA & Group SNE



一プログラマー募集一 アセンブラ、Cでプログラム経験のある方、

履歴書を郵送して下さい。

標準価格

9,800円

株式会社 エム・エー・シー ハミングバードソフト 〒530 大阪市北区曽根崎2丁目2番15号 TEL06(315)8255 ■標準価格に消費税は含まれておりません。お買い上げの際には別途消費税を

■標準価値に用度代は含めないからない。 ・ 支払い下さい。 ■通信販売ご希望の方は、住所・氏名・電話番号・商品名・機種名・メディアを明記の上、現金書留または郵便振替(大阪 8-303340)にてお申し込み下さい。 送料は無料ですが、標準価格に消費税の3%を加えた金額をお送り下さい。

Humming Bird Soft

